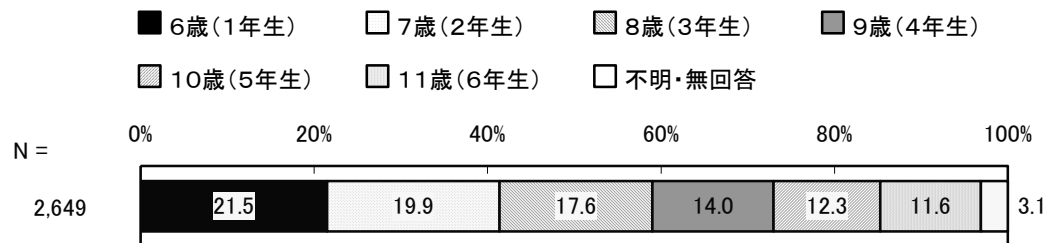


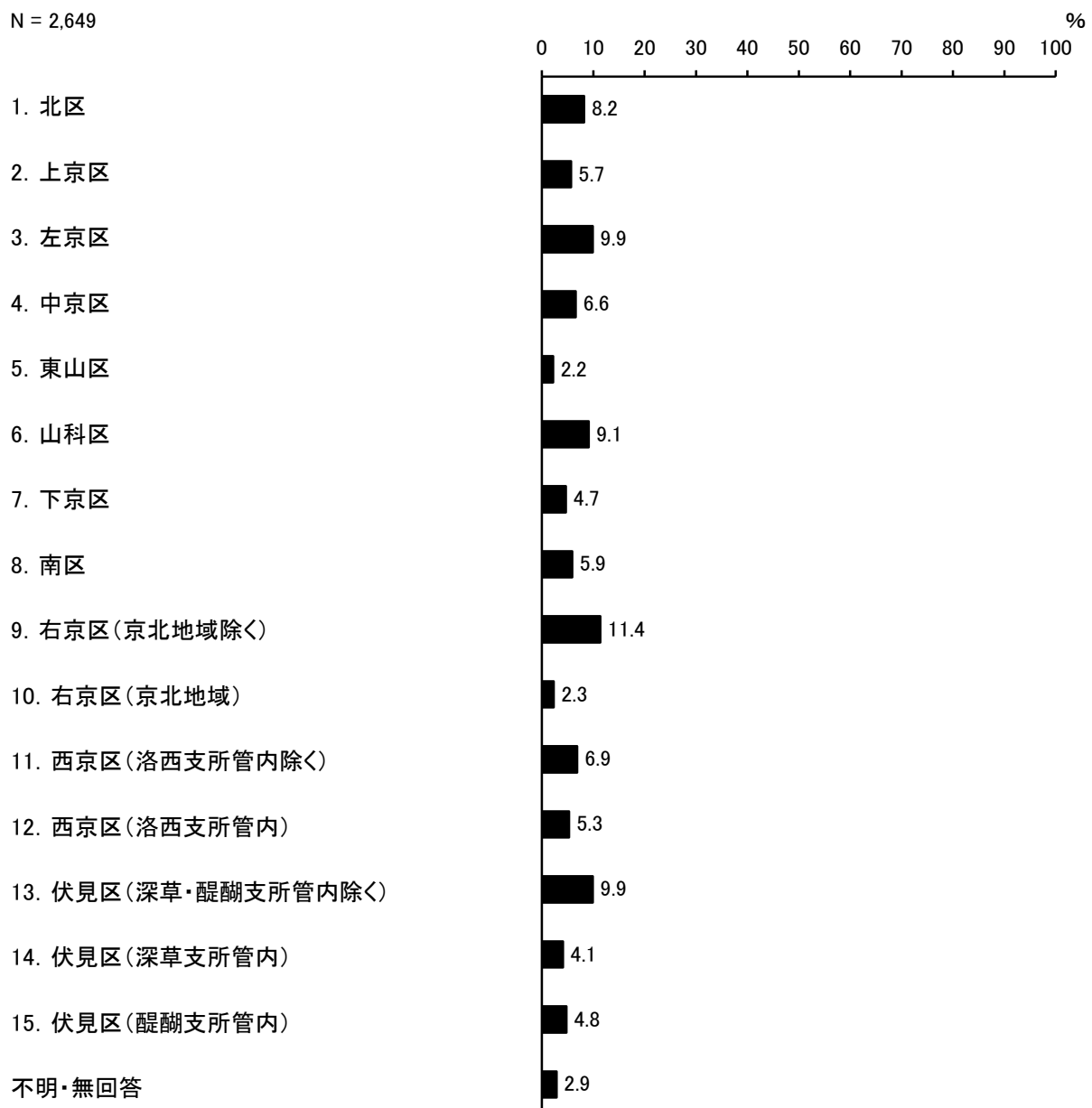
IV 調査結果（小学生児童調査）

1 子どもと家族の状況について

問1 宛名のお子さんの生年月を記入してください。

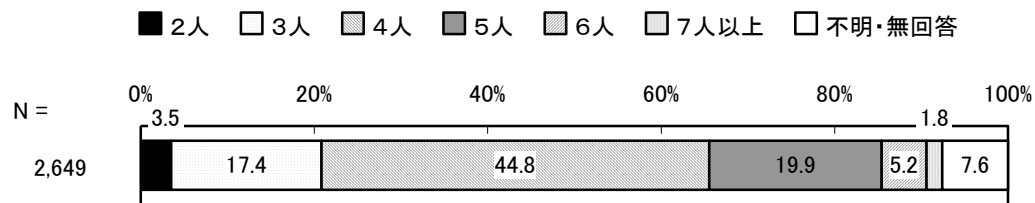


問2 お住まいの区に○をつけてください。また、お住まいの小学校区を記入してください。

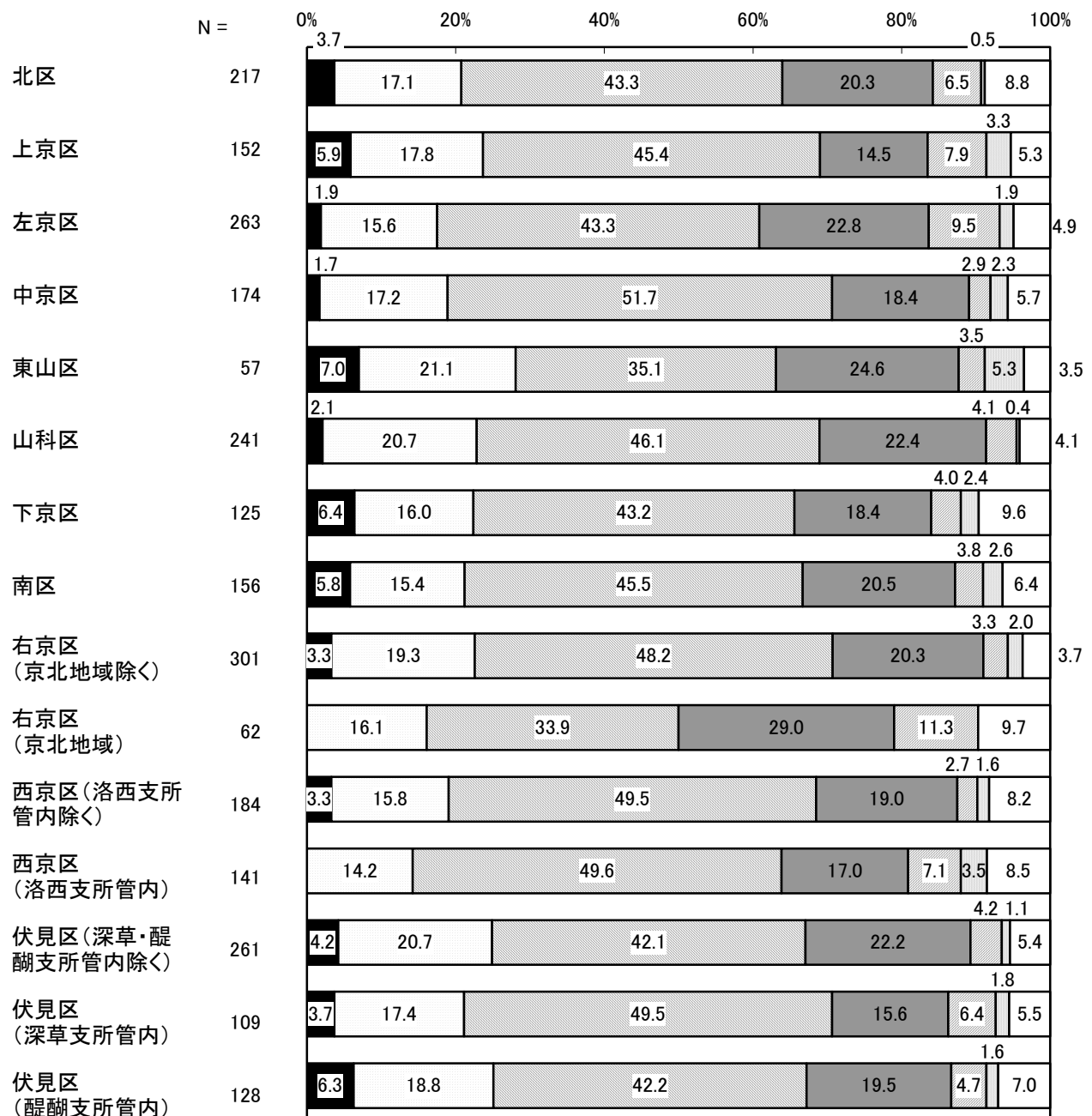


問3 家族の人数（ご自分や宛名のお子さんも含む。）を記入してください。

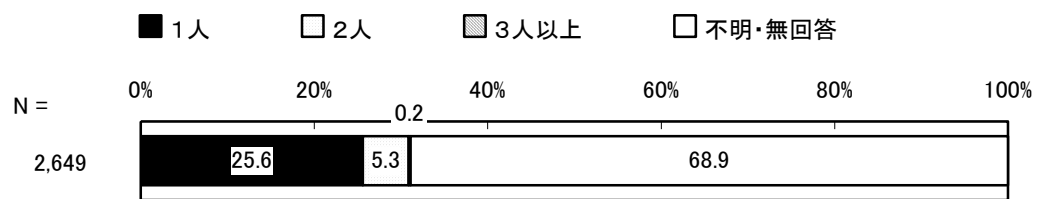
【家族全員の数】



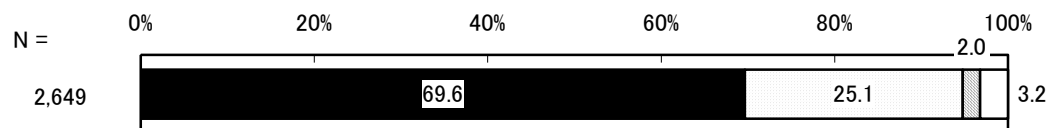
[居住区別]



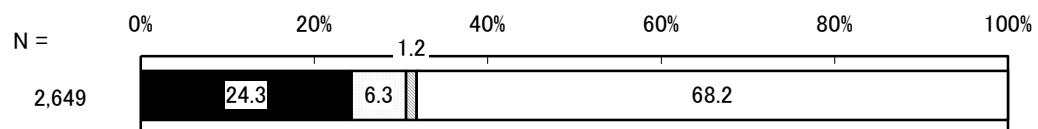
【小学校入学前の子どもの数】



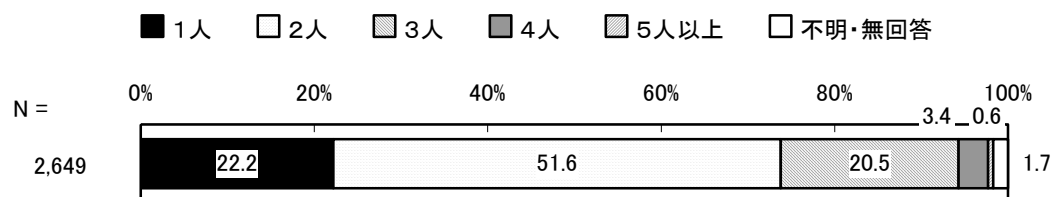
【小学生の子どもの数】



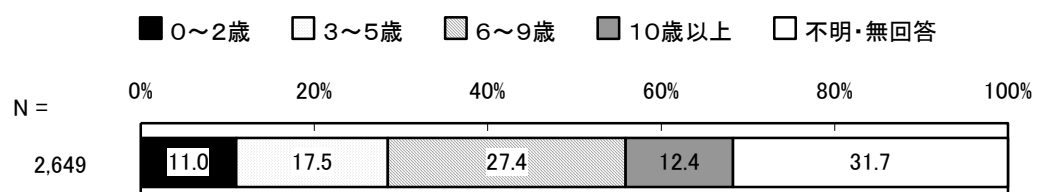
【中学生以上の子どもの数】



【子どもの人数（合計）】

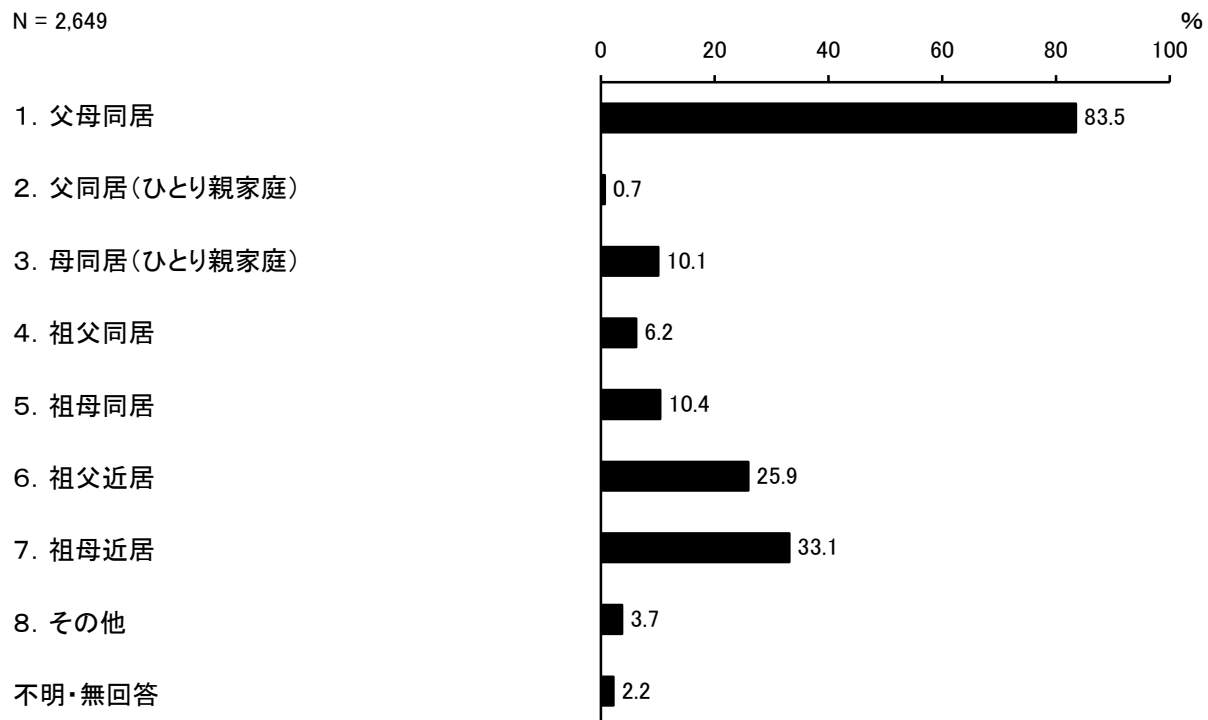


【末子の年齢】



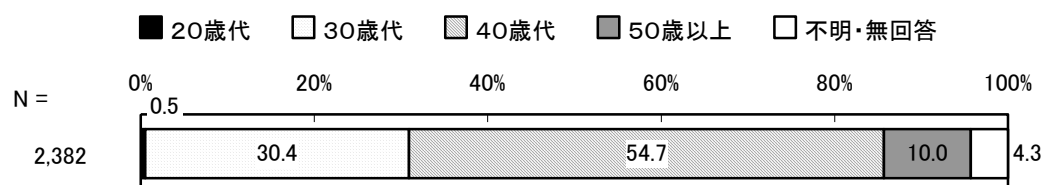
問４－１ 宛名のお子さんとの同居・近居の状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

N = 2,649

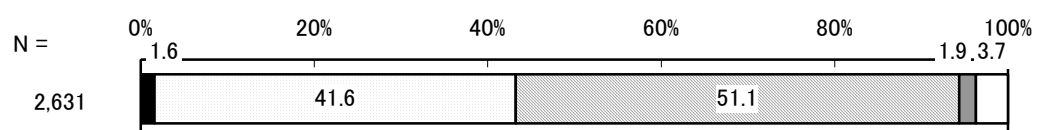


問４－２ 宛名のお子さんの父母の生年月を記入してください。

【父】

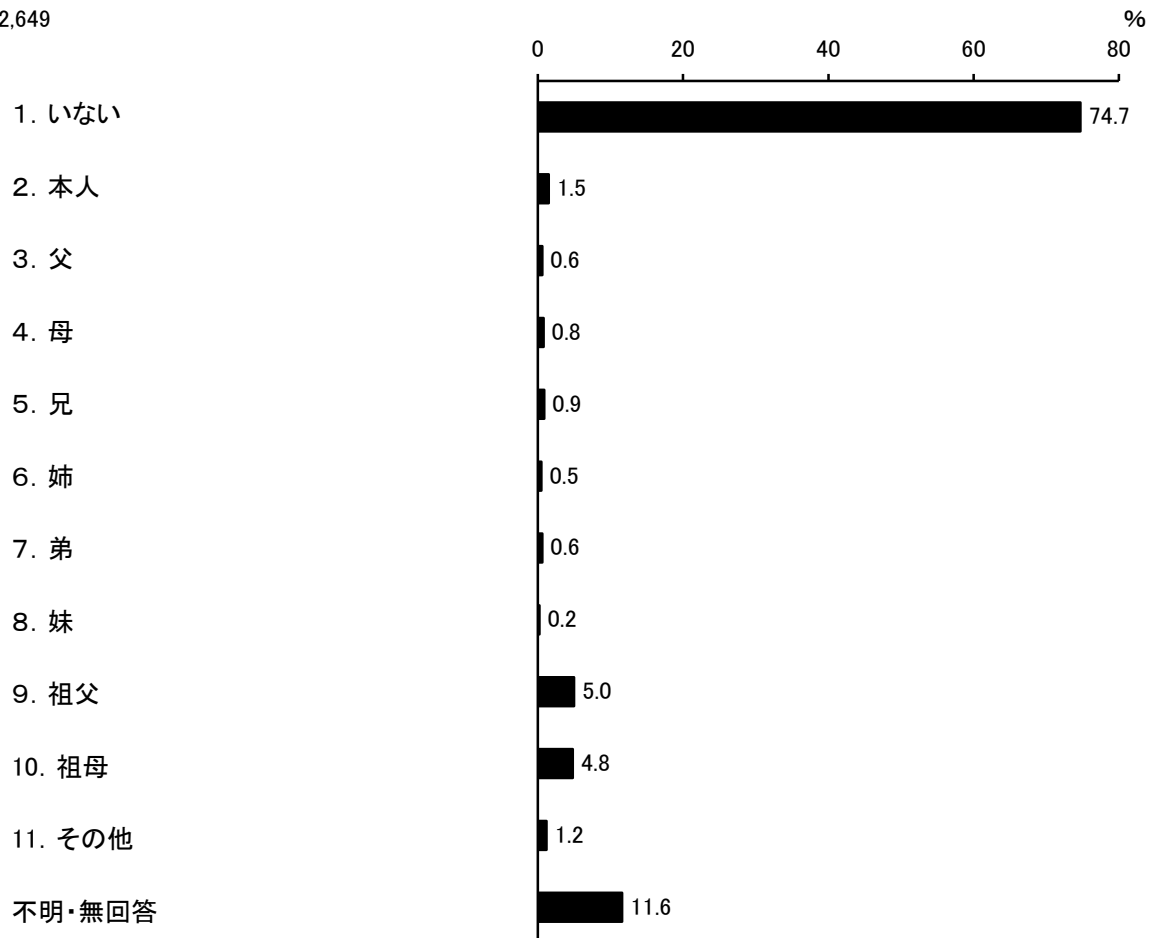


【母】



問5 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方がいる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

N = 2,649



問 6 世帯のお子さん全員の子育てについて、1ヶ月にどのくらいの費用がかかりますか。おおよその金額（子ども医療費支給制度等による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実質的に負担した額）を記入してください。また、子育てにかかる費用は、世帯全員の年収のおおよそ何%を占めますか。

【子育てにかかる1ヶ月の費用】

1. 幼稚園や保育施設等

「0円」の割合が69.8%と最も高くなっています。

2. 学校

「1万円未満」の割合が42.0%と最も高く、次いで「1万円台」の割合が26.2%となっています。

3. 習い事や塾

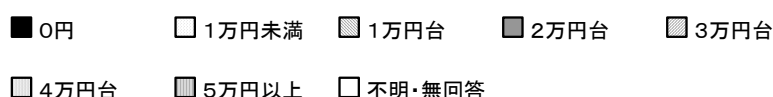
「1万円台」の割合が20.8%と最も高く、次いで「1万円未満」が17.6%、「2万円台」が14.6%となっています。

4. 学童クラブ事業等

「0円」が75.6%と最も高くなっています。

5. 医療

「1万円未満」が51.4%と最も高く、次いで「0円」が37.0%となっています。



N = 2,649

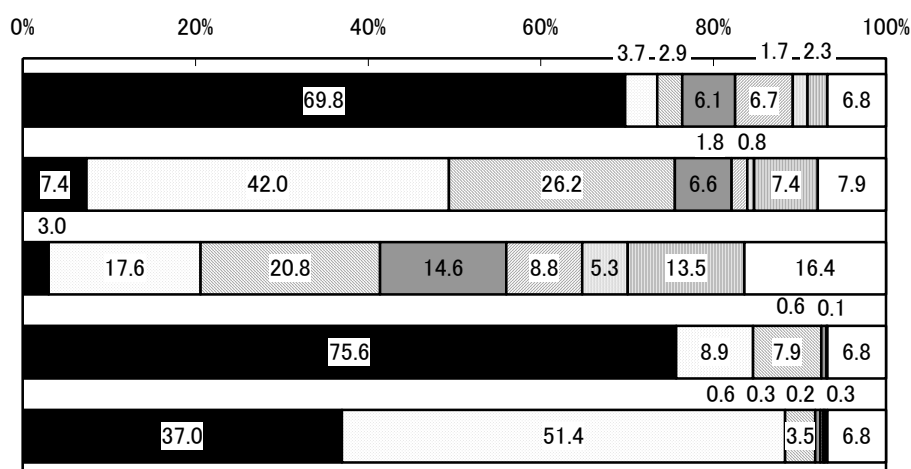
1. 幼稚園や保育施設等

2. 学校

3. 習い事や塾

4. 学童クラブ事業等

5. 医療

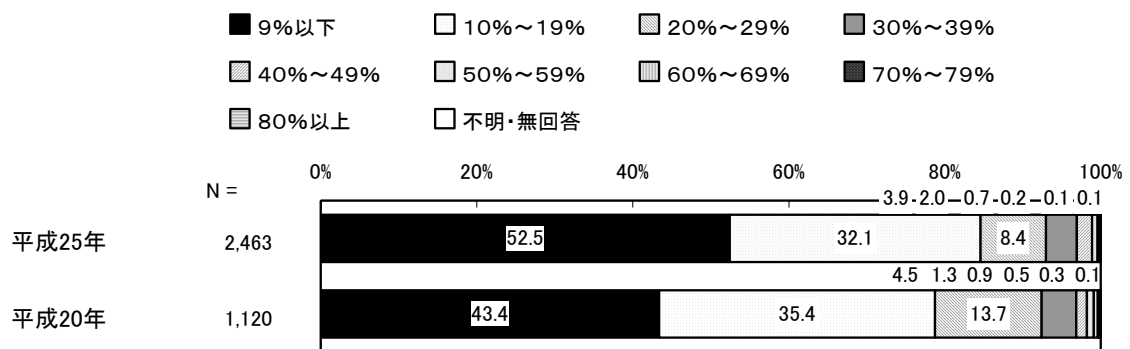


単位：上段（件）/下段（%）

	全 体	0円	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円以上	不明・無回答
幼稚園や保育施設等	2,649 100.0	1,850 69.8	99 3.7	76 2.9	162 6.1	177 6.7	44 1.7	61 2.3	180 6.8
学校	2,649 100.0	195 7.4	1,113 42.0	695 26.2	174 6.6	48 1.8	20 0.8	195 7.4	209 7.9
習い事や塾	2,649 100.0	79 3.0	466 17.6	550 20.8	387 14.6	234 8.8	140 5.3	358 13.5	435 16.4
学童クラブ事業等	2,649 100.0	2,002 75.6	237 8.9	209 7.9	17 0.6	1 0.0	2 0.1	1 0.0	180 6.8
医療	2,649 100.0	980 37.0	1,362 51.4	92 3.5	16 0.6	7 0.3	4 0.2	8 0.3	180 6.8

【世帯収入に占める割合】

「9%以下」の割合が52.5%と最も高く、次いで「10%～19%」が32.1%となっています。
平成20年調査と比較すると、「9%以下」の割合が9.1ポイント高くなっています。



※「不明・無回答」を除いて集計しています。

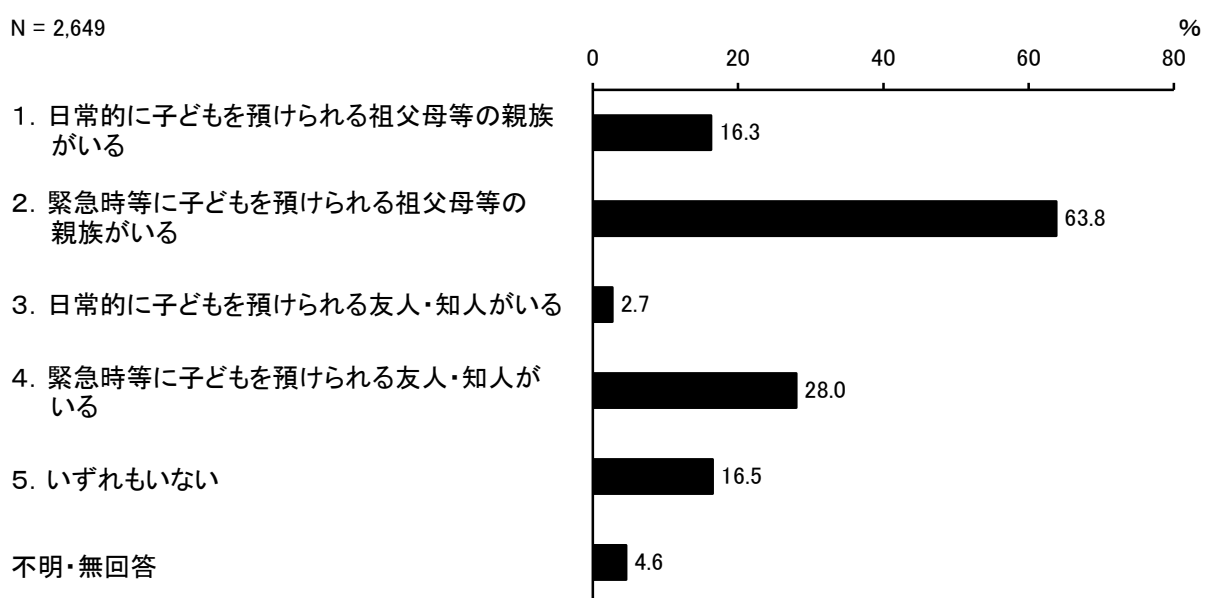
単位：(%)

	全 体	9%以下	10%～ 19%	20%～ 29%	30%～ 39%	40%～ 49%	50%～ 59%	60%～ 69%	70%～ 79%	80% 以上
平成25年	2,463	52.5	32.1	8.4	3.9	2.0	0.7	0.2	0.1	0.1
平成20年	1,120	43.4	35.4	13.7	4.5	1.3	0.9	0.5	0.1	0.3

問7-1 日頃、お子さんを預けられる人について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

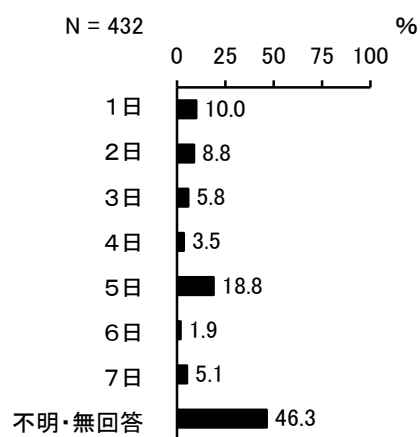
「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が63.8%と最も高く、次いで「4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がある」が28.0%、「5. いずれもない」が16.5%となっています。

N = 2,649

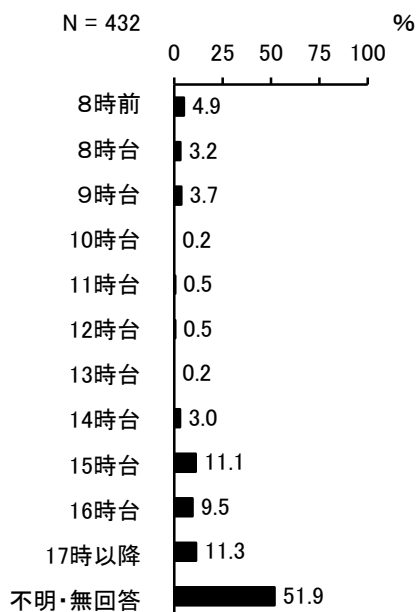


1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる

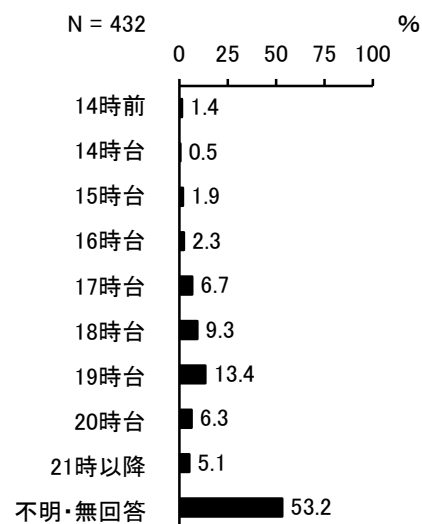
【週あたり日数】



【開始時間】

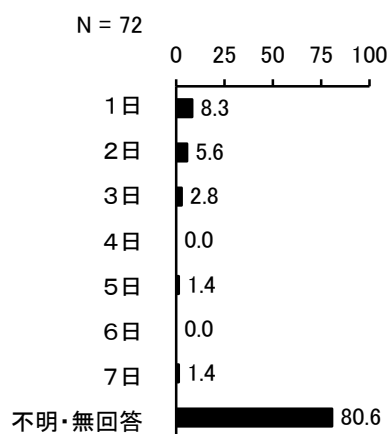


【終了時間】

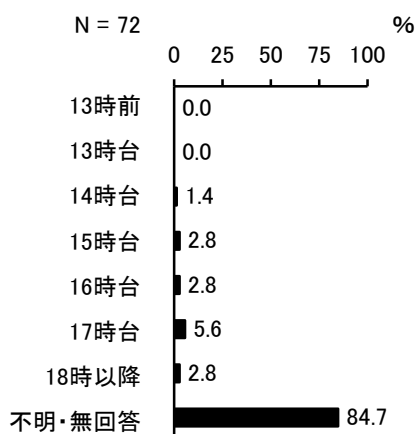


3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる

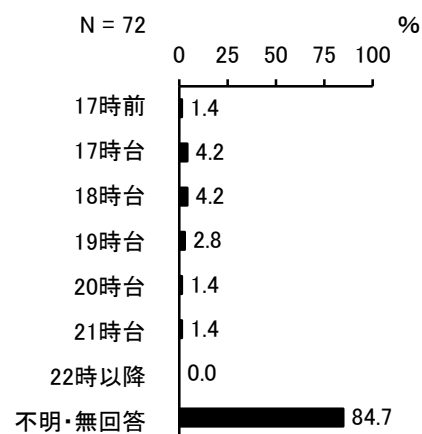
【週あたり日数】



【開始時間】



【終了時間】



〔同居・近居の状況別〕

同居・近居の状況別にみると、すべての区分で「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回数 (件)	日常的に 子どもを 預けられ る祖父母 等の親族 がいる	緊急時等 に子ども を預けら れる祖父 母等の親 族がいる	日常的に 子どもを 預けられ る友人・ 知人がい る	緊急時等 に子ども を預けら れる友人・ 知人がい る	いずれも いない	不明・ 無回答
父母同居	2,213	15.2	67.0	2.7	29.7	16.4	2.7
父同居(ひとり親家庭)	18	38.9	55.6	—	5.6	16.7	—
母同居(ひとり親家庭)	267	25.5	51.7	3.0	21.0	18.7	6.4
祖父同居	164	40.2	59.1	2.4	19.5	8.5	6.1
祖母同居	275	41.5	59.6	2.5	18.5	8.4	6.5
祖父近居	687	24.5	87.3	4.4	30.1	4.4	1.3
祖母近居	877	23.4	85.1	4.0	28.1	4.9	1.5
その他	97	23.7	55.7	2.1	22.7	16.5	9.3

〔家族類型別〕

家族類型別にみると、すべての区分で「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

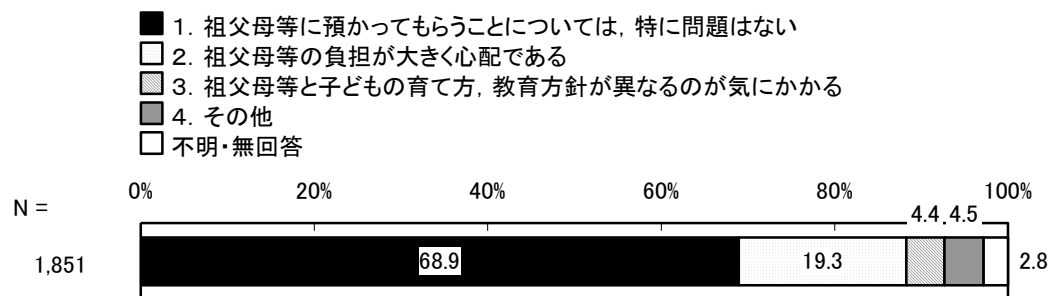
単位：％

区分	有効回数 (件)	日常的に 子どもを 預けられ る祖父母 等の親族 がいる	緊急時等 に子ども を預けら れる祖父 母等の親 族がいる	日常的に 子どもを 預けられ る友人・ 知人がい る	緊急時等 に子ども を預けら れる友人・ 知人がい る	いずれも いない	不明・ 無回答
ひとり親	278	26.6	51.8	2.5	19.4	18.7	5.8
共働き	494	23.3	67.6	2.4	20.4	15.4	3.6
フルタイム・パート	940	13.2	68.4	2.9	30.4	15.7	3.2
専業主婦(夫)	826	12.1	62.6	2.8	33.9	16.8	4.6
両親ともパート	12	—	66.7	—	16.7	25.0	8.3
両親とも無業	11	27.3	63.6	—	9.1	18.2	9.1

問７－１で「日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」又は「緊急時に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」を選んだ方にお聞きします。

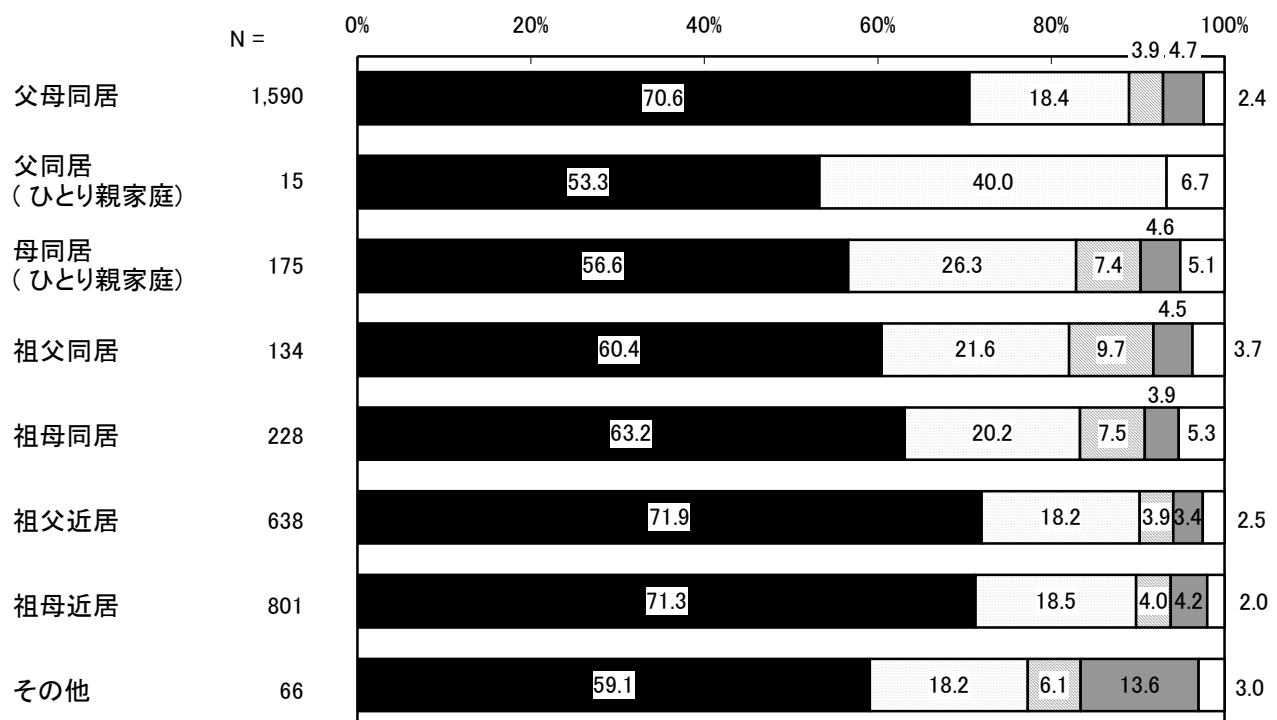
問７－２ 祖父母等に預かってもらっている状況について、最も当てはまる番号１つに○をつけてください。

「１．祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない」の割合が６８．９％と最も高く、次いで「２．祖父母等の負担が大きく心配である」が１９．３％となっています。



[同居・近居の状況別]

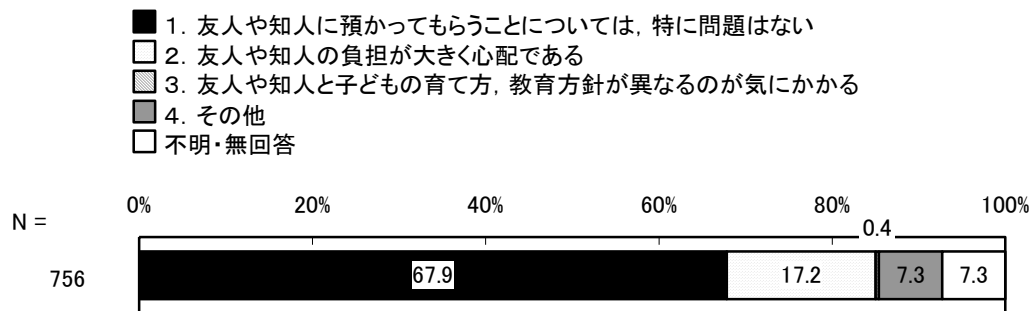
同居・近居の状況別にみると、すべての区分で「１．祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない」の割合が最も高くなっています。



問 7－1 で「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」又は「緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる」を選んだ方にお聞きします。

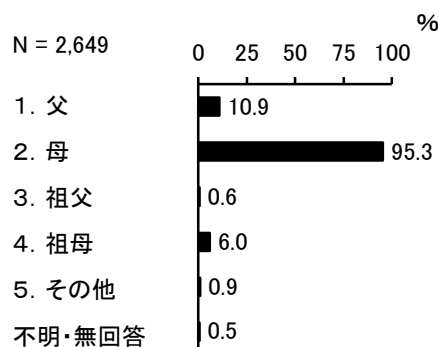
問 7－3 友人や知人に預かってもらっている状況について、最も当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

「1. 友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「2. 友人や知人の負担が大きく心配である」が 17.2%となっています。

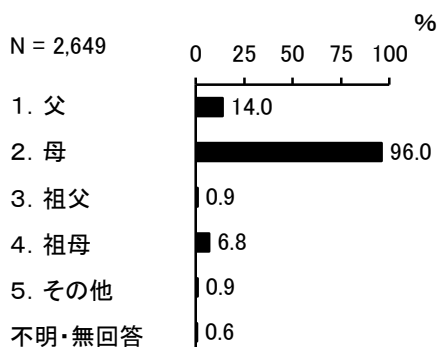


問 8 宛名のお子さんの育児や家事等に主に関わっている方はどなたですか。各項目について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

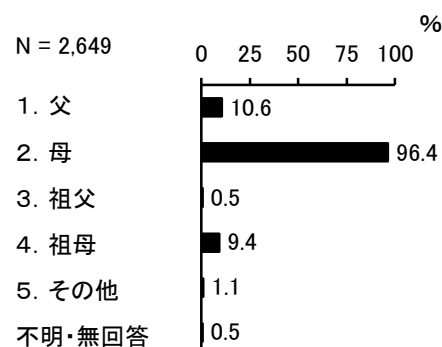
【洗濯をする】



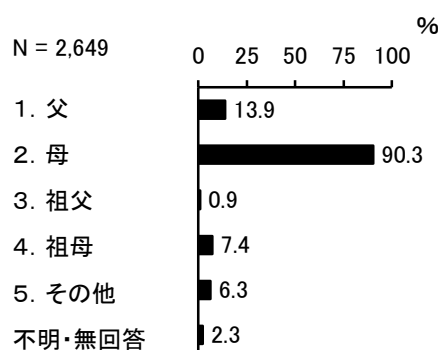
【食料品等の日常的な買い物をする】



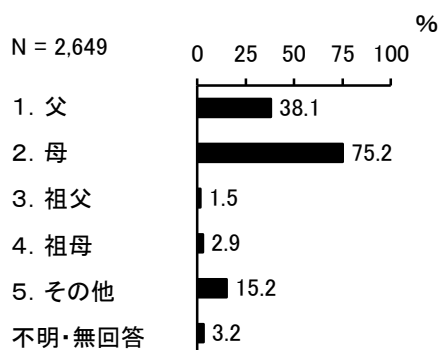
【家族や子どもの食事をつくる】



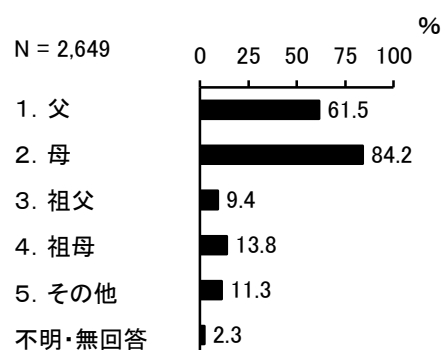
【子どもに食事を食べさせる】



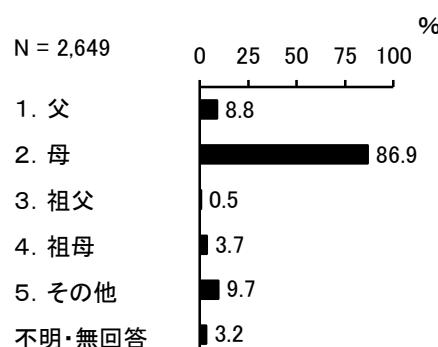
【子どもを風呂に入れる】



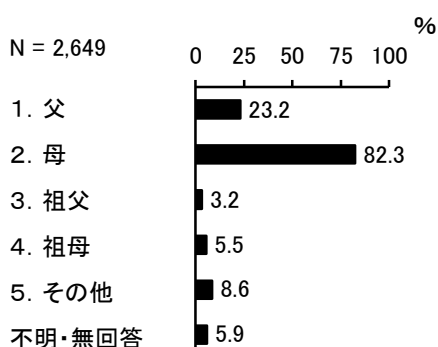
【子どもと遊ぶ】



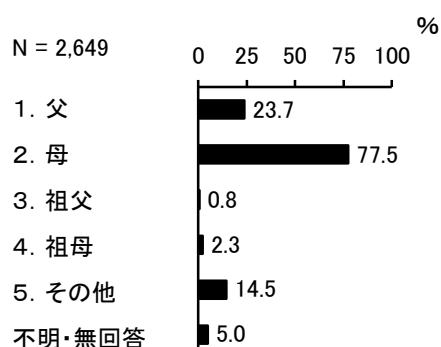
【子どもの衣類を替える】



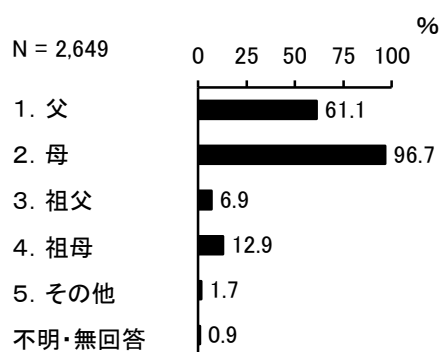
【学童クラブや習い事、塾等の送り迎えをする】



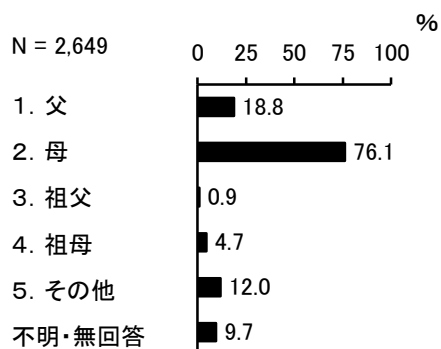
【子どもを寝かしつける】



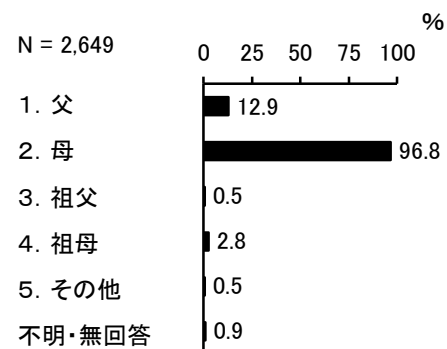
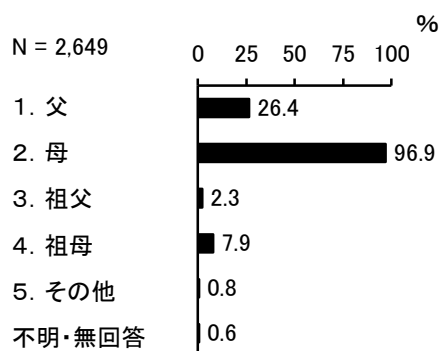
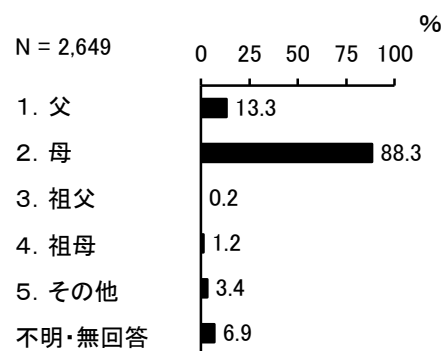
【子どもをしつける】



【子どもに本を読み聞かせる】



【予防接種や健診に連れて行く】

【子どもが病気の際に看病したり
病院に連れて行ったりする】【子ども会や子育てサークル等の
子育てに関する地域活動に参加する】

2 保護者の就労状況について

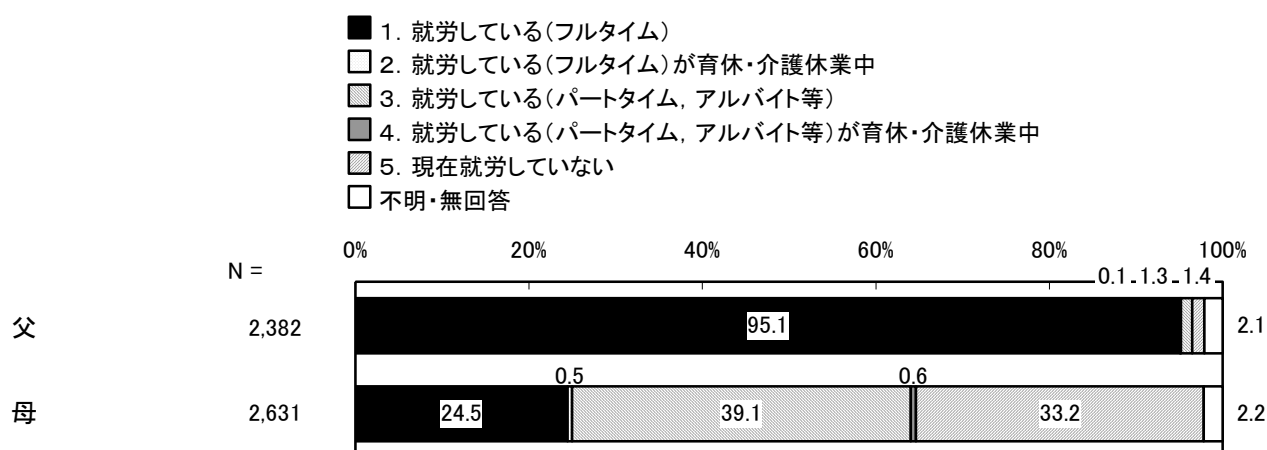
問9-1 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）をお聞きします。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。あわせて、〔 〕に数字（時間の場合は、「18時頃」のように24時間制で）を記入してください。
*「フルタイム」は1週5日・1日8時間程度の就労

【父の就労状況】

「1. 就労している（フルタイム）」の割合が95.1%と最も高くなっています。

【母の就労状況】

「3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）」の割合が39.1%と最も高く、次いで「5. 現在就労していない」の割合が33.2%、「1. 就労している（フルタイム）」の割合が24.5%となっています。



単位：上段（件） 下段（％）

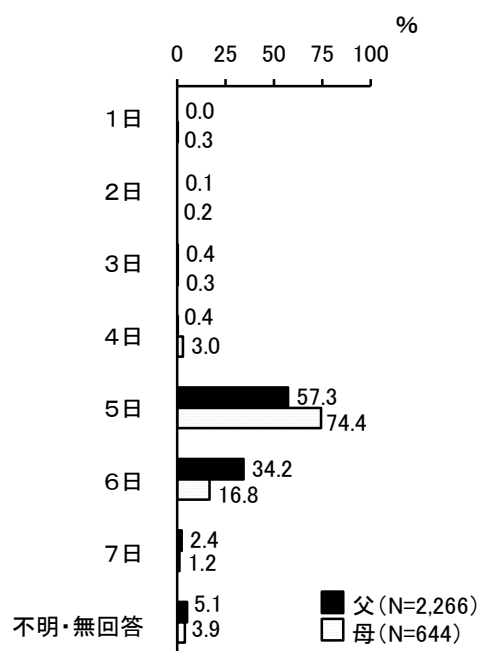
	全 体	就労して いる(フル タイム)	就労して いる(フル タイム)が 育休・介 護休業中	就労して いる (パート タイム, ア ルバイト 等)	就労して いる (パート タイム, ア ルバイト 等)が育 休・介護 休業中	現在就労 していな い	不明・ 無回答
父	2,382 100.0	2,266 95.1	2 0.1	31 1.3	0 0.0	34 1.4	49 2.1
母	2,631 100.0	644 24.5	14 0.5	1,028 39.1	15 0.6	873 33.2	57 2.2

① フルタイムで就労している保護者の状況

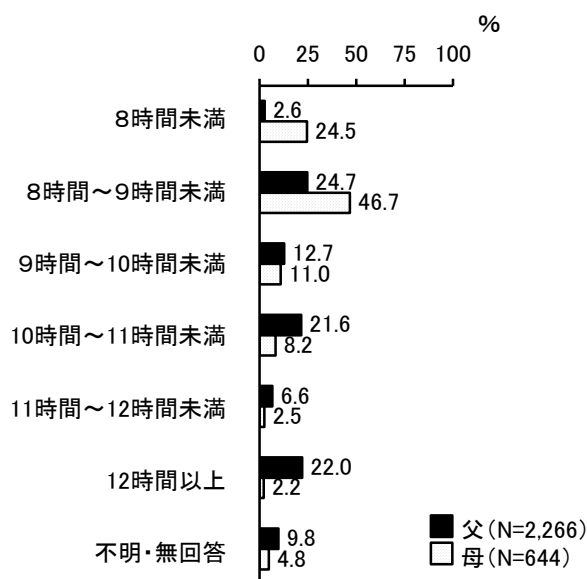
週当たり就労日数は、父母ともに「5日」が最も多くなっていますが、父親では「6日」が34.2%と母親の倍近くとなっています。

1日当たりの就労時間は、母親では「8時間～9時間未満」が半数近く、次いで「8時間未満」が多くなっていますが、父親では「8時間～9時間未満」、「10時間～11時間未満」、「12時間以上」がほぼ同率となっています。

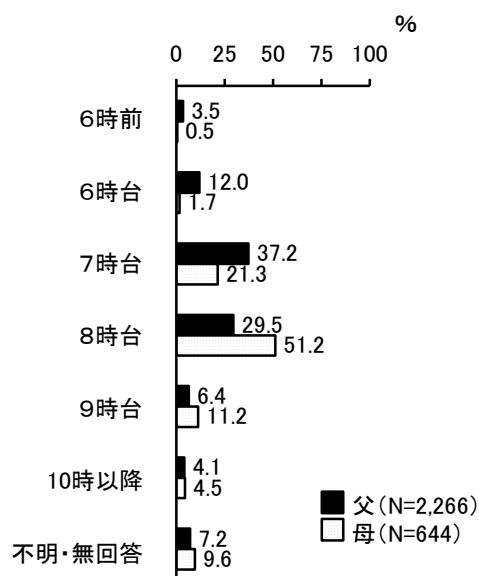
【週あたり就労日数】



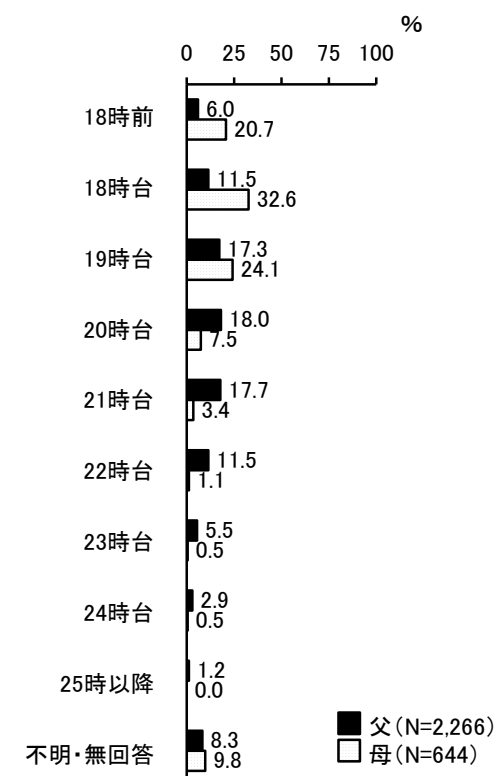
【1日あたり就労時間】



【家を出る時間】



【帰宅時間】

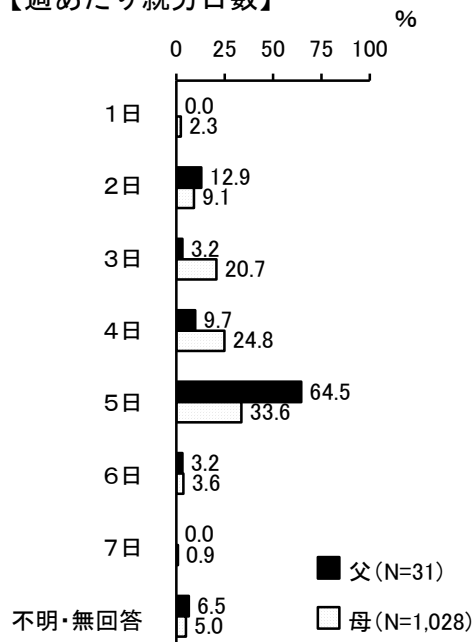


②パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

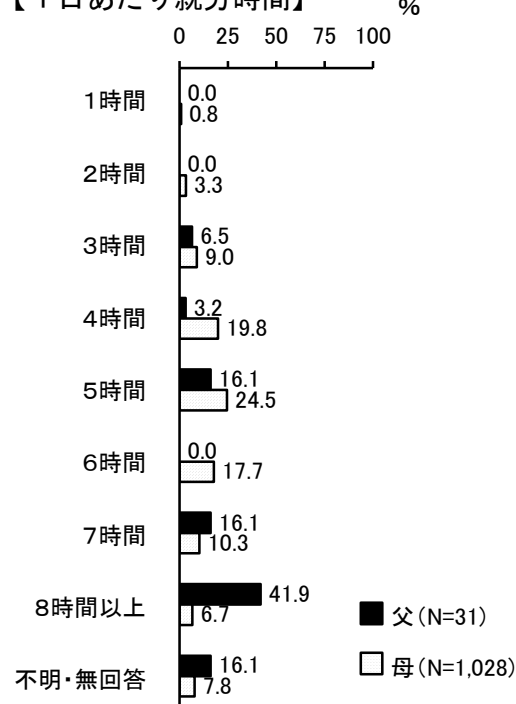
週当たり就労日数は、父親では「5日」が6割強となっていますが、母親では「3日」から「5日」が中心となっています。

1日当たり就労時間は、父親では「8時間以上」が約4割となっていますが、母親では「4時間」から「6時間」が中心となっています。

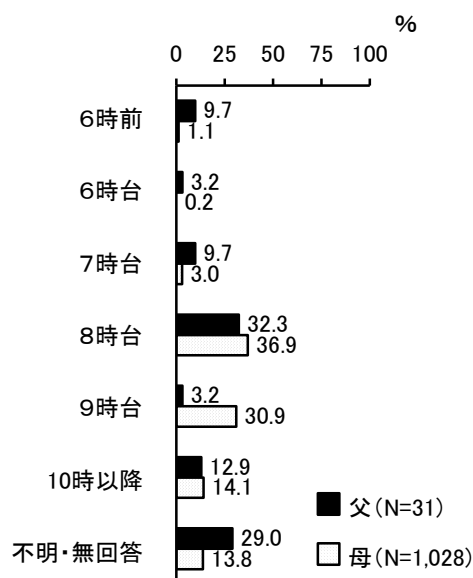
【週あたり就労日数】



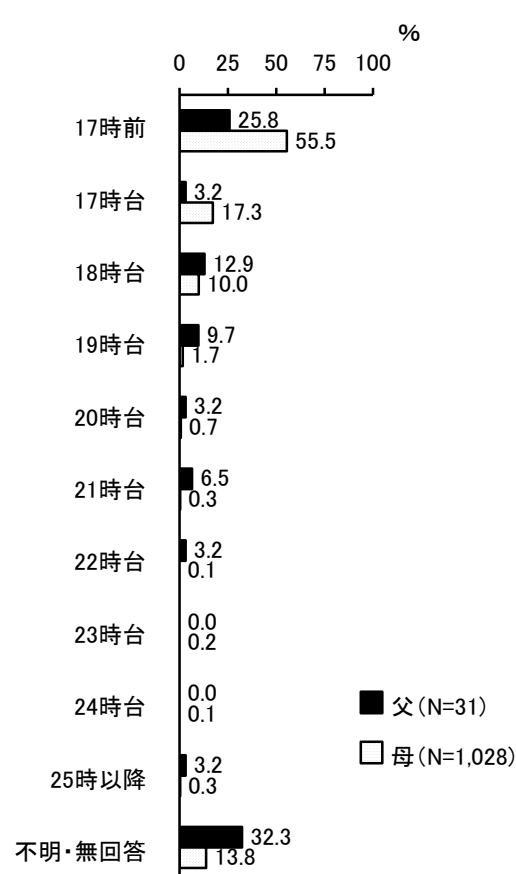
【1日あたり就労時間】



【家を出る時間】

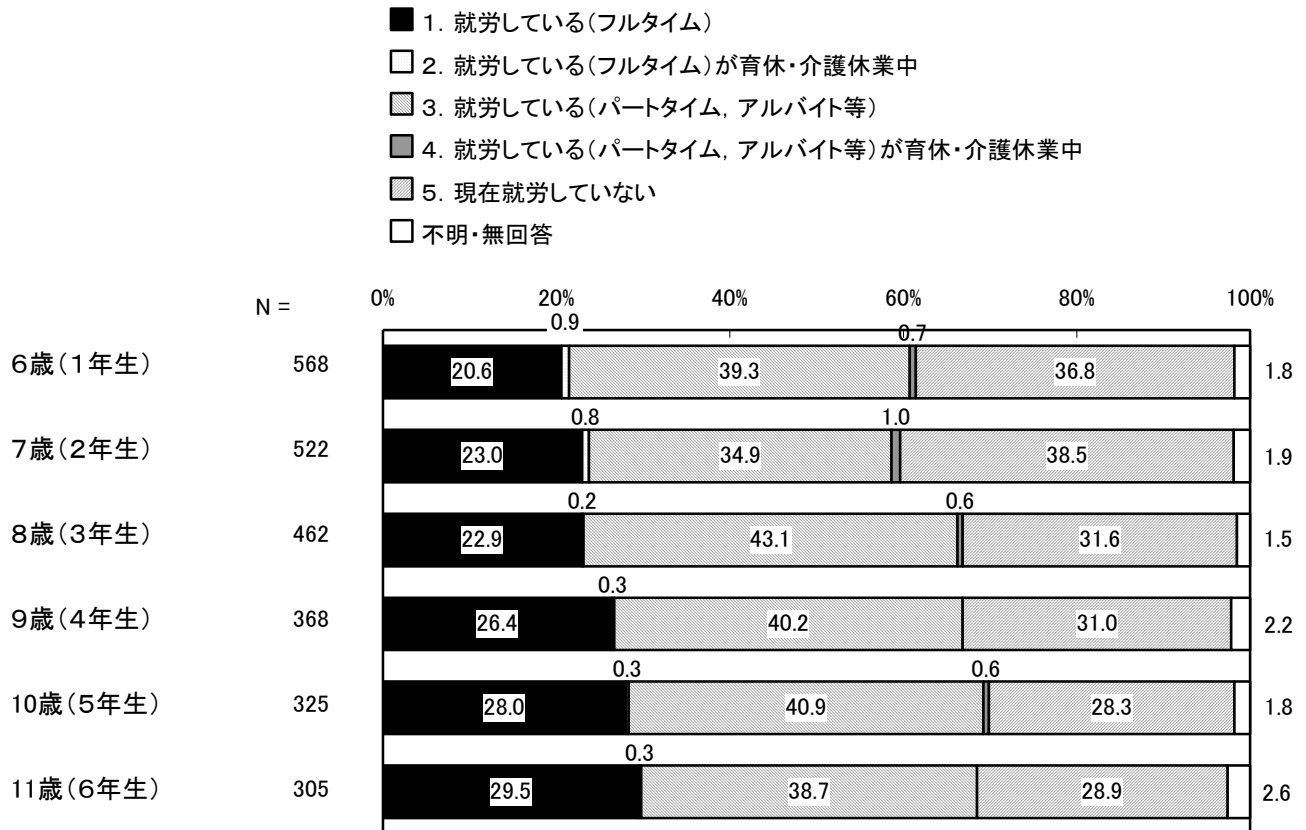


【帰宅時間】



〔母親の就労状況 子どもの年齢別〕

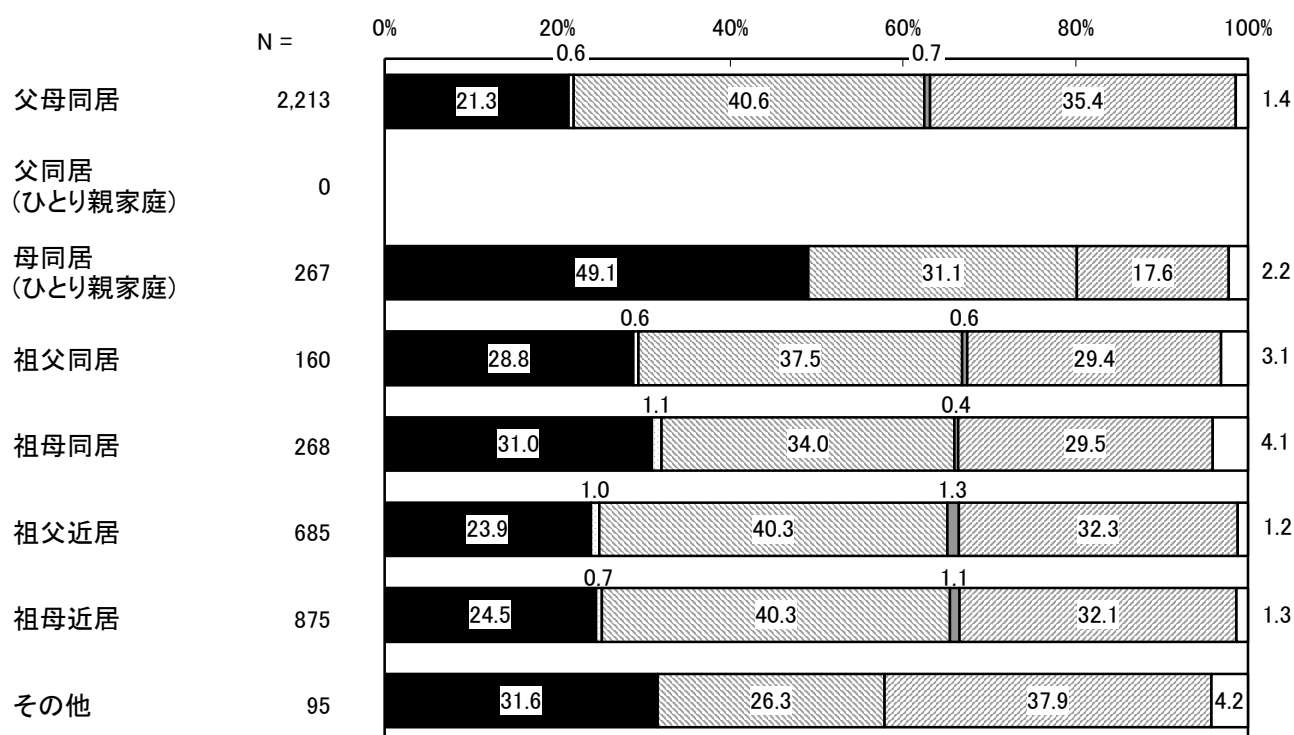
母親の就労状況について、子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「1. 就労している（フルタイム）」の割合が高くなっています。



[母親の就労状況 同居・近居の状況別]

母親の就労状況について、同居・近居の別にみると、「就労している（フルタイム又はパートタイム、アルバイト等）」の割合は、「母同居（ひとり親家庭）」で約8割と、他の区分に比べ高くなっています。

- 1. 就労している（フルタイム）
- 2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中
- ▨ 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
- ▩ 4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中
- 5. 現在就労していない
- 不明・無回答



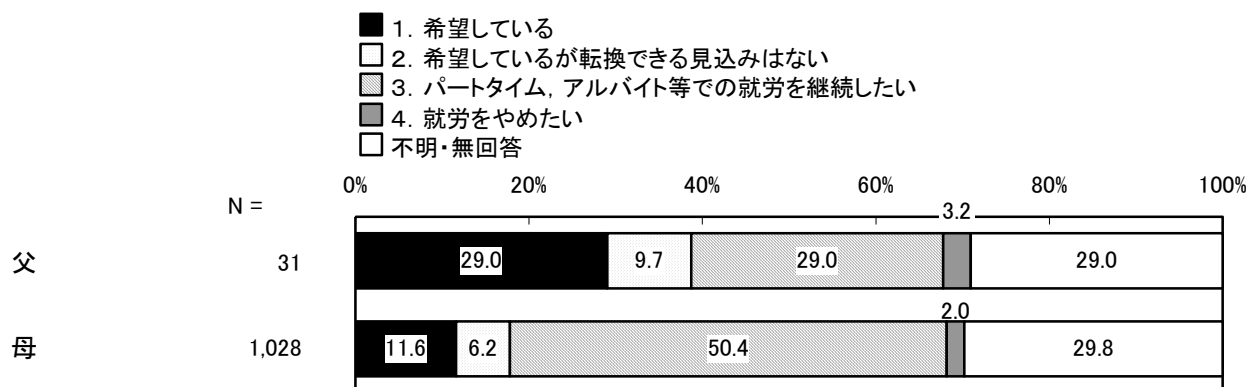
③パートタイム、アルバイト等で就労している保護者のフルタイムへの転換希望

【父】

「1. 希望している」、「3. パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい」の割合が29.0%と最も高くなっています。

【母】

「3. パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい」の割合が50.4%と最も高く、次いで「1. 希望している」が11.6%となっています。



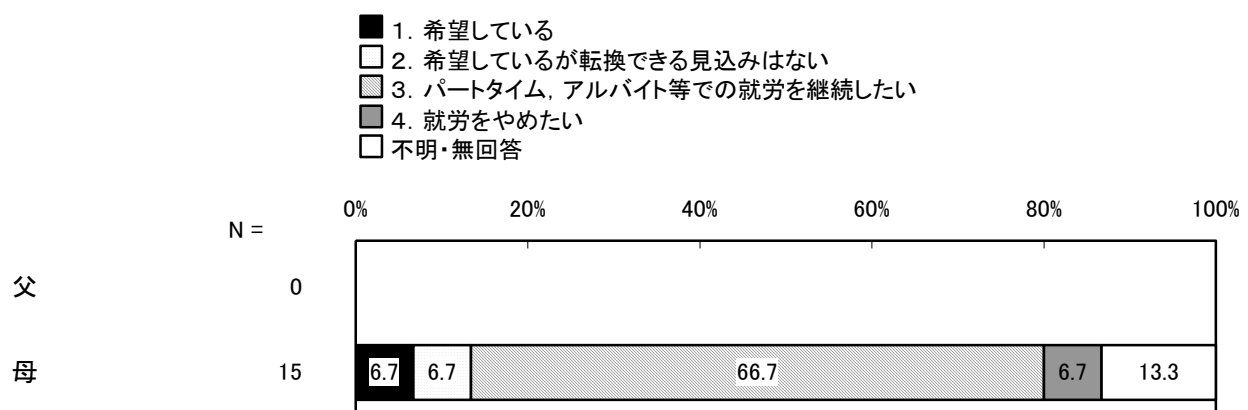
④パートタイム、アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である保護者のフルタイムへの転換希望

【父】

有効回答はありません。

【母】

「3. パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい」の割合が66.7%と最も高くなっています。



問 9-1 で「現在就労していない」に該当する方についてお聞きします。

問 9-2 その方が、現在就労していない理由について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【父】

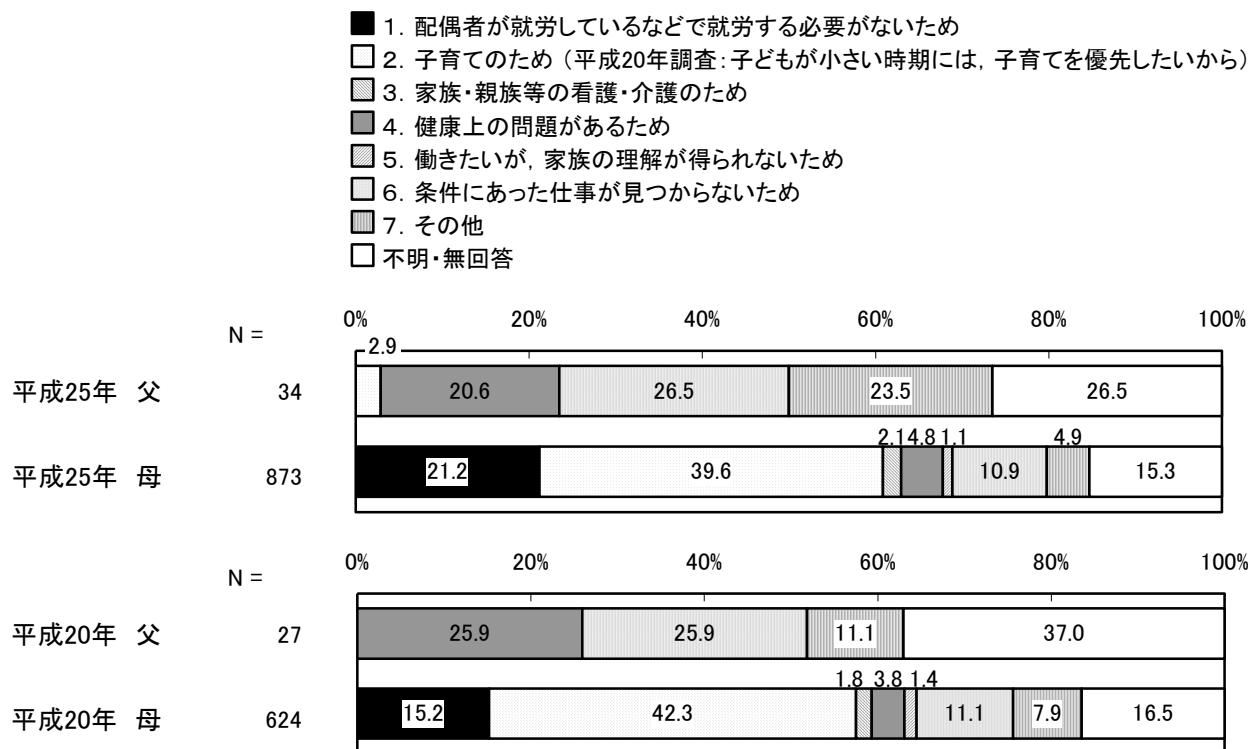
「6. 条件にあった仕事が見つからないため」の割合が 26.5%と最も高く、次いで「4. 健康上の問題があるため」が 20.6%となっています。

平成 20 年調査と比較すると、「4. 健康上の問題があるため」の割合が 5.3 ポイント低くなっています。

【母】

「2. 子育てのため」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため」の割合が 21.2%、「6. 条件にあった仕事が見つからないため」の割合が 10.9%となっています。

平成 20 年調査と比較すると、「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため」の割合が 6.0 ポイント高くなっています。



単位：上段（件） 下段（%）

	全 体	配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	子育てのため	家族・親族等の看護・介護のため	健康上の問題があるため	働きたいが、家族の理解が得られないため	条件にあった仕事が見つからないため	その他	不明・無回答
父	34 100.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	7 20.6	0 0.0	9 26.5	8 23.5	9 26.5
母	873 100.0	185 21.2	346 39.6	18 2.1	42 4.8	10 1.1	95 10.9	43 4.9	134 15.3

問9-1で「現在就労していない」に該当する方についてお聞きします。

問9-3 その方の今後の就労の希望について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。あわせて、[]に数字を記入してください。

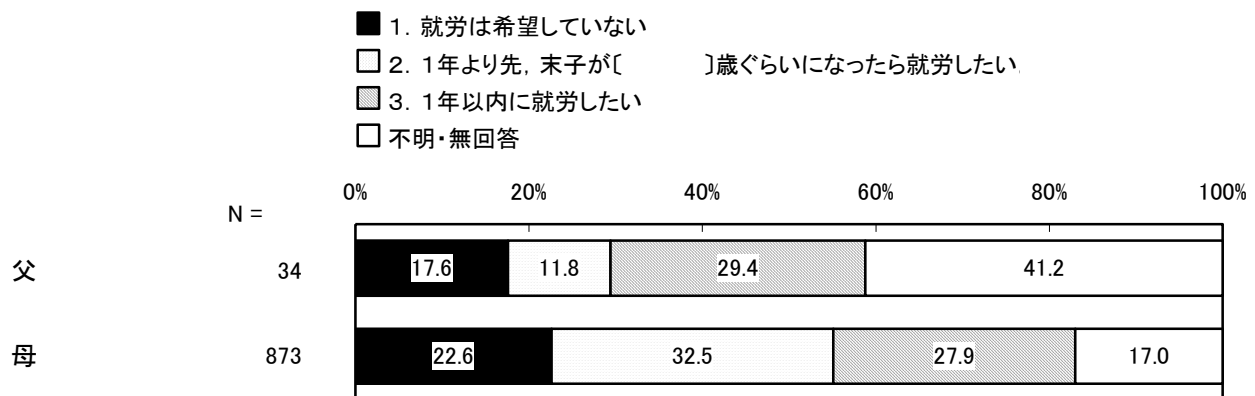
①今後の就労の希望

【父】

「3. 1年以内に就労したい」の割合が29.4%と最も高く、次いで「1. 就労は希望していない」が17.6%, 「2. 1年より先, 末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」が11.8%となっています。

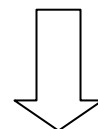
【母】

「2. 1年より先, 末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」の割合が32.5%と最も高く、次いで「3. 1年以内に就労したい」が27.9%, 「1. 就労は希望していない」が22.6%となっています。



単位：上段（件）/下段（%）

	全 体	就労は希望 していない	1年より先, 末子が[] 歳ぐらいに なったら就 労したい。	1年以内に 就労したい	不明・無回答
父	34 100.0	6 17.6	4 11.8	10 29.4	14 41.2
母	873 100.0	197 22.6	284 32.5	244 27.9	148 17.0



単位：上段（件）/下段（%）

	全 体	0歳～ 1歳	2歳～ 3歳	4歳～ 5歳	6歳～ 7歳	8歳～ 9歳	10歳～ 11歳	12歳～ 13歳	14歳～ 15歳	16歳～ 17歳	18歳 以上	不明・ 無回答
父	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
母	284 100.0	1 0.4	22 7.7	21 7.4	100 35.2	18 6.3	43 15.1	50 17.6	7 2.5	3 1.1	1 0.4	18 6.3

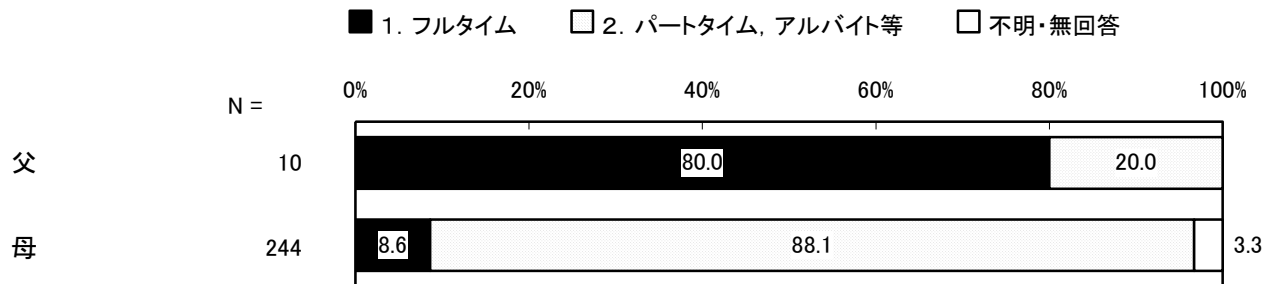
③ 1年以内に就労したい希望就労形態（パートタイム、アルバイト等）

【父】

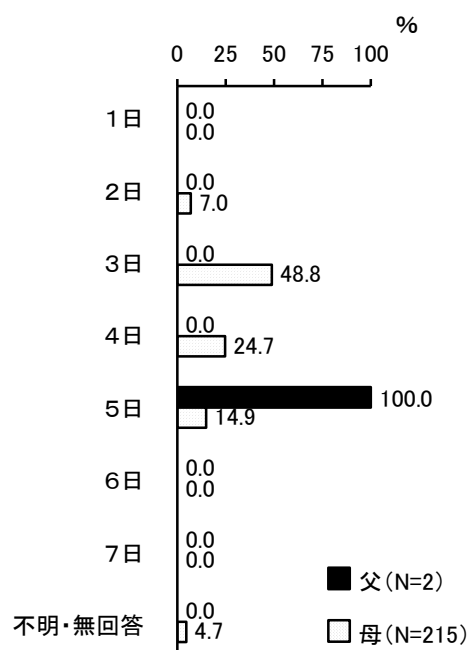
「1. フルタイム」の割合が80.0%, 「2. パートタイム, アルバイト等」の割合が20.0%となっています。

【母】

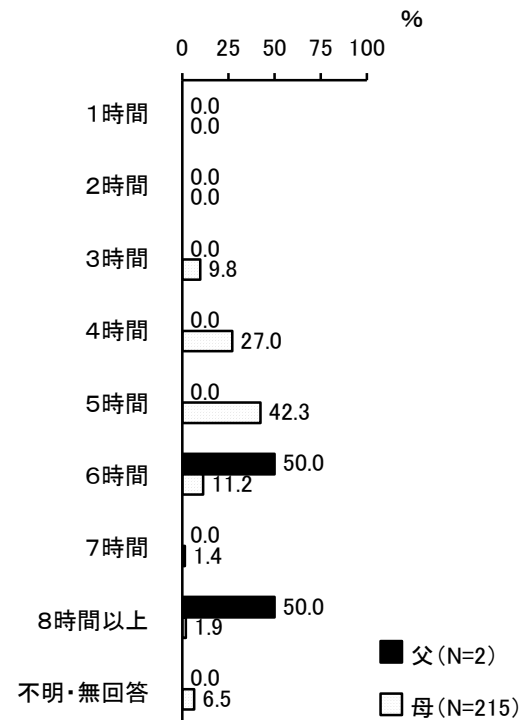
「2. パートタイム, アルバイト等」の割合が88.1%, 「1. フルタイム」の割合が8.6%となっています。



【週あたり希望就労日数】



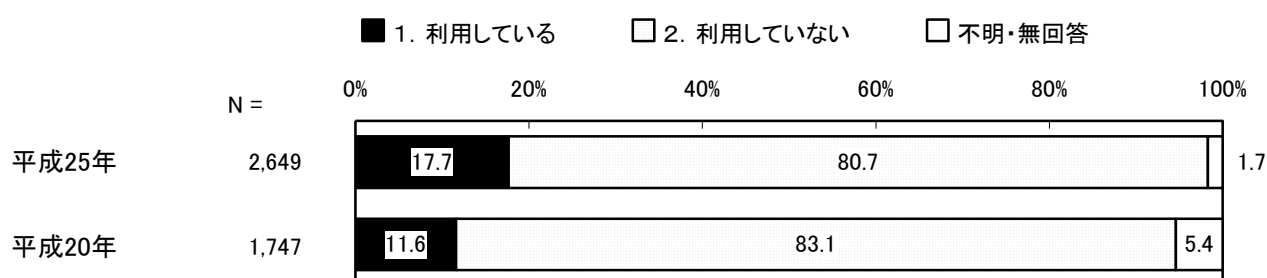
【1日あたり希望就労時間】



3 学童クラブ事業及び放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の利用について

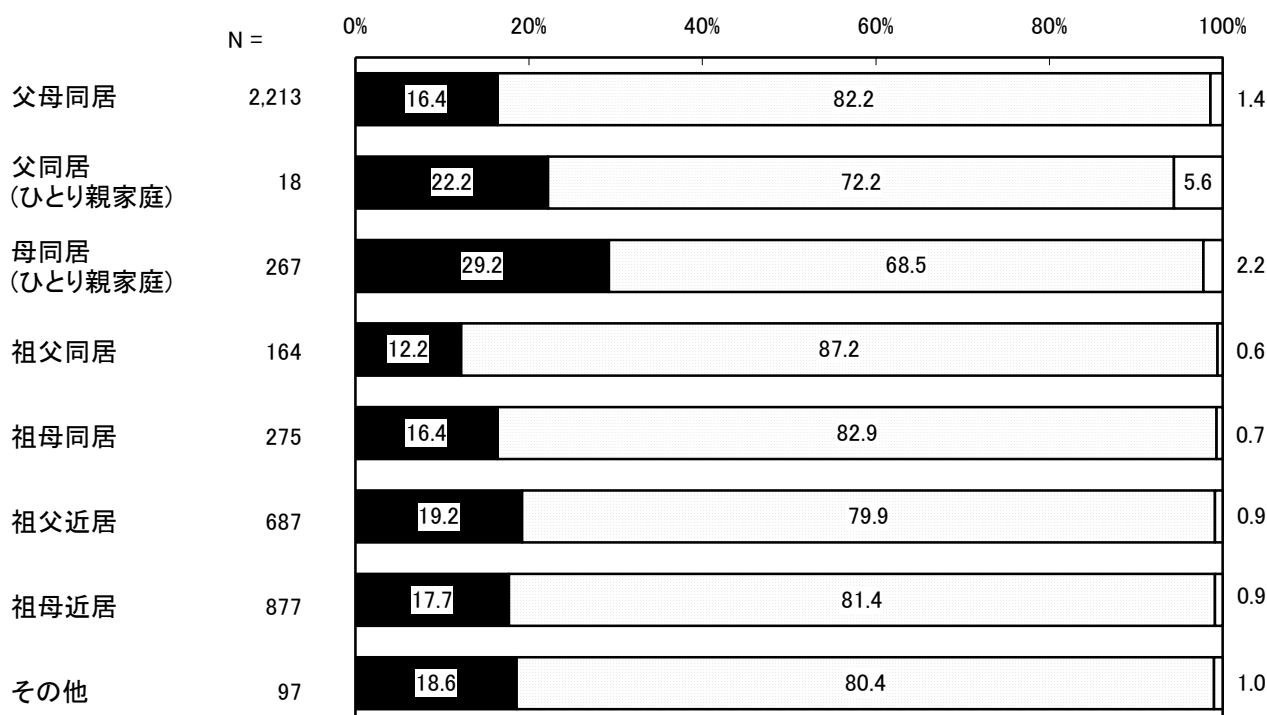
問 10-1 宛名のお子さんは、現在、学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用していますか。

「1. 利用している」の割合が17.7%, 「2. 利用していない」の割合が80.7%となっています。
平成20年調査と比較すると、「1. 利用している」の割合が6.1ポイント高くなっています。



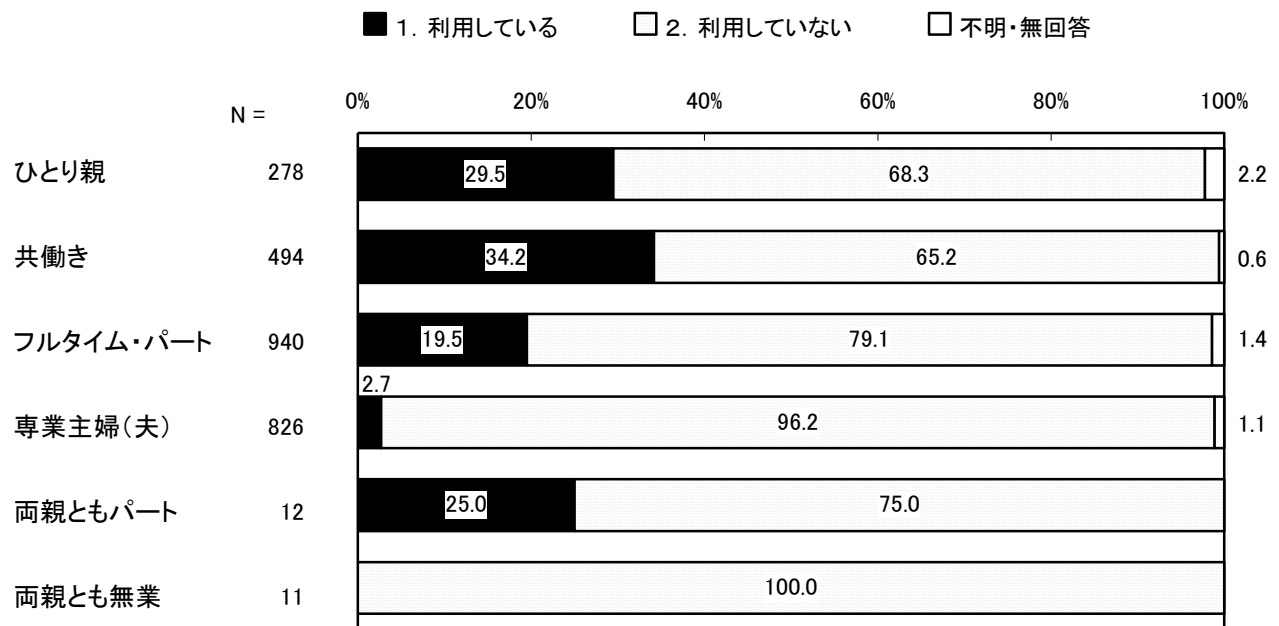
[同居・近居の状況別]

同居・近居の状況別にみると、「母同居（ひとり親家庭）」で「1. 利用している」の割合が他の区分に比べ高く、約3割となっています。



[家族類型別]

家庭類型別にみると、「専業主婦（夫）」、「両親とも無業」では、「2. 利用していない」がほとんどとなっています。

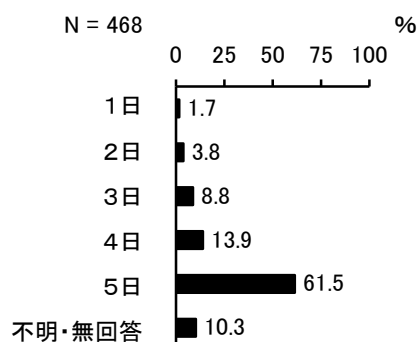


問10-2から問10-4は、問10-1で「利用している」を選んだ方にお聞きします。

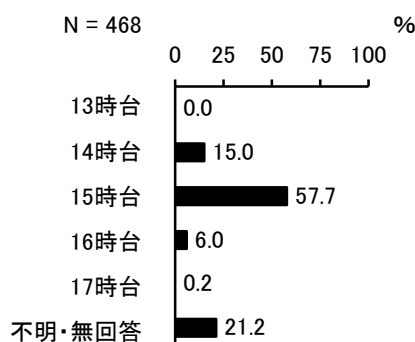
問10-2 学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用している日数や時間（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

平日

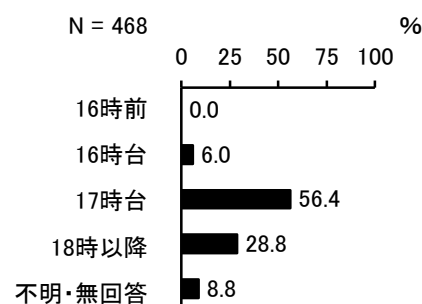
【週あたり利用日数】



【開始時間】

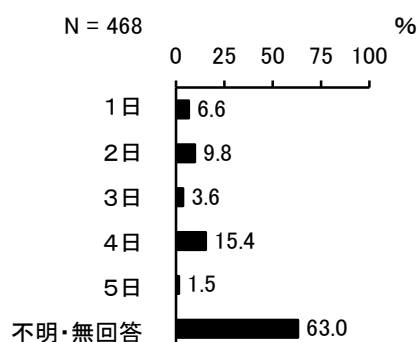


【終了時間】

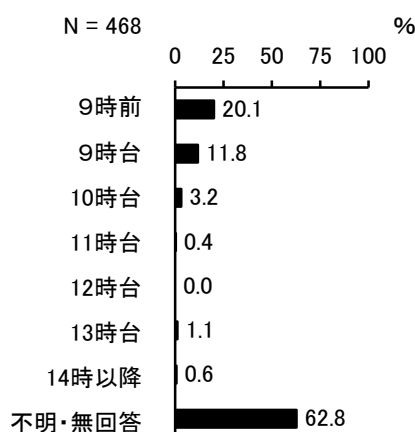


土曜日

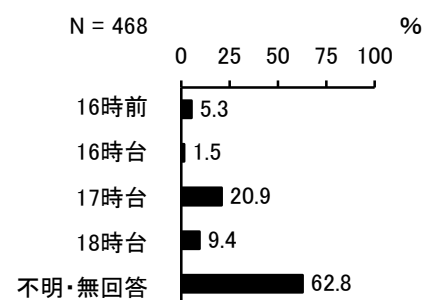
【1ヶ月あたり利用日数】



【開始時間】

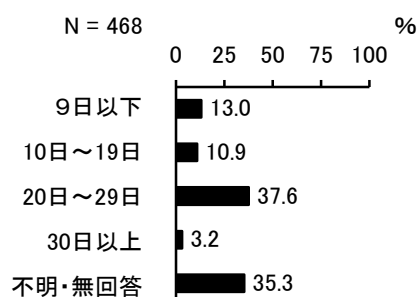


【終了時間】

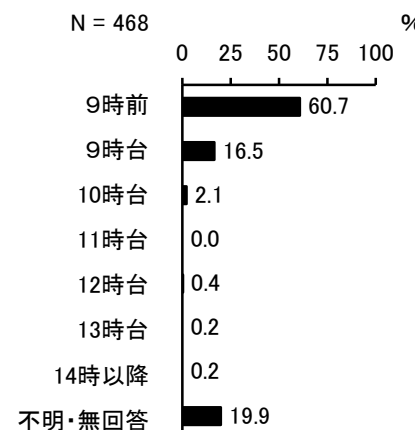


学校長期休業中

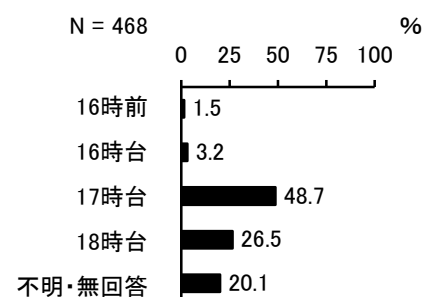
【1ヶ月あたり利用日数】



【開始時間】

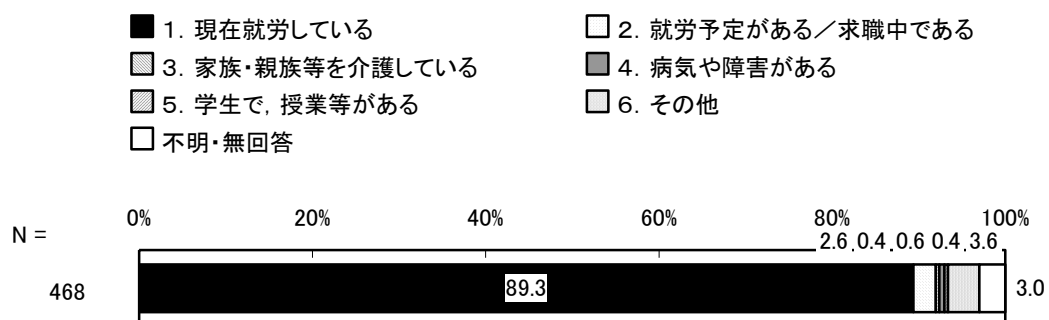


【終了時間】



問 10-3 利用している理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

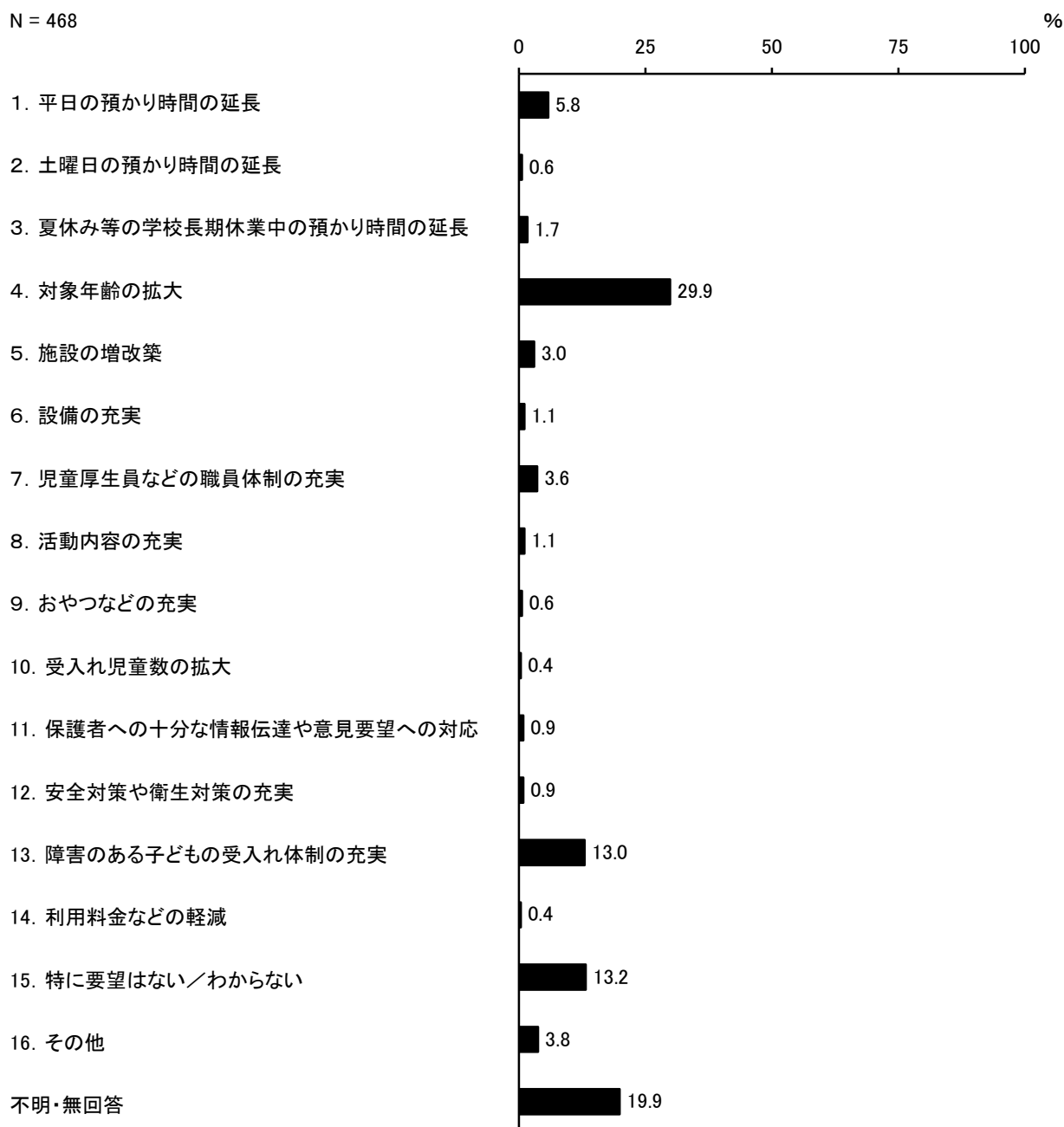
「1. 現在就労している」の割合が89.3%と最も高くなっています。



問 10-4 お子さんが利用している学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）に関する要望について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけ、必要に応じて（ ）に数字等を記入してください。

要望の内容としては「4. 対象年齢の拡大」の割合が29.9%と最も高く、次いで「特に要望はない／わからない」が13.2%, 「13. 障害のある子どもの受入れ体制の充実」が13.0%となっています。

N = 468



[子どもの学年別]

一定の有効回答数がある「6歳（1年生）」から「8歳（3年生）」をみると、「4. 対象年齢の拡大」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	平日の 預かり時 間の延長	土曜日の 預かり時 間の延長	夏休み等 の学校長 期休業中 の預かり 時間の延長	対象年齢 の拡大	施設の増 改築	設備の充 実	児童厚生 員などの 職員体制 の充実	活動内容 の充実
6歳(1年生)	200	6.0	0.5	2.0	23.5	3.0	1.5	4.5	1.0
7歳(2年生)	144	7.6	0.7	1.4	38.9	2.1	0.7	4.2	0.7
8歳(3年生)	81	1.2	1.2	—	34.6	3.7	1.2	1.2	2.5
9歳(4年生)	14	7.1	—	7.1	—	—	—	—	—
10歳(5年生)	4	25.0	—	—	25.0	25.0	—	—	—
11歳(6年生)	4	—	—	—	—	—	—	25.0	—

区分	おやつな どの充実	大受入 れ児童数 の拡大	保護者へ の十分な 情報伝達 や意見要 望への対応	安全対策 や衛生対 策の充実	障害のある 子ども の受入れ 体制の充 実	減利用 料金など の軽減	特に要望 はない／ わからない	その他	不明・無 回答
6歳(1年生)	1.0	0.5	0.5	1.0	16.0	0.5	16.5	4.0	18.0
7歳(2年生)	—	0.7	1.4	—	12.5	0.7	6.9	3.5	18.1
8歳(3年生)	—	—	—	2.5	9.9	—	12.3	3.7	25.9
9歳(4年生)	—	—	—	—	7.1	—	42.9	14.3	21.4
10歳(5年生)	—	—	—	—	—	—	—	—	25.0
11歳(6年生)	25.0	—	—	—	—	—	25.0	—	25.0

〔家族類型別〕

家族類型別にみると、「ひとり親」、「共働き」、「フルタイム・パート」で「4. 対象年齢の拡大」の割合が最も高くなっています。

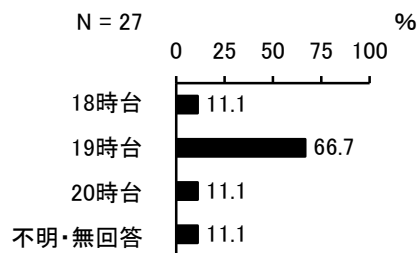
単位：％

区分	有効回答数 (件)	平日の 預かり時 間の延長	土曜日の 預かり時 間の延長	夏休み等 の学校長 期休業中 の預かり 時間の延長	対象年齢の 拡大	施設の増 改築	設備の充 実	児童厚生 員などの 職員体制 の充実	活動内容 の充実
ひとり親	82	4.9	—	2.4	35.4	4.9	—	—	1.2
共働き	169	11.2	1.2	1.8	30.2	4.1	3.0	3.0	1.2
フルタイム・パート	183	0.5	0.5	1.6	29.0	1.1	—	5.5	0.5
専業主婦(夫)	22	9.1	—	—	13.6	4.5	—	9.1	4.5
両親ともパート	3	—	—	—	66.7	—	—	—	—
両親とも無業	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	おやつな どの充実	大受入 れ児童数 の拡大	保護者へ の十分な 情報伝達 や意見要 望への対応	安全対策 や衛生対 策の充実	障害のある 子ども の受入れ 体制の充 実	利用料金 などの軽減	特に要望 はない／ わからない	その他	不明・無 回答
ひとり親	1.2	—	—	1.2	12.2	1.2	15.9	1.2	18.3
共働き	0.6	—	0.6	1.2	5.9	0.6	10.1	5.3	20.1
フルタイム・パート	0.5	1.1	0.5	0.5	20.8	—	13.7	3.8	20.2
専業主婦(夫)	—	—	4.5	—	9.1	—	27.3	4.5	13.6
両親ともパート	—	—	—	—	—	—	33.3	—	—
両親とも無業	—	—	—	—	—	—	—	—	—

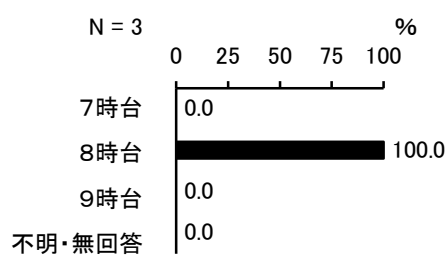
1. 平日の預かり時間の延長

【閉所時間】

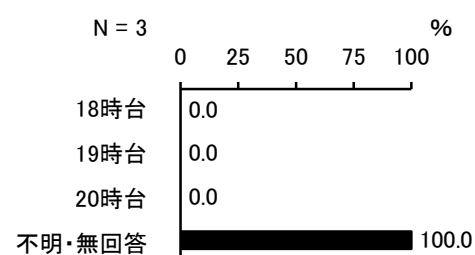


2. 土曜日の預かり時間の延長

【開所時間】

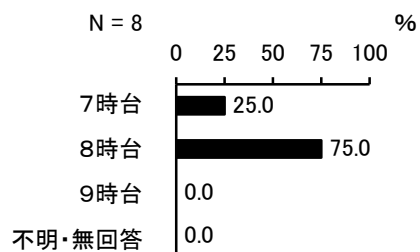


【閉所時間】

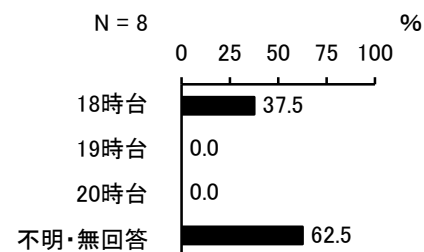


3. 夏休み等の学校長期休業中の預かり時間の延長

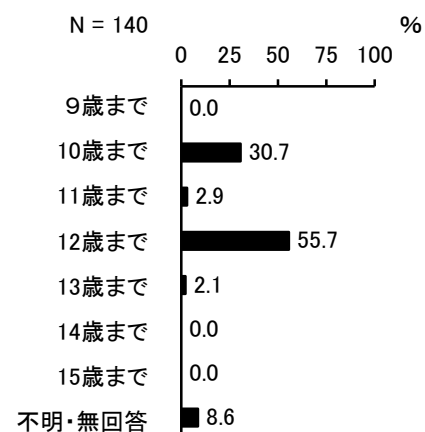
【開所時間】



【閉所時間】



4. 対象年齢の拡大

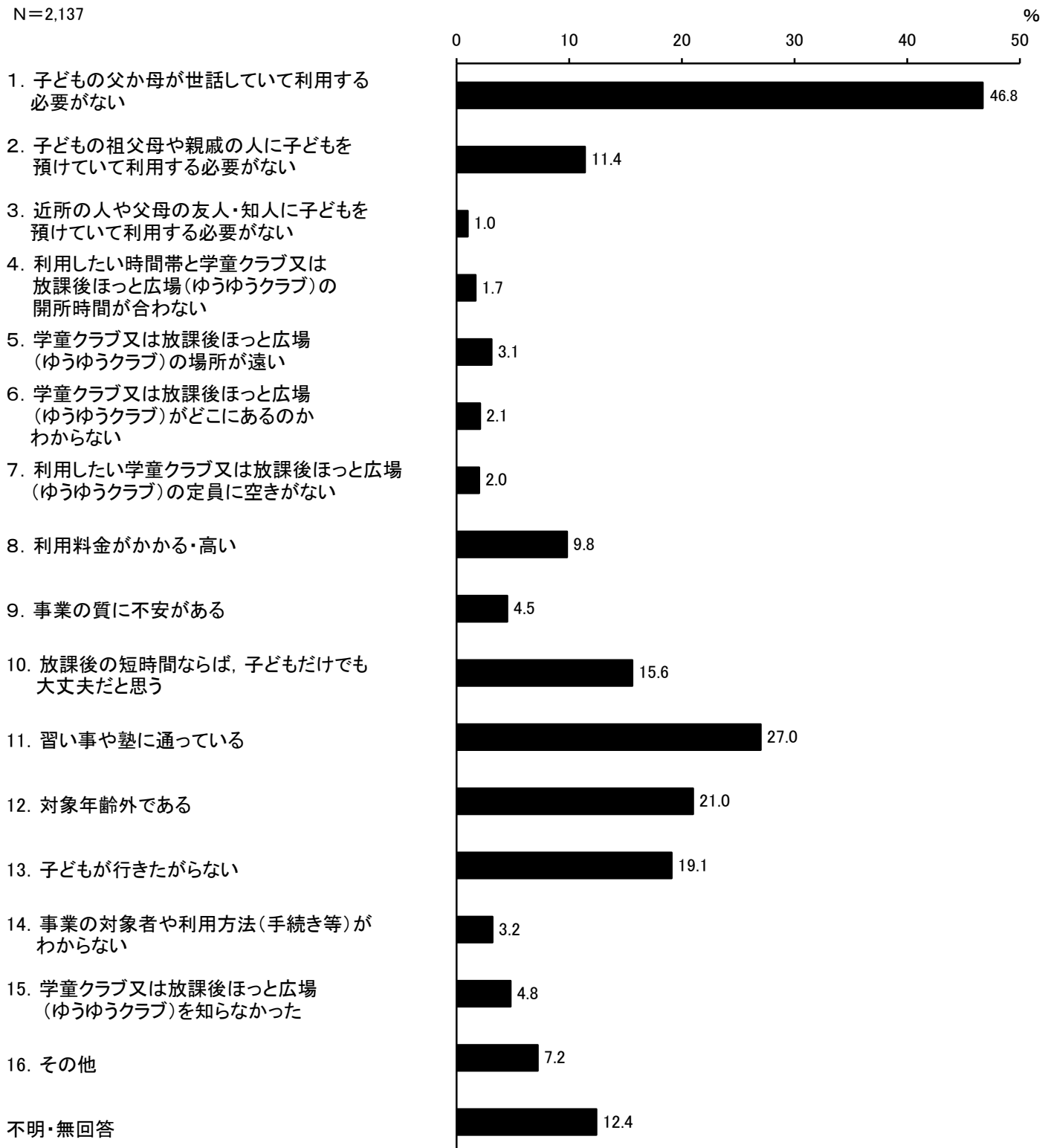


問10-5、問10-6は、問10-1で「利用していない」を選んだ方にお聞きします。

問10-5 学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用していない理由について、当てはまる順に3つまで選び、下の回答欄に記入してください。

「1. 子どもの父か母が世話していて利用する必要がない」の割合が46.8%と、最も高く、次いで「11. 習い事や塾に通っている」が27.0%、「12. 対象年齢外である」が21.0%となっています。

N=2,137



[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、「6歳（1年生）」から「9歳（4年生）」で「1. 子どもの父か母が世話して利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	子どもの父か母が世話して利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人に子どもを預けていて利用する必要がない	近所の人や父母の友人・知人に子どもを預けていて利用する必要がない	利用したい時間帯と学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の開所時間が合わない	学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の場所が遠い	学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）がどこにあるかわからない	利用したい学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の定員に空きがない	利用料金がかる・高い
6歳（1年生）	364	61.5	12.6	0.5	1.6	4.1	2.5	4.9	15.4
7歳（2年生）	376	62.2	14.6	1.6	2.1	4.8	2.4	1.9	14.6
8歳（3年生）	379	48.0	13.2	1.3	2.6	4.5	2.4	2.9	14.0
9歳（4年生）	349	38.7	8.9	1.1	2.3	2.0	1.4	0.6	5.2
10歳（5年生）	318	33.3	7.5	0.6	0.6	0.9	3.1	—	5.0
11歳（6年生）	296	32.1	9.8	—	0.7	1.4	0.7	0.3	2.7

区分	事業の質に不安がある	放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う	習い事や塾に通っている	対象年齢外である	子どもが行きたがらない	事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない	学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を知らなかった	その他	不明・無回答
6歳（1年生）	7.1	8.8	24.5	0.5	17.0	4.4	6.0	11.8	10.7
7歳（2年生）	6.1	13.8	28.2	0.8	20.2	3.5	5.1	9.0	11.4
8歳（3年生）	4.5	17.9	25.1	5.0	24.0	3.2	3.7	6.6	14.5
9歳（4年生）	4.0	17.5	28.4	38.1	16.6	2.3	5.7	4.9	12.9
10歳（5年生）	0.9	20.4	30.2	44.3	17.3	3.5	4.4	5.0	11.9
11歳（6年生）	2.4	17.9	27.0	46.6	18.2	2.4	3.0	4.7	11.5

〔家族類型別〕

家族類型別にみると、「両親ともパート」で「10. 放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

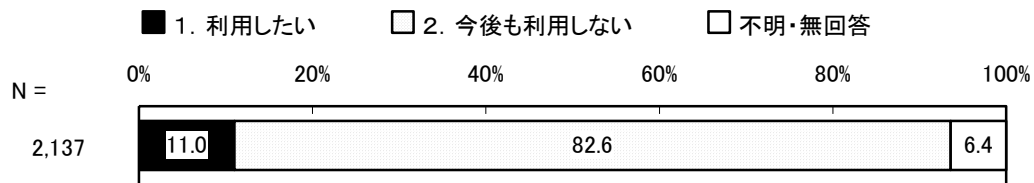
単位：％

区分	有効回答数（件）	子どもの父か母が世話して利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人に子どもを預けていて利用する必要がない	近所の人や父母の友人・知人に子どもを預けていて利用する必要がない	ない	利用したい時間帯と学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の開所時間が合わない	学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の場所が遠い	学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）がどこにあるのかわからない	学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の定員に空きがない	利用したい学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）	利用料金がかかる・高い
ひとり親	190	20.0	17.4	—	3.7	3.7	3.7	3.7	1.6	10.0	
共働き	322	12.7	18.0	1.2	3.4	3.1	2.2	1.2	5.9		
フルタイム・パート	744	41.9	10.5	1.1	1.3	3.2	0.9	2.3	12.8		
専業主婦（夫）	795	72.7	6.5	1.1	0.9	3.0	2.6	2.0	8.9		
両親ともパート	9	22.2	33.3	—	—	—	—	—	11.1		
両親とも無業	11	81.8	27.3	—	—	—	9.1	—	18.2		

区分	事業の質に不安がある	放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う	習い事や塾に通っている	対象年齢外である	子どもが行きたがらない	事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない	学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を知らなかった	その他	不明・無回答
ひとり親	5.3	18.9	24.2	38.4	25.3	2.6	6.8	7.9	7.4
共働き	4.3	19.3	33.2	35.1	20.2	2.5	2.5	8.7	13.4
フルタイム・パート	4.2	23.0	26.6	21.9	23.0	1.9	3.8	7.3	12.9
専業主婦（夫）	4.8	6.2	26.4	10.7	13.7	4.9	6.0	5.9	12.5
両親ともパート	11.1	55.6	33.3	22.2	11.1	—	—	22.2	—
両親とも無業	—	—	9.1	18.2	27.3	—	9.1	9.1	9.1

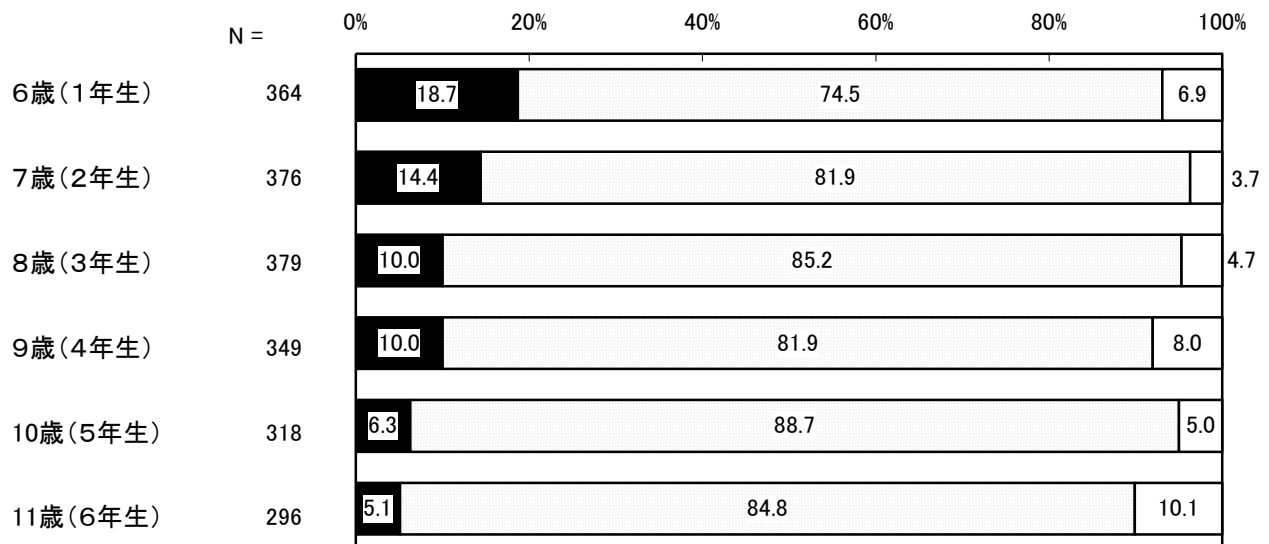
問 10-6 今後、学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用したいですか。

「1. 利用したい」の割合が11.0%, 「2. 今後も利用しない」の割合が82.6%となっています。



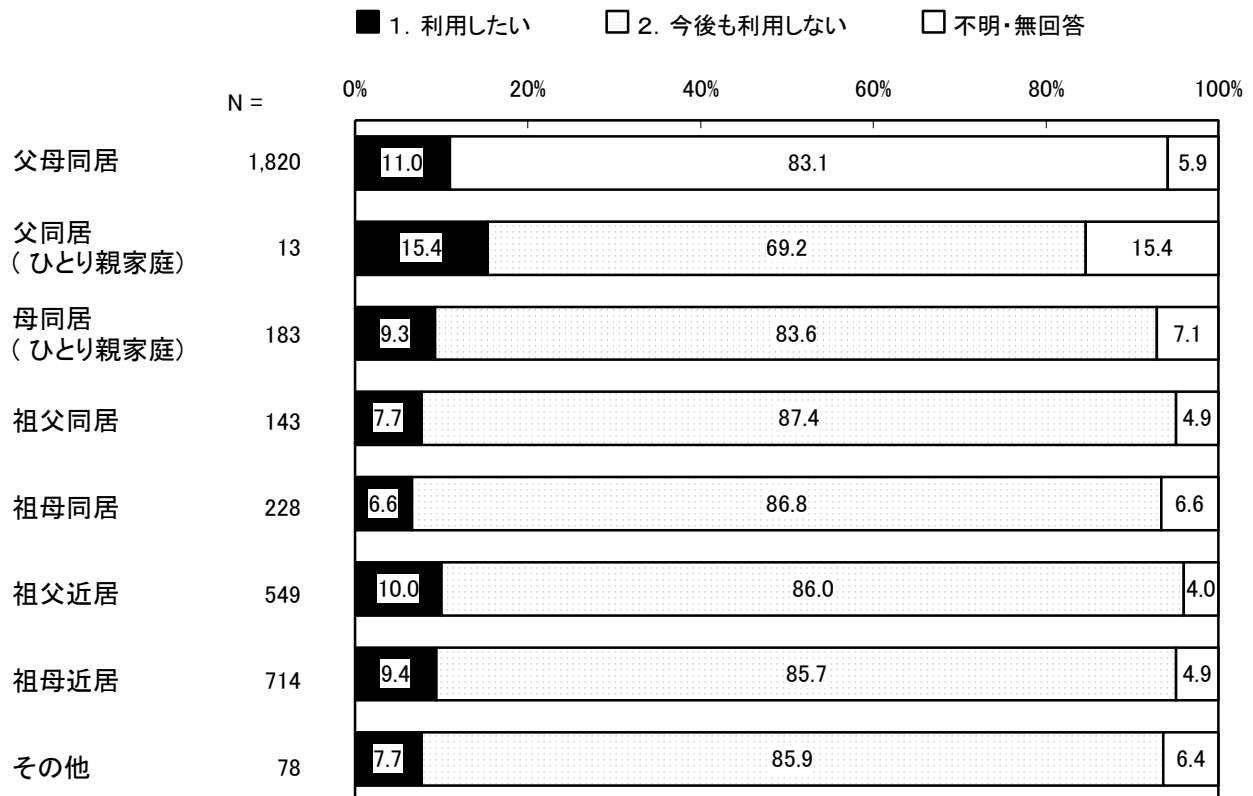
[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて「1. 利用したい」の割合が低くなっています。



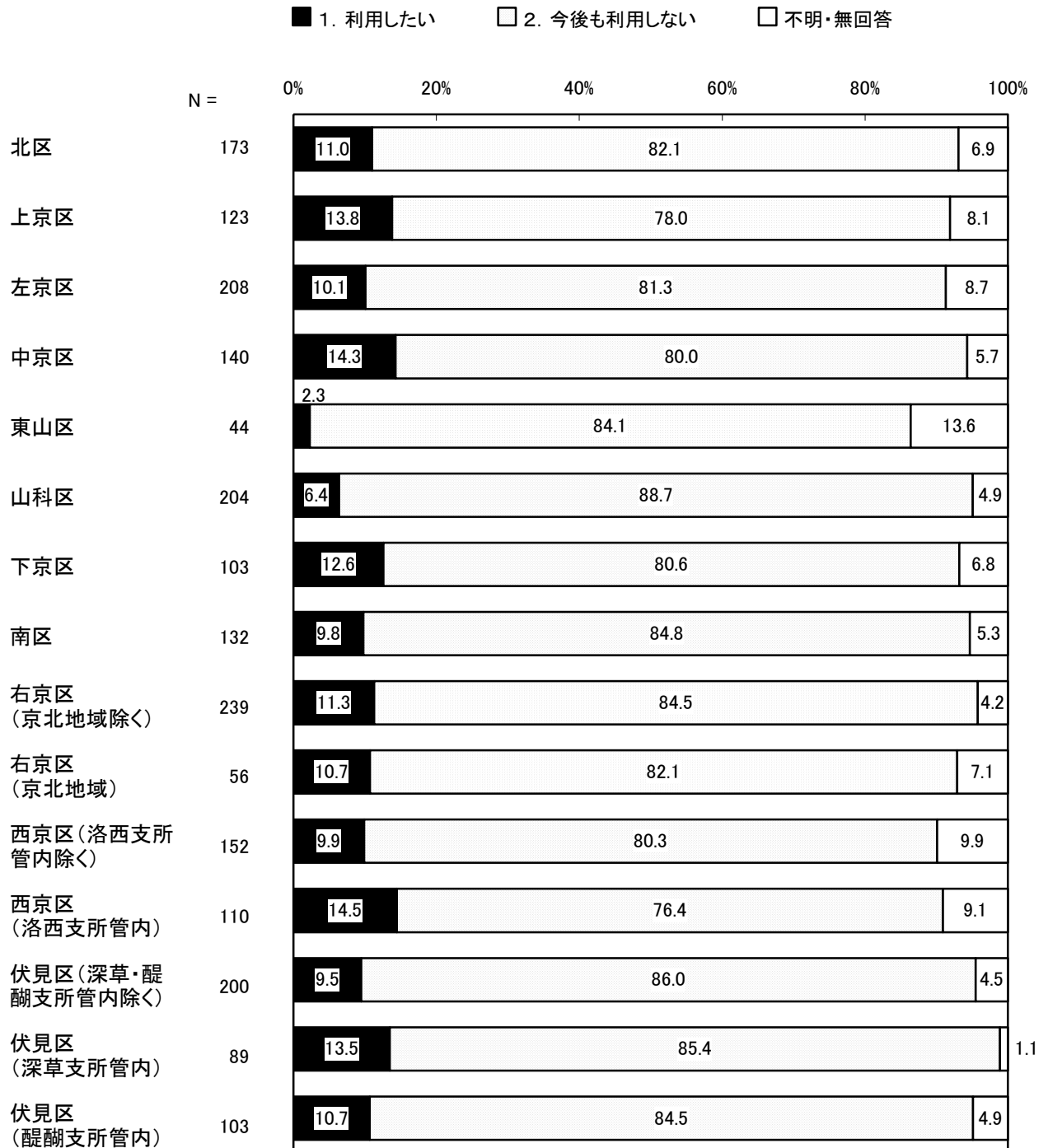
[同居・近居の状況別]

同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」で「1. 利用したい」の割合が他の区分に比べやや高くなっています。



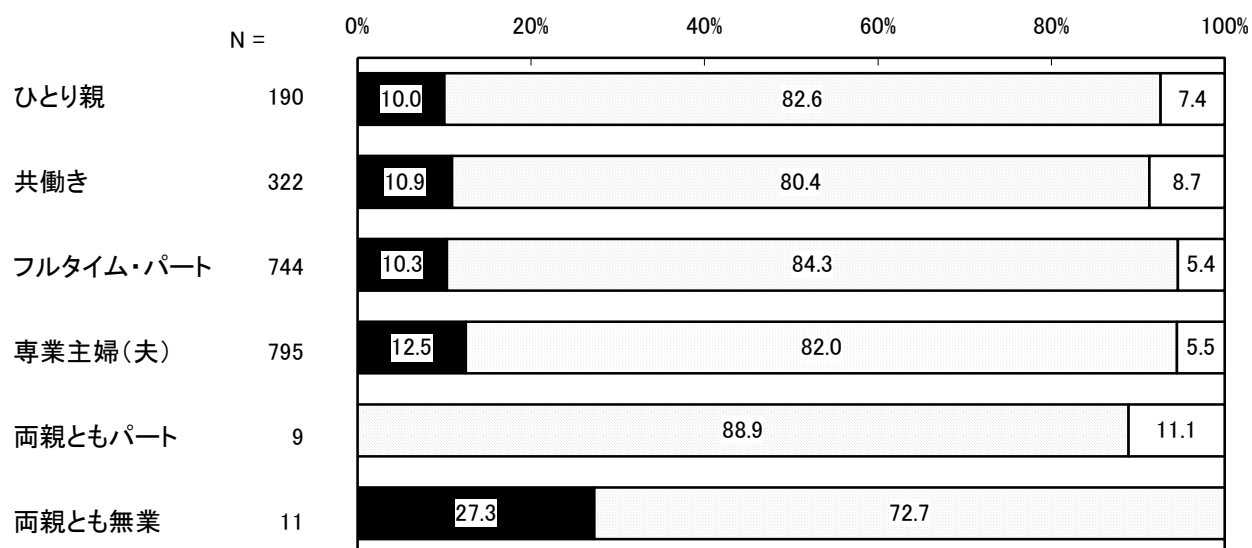
[居住区別]

居住地区別にみると、「東山区」で「1. 利用したい」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



[家族類型別]

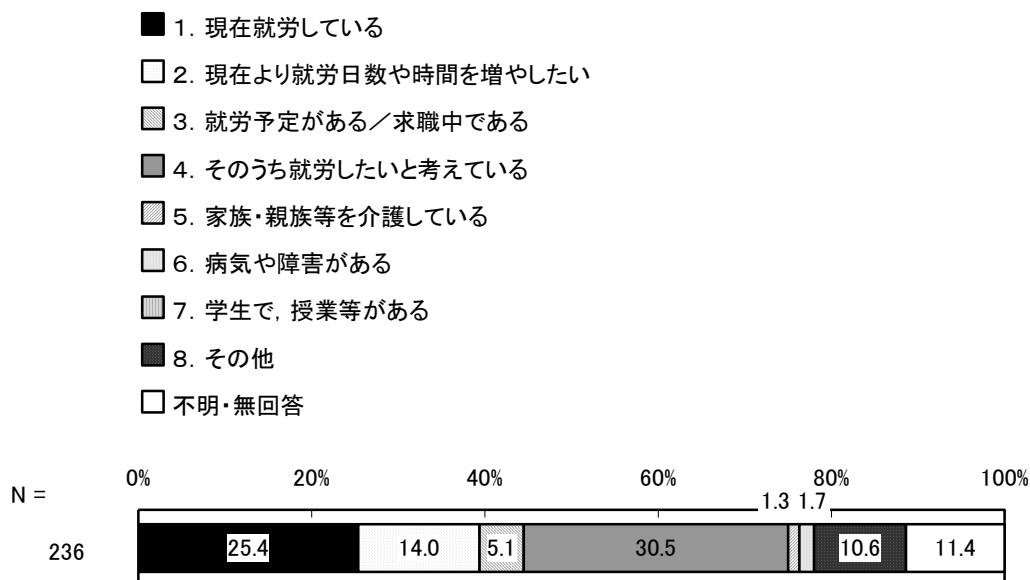
一定の有効回答数がある「ひとり親」、「共働き」、「フルタイム・パート」、「専業主婦（夫）」では「1. 利用したい」の割合は1割強程度であり，家族類型別で大きな差異はありません。



問10-7、問10-8は、問10-6で「利用したい」を選んだ方にお聞きします。

問10-7 今後、学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用したいと考えている理由について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

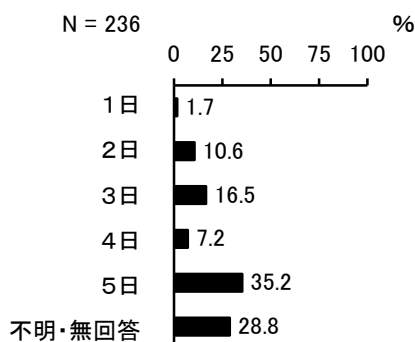
「4. そのうち就労したいと考えている」の割合が30.5%と最も高く、次いで「1. 現在就労している」が25.4%、「2. 現在より就労日数や時間を増やしたい」が14.0%となっています。



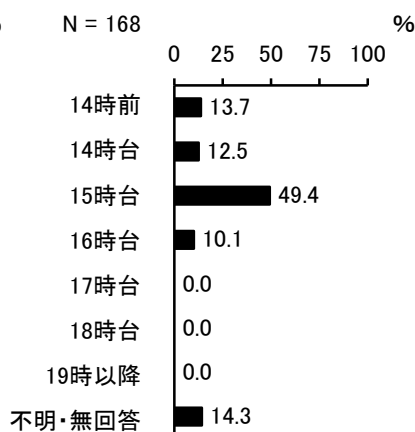
問10-8 利用を希望する日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）をお答えください。

【平日】

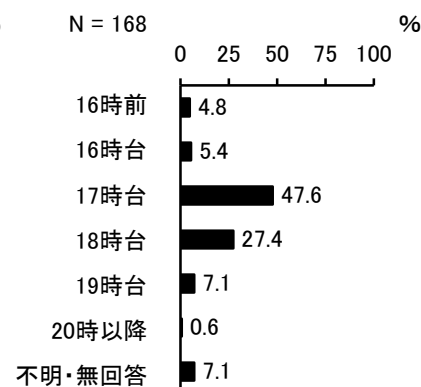
〔1週当たり利用日数〕



〔開始時間〕

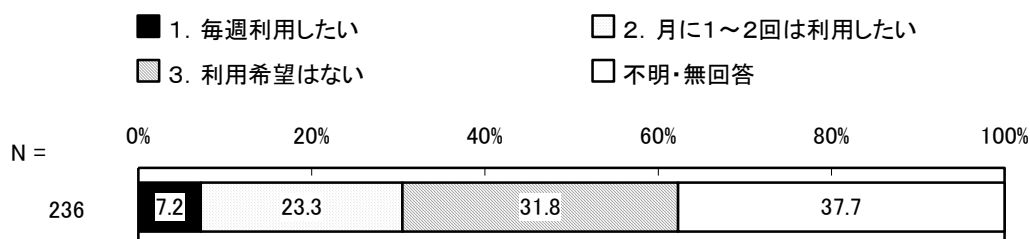


〔終了時間〕

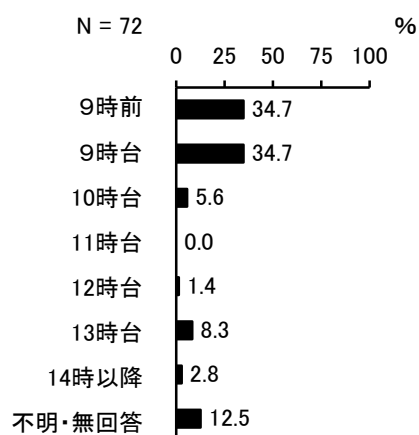


【土曜日】

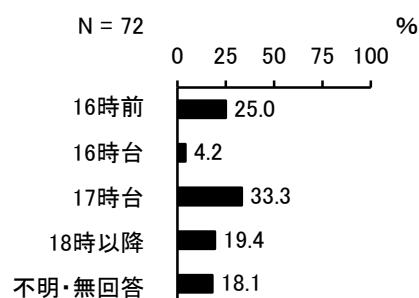
「3. 利用希望はない」の割合が31.8%と最も高く、次いで「2. 月に1～2回は利用したい」が23.3%となっています。



〔開始時間〕

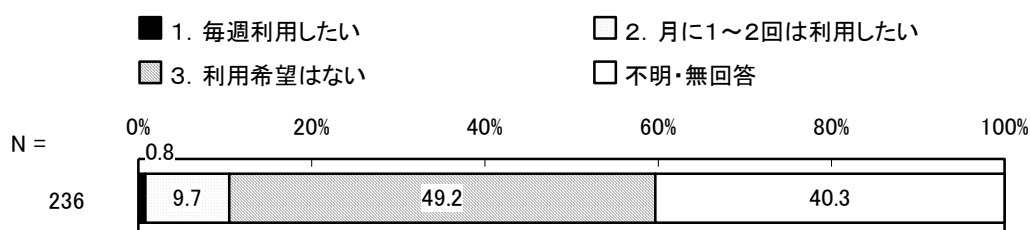


〔終了時間〕

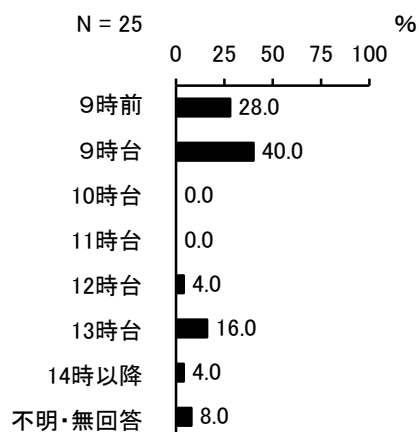


【日曜日・祝日】

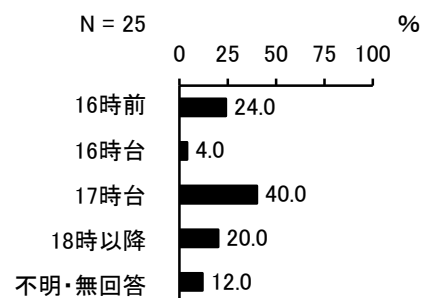
「3. 利用希望はない」の割合が49.2%と最も高くなっています。



〔開始時間〕

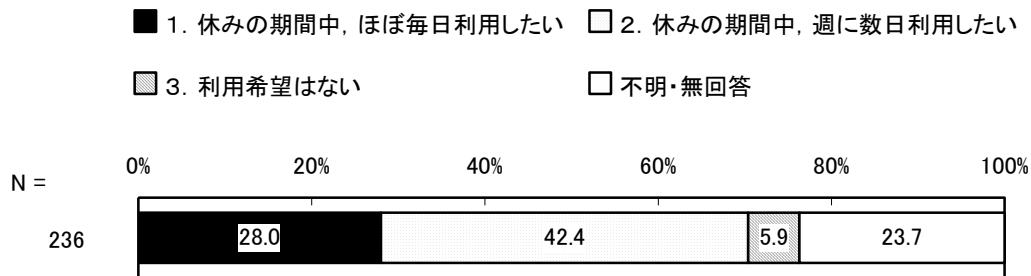


〔終了時間〕

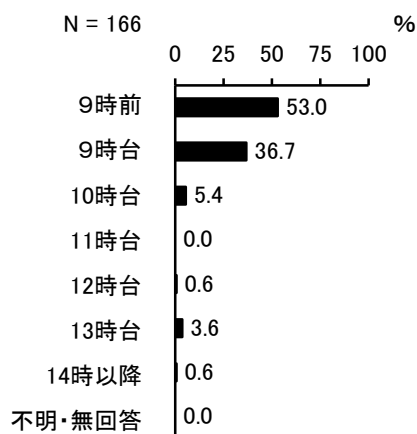


【夏休み等の学校長期休業中】

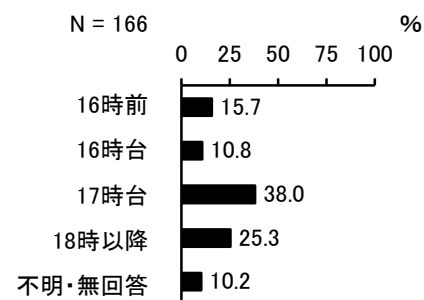
「2. 休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が42.4%と最も高く、次いで「1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が28.0%となっています。



〔開始時間〕



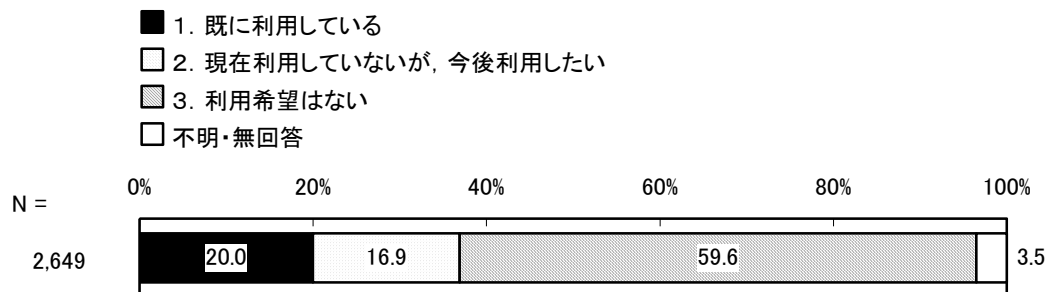
〔終了時間〕



ここからはすべての方にお聞きします。

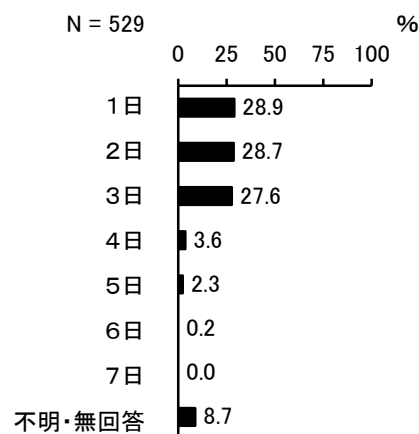
問 1 1 全小学校区において実施している「放課後まなび教室」の利用希望はありますか。

「3. 利用希望はない」の割合が59.6%と最も高く、次いで「1. 既に利用している」の割合が20.0%, 「2. 現在利用していないが、今後利用したい」が16.9%となっています。



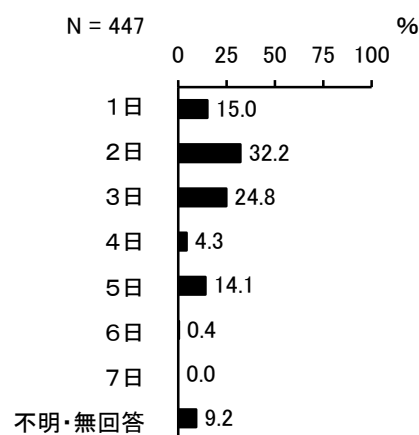
1. 既に利用している

【1週当たり利用日数】



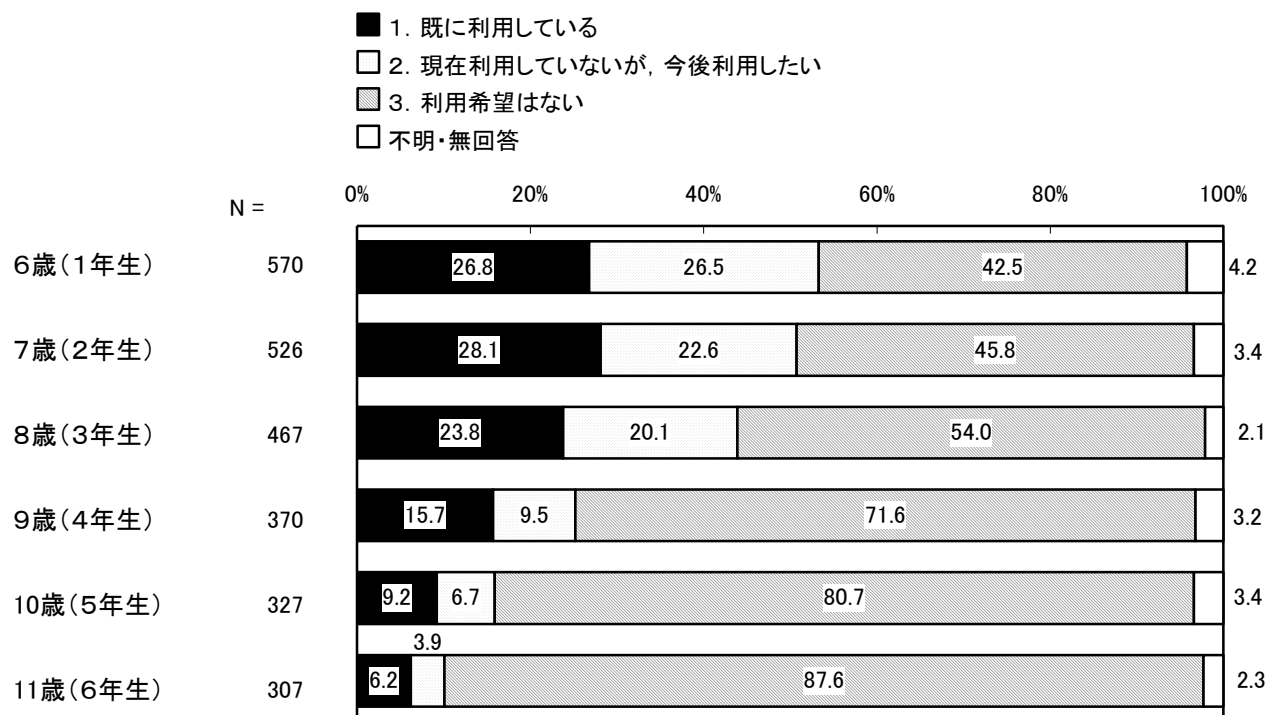
2. 現在利用していないが、今後利用したい

【1週当たり利用日数】



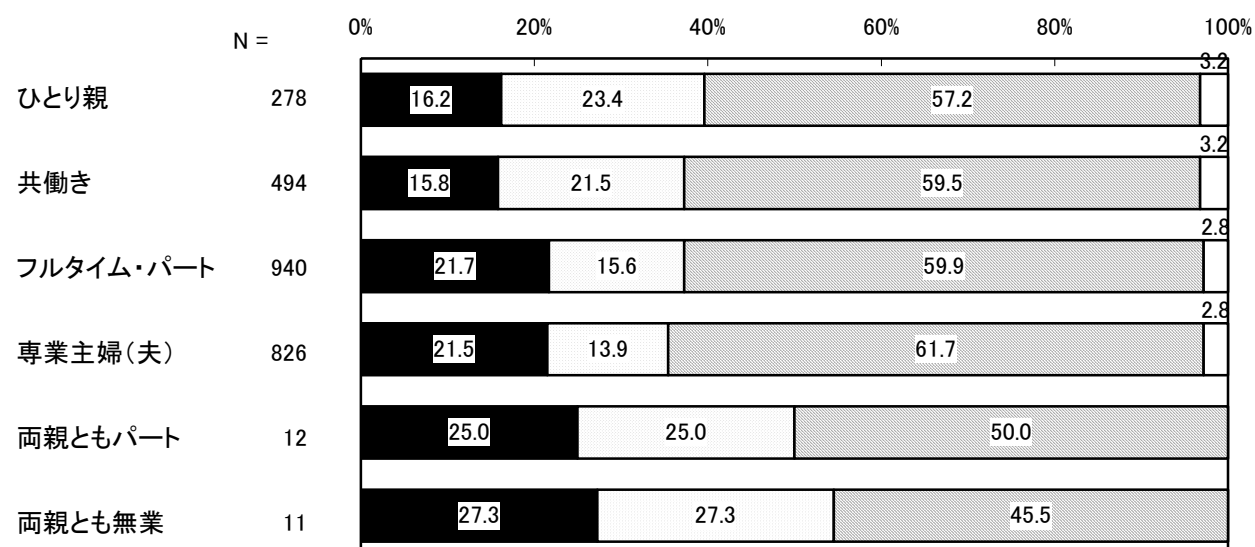
[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、年齢が上がるにつれて、「1. 既に利用している」、「2. 現在利用していないが、今後利用したい」の割合が低くなり、「3. 利用希望はない」が大半となります。



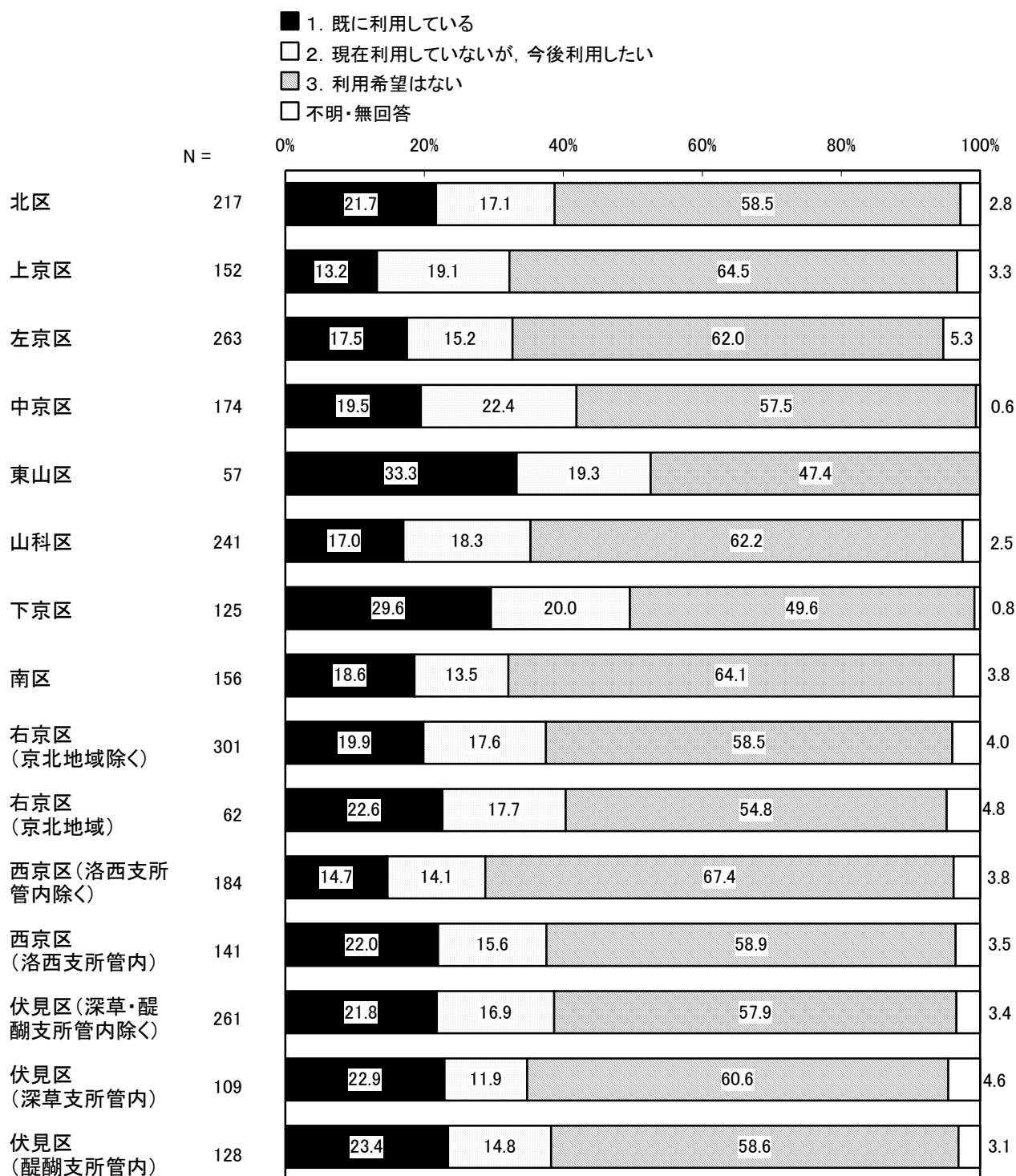
[家族類型別]

家族類型別にみると、「両親ともパート」、「両親とも無業」で、「1. 既に利用している」、「2. 現在利用していないが、今後利用したい」の割合が、他の区分に比べ高くなっています。



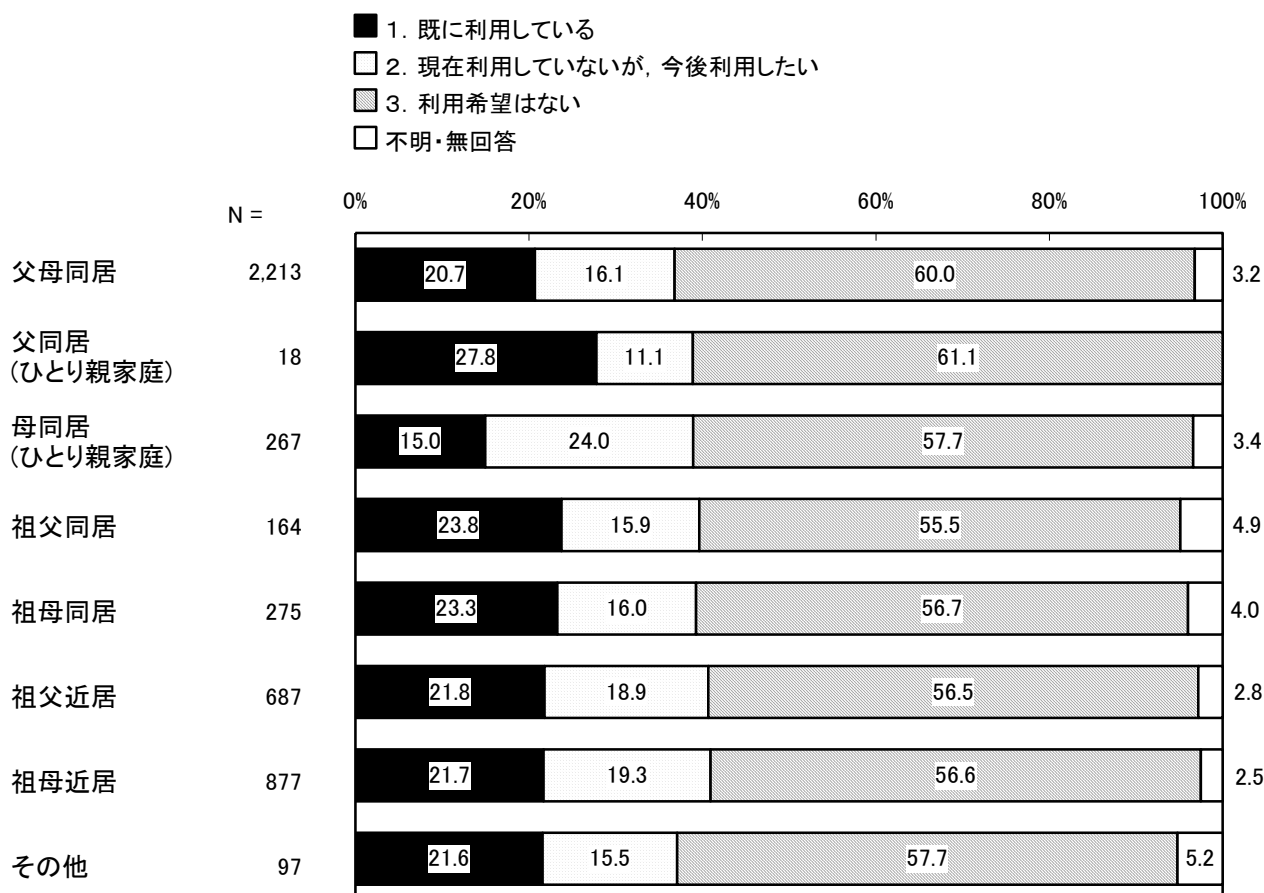
〔居住区別〕

居住区別にみると、「東山区」、「下京区」で「1. 既に利用している」の割合が、他の区分に比べ高くなっています。



[同居・近居の状況別]

同居・近居の状況別にみると、「母同居（ひとり親家庭）」で「1. 既に利用している」の割合が他の区分と比べ低くなっていますが、「1. 既に利用している」と「2. 現在利用していないが、今後利用したい」を合わせた割合は、いずれの区分でもほぼ同じとなっています。



[学童クラブの利用状況別]

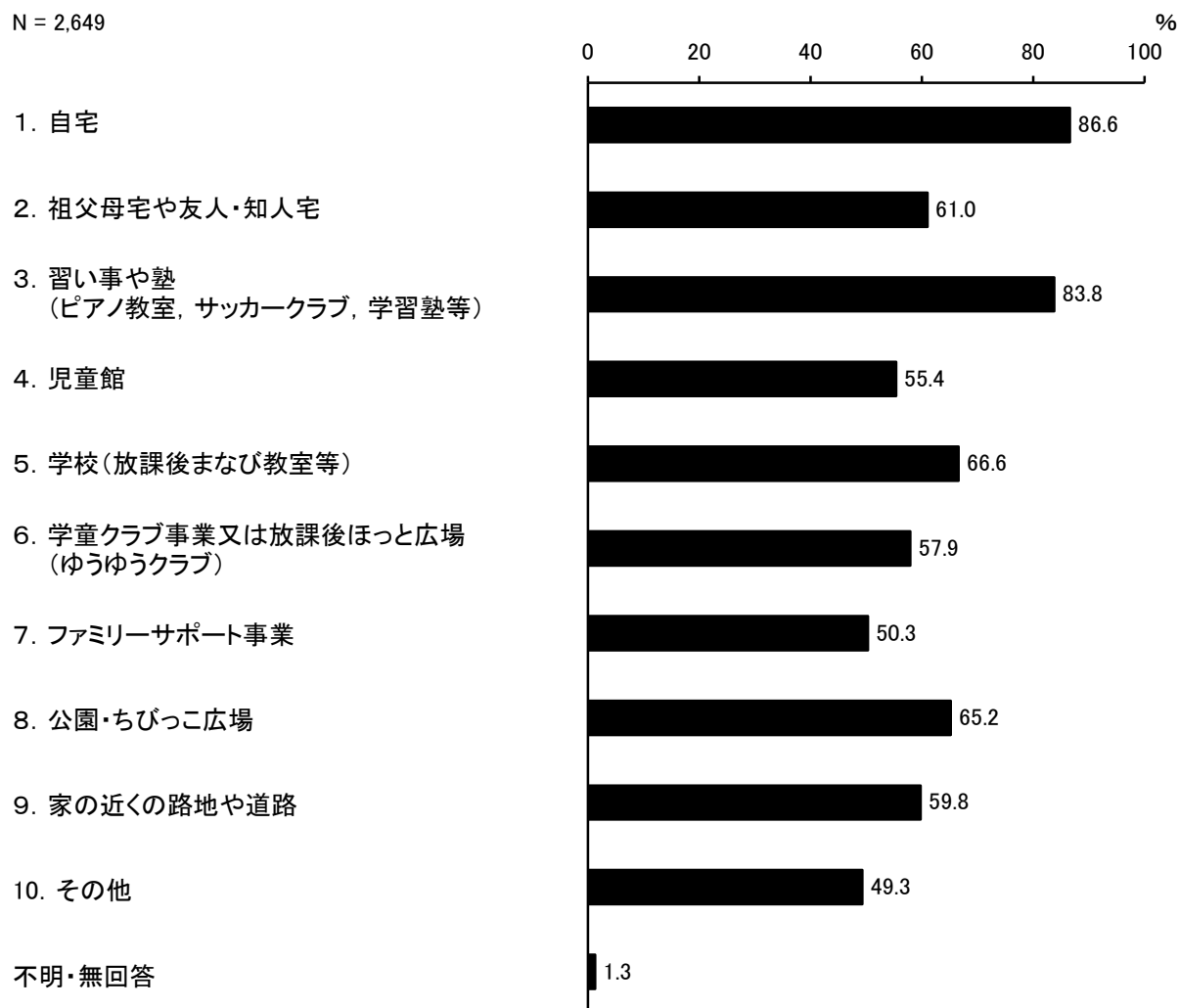
学童クラブの利用状況別にみると、「2. 現在利用していないが、今後利用したい」と回答した人の割合は、学童クラブを「利用している」の方が大幅に高くなっています。



問 1 2 宛名のお子さんについて、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を記入してください（宛名のお子さんが低学年の場合は、「高学年になってから」には将来の希望を記入）。

「1. 自宅」の割合が86.6%と最も高く、次いで「3. 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」のが83.8%、「5. 学校（放課後まなび教室等）」が66.6%などとなっています。

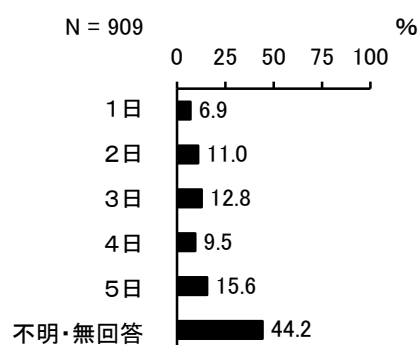
N = 2,649



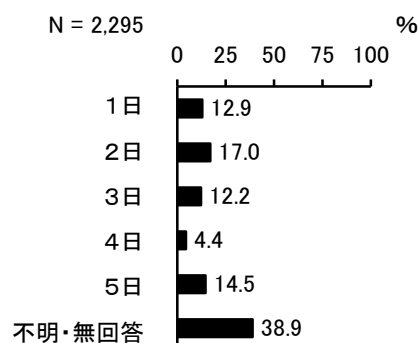
【日数】

1. 自宅

〔低学年の間〕

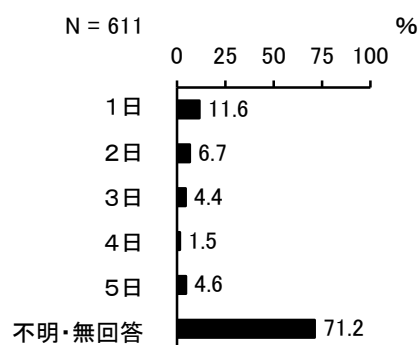


〔高学年になったら〕

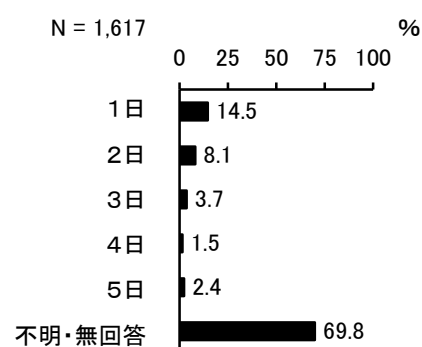


2. 祖父母宅や友人・知人宅

〔低学年の間〕

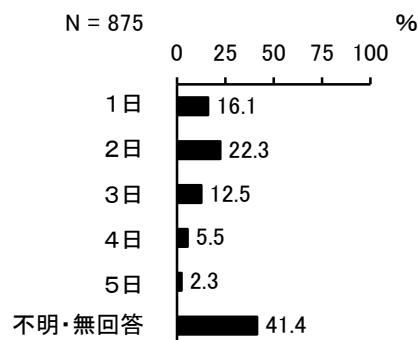


〔高学年になったら〕

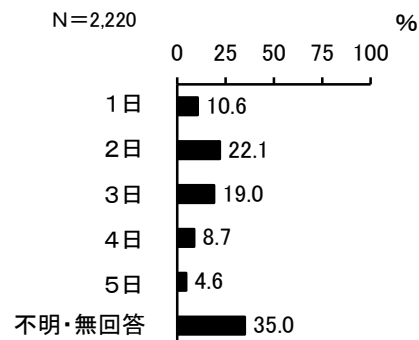


3. 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）

〔低学年の間〕

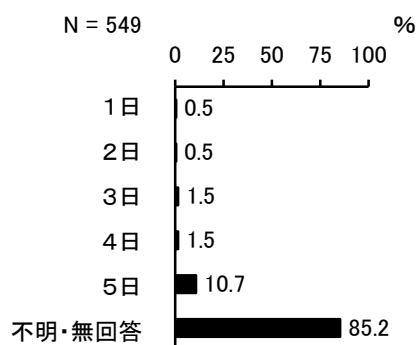


〔高学年になったら〕

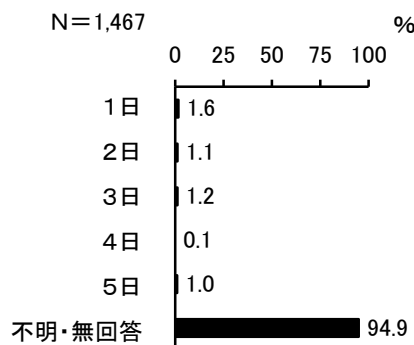


4. 児童館

〔低学年の間〕

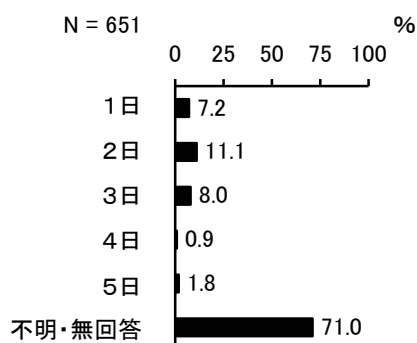


〔高学年になったら〕

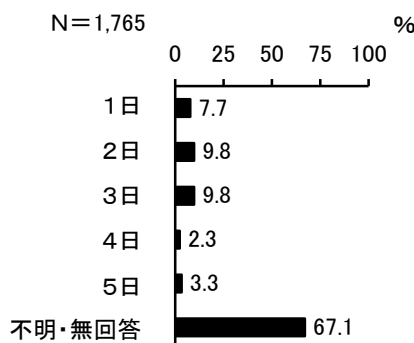


5. 学校（放課後まなび教室等）

〔低学年の間〕

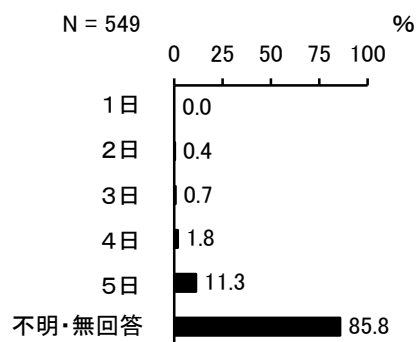


〔高学年になったら〕

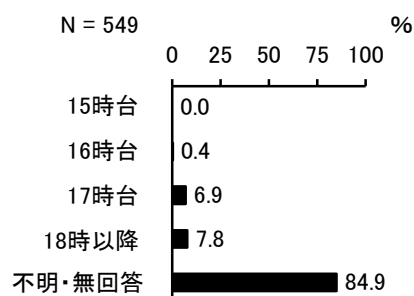


6. 学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）

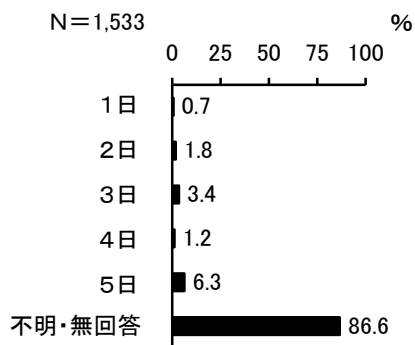
〔低学年の間〕



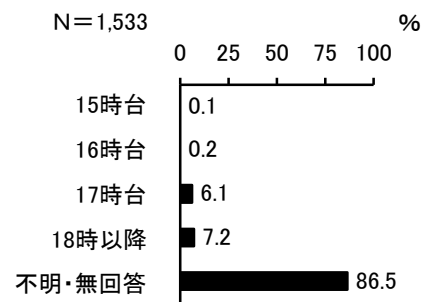
〔終了時間〕



〔高学年になったら〕

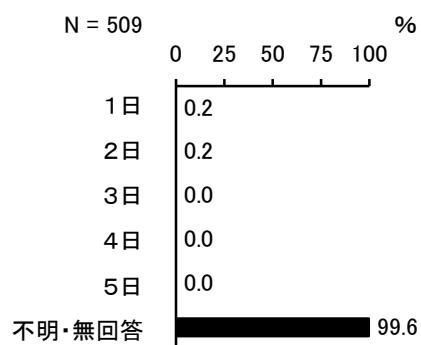


〔希望終了時間〕

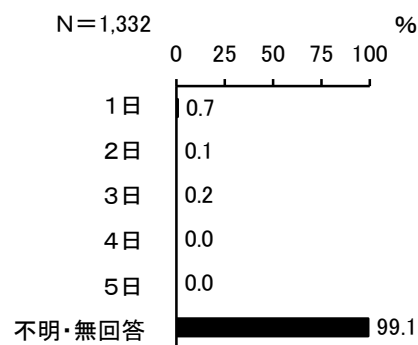


7. ファミリーサポート事業

〔低学年の間〕

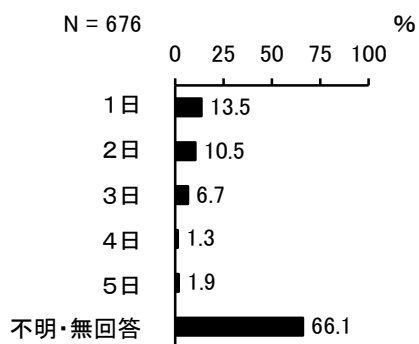


〔高学年になったら〕

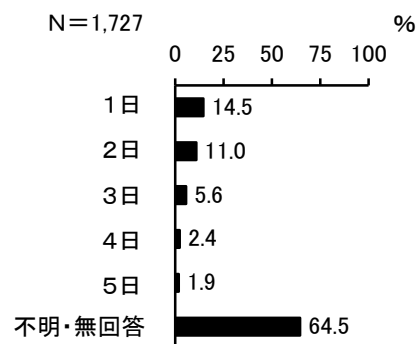


8. 公園・ちびっこ広場

〔低学年の間〕

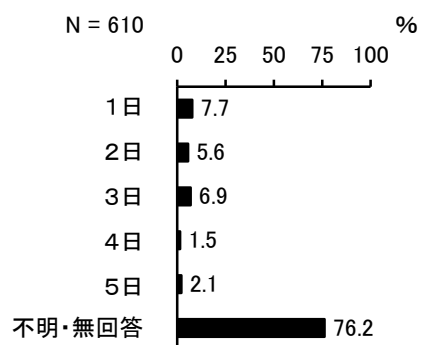


〔高学年になったら〕

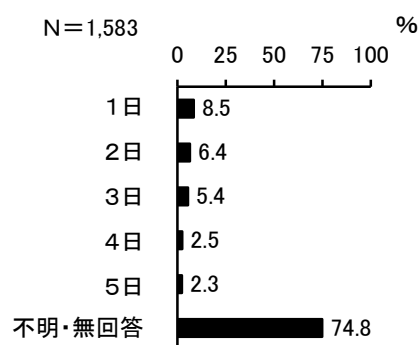


9. 家の近くの路地や道路

〔低学年の間〕

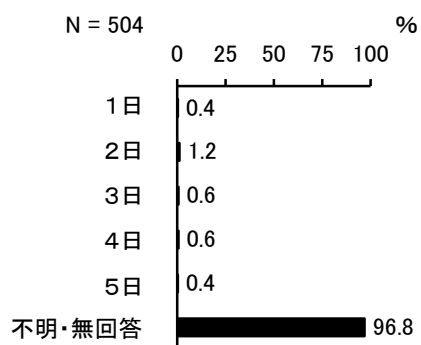


〔高学年になったら〕

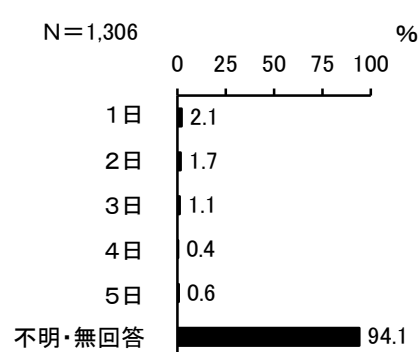


10. その他

〔低学年の間〕



〔高学年になったら〕



[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、すべての学年で「1. 自宅」の割合が最も高くなっています。次いで「3. 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が高く、「8歳（3年生）」以上では、7歳（2年生）」以下と比べ割合が上昇しています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	児童館	学校（放課後まなび教室等）	学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）	ファミリーサポート事業	公園・ちびっこ広場	家の近くの路地や道路	その他	不明・無回答
6歳（1年生）	570	84.0	63.0	81.8	59.5	70.4	63.5	52.3	65.1	60.4	51.4	1.1
7歳（2年生）	526	85.6	61.0	80.2	54.4	67.5	58.9	49.0	66.3	58.2	47.7	0.8
8歳（3年生）	467	85.0	60.0	85.0	53.5	67.7	57.6	49.5	61.5	60.0	47.5	0.6
9歳（4年生）	370	90.0	61.9	85.4	53.0	67.6	52.7	49.7	69.2	61.6	47.0	1.6
10歳（5年生）	327	89.6	57.2	86.9	53.2	62.4	53.2	48.9	65.1	59.3	49.5	1.8
11歳（6年生）	307	89.6	61.2	87.0	56.4	61.9	56.4	51.8	65.1	58.6	52.8	1.6

[家族類型別]

家族類型別にみると、「共働き」、「両親ともパート」では「3. 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が最も高く、その他の区分では「1. 自宅」の割合が最も高くなっています。

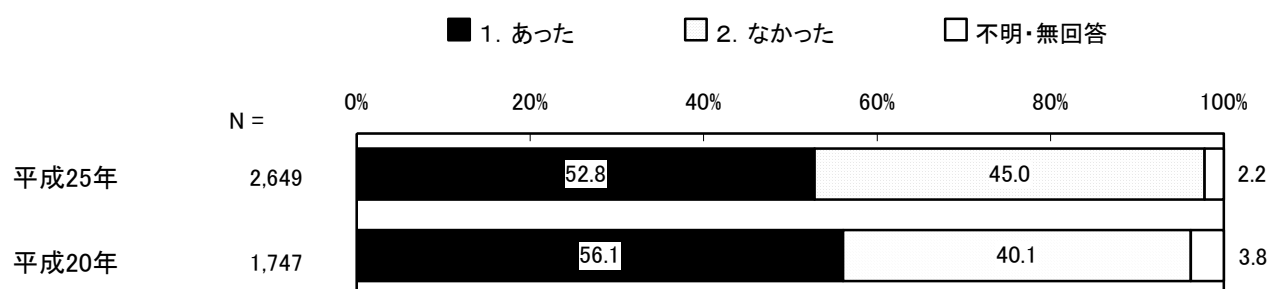
単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	児童館	学校（放課後まなび教室等）	学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）	ファミリーサポート事業	公園・ちびっこ広場	家の近くの路地や道路	その他	不明・無回答
ひとり親	278	77.3	56.5	75.9	56.8	59.0	61.9	47.5	59.4	55.4	47.1	2.5
共働き	494	78.5	59.3	80.2	57.9	63.6	65.4	49.2	60.1	57.5	46.2	0.6
フルタイム・パート	940	89.5	63.8	86.4	58.4	70.5	60.1	53.5	68.8	63.5	52.8	0.6
専業主婦（夫）	826	93.1	61.9	88.3	51.1	67.3	51.0	49.5	67.3	59.6	48.1	0.6
両親ともパート	12	91.7	66.7	100.0	66.7	75.0	75.0	66.7	75.0	75.0	66.7	—
両親とも無業	11	100.0	63.6	63.6	63.6	81.8	72.7	63.6	81.8	63.6	63.6	—

4 病気・病後時の対応について

問 1 3 - 1 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。

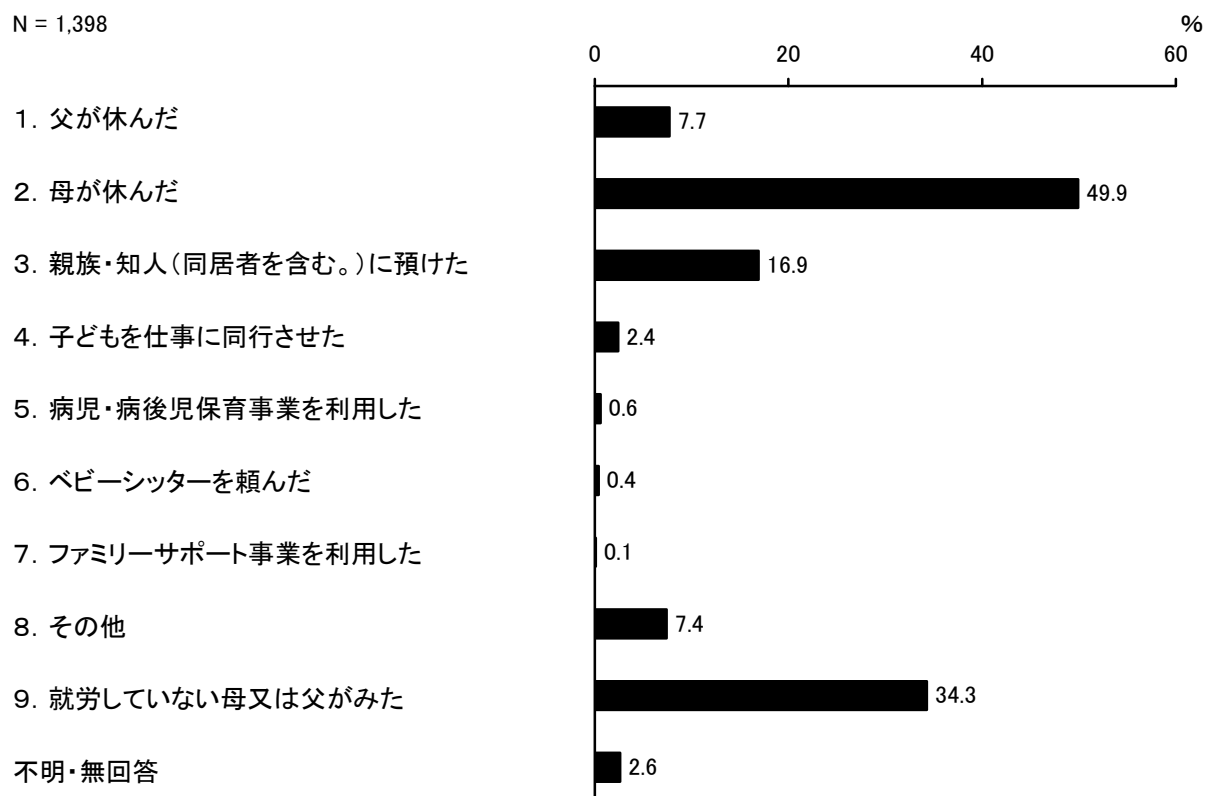
「1. あった」の割合が 52.8%, 「2. なかった」の割合が 45.0% となっています。
平成 20 年調査と比較しても、大きな差異はありません。



問 1 3 - 1 で「あった」を選んだ方にお聞きします。

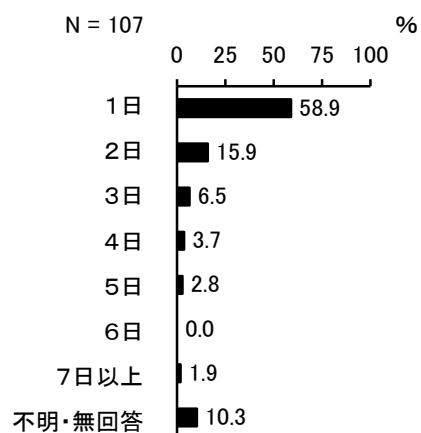
問 1 3 - 2 この 1 年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

「2. 母が休んだ」の割合が 49.9% と最も高く、次いで「9. 就労していない母又は父がみた」が 34.3%, 「3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が 16.9% となっています。

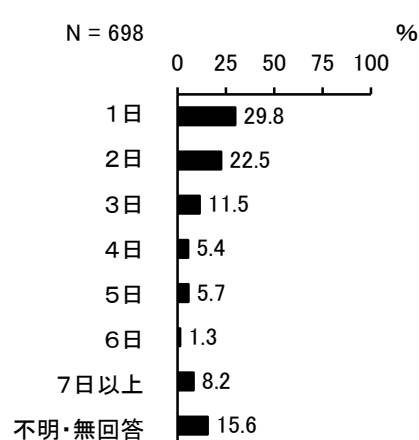


【日数】

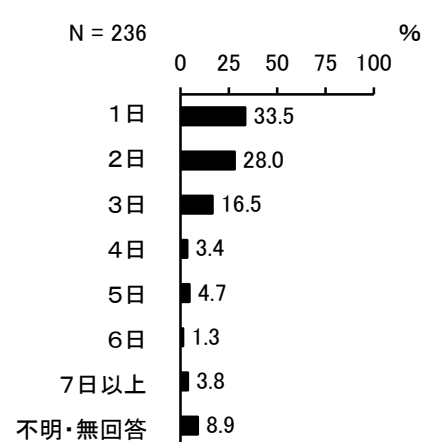
1. 父が休んだ



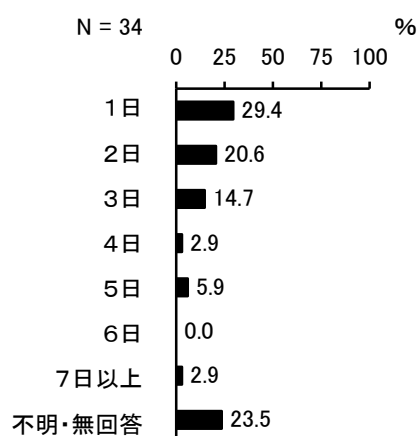
2. 母が休んだ



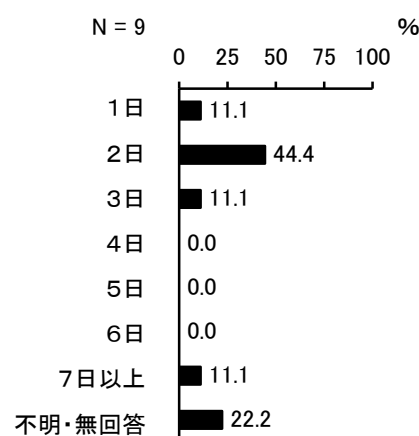
3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



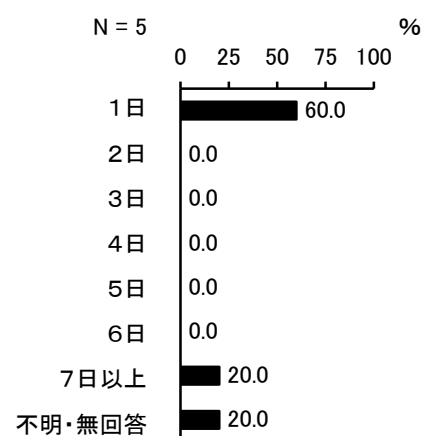
4. 子どもを仕事に同行させた



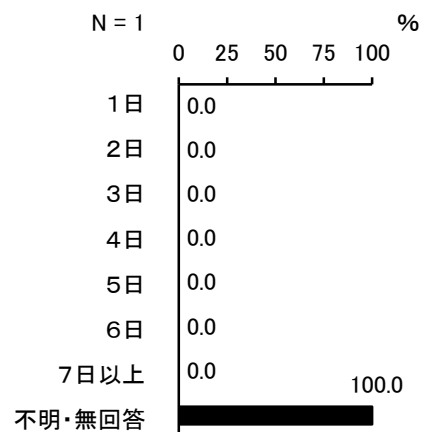
5. 病児・病後児保育事業を利用した



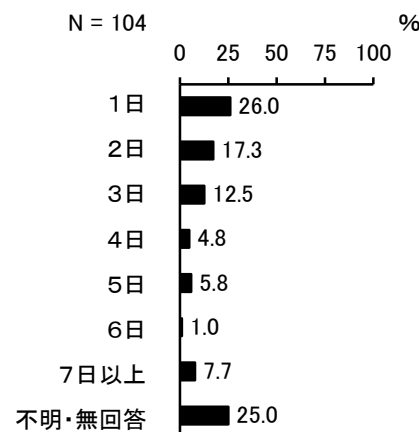
6. ベビーシッターを頼んだ



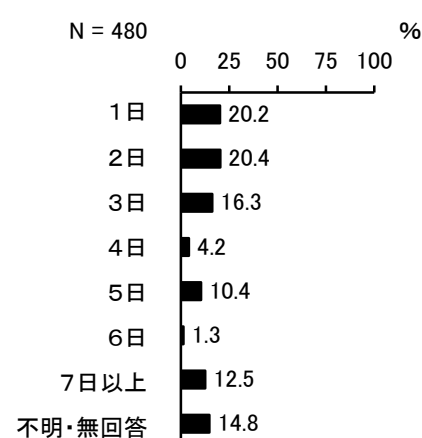
7. ファミリーサポート事業を利用した



8. その他



9. 就労していない母又は父がみた



[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、いずれの学年でも「2. 母が休んだ」の割合が最も高く、次いで「9. 就労していない母又は父がみた」となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	父が休んだ	母が休んだ	親族・知人(同居者を含む)に預けた	子どもを仕事に同行させた	病児・病後児保育事業を利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリーサポート事業を利用した	その他	就労していない母又は父がみた	不明・無回答
6歳(1年生)	297	10.8	49.8	18.9	2.7	1.0	0.7	0.3	5.4	38.7	2.7
7歳(2年生)	308	7.5	44.2	19.8	1.3	1.0	0.3	—	4.9	41.6	2.3
8歳(3年生)	265	8.3	50.6	17.7	3.4	0.8	—	—	6.0	32.8	2.6
9歳(4年生)	196	4.6	54.1	14.3	3.6	—	0.5	—	8.2	31.1	2.0
10歳(5年生)	157	5.1	54.1	12.7	0.6	—	—	—	14.0	26.1	2.5
11歳(6年生)	131	8.4	51.1	13.0	1.5	—	—	—	11.5	31.3	0.8

[家族類型別]

家族類型別にみると、「専業主婦(夫)」では「9. 就労していない母又は父がみた」の割合が最も高く、その他の区分(「両親とも無業」を除く。)では「2. 母が休んだ」の割合が最も高くなっています。

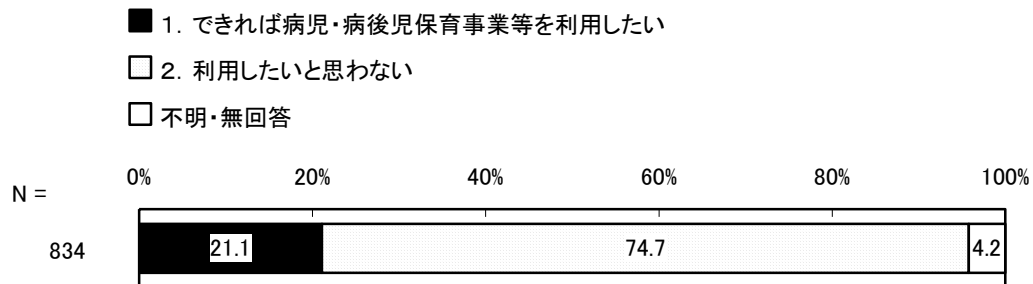
単位：％

区分	有効回答数 (件)	父が休んだ	母が休んだ	親族・知人(同居者を含む)に預けた	子どもを仕事に同行させた	病児・病後児保育事業を利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリーサポート事業を利用した	その他	就労していない母又は父がみた	不明・無回答
ひとり親	145	2.1	58.6	27.6	4.8	0.7	—	—	11.7	11.0	4.1
共働き	254	24.0	70.1	32.3	5.9	2.4	1.6	—	12.6	1.2	2.0
フルタイム・パート	508	5.9	74.0	18.1	1.8	0.4	0.2	0.2	8.7	13.4	1.8
専業主婦(夫)	444	2.9	9.0	2.0	0.2	—	—	—	0.9	86.5	3.2
両親ともパート	7	—	85.7	14.3	14.3	—	—	—	14.3	—	—
両親とも無業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

問 1 3 - 2 で「父が休んだ」～「子どもを仕事に同行させた」を選んだ方にお聞きします。

問 1 3 - 3 その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。また利用したい日数はどれくらいですか。

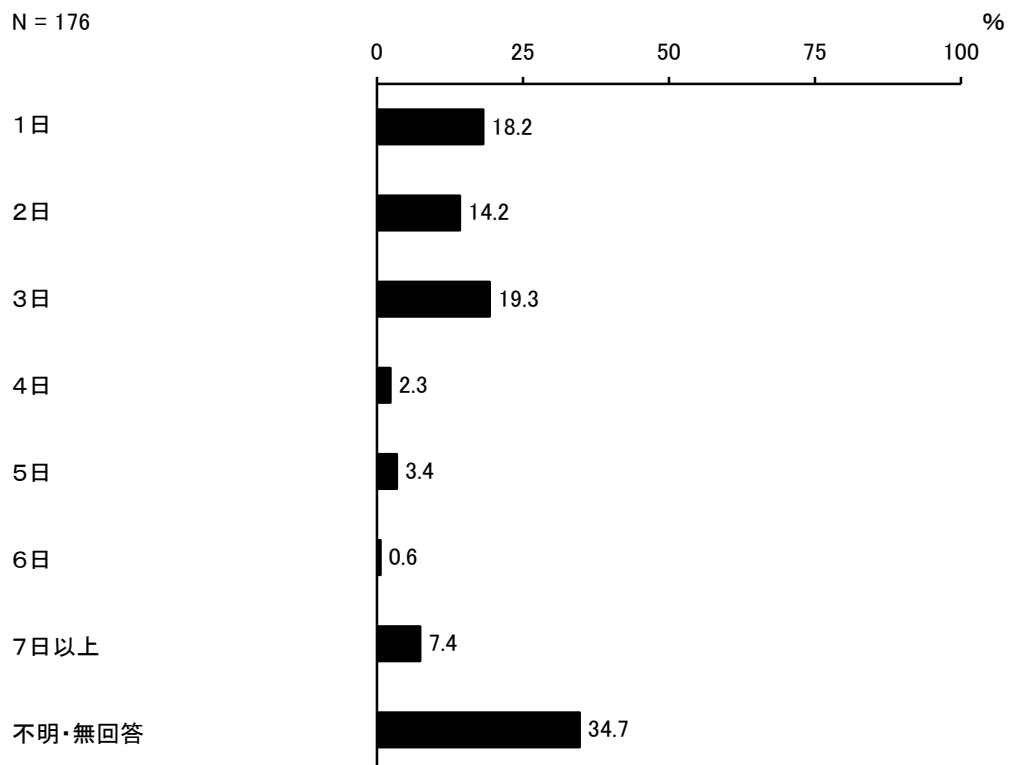
「1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」の割合が21.1%, 「2. 利用したいと思わない」の割合が74.7%となっています。



1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい

【利用希望日数】

「3日」の割合が19.3%と最も高く、次いで「1日」が18.2%, 「2日」が14.2%となっています。

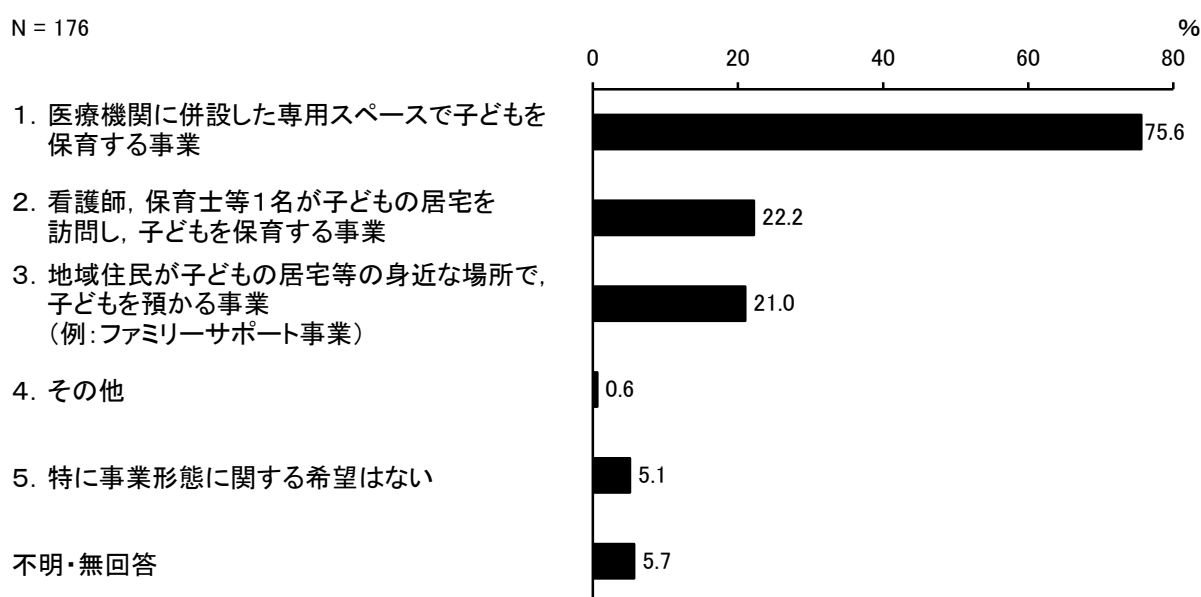


問 1 3 - 3 で「できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」を選んだ方にお聞きします。

問 1 3 - 4 病気又は病後の子どもを預ける場合、どのような事業の利用を希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」の割合が75.6%と最も高く、次いで「2. 看護師、保育士等1名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業」が22.2%、「3. 地域住民が子どもの居宅等の身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業）」が21.0%となっています。

N = 176

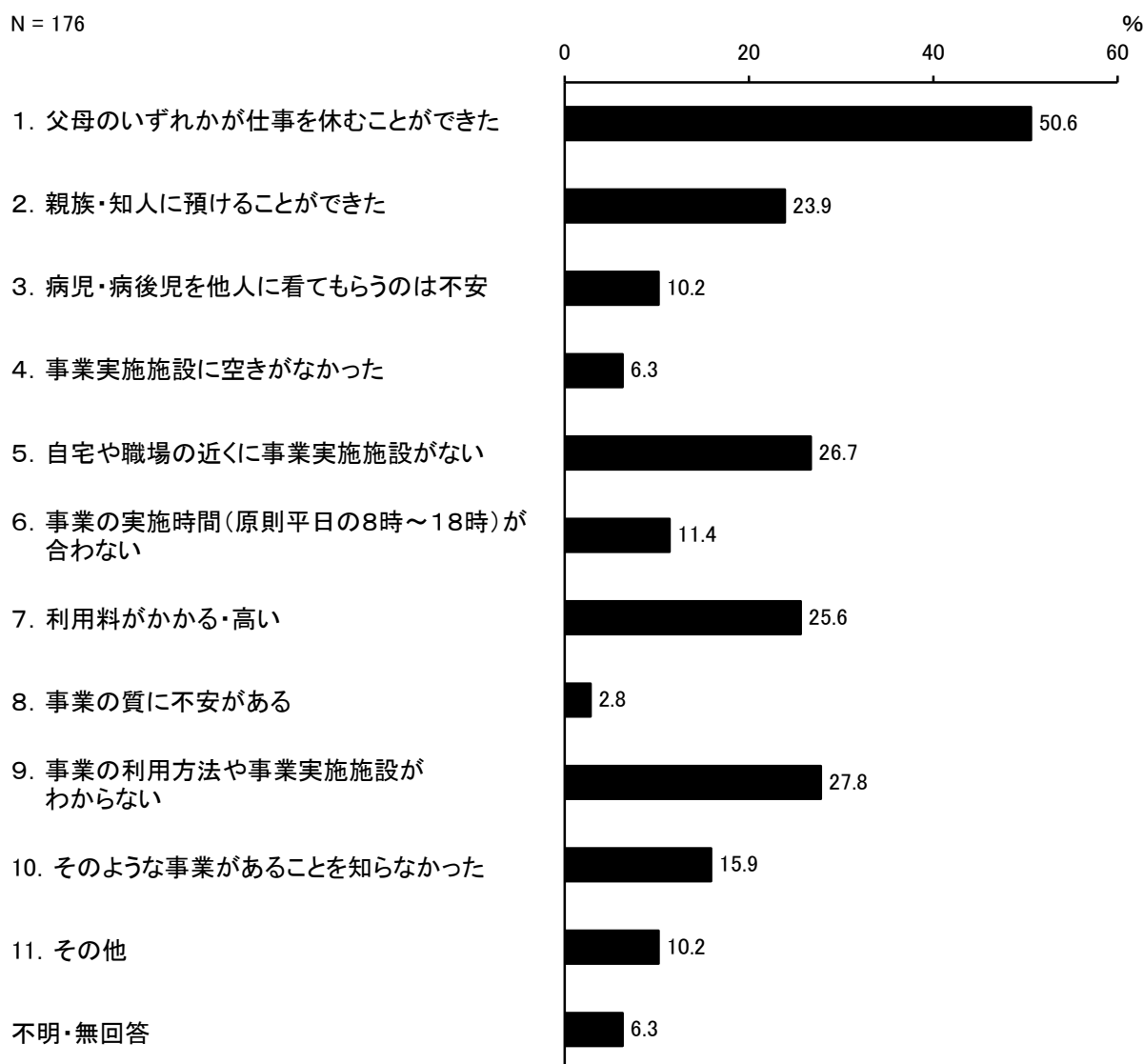


問 1 3 - 3 で「できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」を選んだ方にお聞きします。

問 1 3 - 5 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた」の割合が50.6%と最も高く、次いで「9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない」が27.8%, 「5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない」が26.7%, 「7. 利用料金がかかる・高い」が25.6%などとなっています。

N = 176

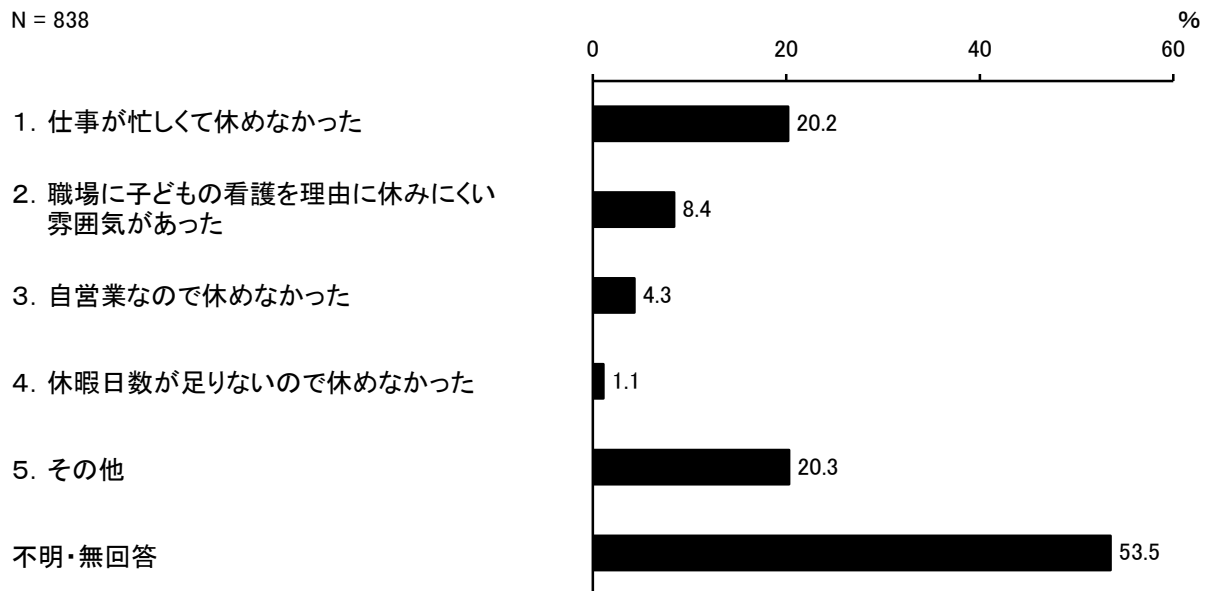


問 1 3 - 2 で「親族・知人（同居者を含む。）に預けた」から「就労していない母又は父がみた」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

問 1 3 - 6 仕事を休めなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「1. 仕事が忙しくて休めなかった」の割合が20.2%と最も高くなっています。

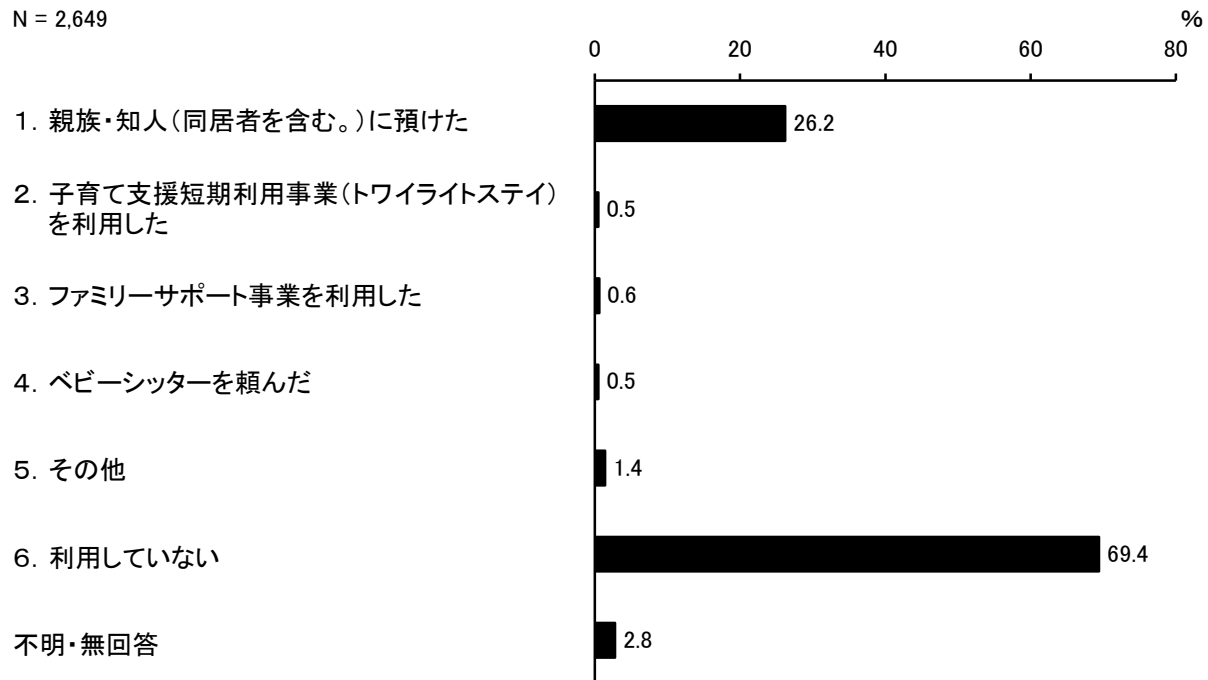
N = 838



5 宿泊を伴わない日中の一時預かりについて

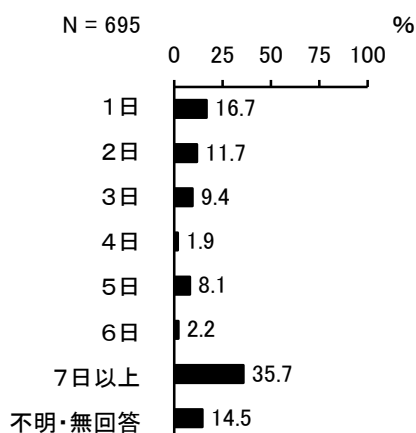
問 1 4 - 1 宛名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。
利用したことがある事業の番号すべてに○をつけ、（ ）内にそれぞれの日数（半日程度でも1日としてカウント）を記入してください。

「6. 利用していない」の割合が69.4%と最も高く、次いで「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が26.2%となっています。

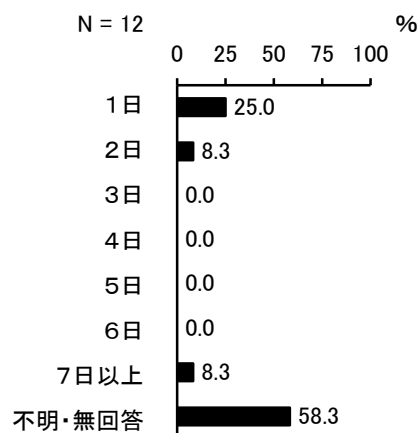


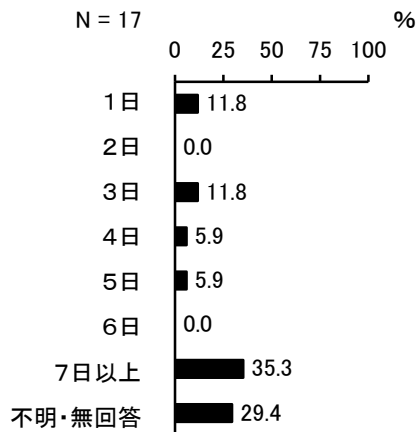
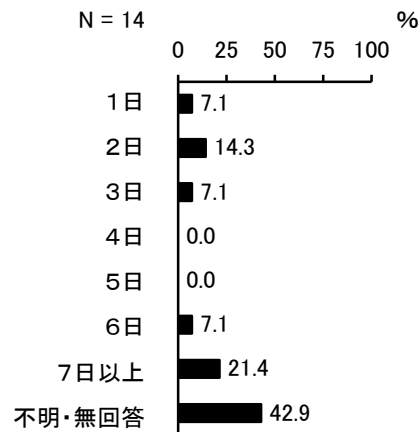
【対処方法別日数】

1. 親族・知人
（同居者を含む。）に預けた

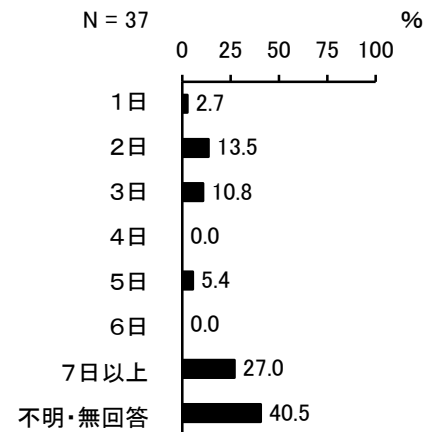


2. 子育て支援短期利用事業(トワイライトステイ)
を利用した



3. ファミリーサポート
事業を利用した4. ベビーシッター
を頼んだ

5. その他



[同居・近居の状況別]

同居・近居の状況別にみると、いずれの区分でも「6. 利用していない」の割合が最も高く、次いで「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」となっています。

単位：%

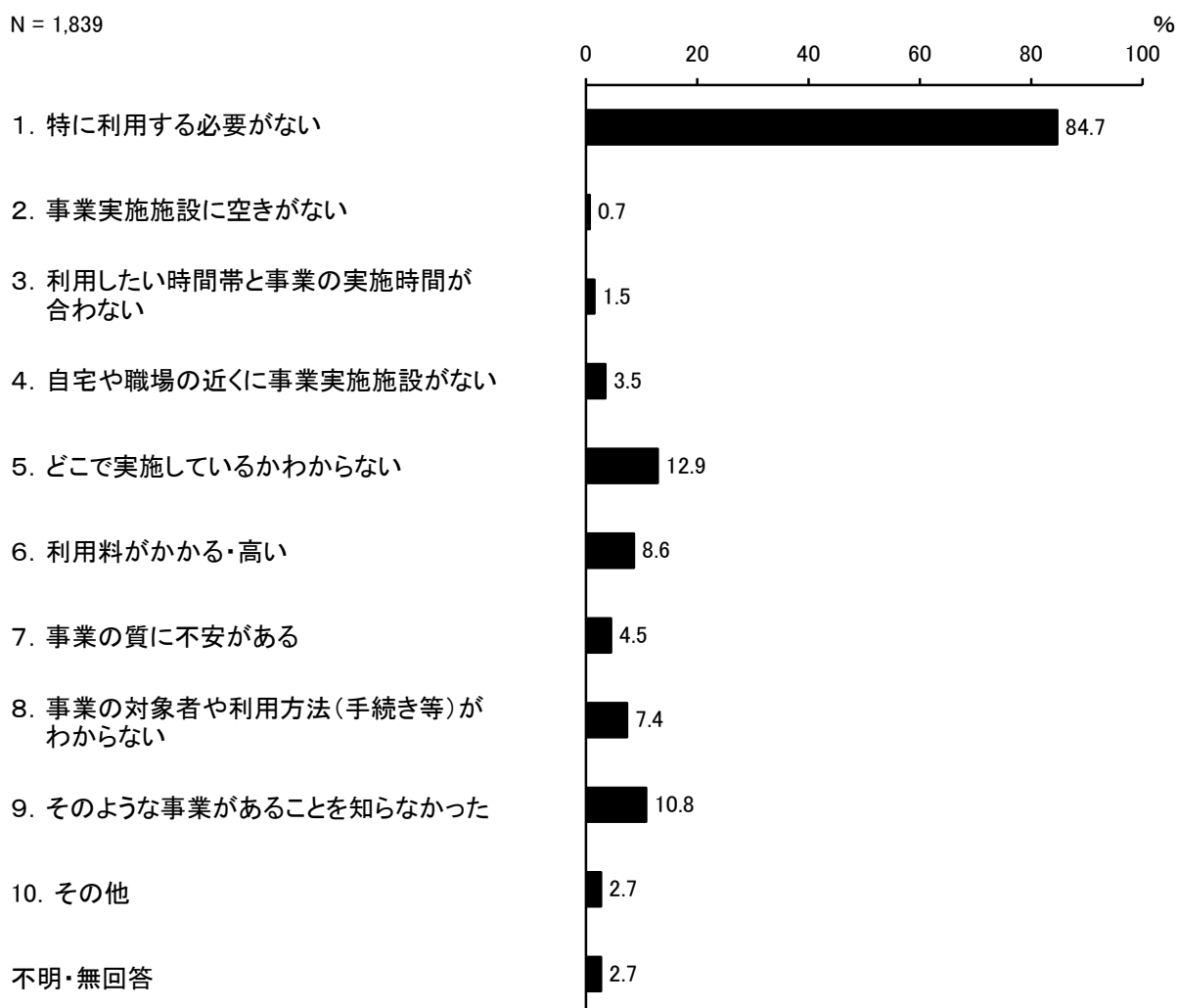
区分	有効回答数 (件)	親族・知人 (同居者を含む) に預けた	子育て支援短期利 用事業(トワイライ トステイ)を利用し た	ファミリーサポ ー事業を利用した	ベビーシッターを 頼んだ	その他	利用して いない	不明・無 回答
父母同居	2,213	26.8	0.5	0.7	0.5	1.2	70.0	1.9
父同居(ひとり親家庭)	18	27.8	—	—	—	—	61.1	11.1
母同居(ひとり親家庭)	267	29.6	0.4	0.4	0.7	2.6	63.3	3.7
祖父同居	164	25.6	—	0.6	—	1.2	69.5	4.3
祖母同居	275	22.9	—	0.4	—	1.5	72.7	2.9
祖父近居	687	36.0	0.6	0.6	0.4	1.2	60.7	2.5
祖母近居	877	34.9	0.5	0.6	0.3	1.0	62.3	2.2
その他	97	27.8	—	1.0	—	5.2	67.0	1.0

問１４－１で「利用していない」に○をつけた方にお聞きします。

問１４－２ 現在利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

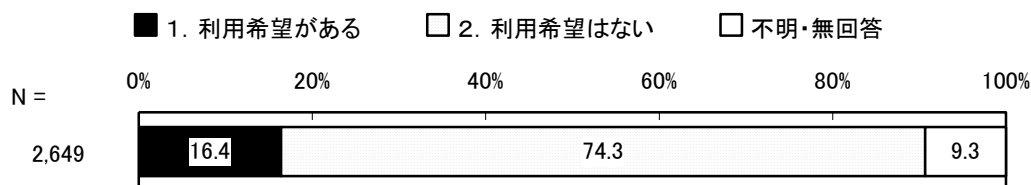
「１．特に利用する必要がない」の割合が８４．７％と最も高く、次いで「５．どこで実施しているかわからない」が１２．９％、「９．そのような事業があることを知らなかった」が１０．８％となっています。

N = 1,839



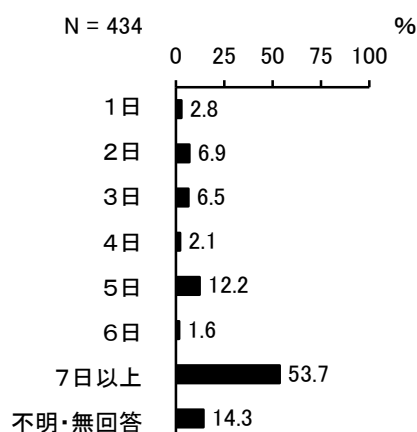
問 15-1 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、事業を年間何日ぐらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、該当する番号に○をつけ、() 内に希望日数（半日程度でも1日としてカウント）を記入してください。※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担が発生します。

「1. 利用希望がある」の割合が16.4%、「2. 利用希望はない」の割合が74.3%となっています。



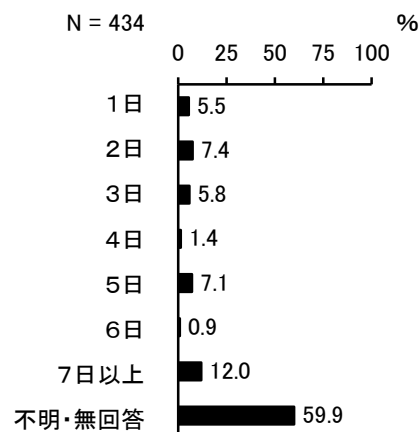
【利用希望日数】

「7日以上」の割合が53.7%と最も高く、次いで「5日」が12.2%となっています。

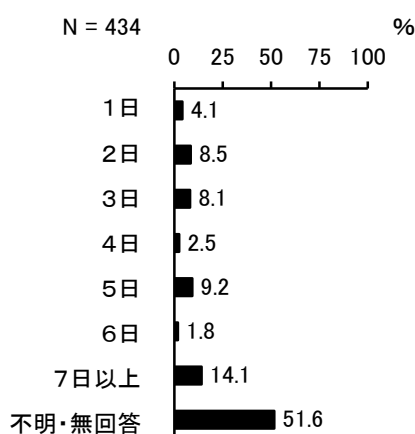


〔理由別利用希望日数〕

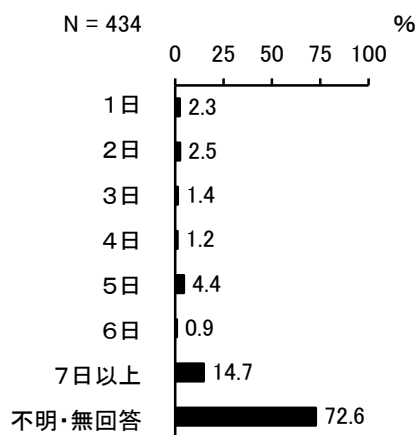
①私用、リフレッシュ目的



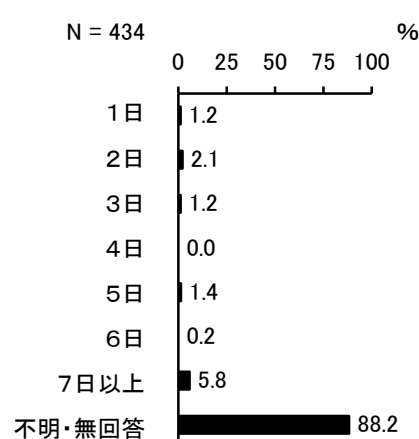
②冠婚葬祭、兄弟姉妹の学校行事、保護者や兄弟の病気等



③不定期の就労



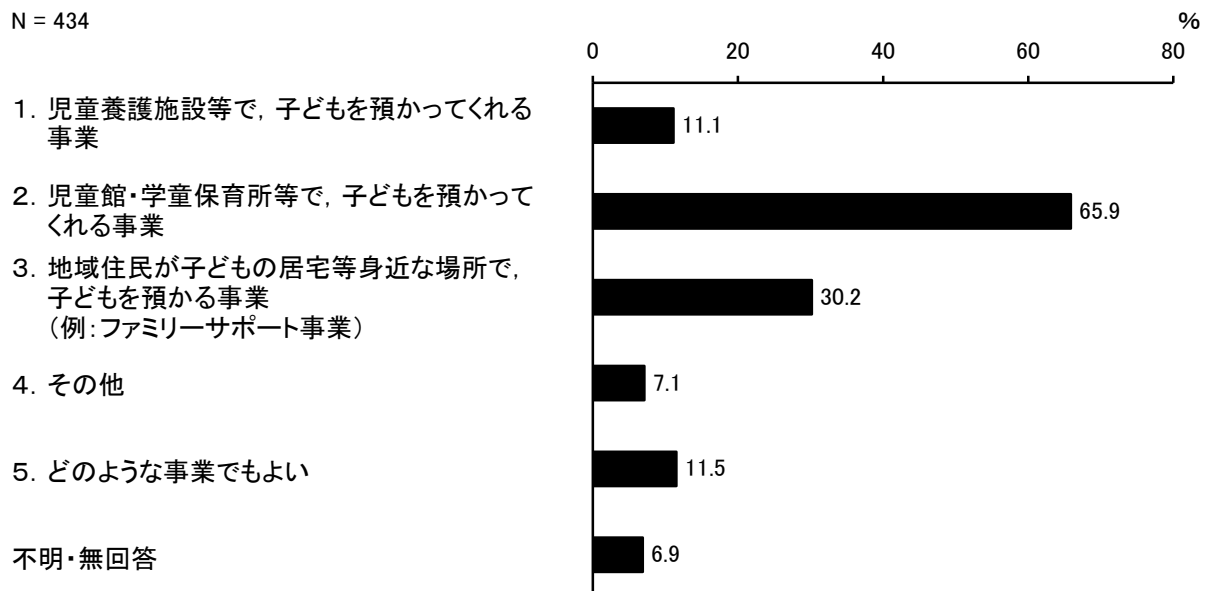
④その他



問 1 5 - 1 で「利用希望がある」に○をつけた方にお聞きします。

問 1 5 - 2 日中に一時的にお子さんを預ける場合に利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「2. 児童館・学童保育所等で、子どもを預かってくれる事業」の割合が65.9%と最も高く、次いで「3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業）」が30.2%、「5. どのような事業でもよい」が11.5%となっています。



[子どもの学年別]

子どもの学年別でみると、いずれの学年でも「2. 児童館・学童保育所等で、子どもを預かってくれる事業」の割合が最も高くなっていますが、「11歳（6年生）」ではその割合は37.9%と他の区分に比べ大幅に低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	児童養護施設等で、子どもを預かってくれる事業	児童館・学童保育所等で、子どもを預かってくれる事業	地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業）	その他	どのような事業でもよい	不明・無回答
6歳（1年生）	134	10.4	70.9	28.4	7.5	11.9	4.5
7歳（2年生）	100	10.0	69.0	32.0	6.0	7.0	9.0
8歳（3年生）	80	8.8	62.5	30.0	7.5	15.0	10.0
9歳（4年生）	49	14.3	73.5	24.5	4.1	12.2	10.2
10歳（5年生）	31	12.9	61.3	35.5	3.2	9.7	3.2
11歳（6年生）	29	20.7	37.9	31.0	17.2	17.2	3.4

[家族類型別]

家族類型別でみると、いずれの区分でも「2. 児童館・学童保育所等で、子どもを預かってくれる事業」の割合が最も高くなっています。

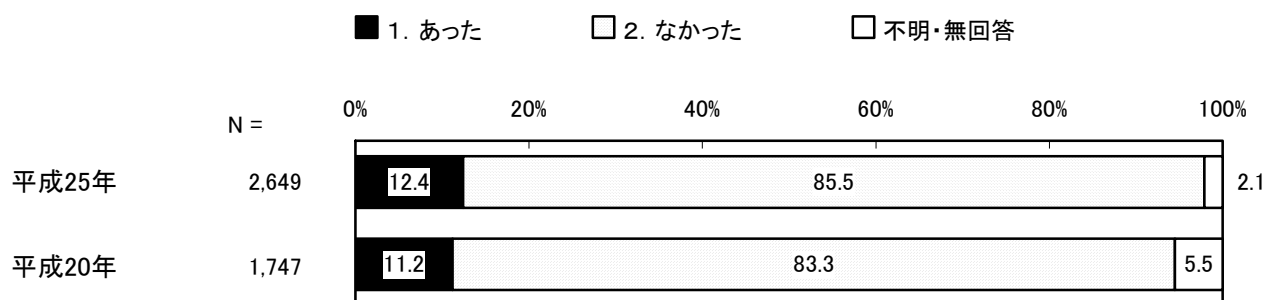
単位：％

区分	有効回答数（件）	児童養護施設等で、子どもを預かってくれる事業	児童館・学童保育所等で、子どもを預かってくれる事業	地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業）	その他	どのような事業でもよい	不明・無回答
ひとり親	56	17.9	60.7	30.4	8.9	16.1	7.1
共働き	100	7.0	70.0	33.0	6.0	9.0	6.0
フルタイム・パート	147	10.9	68.7	27.9	3.4	12.9	6.8
専業主婦（夫）	115	13.0	62.6	27.8	10.4	11.3	7.0
両親ともパート	1	—	100.0	100.0	—	—	—
両親とも無業	—	—	—	—	—	—	—

6 宿泊を伴う一時預かりについて

問１６－１ この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。

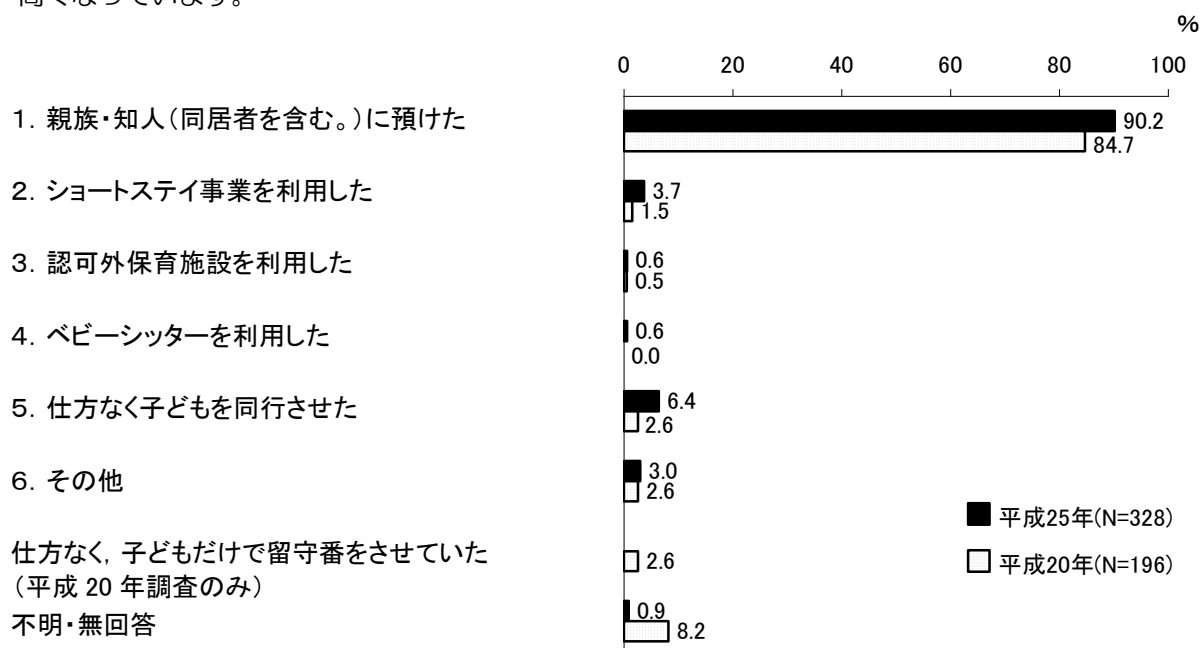
「１．あった」の割合が１２．４％、「２．なかった」の割合が８５．５％となっています。
平成２０年調査と比較しても、大きな差異はありません。



問１６－１で「あった」を選んだ方にお聞きします。

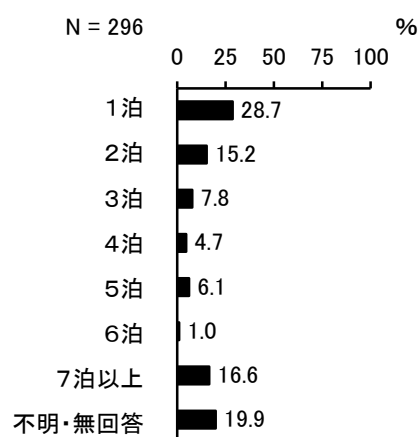
問１６－２ この１年間の対処方法について、当てはまる番号すべてに○をつけ、泊数を記入してください。

「１．親族・知人（同居者を含む。）に預けた」の割合が９０．２％と最も高くなっています。
平成２０年調査と比較すると、「１．親族・知人（同居者を含む。）に預けた」の割合が５．５ポイント高くなっています。

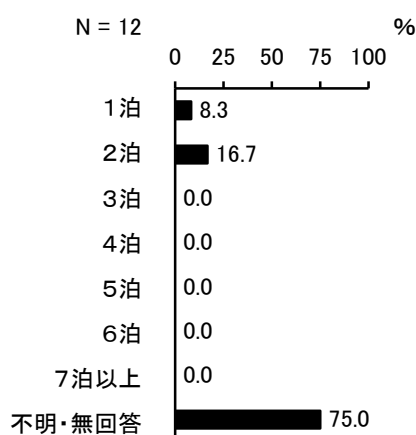


【対処方法別泊数】

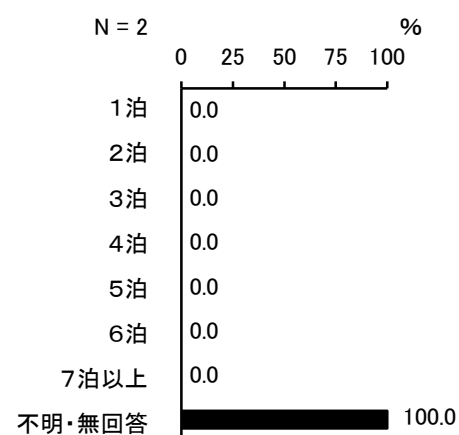
1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



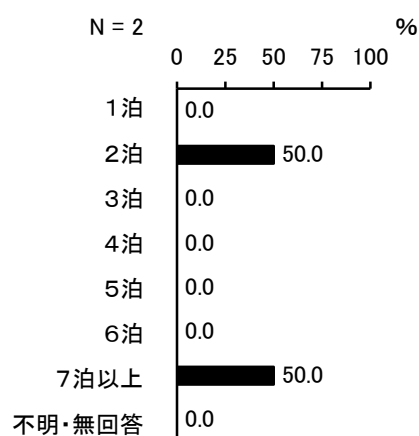
2. ショートステイ事業を利用した



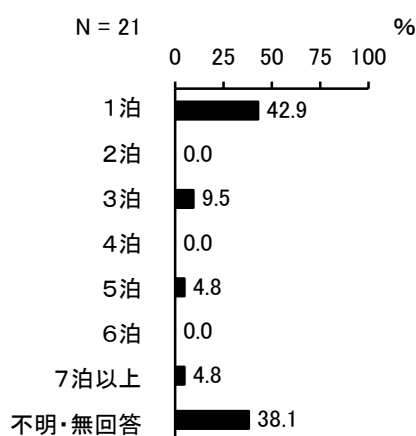
3. 認可外保育施設を利用した



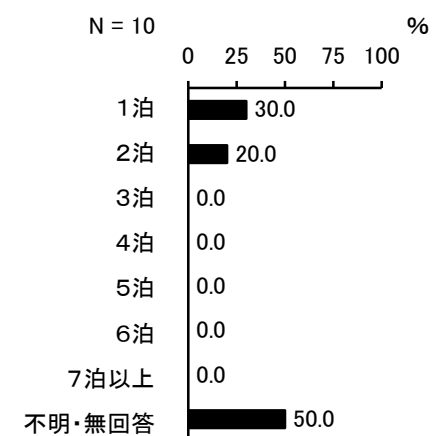
4. ベビーシッターを利用した



5. 仕方なく子どもを同行させた



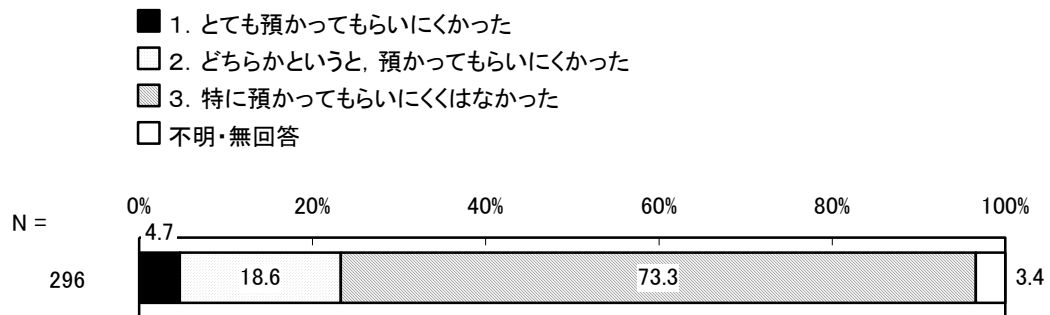
6. その他



問 16-2 で「親族・知人（同居者を含む。）に預けた」を選んだ方にお聞きします。

問 16-3 その際は預かってもらいやすい状況でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「3. 特に預かってもらいにくくはなかった」の割合が73.3%と最も高く、次いで「2. どちらかというと、預かってもらいにくかった」が18.6%となっています。



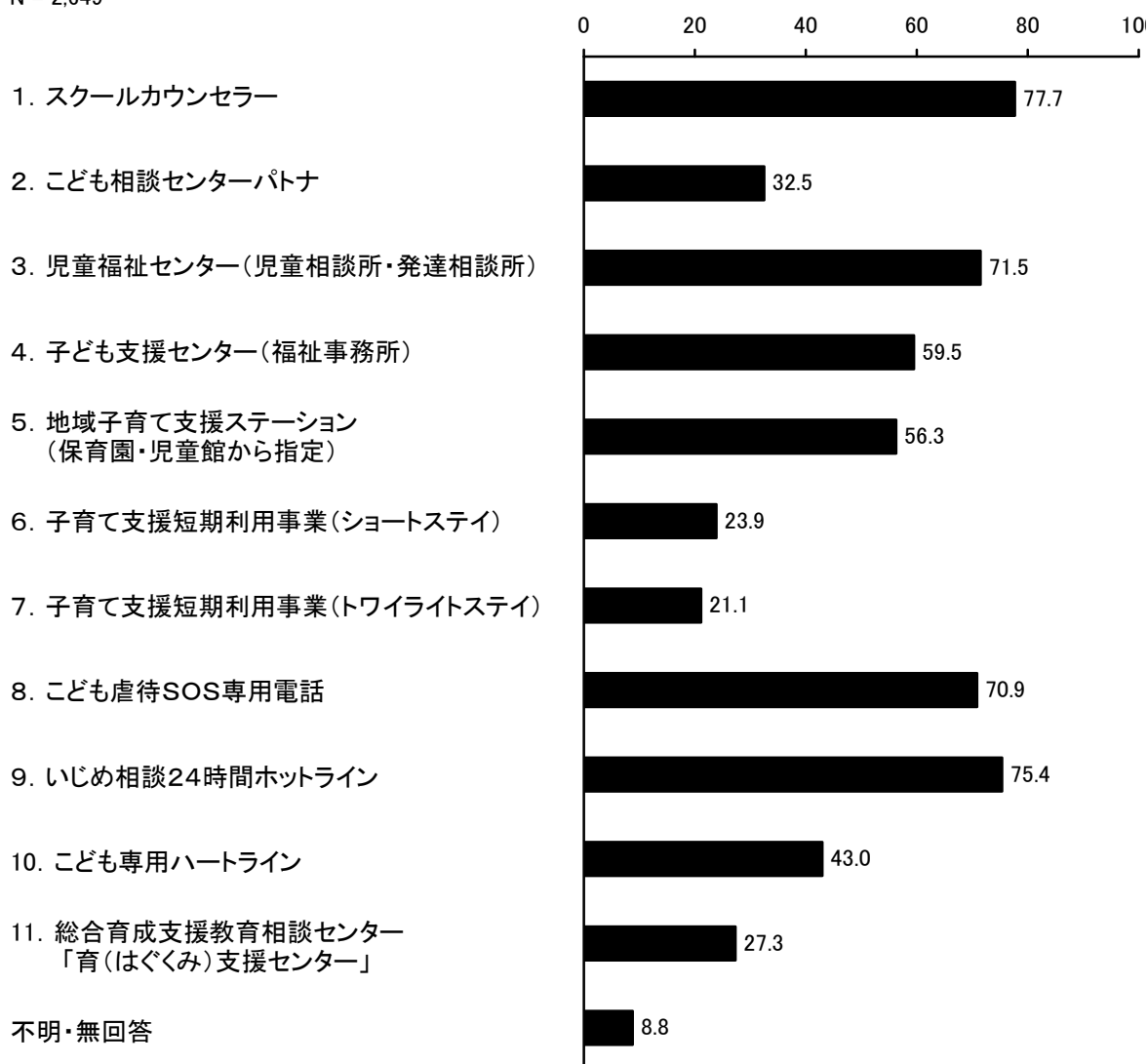
7 地域の子育て支援のための事業の利用等について

問 17 以下の子育て支援施策の利用等についてお聞きします。下表の施策ごとに、A～Cの当てはまるものすべてに○をつけてお答えください。

A 知っている

「1. スクールカウンセラー」の割合が77.7%と最も高く、次いで「9. いじめ相談24時間ホットライン」が75.4%、「3. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）」が71.5%、「8. 子ども虐待SOS専用電話」が70.9%などとなっています。

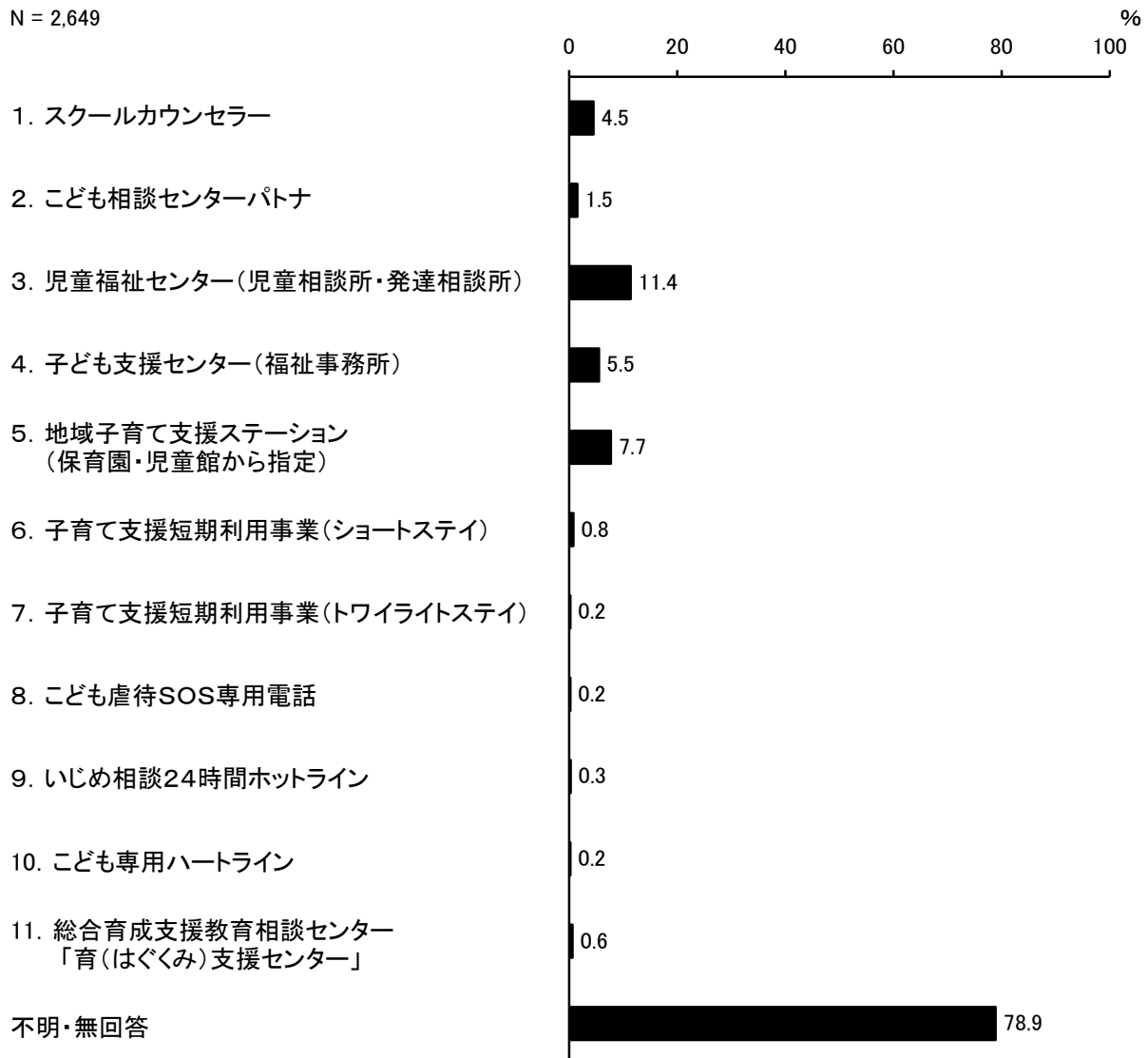
N = 2,649



B これまでに利用したことがある

「3. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）」の割合が11.4%と最も高くなっています。

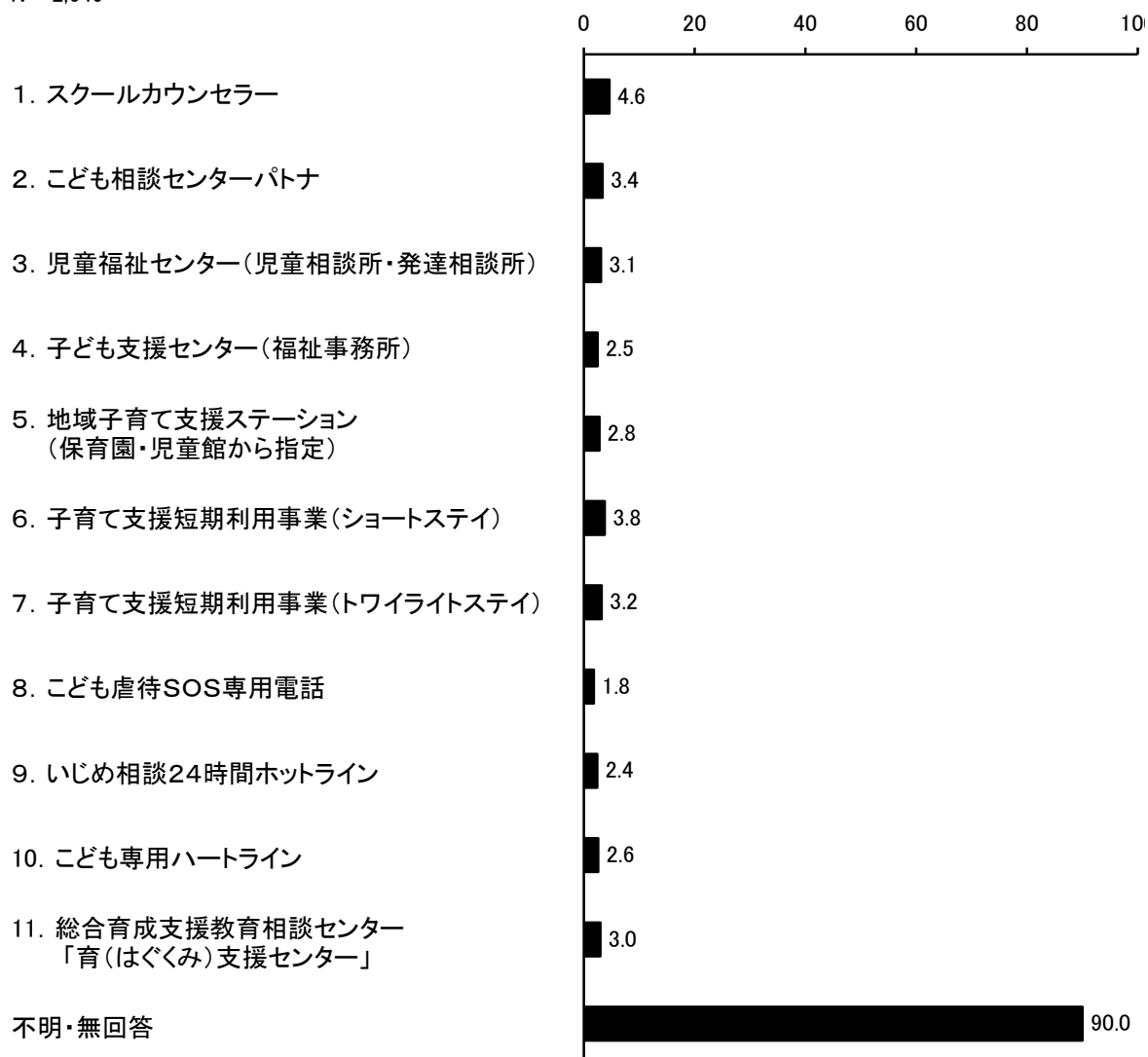
N = 2,649



C 今後利用したい

「1. スクールカウンセラー」の割合が4.6%と最も高くなっています。

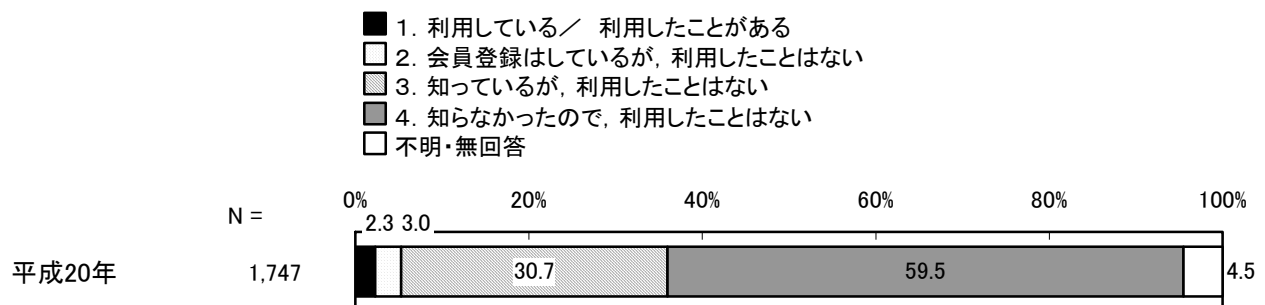
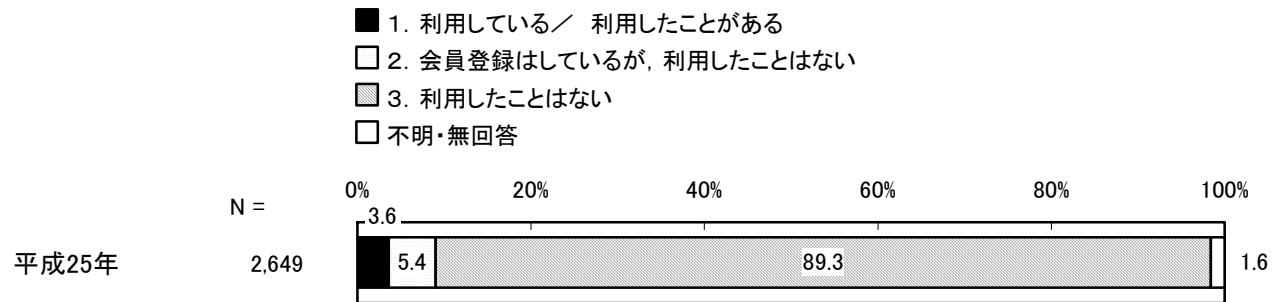
N = 2,649



8 ファミリーサポート事業の利用について

問 18-1 ファミリーサポート事業の利用について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

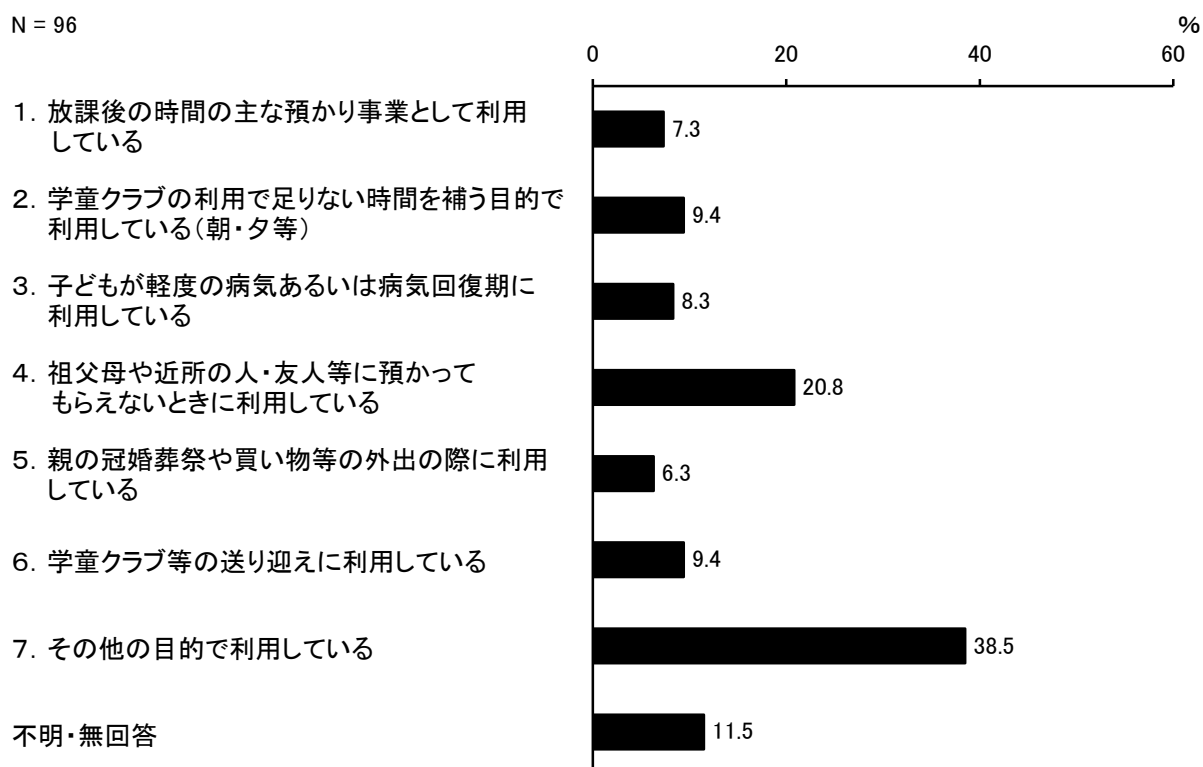
「3. 利用したことはない」の割合が89.3%と最も高くなっています。



問 18-1 で「利用している/ 利用したことがある」を選んだ方にお聞きします。

問 18-2 事業の利用目的について、当てはまる番号すべてに○をつけください。

「7. その他の目的で利用している」の割合が38.5%と最も高く、次いで「4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が20.8%となっています。

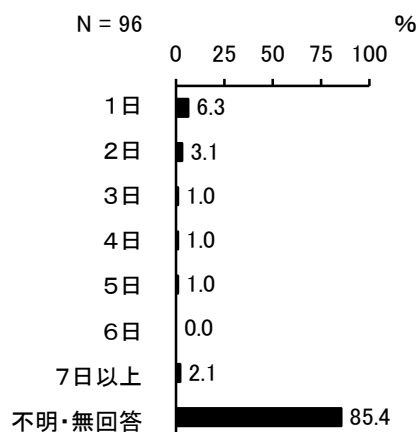


問 18-1 で「利用している/ 利用したことがある」を選んだ方にお聞きします。

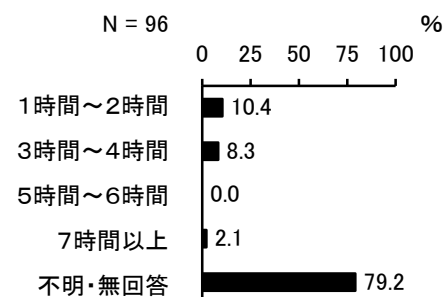
問 18-3 現在どの程度利用しており、希望としてはどのぐらい利用したいか、() 内に数字を記入してください。

【現在】

〔1 月あたり利用回数〕

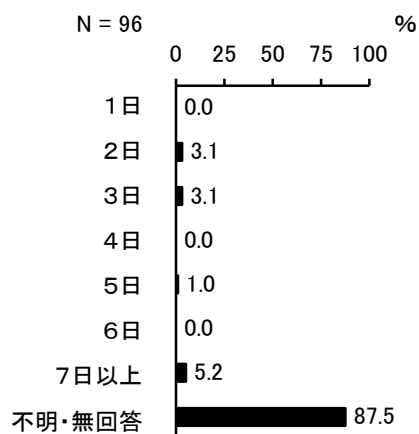


〔1 回あたり利用時間〕

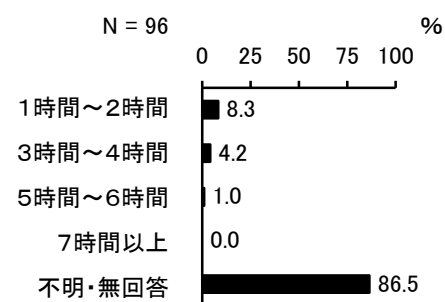


【希望】

〔1 月あたり利用希望回数〕



〔1 回あたり利用希望時間〕

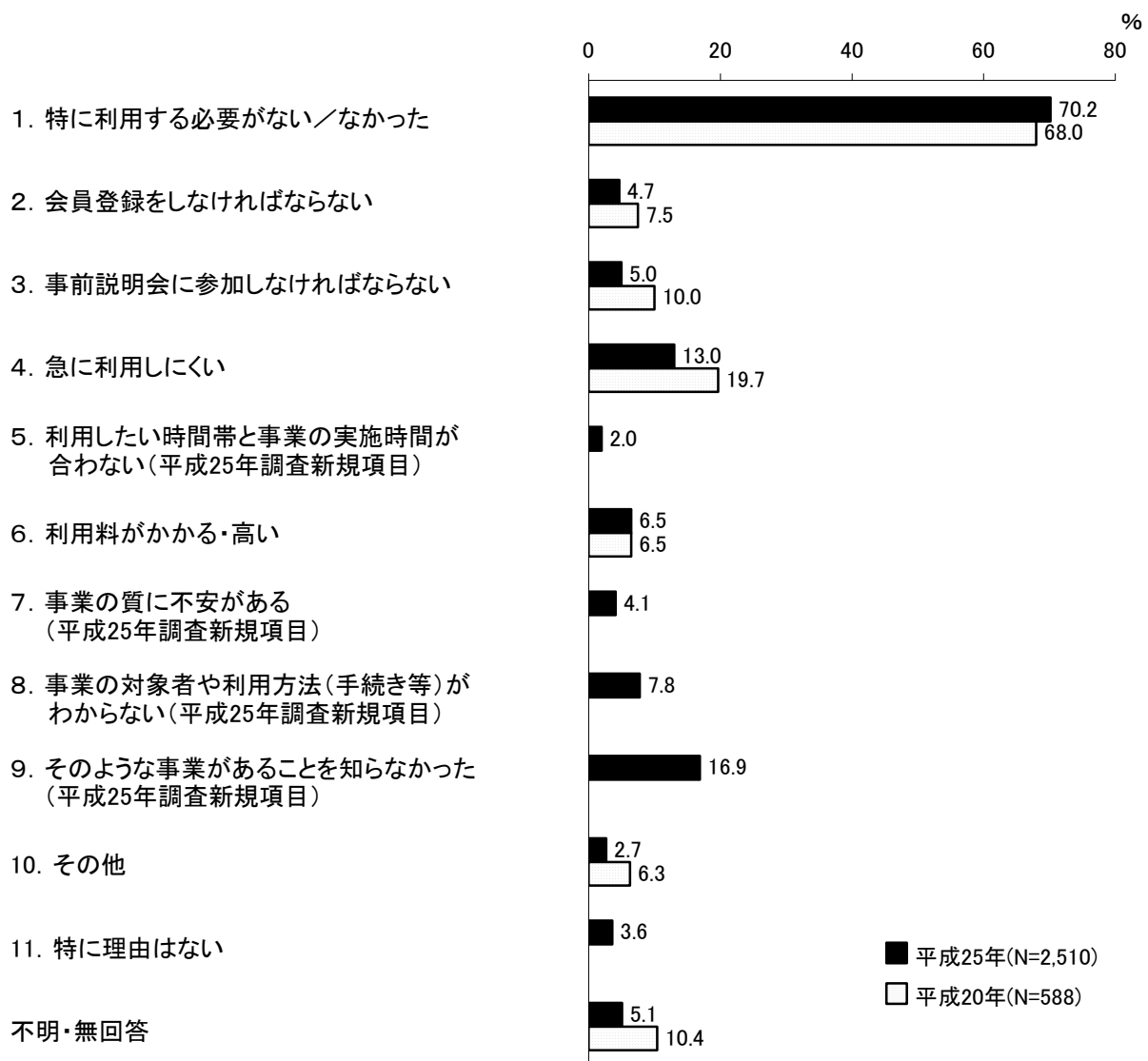


問18-1で「会員登録はしているが、利用したことはない」又は「利用したことはない」を選んだ方にお聞きします。

問18-4 利用していない理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

「1. 特に利用する必要がない／なかった」の割合が70.2%と最も高く、次いで「9. そのような事業があることを知らなかった」が16.9%、「4. 急に利用しにくい」が13.0%などとなっています。

平成20年調査と比較すると、「4. 急に利用しにくい」の割合が6.7ポイント、「3. 事前に説明会に参加しなければならない」の割合が5.0ポイント低くなっています。



[子どもの学年別]

子どもの学年別でみると、すべての区分において「1. 特に利用する必要がない／なかった」の割合が最も高くなっており、学年が上がるにつれて、その割合が高くなっています。

単位：％

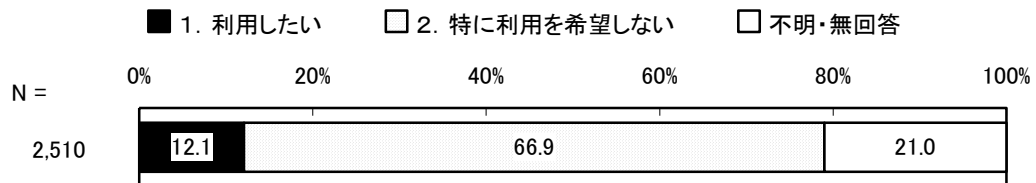
区分	有効回答数 (件)	特に利用する必要 がない／なかった	会員登録をしな ければならない	事前説明会に参 加しなければなら ない	急に利用しにく い	利用したい時間 帯と事業の実施時 間帯が合わない	利用料がかかる・高 い
6歳(1年生)	546	67.8	5.1	5.7	14.8	2.0	7.9
7歳(2年生)	496	66.9	6.9	6.5	16.7	2.4	8.5
8歳(3年生)	445	68.1	5.2	5.6	13.0	2.0	8.3
9歳(4年生)	346	72.0	4.3	4.3	11.3	2.9	6.1
10歳(5年生)	308	74.4	1.9	2.3	8.4	0.6	3.9
11歳(6年生)	292	76.0	2.7	3.8	8.6	1.7	2.1

区分	事業の質に不安が ある	事業の対象者や利 用方法(手続き等) がわからない	そのような事業が あることを知らな かった	その他	特に理由はない	不明・無回答
6歳(1年生)	5.5	9.9	17.4	4.8	2.9	5.3
7歳(2年生)	5.2	8.7	15.1	3.0	4.0	5.2
8歳(3年生)	3.4	7.4	17.1	2.2	4.7	4.9
9歳(4年生)	2.9	7.2	17.3	1.2	2.6	4.3
10歳(5年生)	1.9	5.8	19.5	1.0	2.9	5.8
11歳(6年生)	4.1	5.5	15.4	1.7	4.5	5.8

問１８－１で「会員登録はしているが、利用したことはない」又は「利用したことはない」を選んだ方にお聞きします。

問１８－５ 今後、利用したいですか。

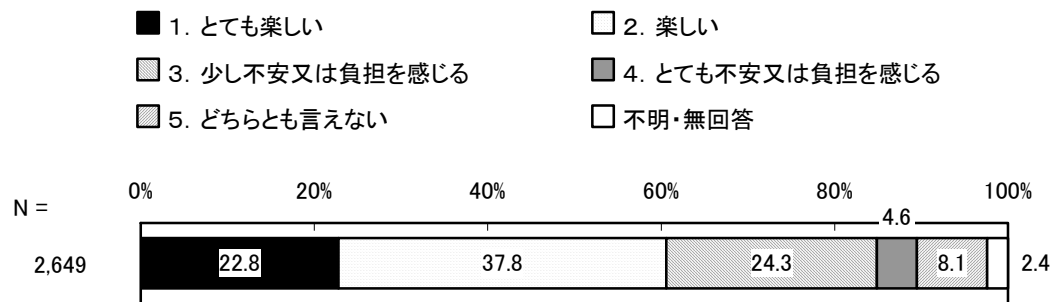
「１．利用したい」の割合が１２．１％、「２．特に利用を希望しない」の割合が６６．９％となっています。



9 その他子育てに関することについて

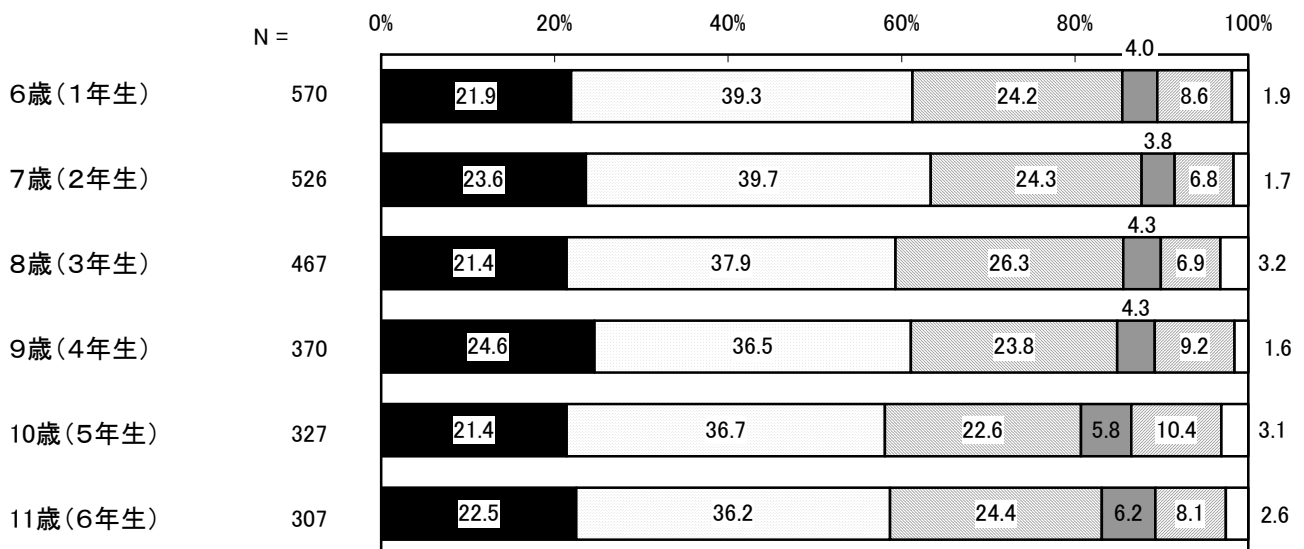
問19 子育てをしている今の気持ちについて、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」を合わせた子育てが“楽しいと感じる人”の割合が60.6%に対し、「3. 少し不安又は負担を感じる」と「4. とても不安又は負担を感じる」を合わせた子育てに“不安又は負担を感じる人”の割合が28.9%となっています。



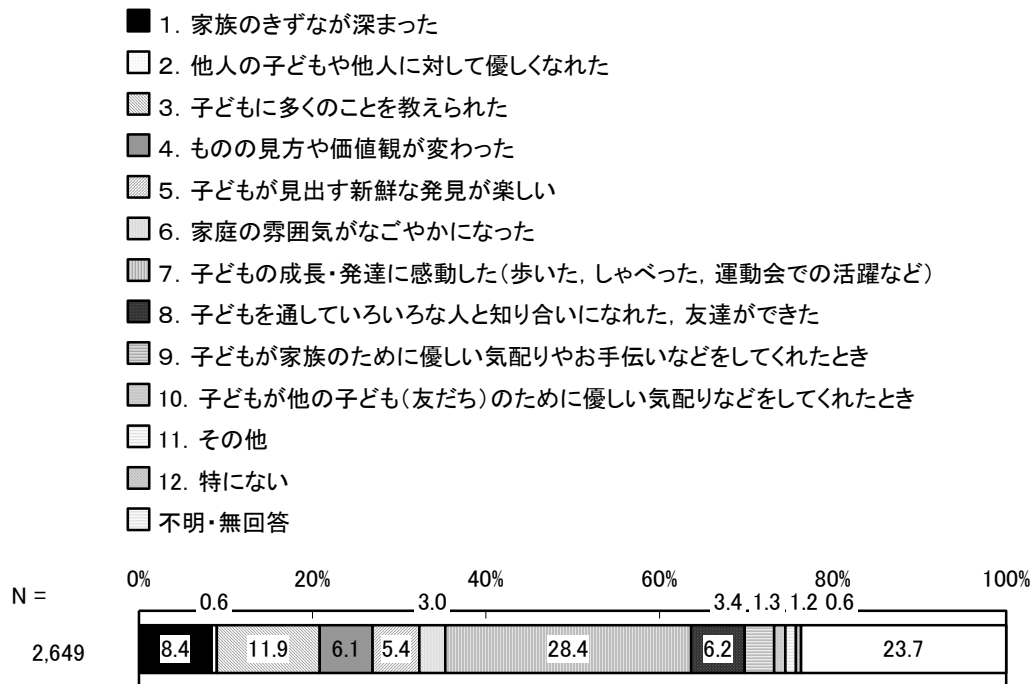
[子どもの年齢別]

子どもの年齢別にみても、回答の傾向に大きな差異は見られません。



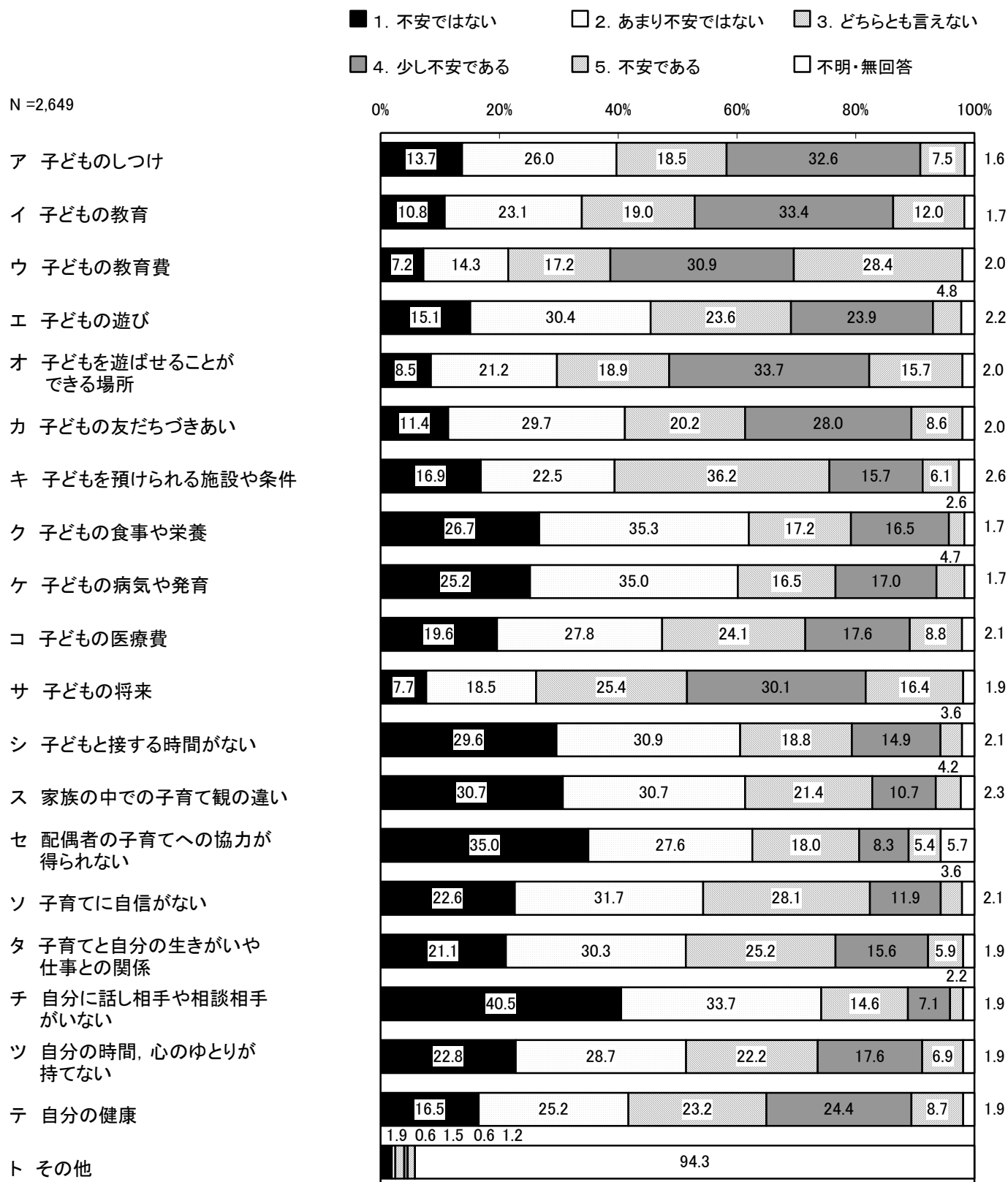
問20 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じることを、感じるタイミングについて、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

「7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」の割合が28.4%と最も高く、次いで「3. 子どもに多くのことを教えられた」が11.9%などとなっています。



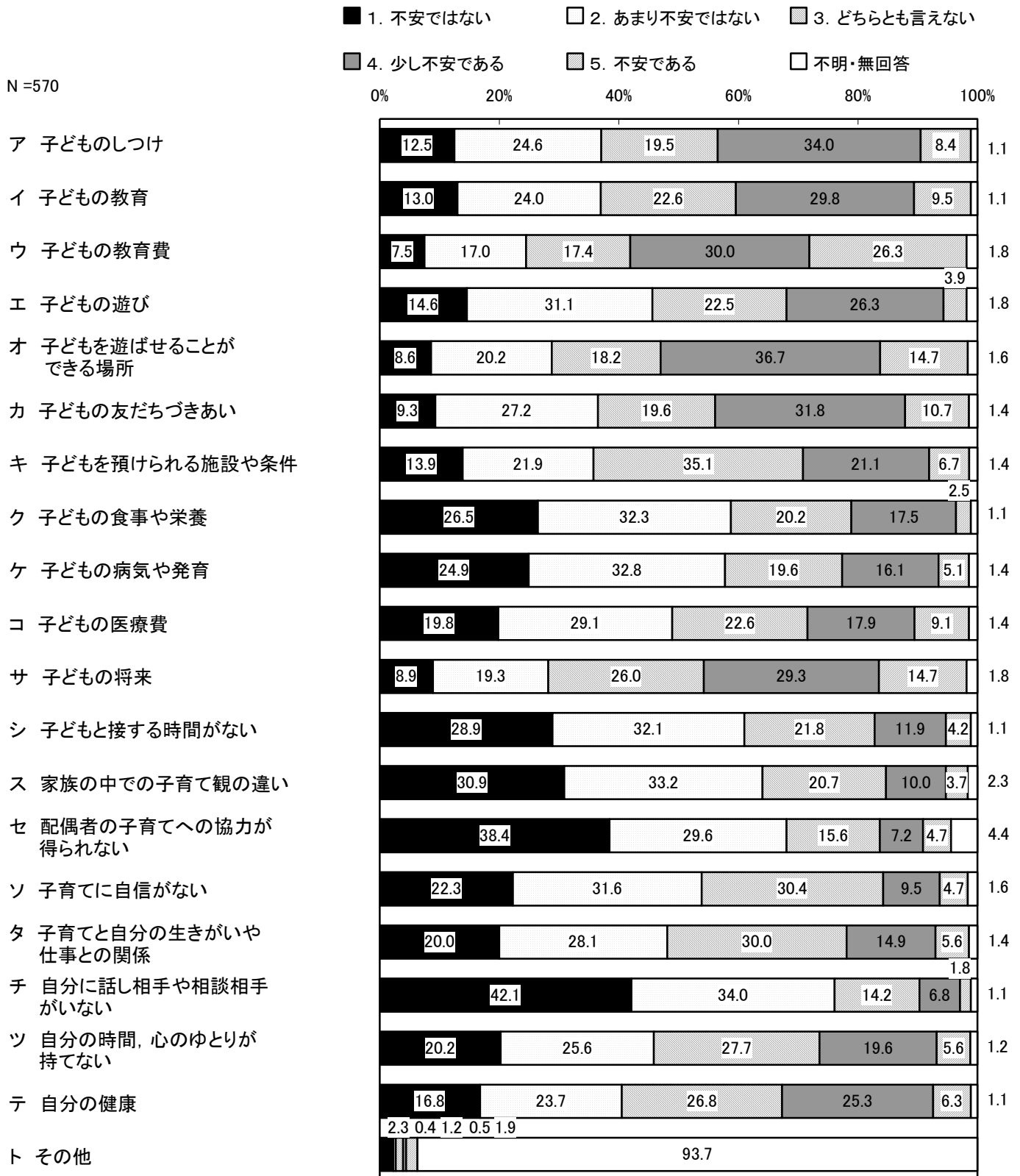
問 2 1 宛名のお子さんを育てていて、日頃不安に感じていることはありますか。各項目について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ウ 子どもの教育費」で「4. 少し不安である」、「5. 不安である」を合わせた“不安である”の割合が59.3%と高くなっています。

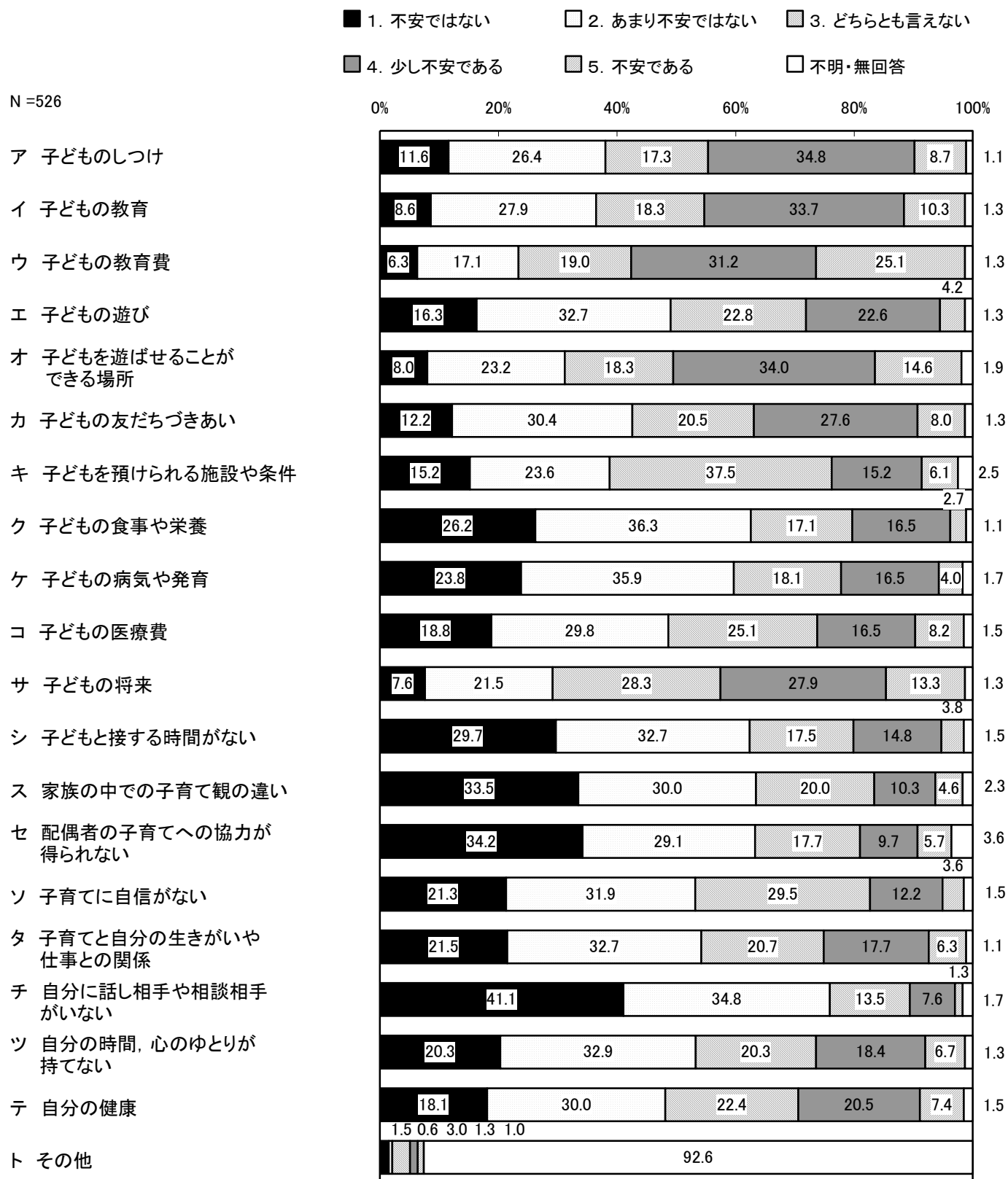


[子どもの学年別]

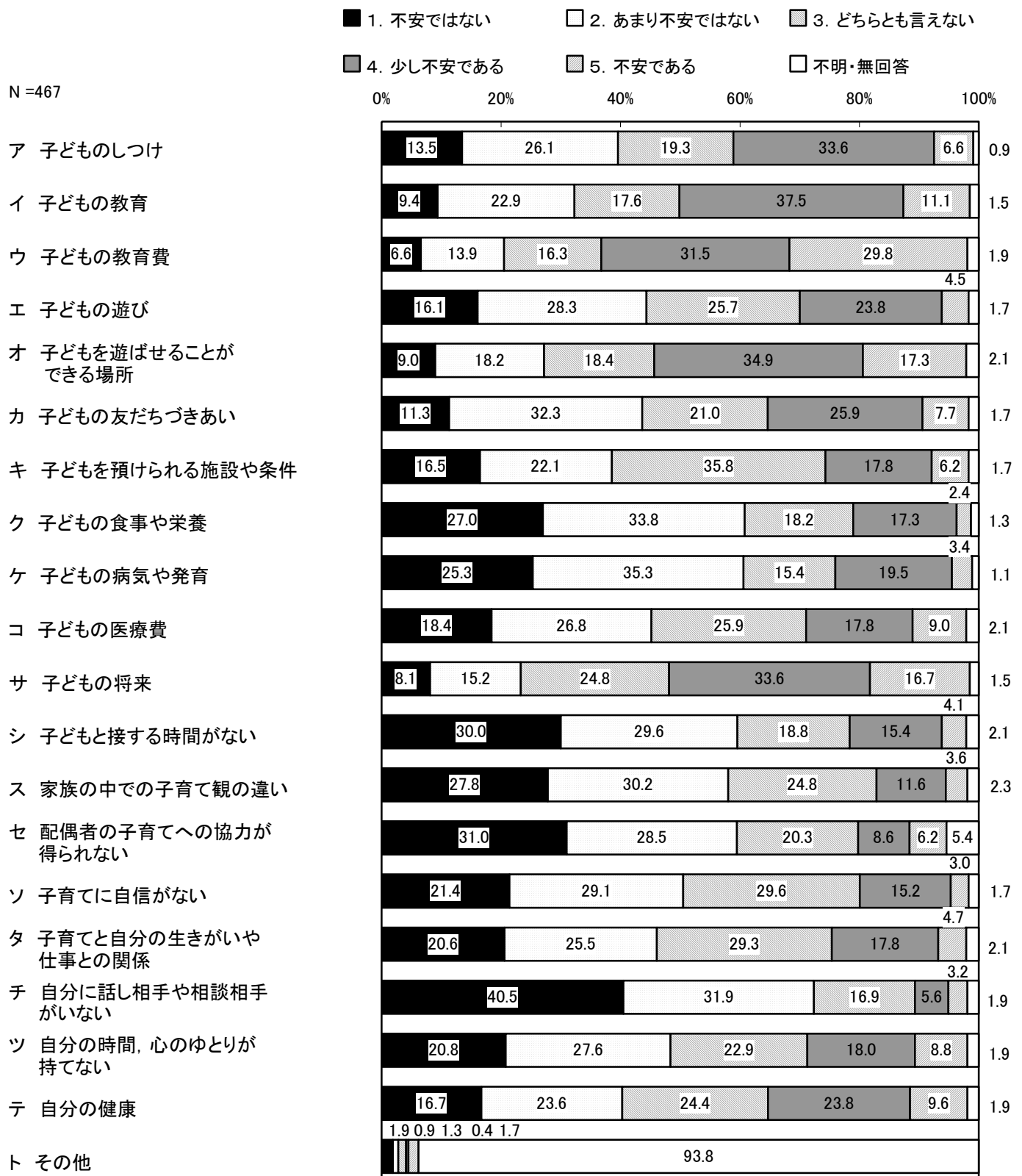
< 1年生 >



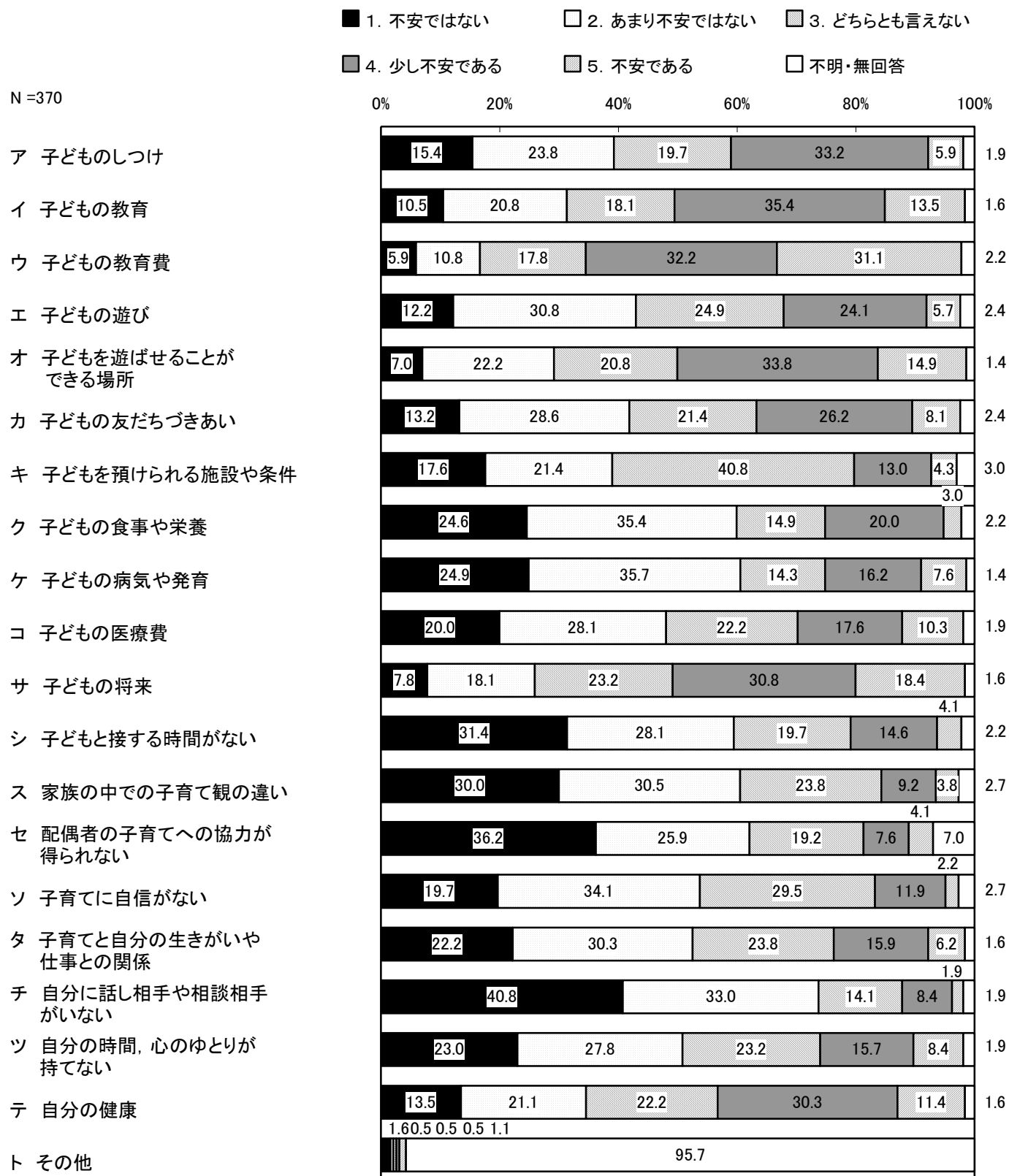
< 2 年生 >



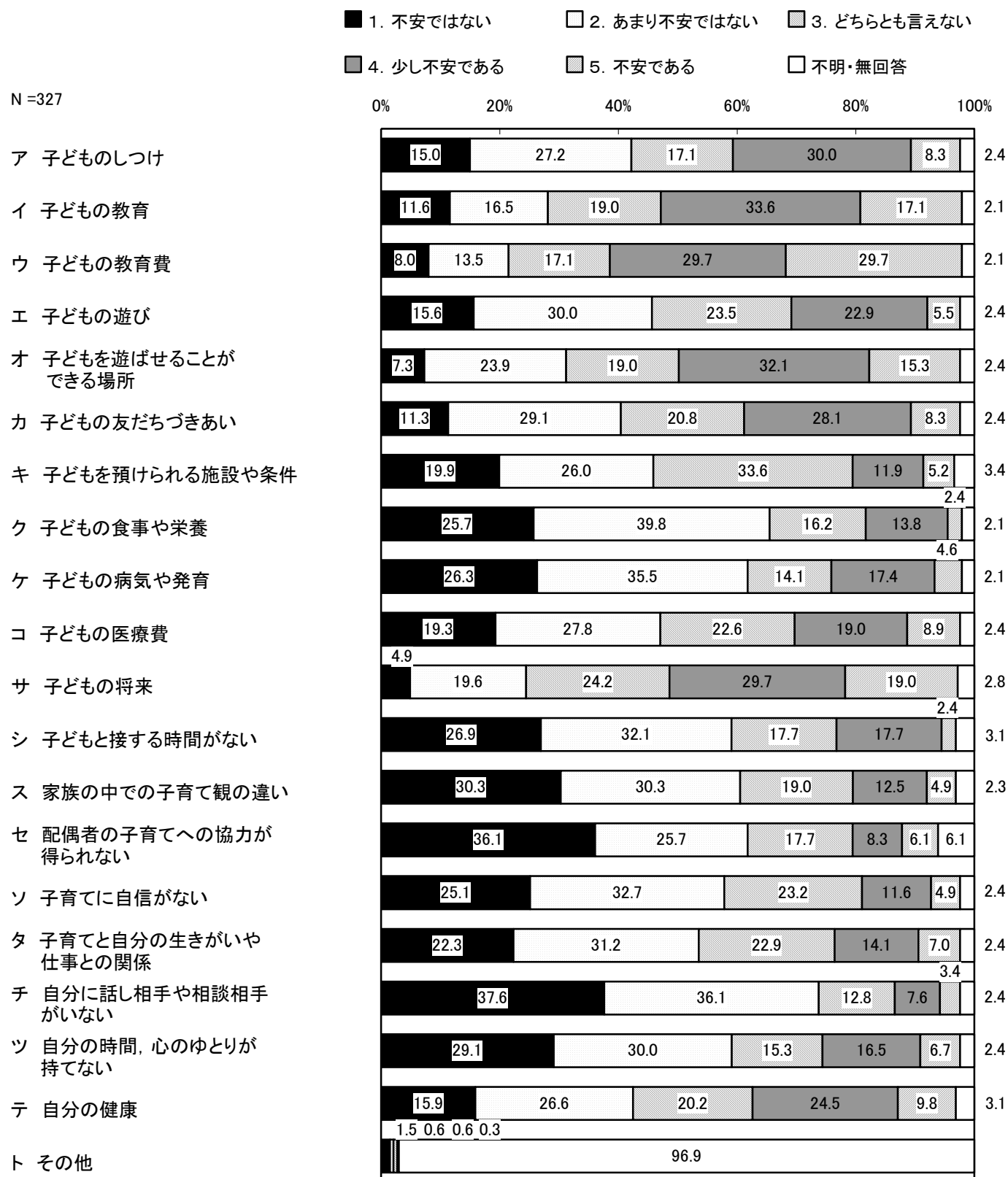
< 3 年生 >



< 4 年生 >



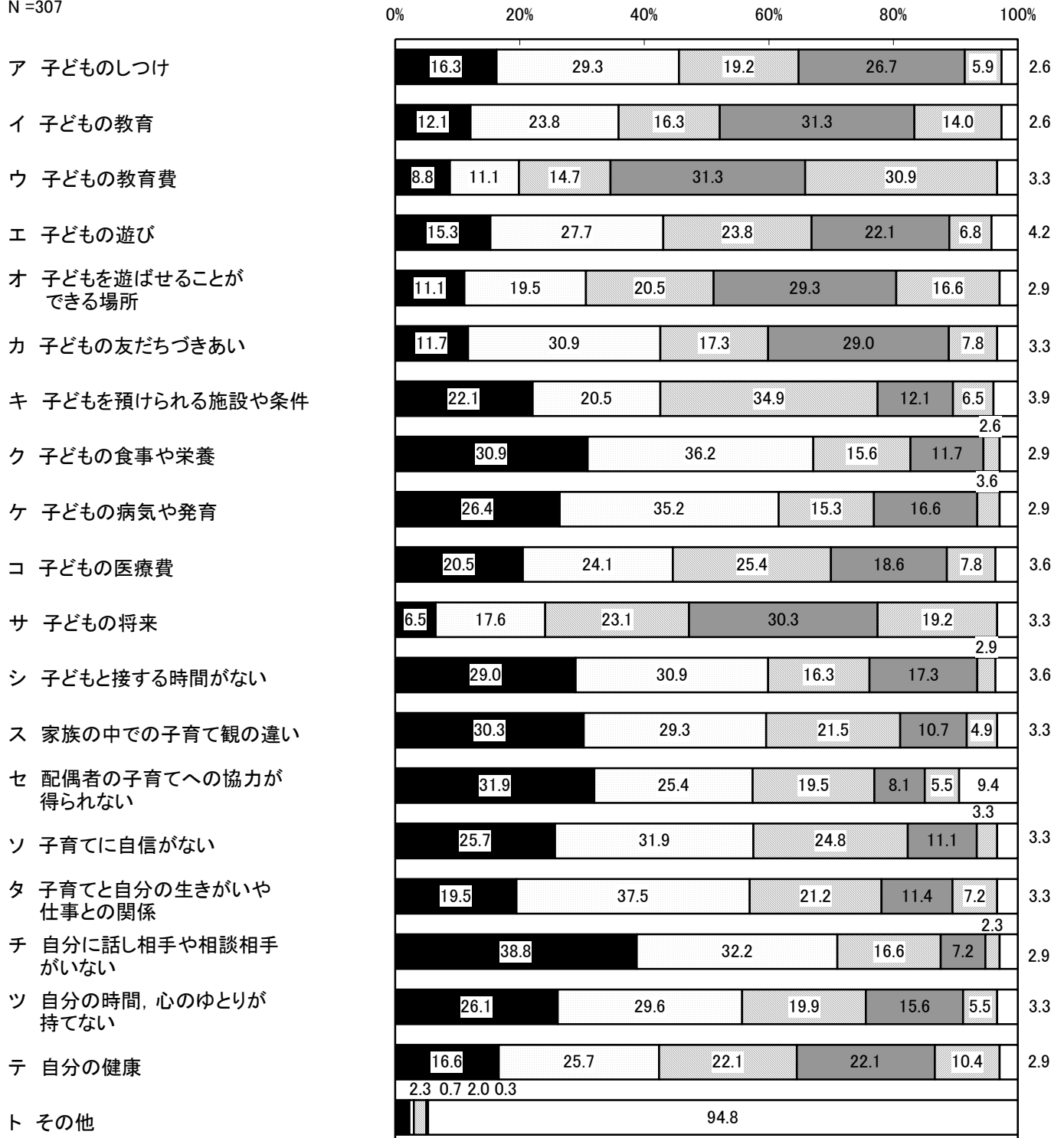
< 5 年生 >



< 6 年生 >

- ☒ 1. 不安ではない ☐ 2. あまり不安ではない ☐ 3. どちらとも言えない
☐ 4. 少し不安である ☐ 5. 不安である ☐ 不明・無回答

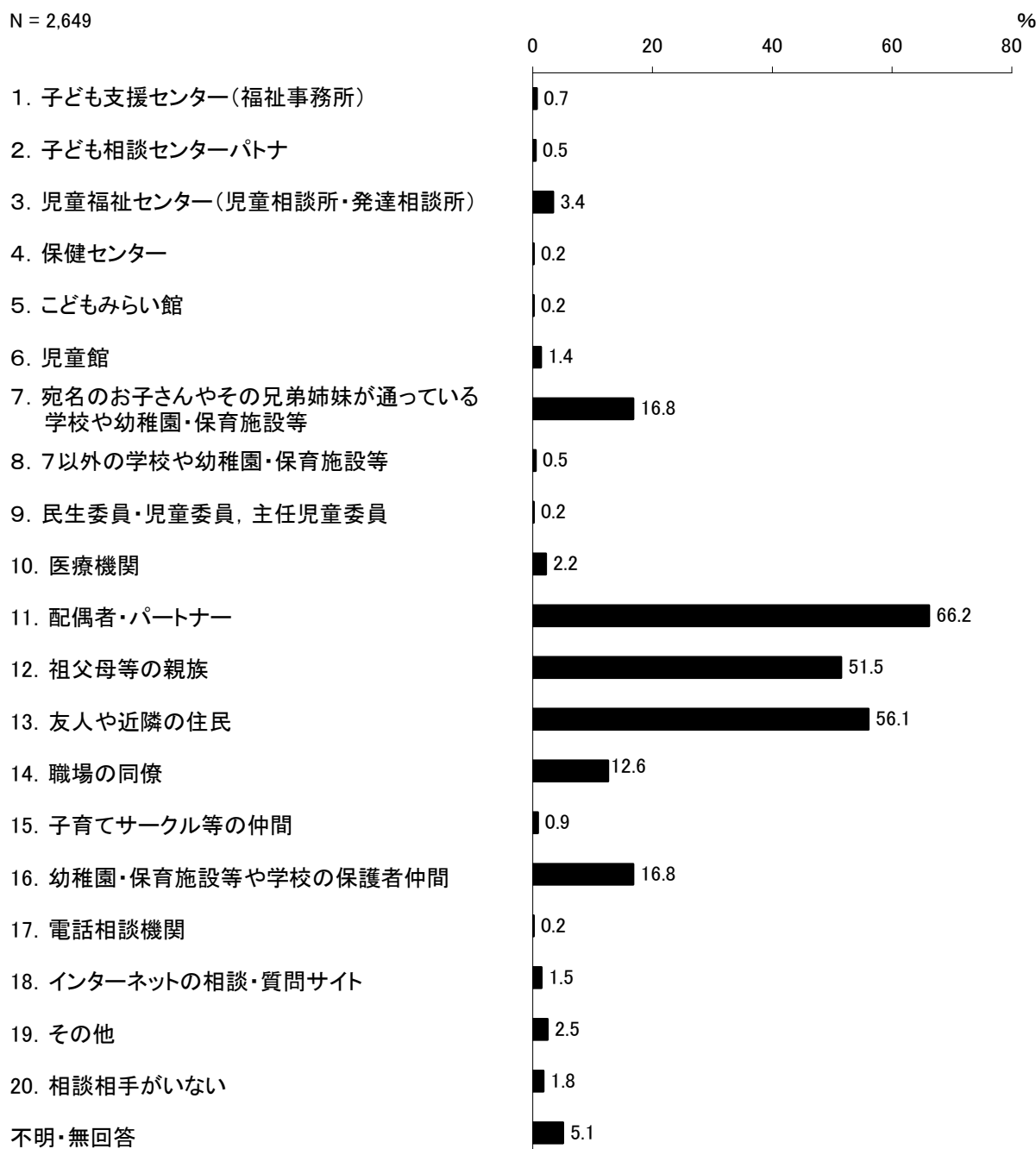
N = 307



問 2 2 宛名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる不安や悩みを、どこに、または誰に相談していますか。多いもの3つまでの番号に○をしてください。

「1 1. 配偶者・パートナー」の割合が66.2%と最も高く、次いで「1 3. 友人や近隣の住民」が56.1%、「1 2. 祖父母等の親族」が51.5%などとなっています。

N = 2,649



[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、いずれの学年でも「11. 配偶者・パートナー」、「13. 友人や近隣の住民」、「12. 祖父母等の親族」の割合が高くなっており、学年の違いによる差異は見られません。

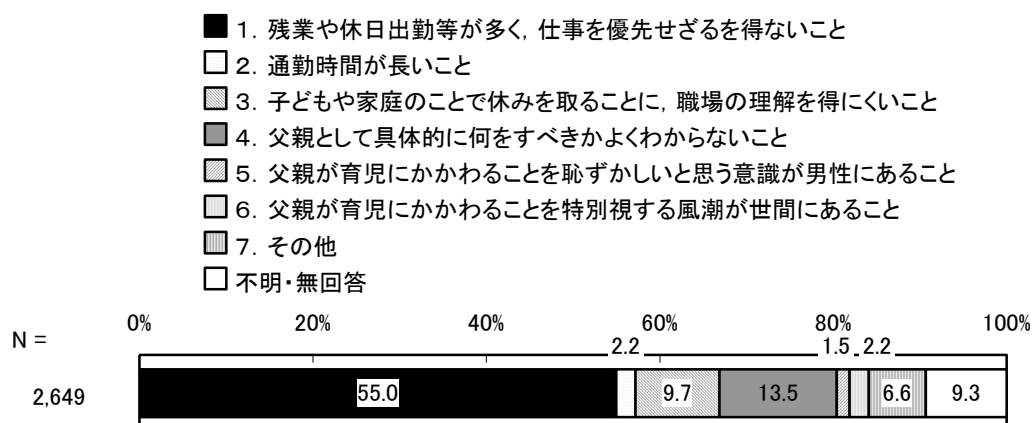
単位：％

区分	有効回答数（件）	子ども支援センター（福祉事務所）	子ども相談センター・パトナ	児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）	保健センター	こどもみらい館	児童館	宛名のお子さんやその兄弟姉妹が通っている学校や幼稚園・保育施設等	7以外の学校や幼稚園・保育施設等	民生委員・児童委員、主任児童委員	医療機関
6歳（1年生）	570	0.7	—	4.9	0.2	0.4	2.3	20.2	0.5	0.2	1.9
7歳（2年生）	526	0.8	—	1.7	0.4	0.2	1.9	16.9	0.2	0.2	1.9
8歳（3年生）	467	0.6	0.9	2.8	—	—	1.5	18.8	0.6	0.2	1.5
9歳（4年生）	370	0.5	0.5	3.0	—	0.5	0.8	15.4	—	0.5	3.2
10歳（5年生）	327	0.3	1.2	4.0	0.6	—	0.6	13.8	0.9	—	2.8
11歳（6年生）	307	0.3	0.7	4.2	—	—	0.3	14.0	1.0	—	1.6

区分	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	友人や近隣の住民	職場の同僚	子育てサークル等の仲間	幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間	電話相談機関	インターネットの相談・質問サイト	その他	相談相手がない	不明・無回答
6歳（1年生）	68.9	51.8	55.4	11.1	0.9	20.9	0.2	1.1	1.2	1.2	5.8
7歳（2年生）	67.3	54.8	56.7	9.7	1.0	18.4	—	1.3	2.5	2.1	5.5
8歳（3年生）	69.8	55.5	55.5	12.2	0.4	15.4	—	0.6	1.5	1.3	4.3
9歳（4年生）	64.9	51.9	56.2	13.8	0.8	17.8	—	2.4	2.4	1.6	4.6
10歳（5年生）	66.7	47.1	56.6	15.0	1.8	13.1	0.3	0.6	4.6	3.4	3.1
11歳（6年生）	58.0	44.3	57.0	17.3	1.0	11.7	0.3	3.6	3.9	2.3	6.2

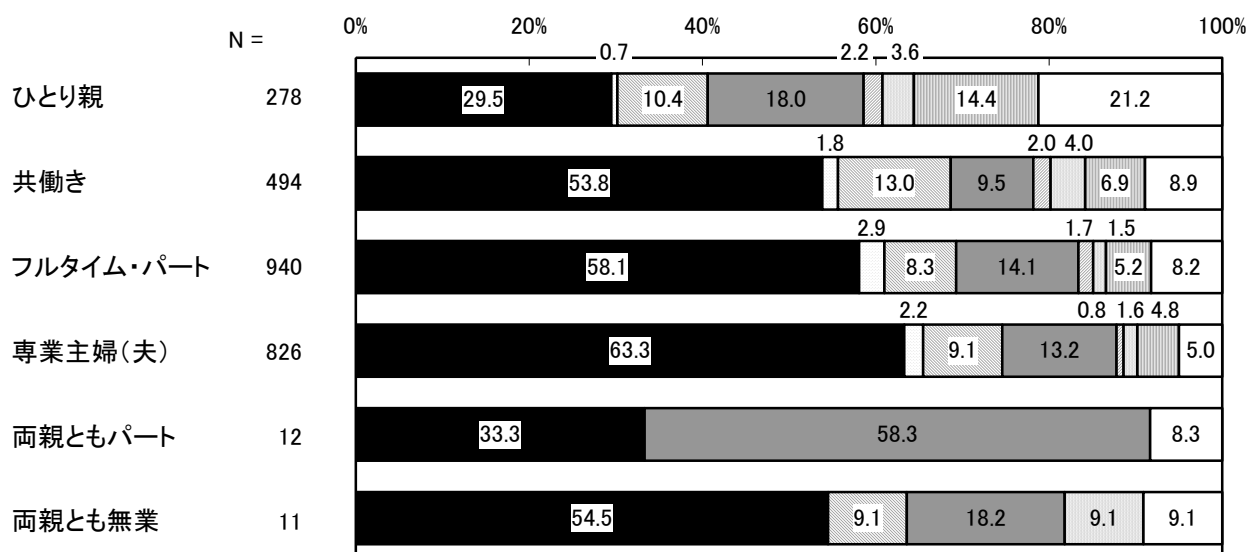
問 2 3 近年、子育てへの父親のかかわりが少ないことが問題となっていますが、その理由をどのように考えますか。最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が55.0%と最も高く、次いで「4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと」が13.5%となっています。



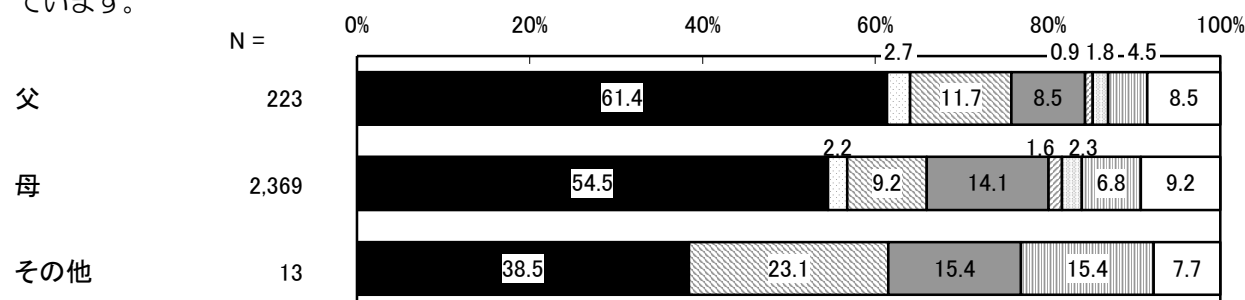
[家族類型別]

家族類型別にみると、「共働き」、「フルタイム・パート」、「専業主婦」、「両親とも無業」で「1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が5割以上となっています。



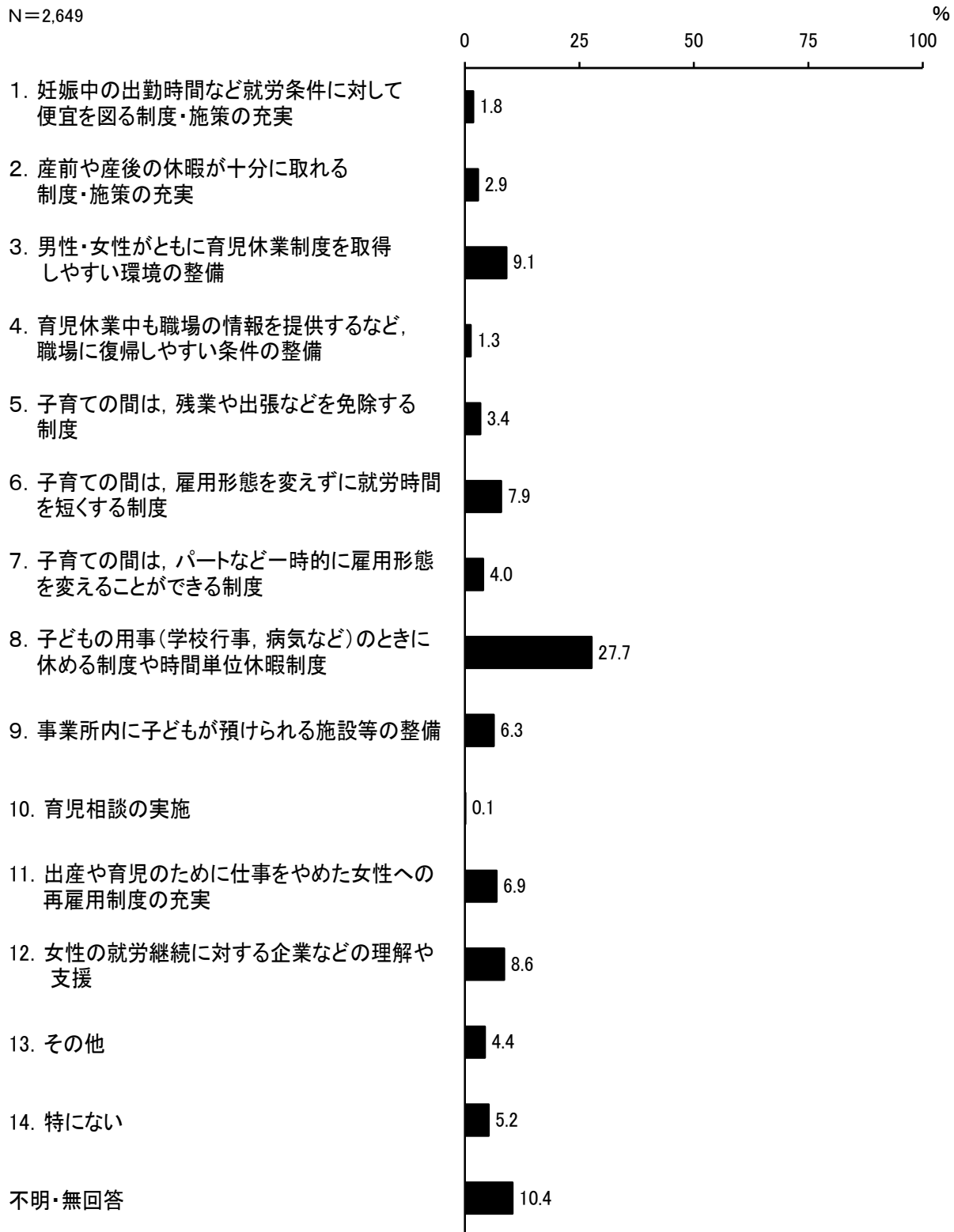
[記入者別]

父母別にみると、「父」で「1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が、
 「母」で「4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと」の割合が他の区分に比べ高くなっています。



問 2 4 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に取り組んでほしいと思いますか。最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

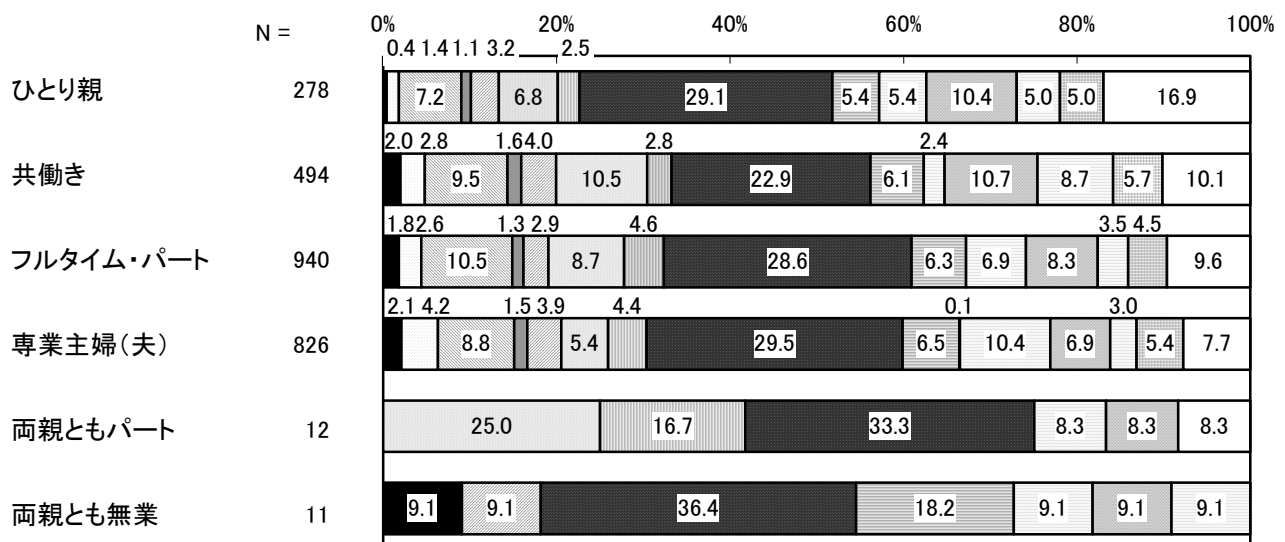
「8. 子どもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度」の割合が 27.7%と最も高くなっています。



〔家族類型別〕

家族類型別にみると、いずれの区分でも「8. 子どもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高くなっていますが、「両親ともパート」では「6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」、「7. 子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

- 1. 妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実
- 2. 産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実
- 3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備
- 4. 育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備
- 5. 子育ての間は、残業や出張などを免除する制度
- 6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度
- 7. 子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度
- 8. 子どもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度
- 9. 事業所内に子どもが預けられる施設等の整備
- 10. 育児相談の実施
- 11. 出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実
- 12. 女性の就労継続に対する企業などの理解や支援
- 13. その他
- 14. 特にない
- 不明・無回答



単位：上段（件）/下段（％）

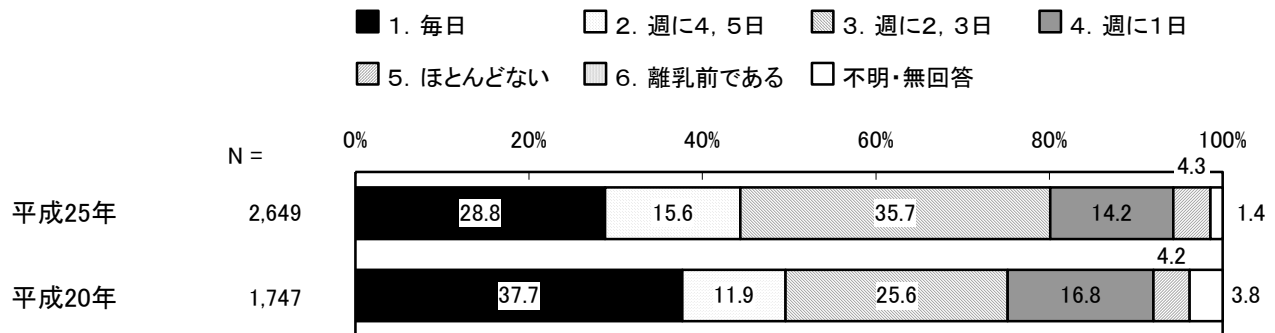
	全 体	妊娠中 の出勤 時間な ど就労 条件に 対して便 宜を図 る制度・ 施策の 充実	産前や 産後の 休暇が 十分に 取れる 制度・施 策の充 実	男性・女 性がと もに育 児休業 制度を 取得し やすい 環境の 整備	育児休 業中も 職場の 情報を 提供す るなど 、職場 に復帰 しやすい 条件の 整備	子育て の間は、 残業や 出張な どを免 除する 制度	子育て の間は、 雇用形 態を変 えずに 就労時 間を短 くする 制度	子育て の間は、 パート など一 時的に 雇用形 態を変 えるこ とがで きる制 度
ひとり親	278 100.0	1 0.4	4 1.4	20 7.2	3 1.1	9 3.2	19 6.8	7 2.5
共働き	494 100.0	10 2.0	14 2.8	47 9.5	8 1.6	20 4.0	52 10.5	14 2.8
フルタイム・パート	940 100.0	17 1.8	24 2.6	99 10.5	12 1.3	27 2.9	82 8.7	43 4.6
専業主婦（夫）	826 100.0	17 2.1	35 4.2	73 8.8	12 1.5	32 3.9	45 5.4	36 4.4
両親ともパート	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	2 16.7
両親とも無業	11 100.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0

	子どもの 用事（ 学校行 事、病 気など） のとき に休め る制度 や時間 単位休 暇制度	事業所 内に子 どもが 預けら れる施 設等の 整備	育児相 談の実 施	出産や 育児の ために 仕事を やめた 女性へ の再雇 用制度 の充実	女性の 就労継 続に対 する企 業など の理解 や支援	その他	特にな い	不明・ 無回答
ひとり親	81 29.1	15 5.4	0 0.0	15 5.4	29 10.4	14 5.0	14 5.0	47 16.9
共働き	113 22.9	30 6.1	0 0.0	12 2.4	53 10.7	43 8.7	28 5.7	50 10.1
フルタイム・パート	269 28.6	59 6.3	0 0.0	65 6.9	78 8.3	33 3.5	42 4.5	90 9.6
専業主婦（夫）	244 29.5	54 6.5	1 0.1	86 10.4	57 6.9	25 3.0	45 5.4	64 7.7
両親ともパート	4 33.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3
両親とも無業	4 36.4	2 18.2	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0

問 25-1 家族そろっての食事はどのくらいありますか。

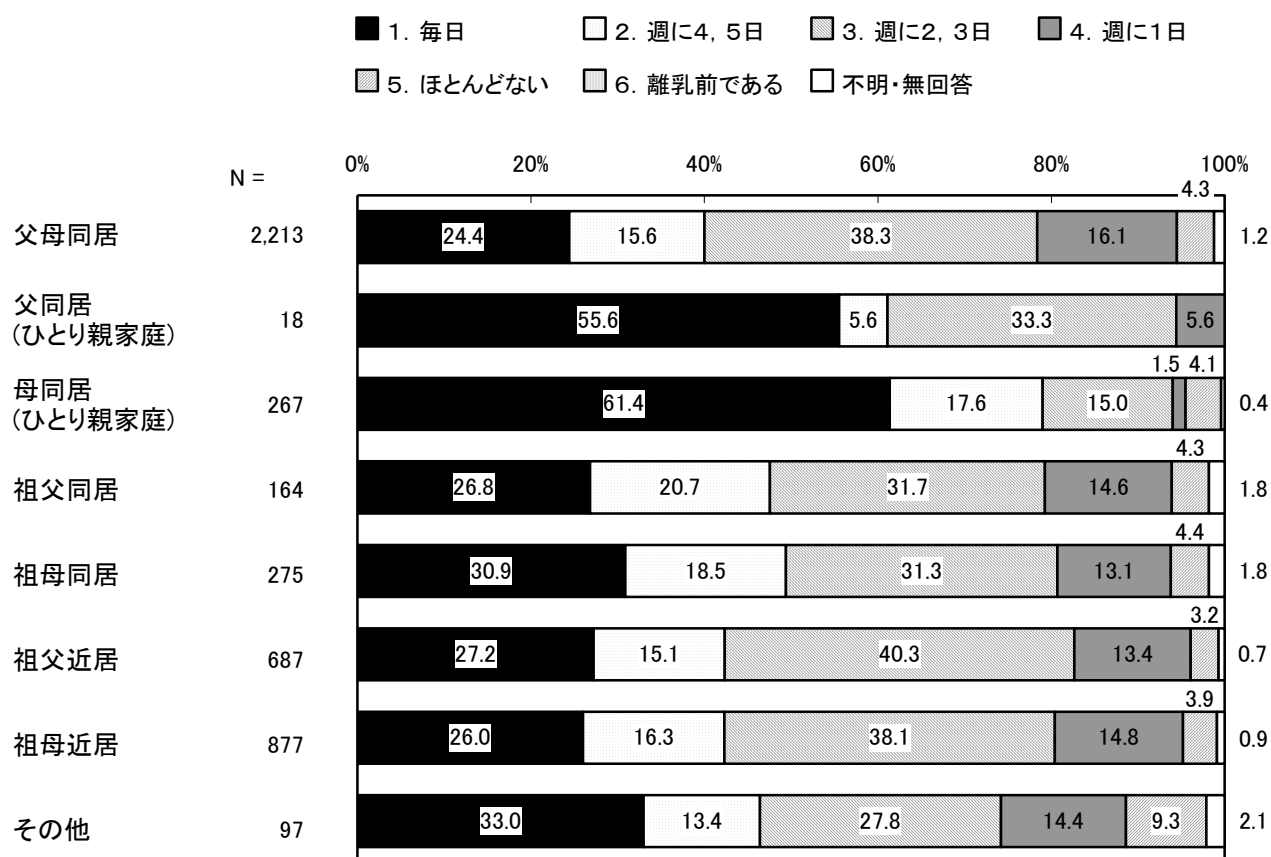
「3. 週に2, 3日」の割合が35.7%と最も高く、次いで「1. 毎日」が28.8%, 「2. 週に4, 5日」が15.6%などとなっています。

平成20年調査と比較すると, 「1. 毎日」の割合が8.9ポイント低くなり, 「3. 週に2, 3日」の割合が10.1ポイント高くなっています。



[同居・近居の状況別]

同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」、「母同居（ひとり親家庭）」で「1. 毎日」の割合が、他の区分に比べ高くなっています。

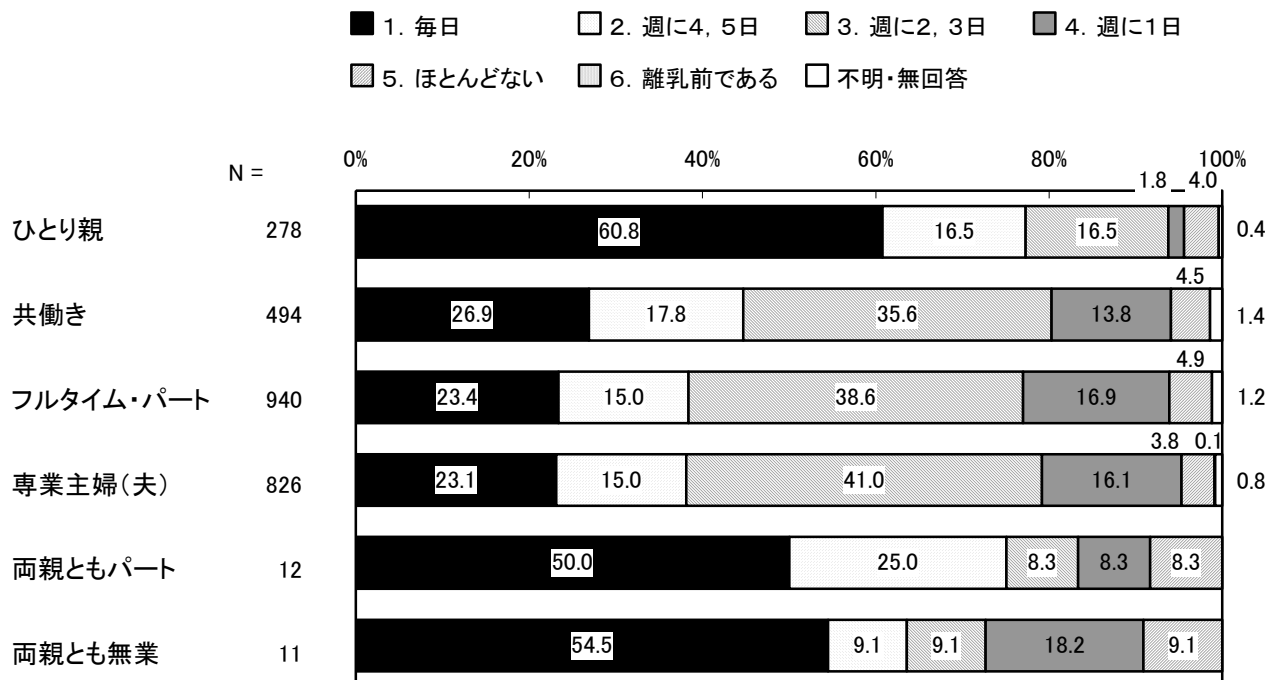


単位: 上段(件)/下段(%)

	全 体	毎 日	週に4, 5 日	週に2, 3 日	週に1日	ほとん ど ない	離乳前 で ある	不明・ 無回答
父母同居	2,213 100.0	541 24.4	346 15.6	847 38.3	356 16.1	95 4.3	1 0.0	27 1.2
父同居 (ひとり親家庭)	18 100.0	10 55.6	1 5.6	6 33.3	0 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
母同居 (ひとり親家庭)	267 100.0	164 61.4	47 17.6	40 15.0	4 1.5	11 4.1	0 0.0	1 0.4
祖父同居	164 100.0	44 26.8	34 20.7	52 31.7	24 14.6	7 4.3	0 0.0	3 1.8
祖母同居	275 100.0	85 30.9	51 18.5	86 31.3	36 13.1	12 4.4	0 0.0	5 1.8
祖父近居	687 100.0	187 27.2	104 15.1	277 40.3	92 13.4	22 3.2	0 0.0	5 0.7
祖母近居	877 100.0	228 26.0	143 16.3	334 38.1	130 14.8	34 3.9	0 0.0	8 0.9
その他	97 100.0	32 33.0	13 13.4	27 27.8	14 14.4	9 9.3	0 0.0	2 2.1

〔家族類型別〕

家族類型別にみると、「ひとり親」、「両親ともパート」、「両親とも無業」で「1. 毎日」の割合が、「共働き」、「フルタイム・パート」、「専業主婦（夫）」で「3. 週に2, 3日」の割合が他の区分に比べ高くなっています。



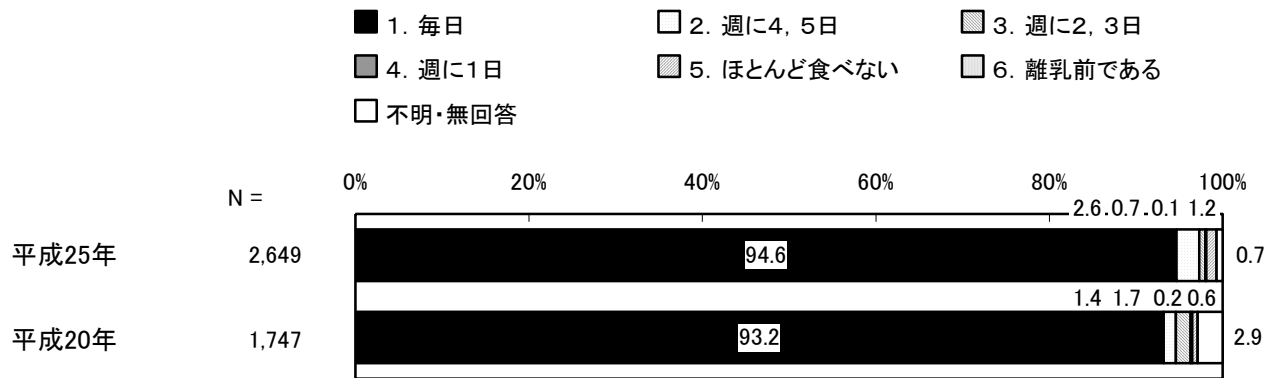
単位: 上段(件)/下段(%)

	全 体	毎日	週に4, 5日	週に2, 3日	週に1日	ほとんど ない	離乳前で ある	不明・ 無回答
ひとり親	278 100.0	169 60.8	46 16.5	46 16.5	5 1.8	11 4.0	0 0.0	1 0.4
共働き	494 100.0	133 26.9	88 17.8	176 35.6	68 13.8	22 4.5	0 0.0	7 1.4
フルタイム・ パート	940 100.0	220 23.4	141 15.0	363 38.6	159 16.9	46 4.9	0 0.0	11 1.2
専業主婦(夫)	826 100.0	191 23.1	124 15.0	339 41.0	133 16.1	31 3.8	1 0.1	7 0.8
両親ともパート	12 100.0	6 50.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
両親とも無業	11 100.0	6 54.5	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0

問 2 5 - 2 宛名のお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。

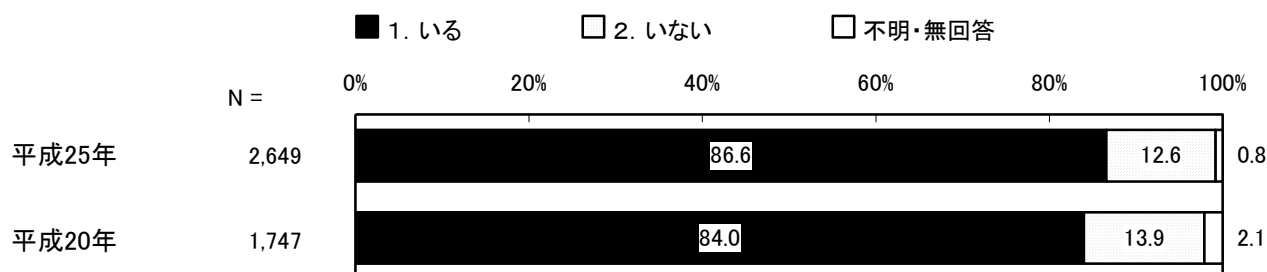
「1. 毎日」の割合が94.6%と最も高くなっています。

平成20年調査と比較しても、大きな差異はありません。



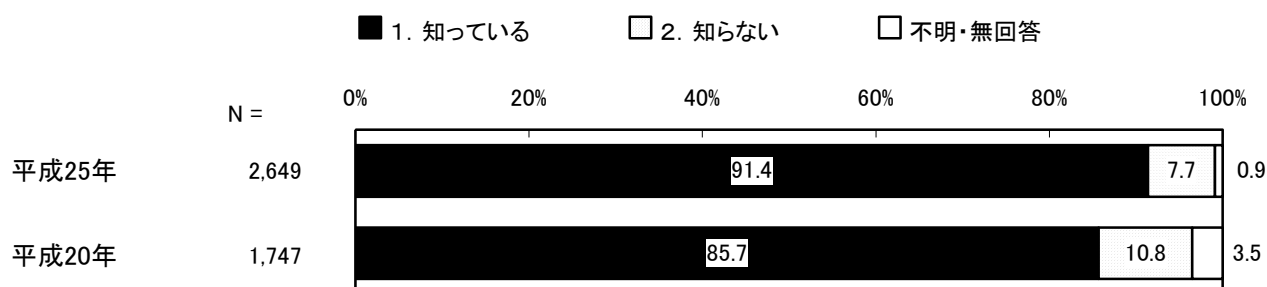
問 2 6 宛名のお子さんには、かかりつけの医師がいますか。

「1. いる」の割合が86.6%,「2. いない」の割合が12.6%となっています。
平成20年調査と比較すると、「1. いる」に割合が2.6ポイント高くなっています。



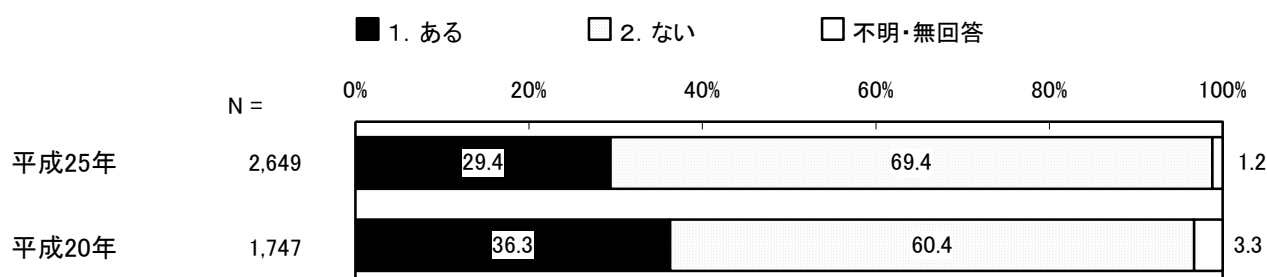
問 2 7 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。

「1. 知っている」の割合が91.4%,「2. 知らない」の割合が7.7%となっています。
平成20年調査と比較すると、「1. 知っている」の割合が5.7ポイント高くなっています。



問 2 8 宛名のおさんは、いままでに事故（転倒・交通事故・やけど・誤飲・溺水等）にあったことがありますか。

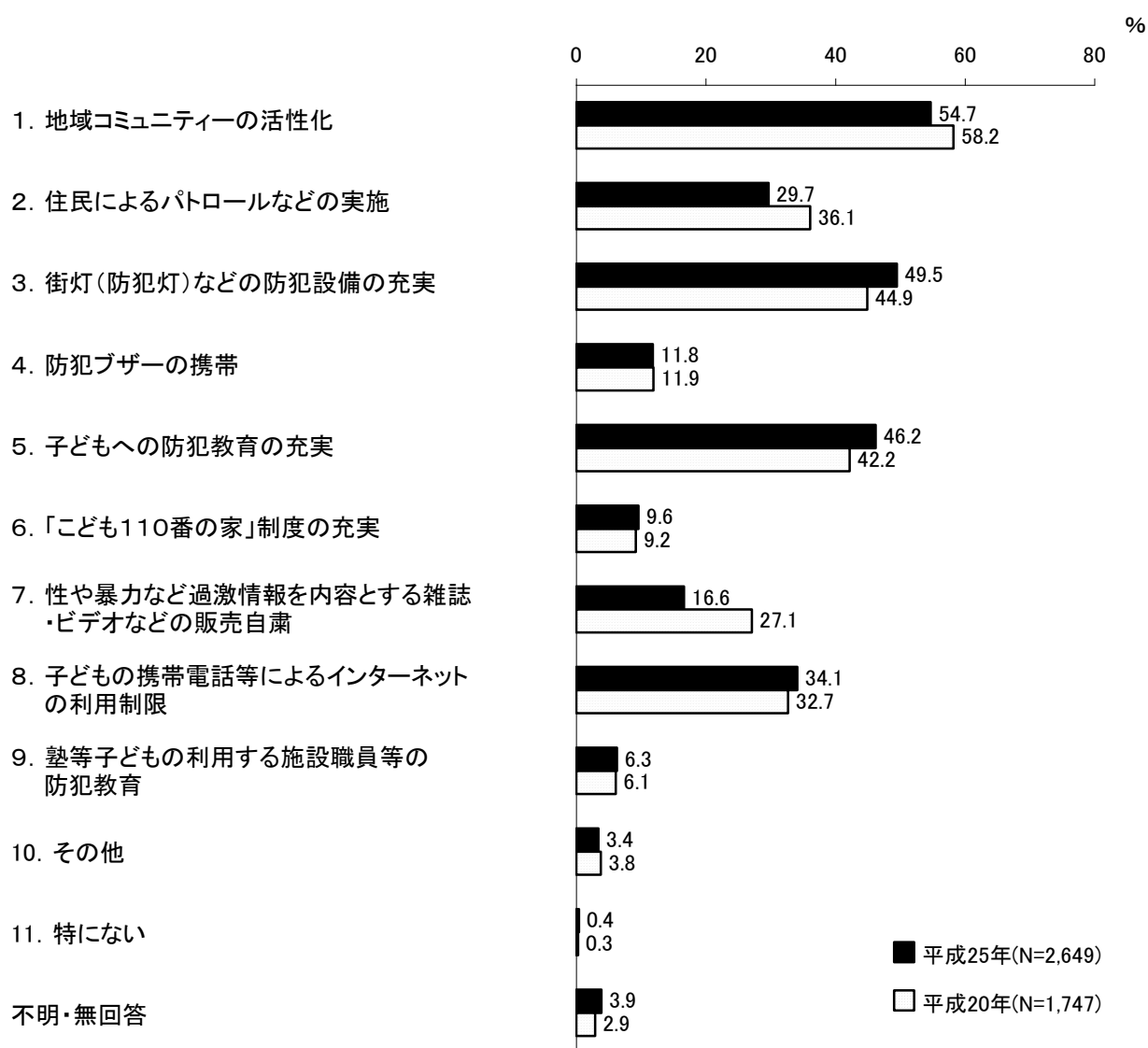
「1. ある」の割合が29.4%,「2. ない」の割合が69.4%となっています。
平成20年調査と比較すると、「1. ある」の割合が6.9ポイント低くなっています。



問 2 9 子どもが被害者となる犯罪が社会問題となっていますが、被害を予防・防止するために特に必要なことは何だと思いませんか。主なもの3つまでの番号に○をつけてください。

「1. 地域コミュニティの活性化」の割合が54.7%と最も高く、次いで「3. 街灯（防犯灯）などの防犯設備の充実」が49.5%、「5. 子どもへの防犯教育の充実」が46.2%などとなっています。

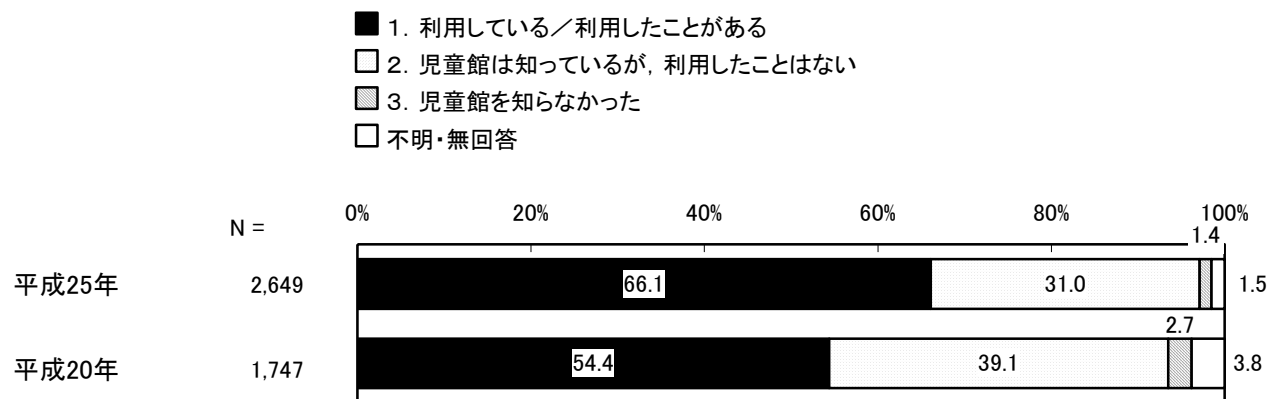
平成20年調査と比較すると、「7. 性や暴力など過激情報を内容とする雑誌・ビデオなどの販売自粛」の割合が10.5ポイント、「2. 住民によるパトロールなどの実施」の割合が6.4ポイント低くなっています。



問 30-1 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の設置・運営を行っています。宛名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

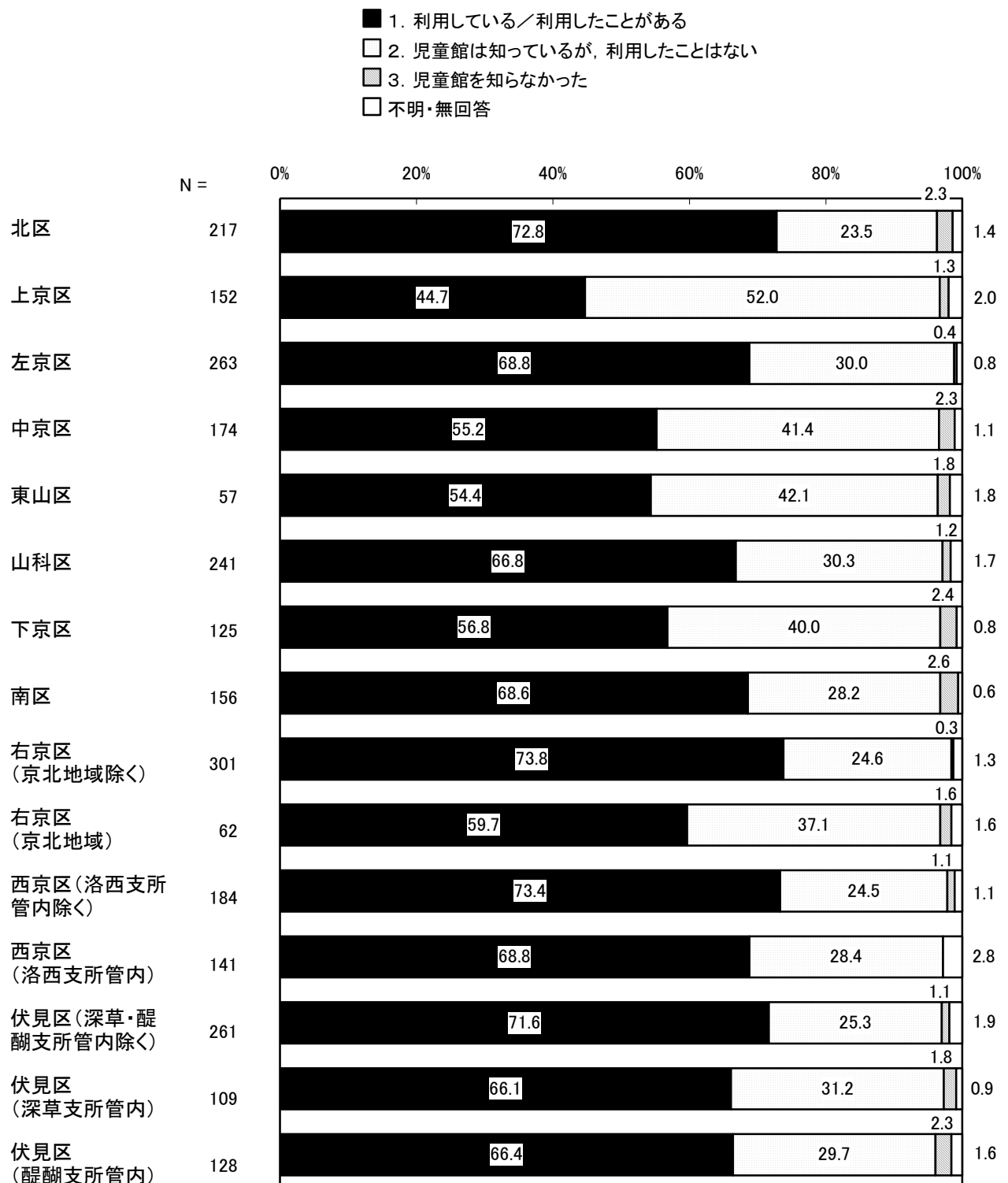
「1. 利用している／利用したことがある」の割合が66.1%と最も高く、次いで「2. 児童館は知っているが、利用したことはない」が31.0%となっています。

平成20年調査と比較すると、「1. 利用している／利用したことがある」の割合が11.7ポイント高くなっています。



〔居住区別〕

居住区別にみると、「上京区」で「1. 利用している／利用したことがある」の割合が、他の区分に比べて低くなっています。

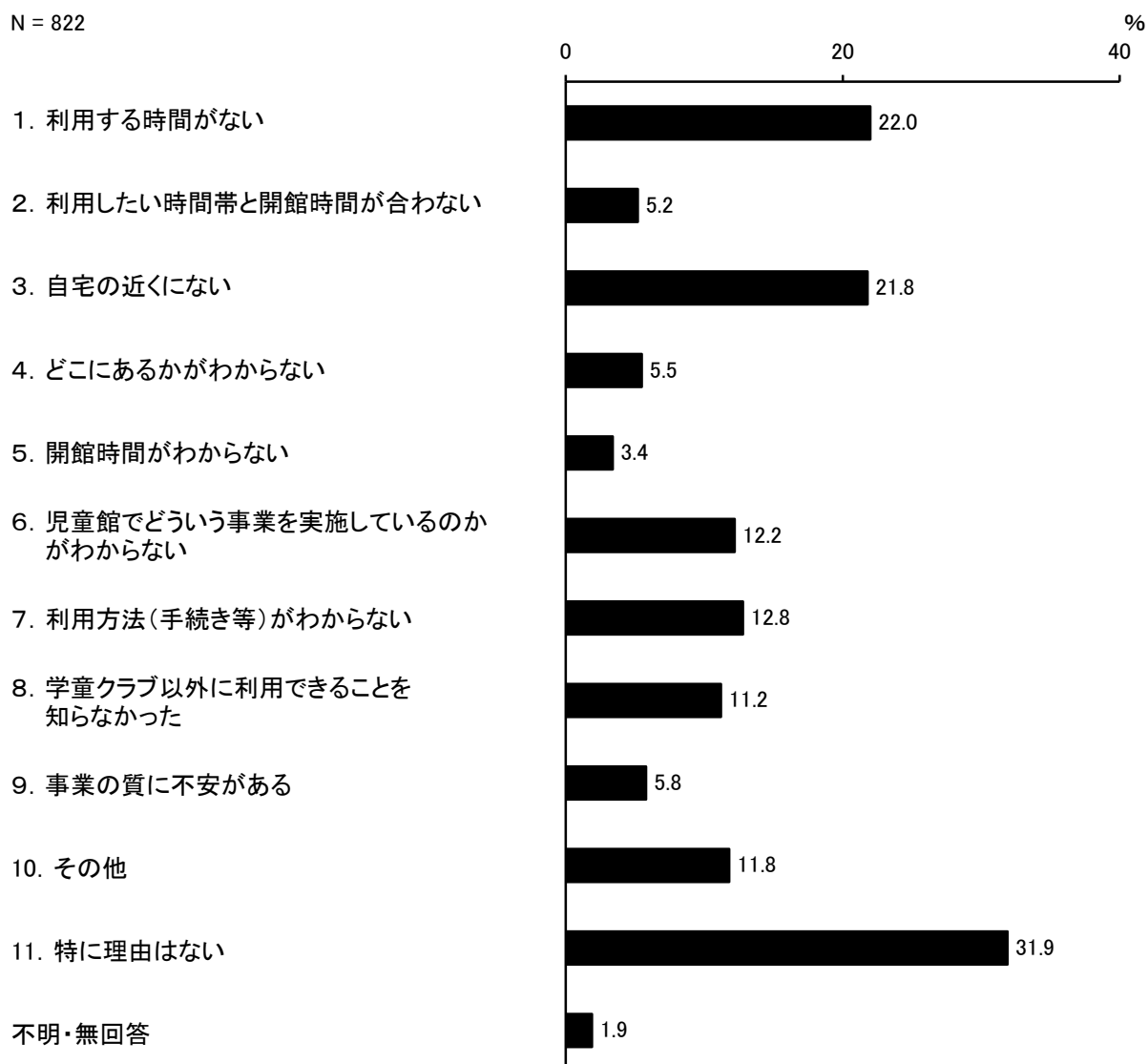


問３０－１で「児童館は知っているが、利用したことはない」を選んだ方にお聞きします。

問３０－２ 宛名のお子さんが児童館を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「１１．特に理由はない」の割合が３１．９％と最も高く、次いで「１．利用する時間がない」が２２．０％、「３．自宅の近くにない」が２１．８％などとなっています。

N = 822



[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、すべての区分で「特に理由はない」が最も高くなっており、学年の違いによる差異は見られません。

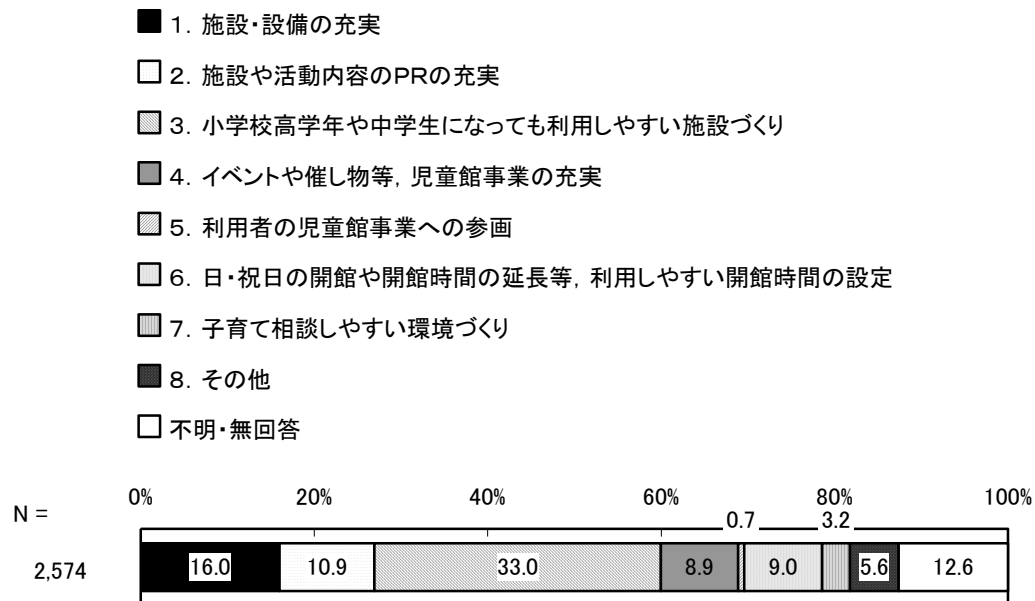
単位：％

区分	有効回答数（件）	利用する時間がない	利用したい時間帯と開館時間が合わない	自宅の近くにない	どこにあるかがわからない	開館時間がわからない	児童館でどういう事業を実施しているのがわからない	利用方法（手続き等）がわからない	学童クラブ以外に利用できることを知らなかった	事業の質に不安がある	その他	特に理由はない	不明・無回答
6歳（1年生）	165	23.6	4.2	21.8	4.8	3.6	12.1	12.1	13.3	9.7	9.7	34.5	1.2
7歳（2年生）	157	22.9	4.5	22.9	7.6	5.1	15.3	15.9	12.1	3.8	14.0	29.3	1.9
8歳（3年生）	145	23.4	6.9	22.8	4.8	4.8	13.1	13.1	9.7	2.8	13.8	26.9	1.4
9歳（4年生）	112	22.3	4.5	23.2	3.6	2.7	12.5	13.4	10.7	5.4	11.6	32.1	1.8
10歳（5年生）	103	20.4	6.8	19.4	2.9	1.9	10.7	10.7	9.7	2.9	12.6	31.1	4.9
11歳（6年生）	115	17.4	2.6	18.3	7.8	0.9	7.8	11.3	12.2	8.7	10.4	39.1	1.7

問30-1で「利用している／利用したことがある」又は「児童館は知っているが、利用したことはない」を選んだ方にお聞きます。

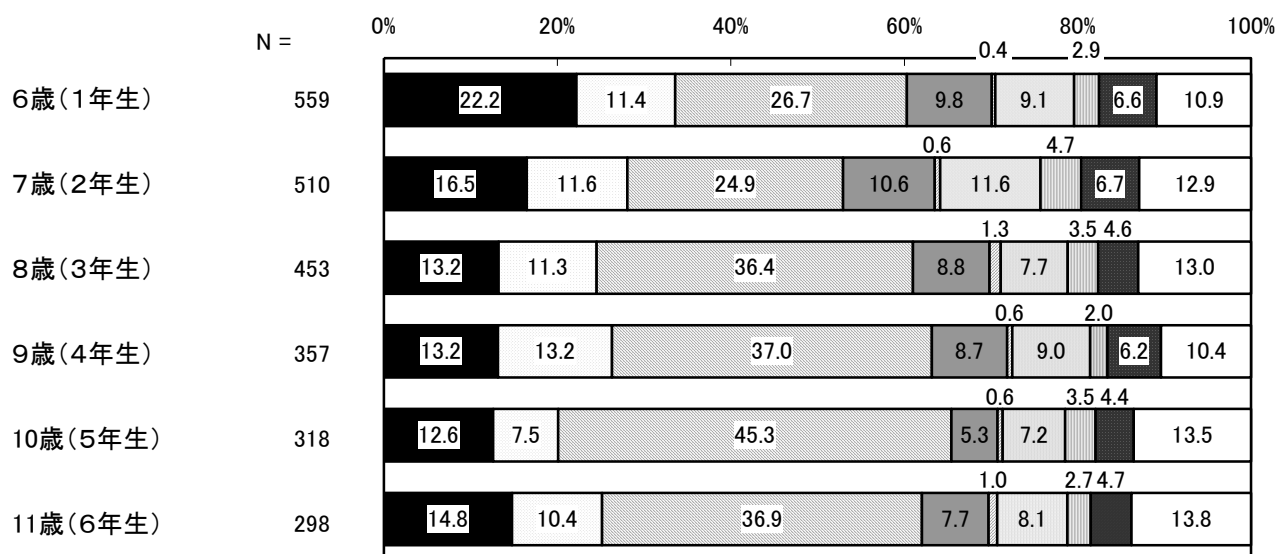
問30-3 児童館を利用しやすくするために期待することについて、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3. 小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり」の割合が33.0%と最も高く、次いで「1. 施設・設備の充実」が16.0%、「2. 施設や活動内容のPRの充実」が10.9%などとなっています。



[子どもの年齢別]

子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「3. 小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり」の割合が高くなる傾向がみられます。

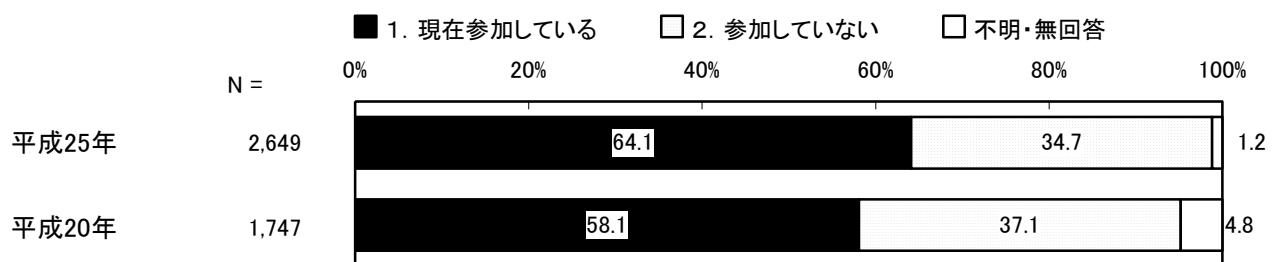


単位：上段（件） 下段（％）

	全 体	施設・設備の充実	施設や活動内容のPRの充実	小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり	イベントや催し物等、児童館事業の充実	利用者の児童館事業への参画	日・祝日の開館や開館時間の延長等、利用しやすい開館時間の設定	子育て相談しやすい環境づくり	その他	不明・無回答
6歳(1年生)	559 100.0	124 22.2	64 11.4	149 26.7	55 9.8	2 0.4	51 9.1	16 2.9	37 6.6	61 10.9
7歳(2年生)	510 100.0	84 16.5	59 11.6	127 24.9	54 10.6	3 0.6	59 11.6	24 4.7	34 6.7	66 12.9
8歳(3年生)	453 100.0	60 13.2	51 11.3	165 36.4	40 8.8	6 1.3	35 7.7	16 3.5	21 4.6	59 13.0
9歳(4年生)	357 100.0	47 13.2	47 13.2	132 37.0	31 8.7	2 0.6	32 9.0	7 2.0	22 6.2	37 10.4
10歳(5年生)	318 100.0	40 12.6	24 7.5	144 45.3	17 5.3	2 0.6	23 7.2	11 3.5	14 4.4	43 13.5
11歳(6年生)	298 100.0	44 14.8	31 10.4	110 36.9	23 7.7	3 1.0	24 8.1	8 2.7	14 4.7	41 13.8

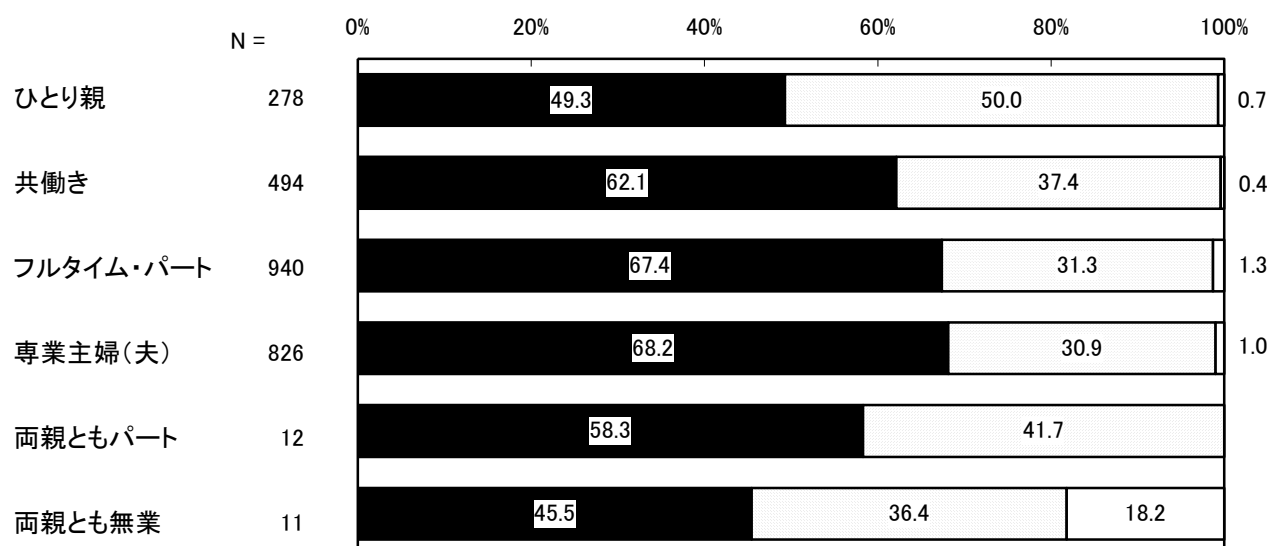
問 3 1 - 1 あなたは、地域活動に参加していますか。

「1. 現在参加している」の割合が64.1%、「2. 参加していない」の割合が34.7%となっています。



[家族類型別]

家族類型別にみると、「フルタイム・パート」、「専業主婦（夫）」、「共働き」で「1. 現在参加している」の割合が6割を超えています。

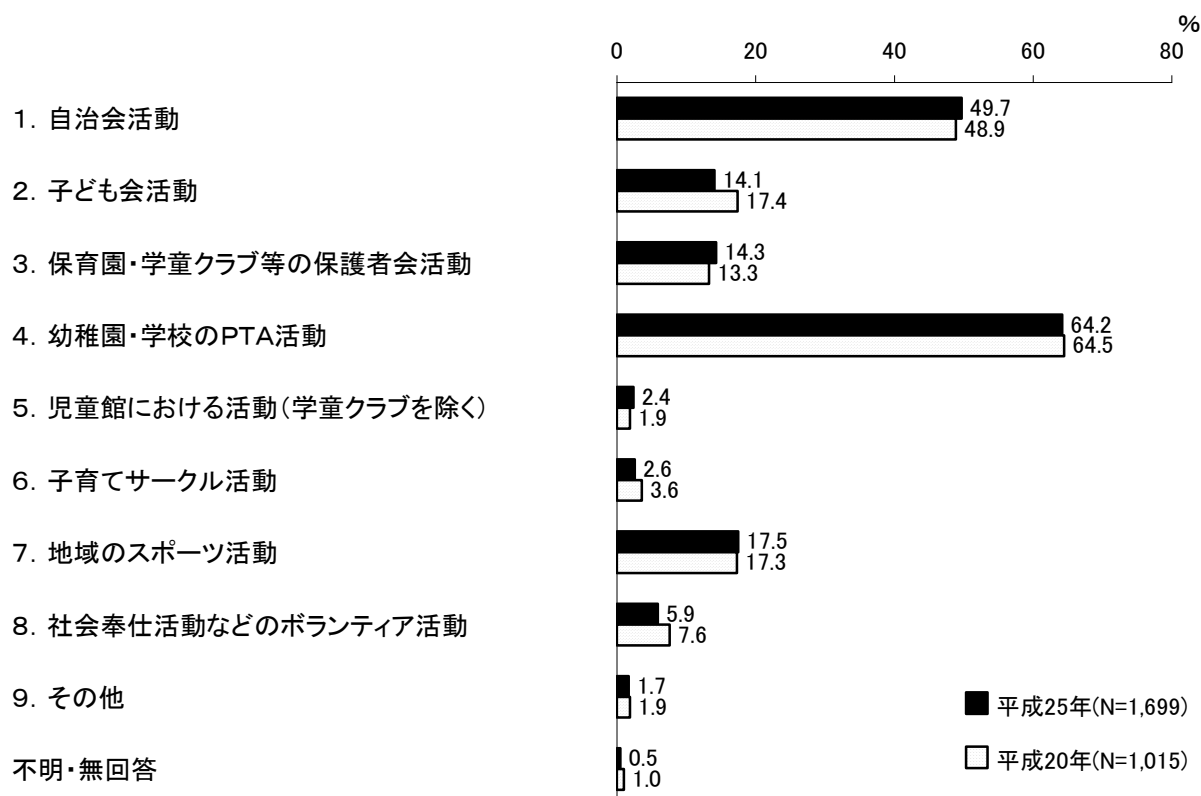


問3 1－1で「現在参加している」を選んだ方にお聞きします。

問3 1－2 それはどんな活動ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「4. 幼稚園・学校のPTA活動」の割合が64.2%と最も高く、次いで「1. 自治会活動」が49.7%、「7. 地域のスポーツ活動」が17.5%などとなっています。

平成20年調査と比較しても、大きな差異はありません。



〔居住区別〕

居住区別にみると、「東山区」、「右京区（京北地域）」で「1. 自治会活動」、その他の区分で「4. 幼稚園・学校のPTA活動」が最も高くなっています。

単位：％

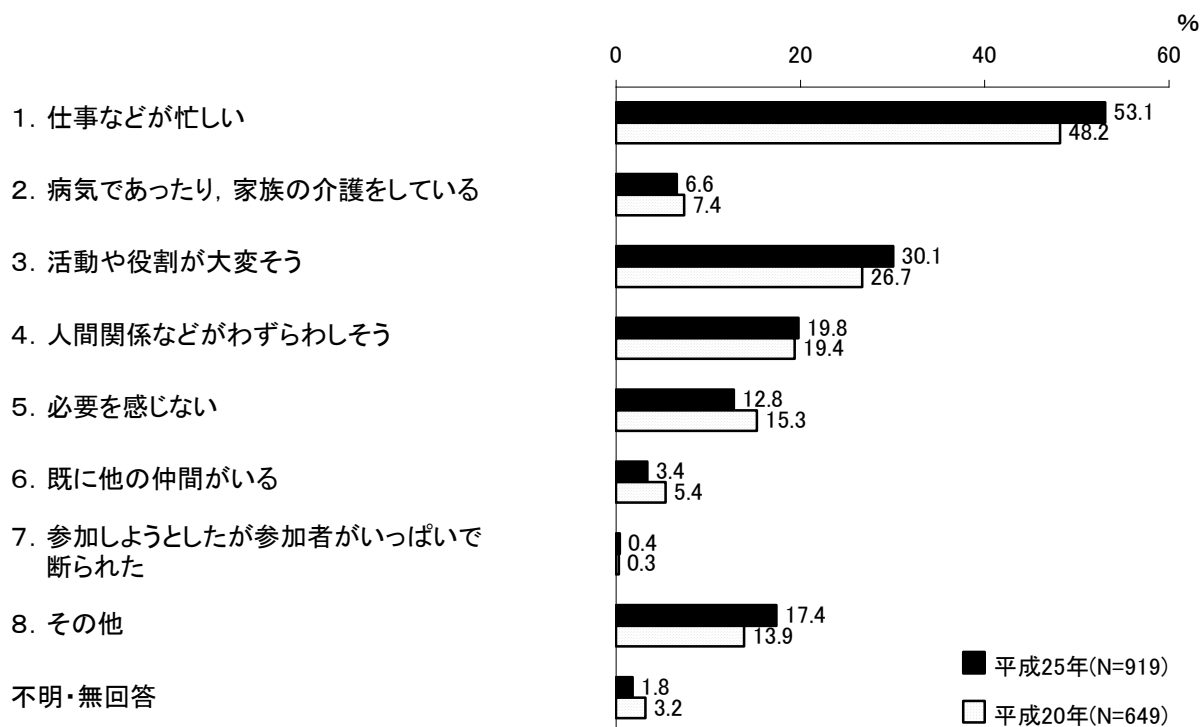
区分	有効回答数 (件)	自治会活動	子ども会活動	保育園・児童クラブ 等の保護者会活動	幼稚園・学校のPTA活動	児童館における活動 (児童クラブを除く)	子育てサークル活動	地域のスポーツ活動	社会奉仕活動などのボランティア活動	その他	不明・無回答
北区	145	36.6	11.0	15.2	69.7	1.4	2.1	20.7	9.0	3.4	0.7
上京区	95	51.6	7.4	20.0	65.3	1.1	1.1	18.9	7.4	2.1	—
左京区	185	48.6	9.7	23.2	66.5	3.2	3.2	15.7	6.5	2.2	0.5
中京区	110	50.0	10.9	15.5	66.4	0.9	1.8	20.0	8.2	0.9	—
東山区	31	54.8	12.9	3.2	48.4	3.2	—	12.9	9.7	3.2	—
山科区	160	48.1	22.5	10.6	65.0	0.6	1.9	22.5	3.8	1.3	—
下京区	82	41.5	4.9	11.0	76.8	1.2	3.7	23.2	3.7	3.7	1.2
南区	90	41.1	20.0	15.6	61.1	4.4	2.2	24.4	5.6	2.2	—
右京区 (京北地域除く)	199	54.3	19.1	21.6	57.3	3.5	2.0	12.6	6.0	1.0	0.5
右京区 (京北地域)	43	58.1	44.2	18.6	55.8	—	4.7	16.3	4.7	—	—
西京区(洛西支所管内 除く)	126	57.9	19.8	13.5	62.7	3.2	3.2	14.3	4.8	1.6	—
西京区 (洛西支所管内)	92	55.4	14.1	15.2	60.9	7.6	3.3	20.7	7.6	—	2.2
伏見区(深草・醍醐 支所管内除く)	148	51.4	8.8	7.4	67.6	2.7	3.4	12.8	6.8	2.0	0.7
伏見区 (深草支所管内)	73	46.6	9.6	5.5	64.4	1.4	2.7	16.4	2.7	—	1.4
伏見区 (醍醐支所管内)	73	49.3	6.8	2.7	68.5	—	4.1	16.4	2.7	—	—

問 3 1－1 で「参加していない」を選んだ方にお聞きします。

問 3 1－3 参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「1. 仕事などが忙しい」の割合が53.1%と最も高く、次いで「3. 活動や役割が大変そう」が30.1%、「4. 人間関係などがわずらわしそう」が19.8%などとなっています。

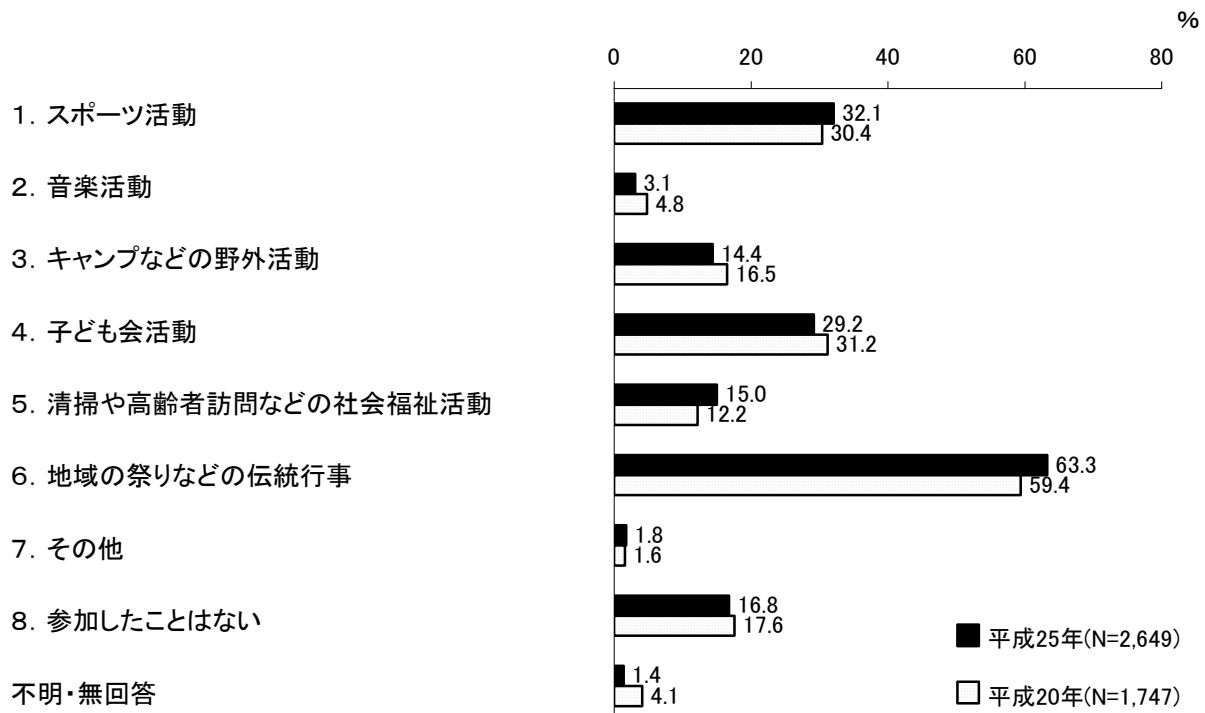
平成20年調査と比較しても、大きな差異はありません。



問３２ 宛名のお子さんは、地域的なグループ活動に参加したことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「６．地域の祭りなどの伝統行事」の割合が６３．３％と最も高く、次いで「１．スポーツ活動」が３２．１％、「４．子ども会活動」が２９．２％などとなっています。

平成２０年調査と比較しても、大きな差異はありません。



[子どもの学年別]

子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて「１．スポーツ活動」、「３．キャンプなどの野外活動」の割合が高くなる傾向がみられます。

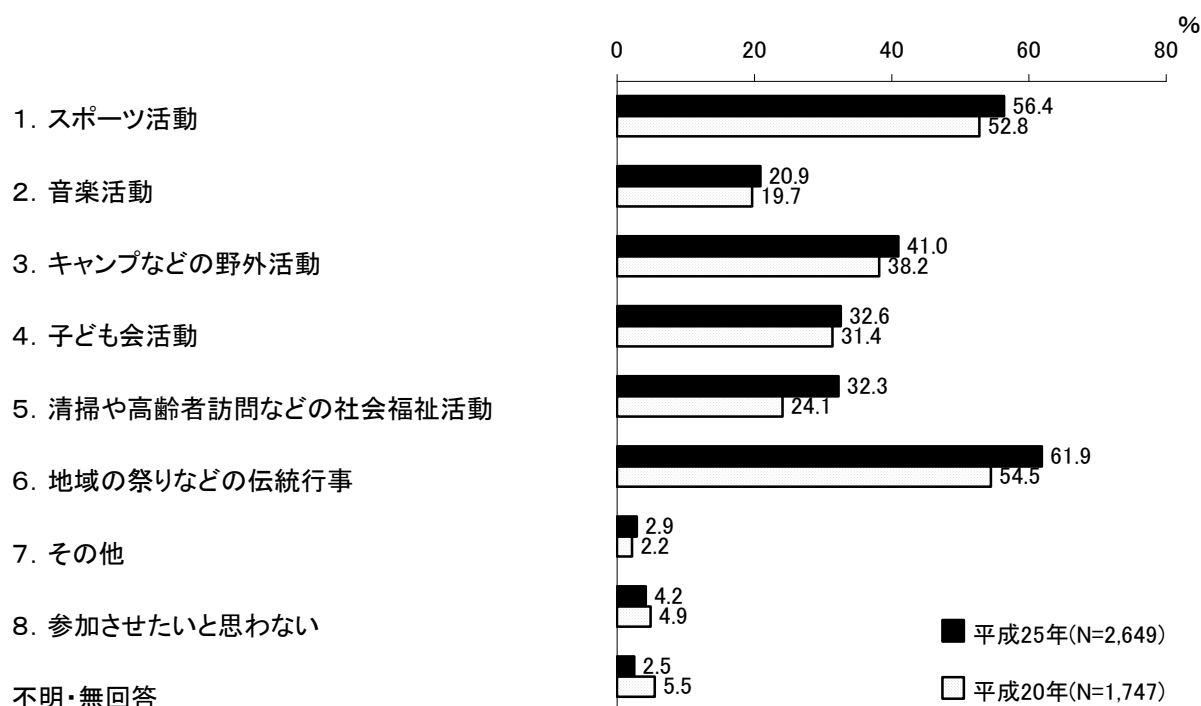
単位：％

区分	有効回答数(件)	スポーツ活動	音楽活動	キャンプなどの野外活動	子ども会活動	清掃や高齢者訪問などの社会福祉活動	地域の祭りなどの伝統行事	その他	参加したことはない	不明・無回答
6歳(1年生)	570	23.0	0.4	8.9	24.9	10.4	59.5	1.8	21.9	1.6
7歳(2年生)	526	24.9	2.1	10.3	30.4	14.1	65.8	1.9	17.3	1.7
8歳(3年生)	467	32.1	4.3	14.6	31.7	15.4	61.9	2.8	15.6	2.1
9歳(4年生)	370	39.5	4.3	16.5	31.4	18.6	68.4	1.1	11.6	1.1
10歳(5年生)	327	39.8	5.8	21.1	30.9	17.4	62.7	2.1	14.7	0.9
11歳(6年生)	307	44.3	3.9	21.8	28.3	17.6	63.8	0.3	15.3	0.3

問３３ 今後、宛名のお子さんを、どのような地域的なグループ活動に参加させたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「６．地域の祭りなどの伝統行事」の割合が６１．９％と最も高く、次いで「１．スポーツ活動」が５６．４％、「３．キャンプなどの野外活動」が４１．０％などとなっています。

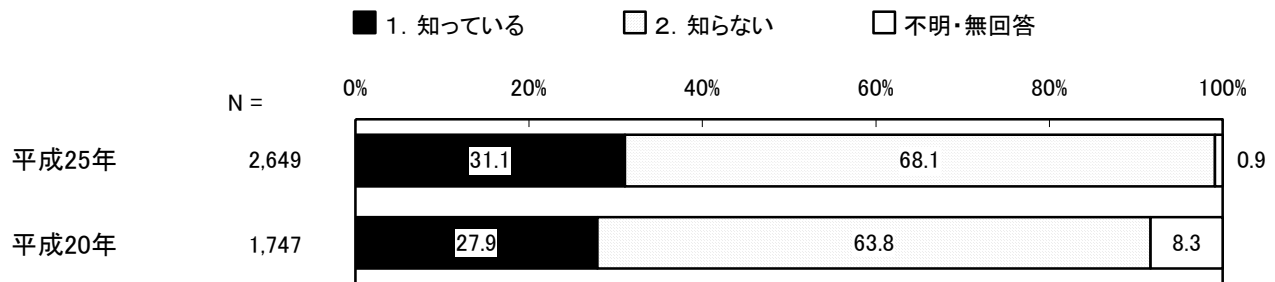
平成２０年調査と比較すると、「５．清掃や高齢者訪問などの社会福祉活動」の割合が８．２ポイント、「６．地域の祭りなどの伝統行事」の割合が７．４ポイント高くなっています。



問 3 4 平成19年2月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてお聞きします。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。

【認知度】

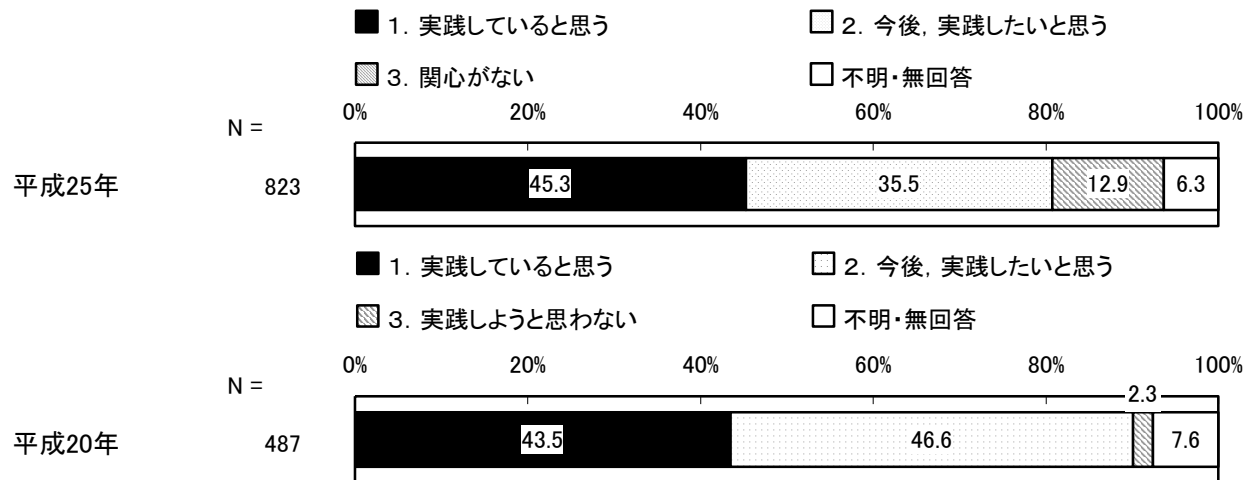
「1. 知っている」の割合が31.1%、「2. 知らない」の割合が68.1%となっています。
平成20年調査と比較すると、「1. 知っている」が3.2ポイント高くなっています。



【憲章の実践についてどう思うか】

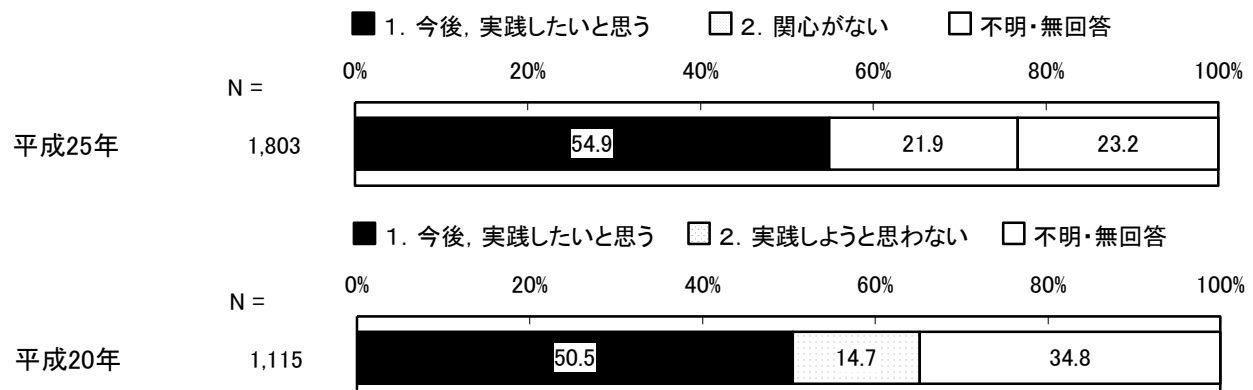
1. 知っている

「1. 実践していると思う」の割合が45.3%と最も高く、次いで「2. 今後、実践したいと思う」が35.5%、「3. 関心がない」が12.9%となっています。



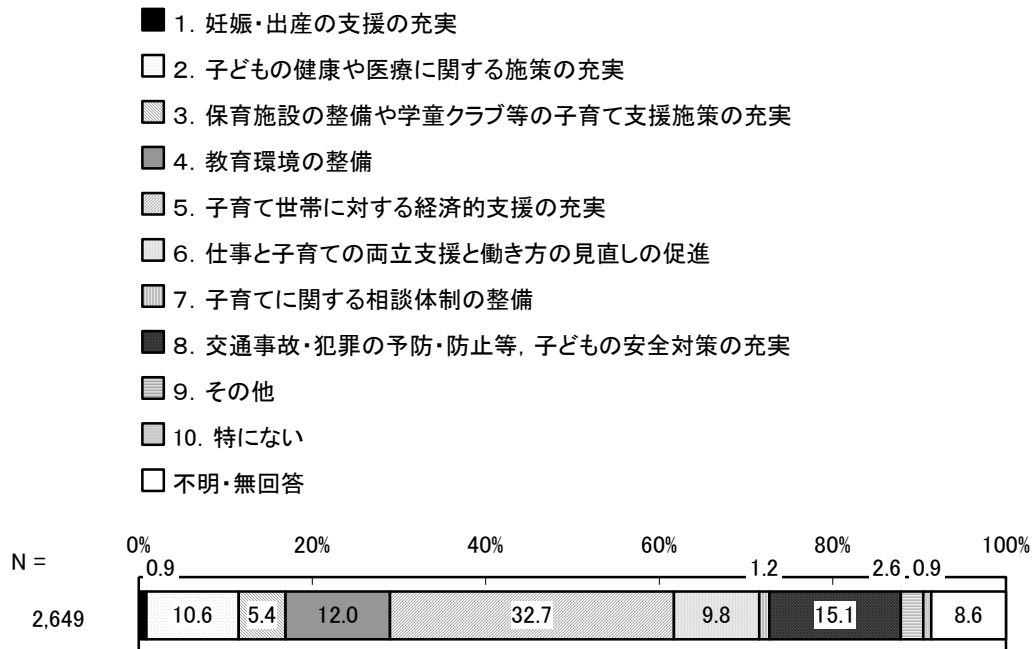
2. 知らない

「1. 今後、実践したいと思う」の割合が54.9%、「2. 関心がない」の割合が21.9%となっています。



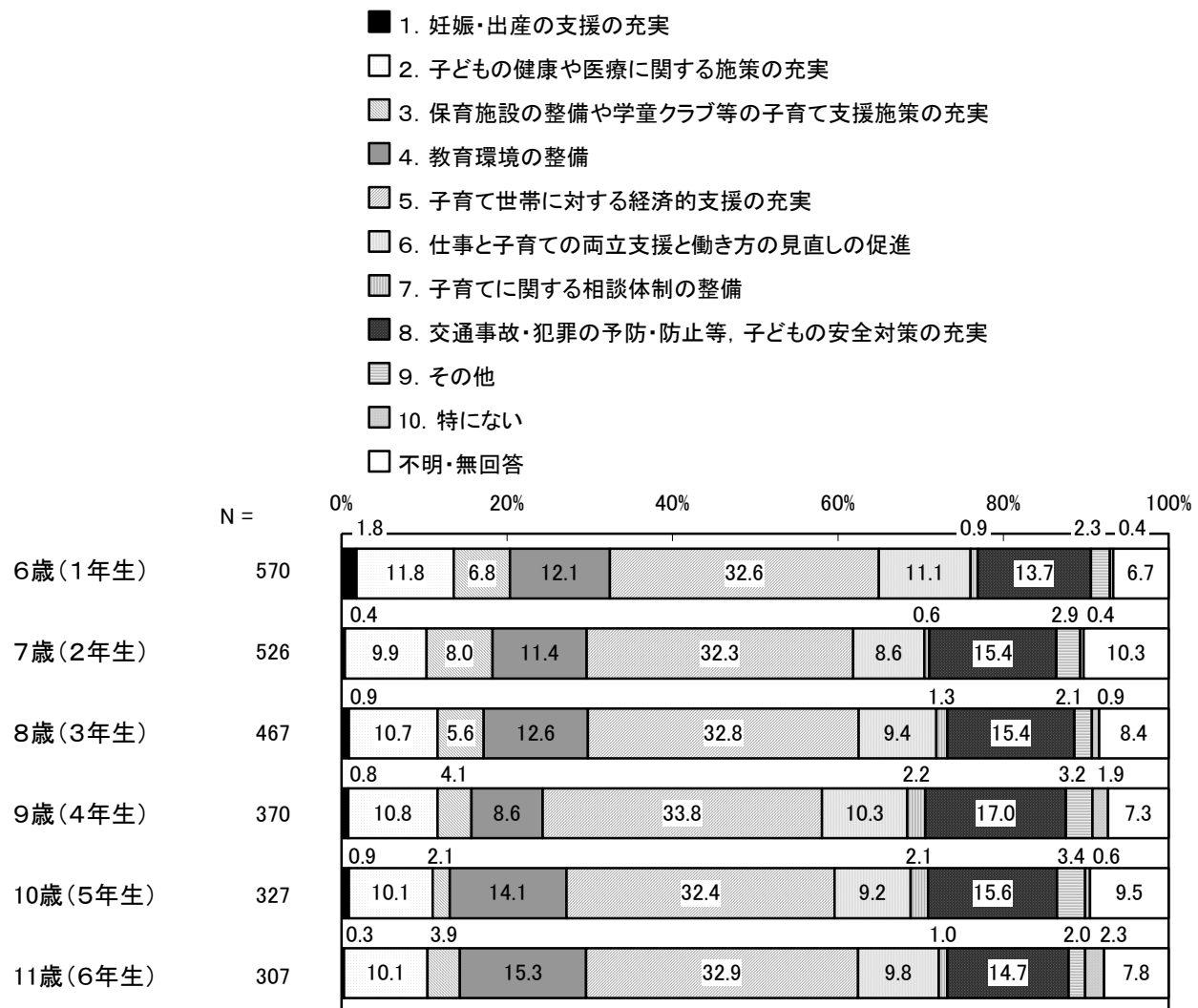
問35 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを期待しますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

「5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が32.7%と最も高く、次いで「8. 交通事故・犯罪の予防・防止等, 子どもの安全対策の充実」が15.1%, 「4. 教育環境の整備」が12.0%などとなっています。



[子どもの学年別]

子どもの学年別にみても、期待することの比率に大きな差異はありません。

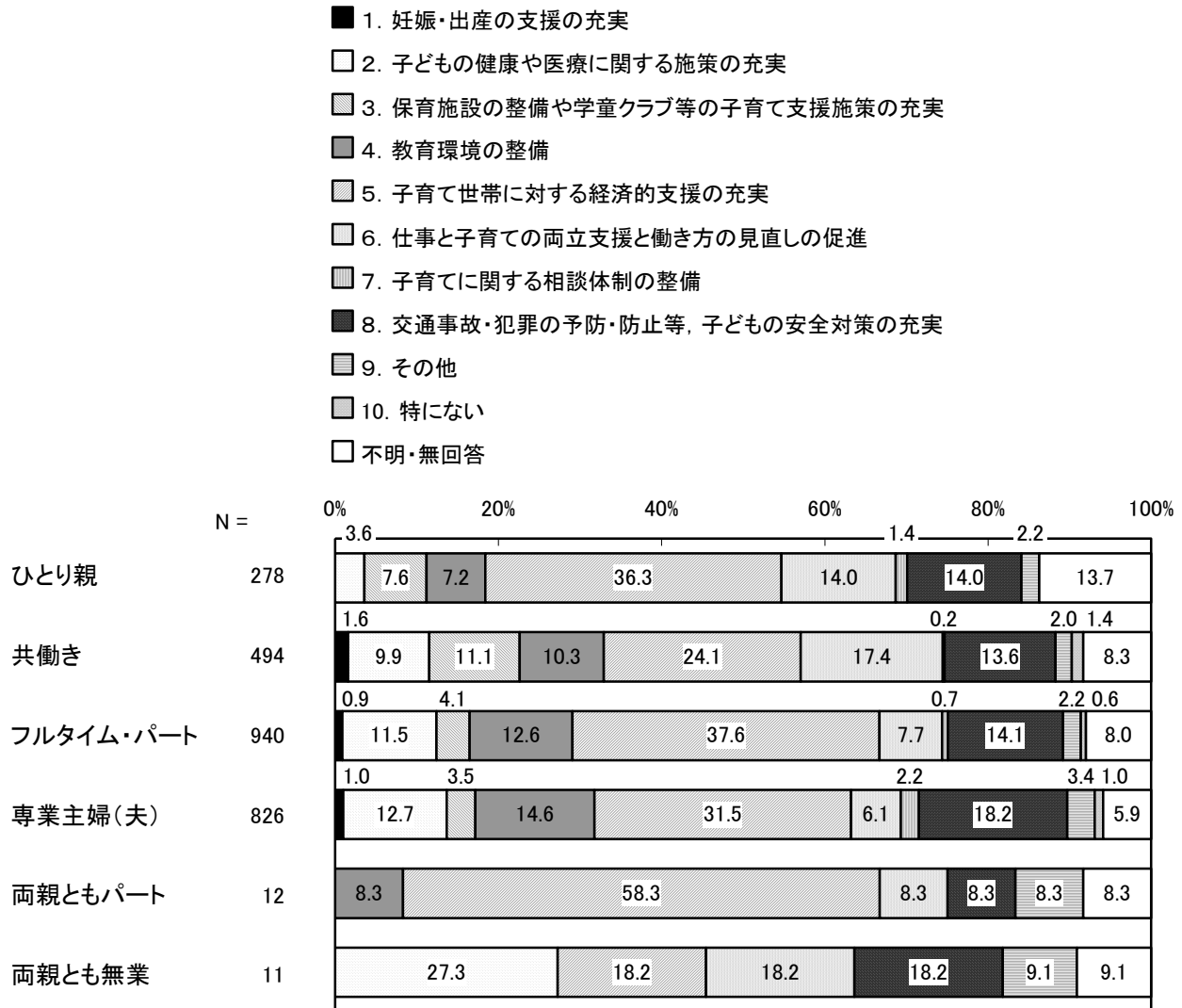


単位：上段（件）/下段（％）

	全 体	妊娠・出産の支援の充実	子どもの健康や医療に関する施策の充実	保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援施策の充実	教育環境の整備	子育て世帯に対する経済的支援の充実	仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進	子育てに関する相談体制の整備	交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実	その他	特にない	不明・無回答
6歳(1年生)	570 100.0	10 1.8	67 11.8	39 6.8	69 12.1	186 32.6	63 11.1	5 0.9	78 13.7	13 2.3	2 0.4	38 6.7
7歳(2年生)	526 100.0	2 0.4	52 9.9	42 8.0	60 11.4	170 32.3	45 8.6	3 0.6	81 15.4	15 2.9	2 0.4	54 10.3
8歳(3年生)	467 100.0	4 0.9	50 10.7	26 5.6	59 12.6	153 32.8	44 9.4	6 1.3	72 15.4	10 2.1	4 0.9	39 8.4
9歳(4年生)	370 100.0	3 0.8	40 10.8	15 4.1	32 8.6	125 33.8	38 10.3	8 2.2	63 17.0	12 3.2	7 1.9	27 7.3
10歳(5年生)	327 100.0	3 0.9	33 10.1	7 2.1	46 14.1	106 32.4	30 9.2	7 2.1	51 15.6	11 3.4	2 0.6	31 9.5
11歳(6年生)	307 100.0	1 0.3	31 10.1	12 3.9	47 15.3	101 32.9	30 9.8	3 1.0	45 14.7	6 2.0	7 2.3	24 7.8

〔家族類型別〕

家族類型別にみると、「共働き」で「3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援施策の充実」、「6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」の割合が、「フルタイム・パート」、「両親ともパート」で「5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が、「専業主婦（夫）」で「2. 子どもの健康や医療に関する施策の充実」、「4. 教育環境の整備」、「8. 交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実」の割合が他の区分に比べ高くなっています。



単位：上段（件）/下段（％）

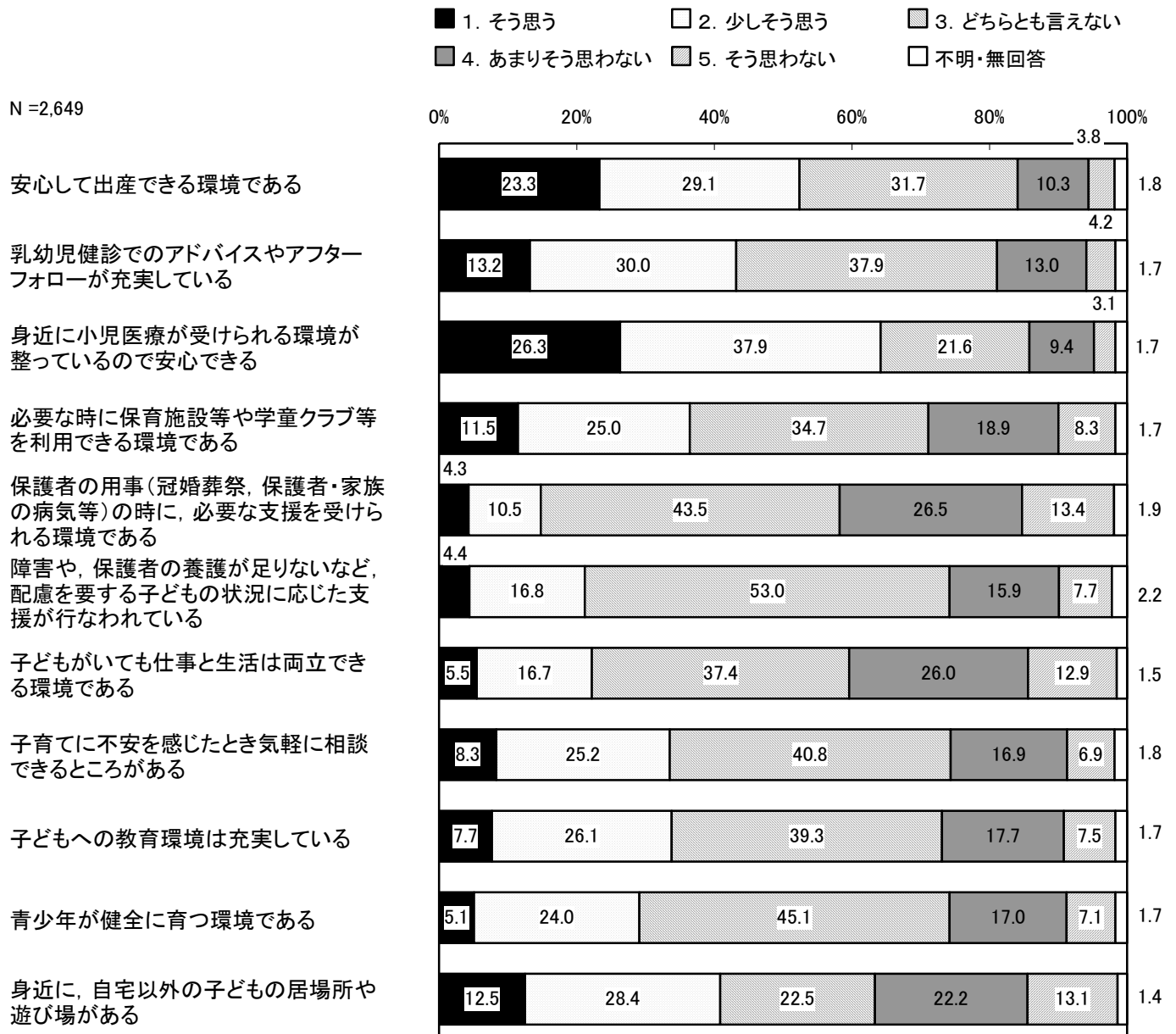
	全 体	妊娠・出産の支援の充実	子どもの健康や医療に関する施策の充実	保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援施策の充実	教育環境の整備	子育て世帯に対する経済的支援の充実	仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進	子育てに関する相談体制の整備	交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実	その他	特にない	不明・無回答
ひとり親	278 100.0	0 0.0	10 3.6	21 7.6	20 7.2	101 36.3	39 14.0	4 1.4	39 14.0	6 2.2	- -	38 13.7
共働き	494 100.0	8 1.6	49 9.9	55 11.1	51 10.3	119 24.1	86 17.4	1 0.2	67 13.6	10 2.0	7 1.4	41 8.3
フルタイム・パート	940 100.0	8 0.9	108 11.5	39 4.1	118 12.6	353 37.6	72 7.7	7 0.7	133 14.1	21 2.2	6 0.6	75 8.0
専業主婦（夫）	826 100.0	8 1.0	105 12.7	29 3.5	121 14.6	260 31.5	50 6.1	18 2.2	150 18.2	28 3.4	8 1.0	49 5.9
両親ともパート	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	7 58.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3
両親とも無業	11 100.0	0 0.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0	2 18.2	2 18.2	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	1 9.1

問 3 6 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものの番号 1 つに○をつけてください。

「安心して出産できる環境である」、「身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる」では、「1. そう思う」の割合が他の項目に比べ高くなっている一方、「保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の時に、必要な支援を受けられる環境である」、「子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である」では、「5. そう思わない」の割合が他の項目に比べ高くなっています。

【平成 2 5 年】

N = 2,649



【平成20年】

N = 1,747

一人ひとりのこどもの人格が大切にされ、こどもの権利が守られているまちである

こどもを地域ぐるみで見守ってくれるので安心できる

障がいや、保護者の養護が足りないなど、配慮を有するこどもの状況に応じた支援が行なわれている

地域の団体や子育て支援機関が子育てを助けてくれるので安心できる

希望した時期に、希望したサービスを利用できていると思う

ふだん子育てを楽しんでいると感じることが多い

こどもがいても仕事と生活は両立できる環境である

子育てに不安を感じたとき気軽に相談できる場所があるので安心できる

乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実しているので満足している

身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる

身近にこどもの居場所や遊び場があるので様々な体験ができる

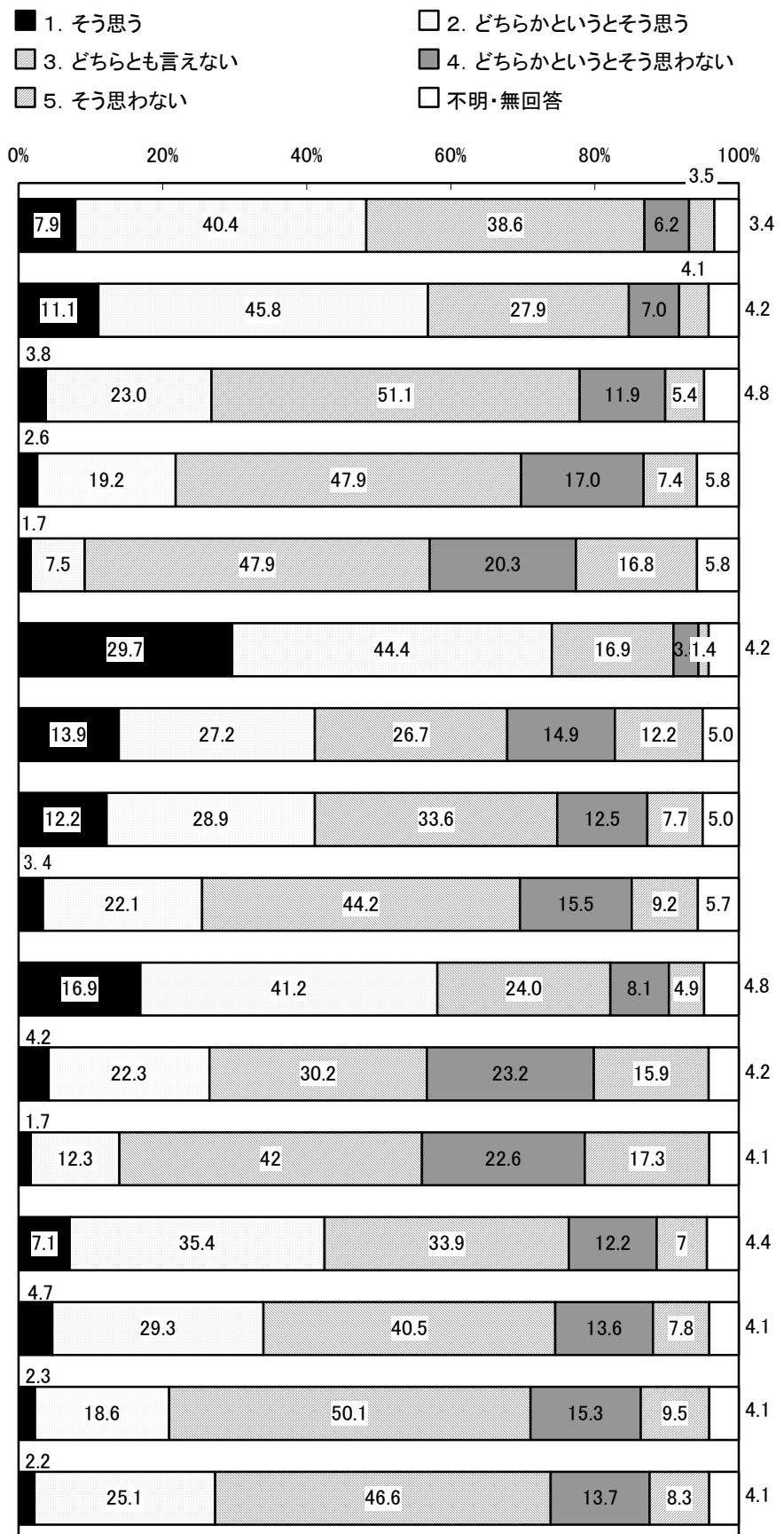
こどもが犯罪被害にあいにくい環境となっている

学校などの公共施設はこどもにとって安全な場だと思う

こどもへの教育環境は充実している

こどもへの進路指導は充実していると思う

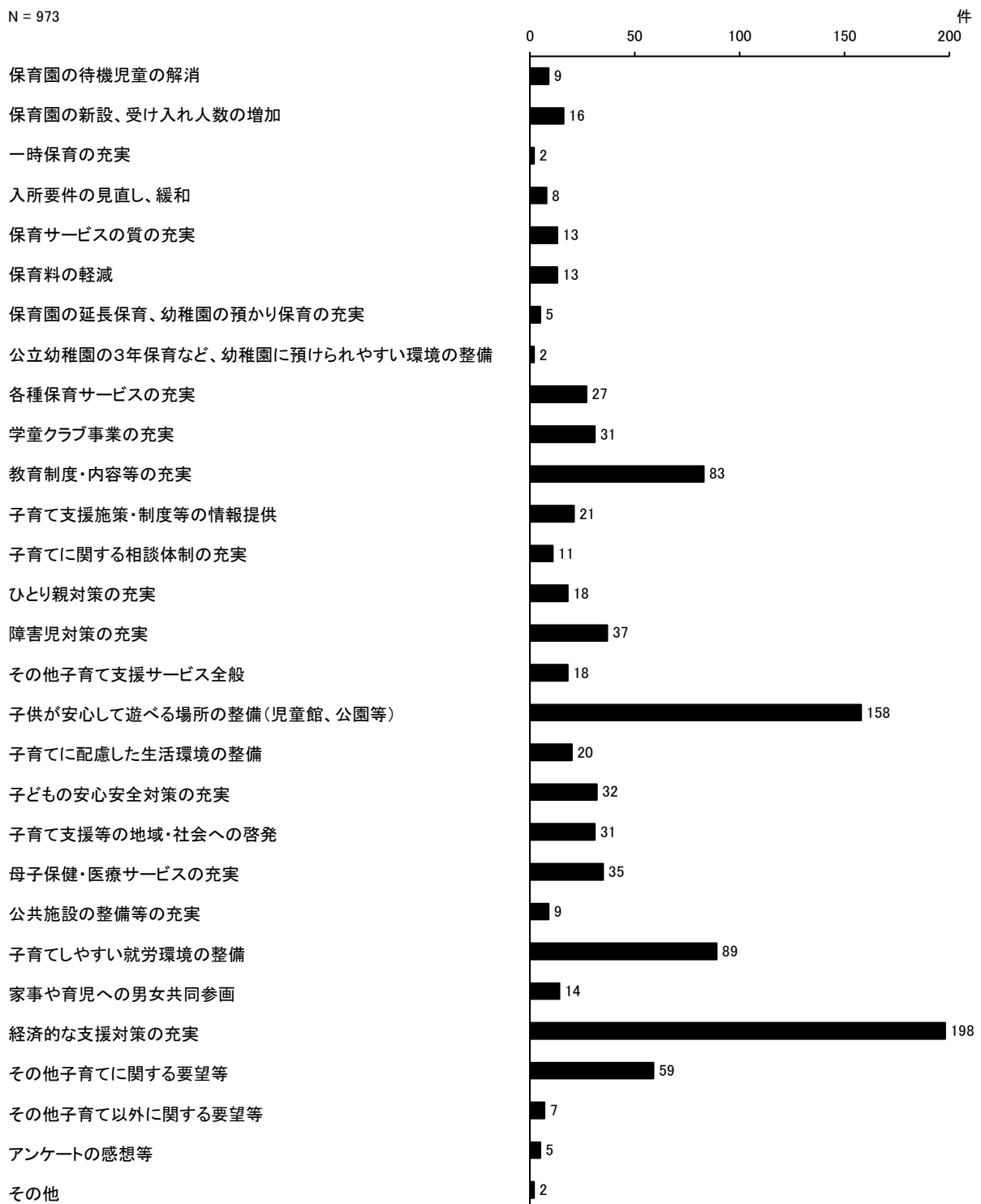
青少年が健全に育つ環境だと思う



問37 安心して子どもを産み、子どもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

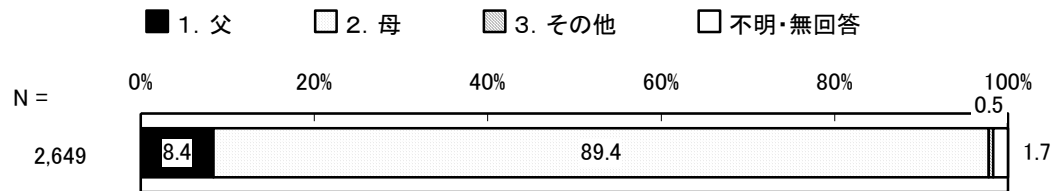
【自由意見のまとめ】

N = 973



問 3 8 この調査票に記入されている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。

「1. 父」が8.4%, 「2. 母」が89.4%となっています。



V 資料編

京都市 子育て支援に関する市民ニーズ調査 (小学校入学前児童用)

調査へのご協力をお願い

平成27年4月からの実施が予定されている「子ども・子育て支援新制度」は、子どもは、親、保護者が育むことを基本的認識としつつ、子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうよう、国や地域を挙げて社会全体で子ども・子育てを支援する、新しい支え合いの仕組みです。

京都市では、この新制度の実施主体として、幼児期の学校教育・保育及び保護者に対する子育て支援の施策の実施に関する「京都市子ども・子育て支援事業計画」を新たに策定いたします。

また、この京都市子ども・子育て支援事業計画については、本市の子育て支援施策の総合的な計画である「京都市未来こどもプラン」の次期計画に一体的に盛り込み、幅広い観点から子育て支援施策を推進してまいります。

本調査は、これらの計画で確保を図るべき幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援に関する事業の量の見込みを算出するために、市民の皆様の現在の利用状況や今後の利用希望、子育てに関する意識等をおうかがいする大変重要な調査です。

今回、住民基本台帳から小学校入学前のお子さんがおられる世帯を無作為に抽出し、この調査票を送らせていただいております。回収した調査票は、すべて統計的に処理し、この調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成25年10月

京都市長 門川 大作

【ご記入に当たってのお願い】

- 1 アンケートにはお子さんの保護者の方が記入してください。
- 2 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについて記入してください。
- 3 選択肢を選んでいただく場合、選択する数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」を選択した場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 4 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。
- 5 ご記入後は、**平成25年11月13日（水）まで**に同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

〔巻末に用語説明を掲載しております。あわせてご参照ください。〕

【調査に関する問合せ先】京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課 市民ニーズ調査担当
電話：075-251-2380 FAX：075-251-2322

※ 返送先は、京都市が調査・集計業務を委託している『株式会社 名豊』宛てとなっています。

■宛名のお子さんご家族の状況についてお聞きます。

問1 宛名のお子さんの生年月を記入してください。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問2 お住まいの区に○をつけてください。また、お住まいの小学校区を記入してください。

1. 北 区	2. 上京区	3. 左京区
4. 中京区	5. 東山区	6. 山科区
7. 下京区	8. 南 区	9. 右京区（京北地域除く）
10. 右京区（京北地域）	11. 西京区（洛西支所管内除く）	12. 西京区（洛西支所管内）
13. 伏見区（深草・醍醐支所管内除く）	14. 伏見区（深草支所管内）	15. 伏見区（醍醐支所管内）

⇒ お住まいの小学校区

学区

※小学校区がわからない場合は、空白のままで結構です。

問3 家族の人数（ご自分や宛名のお子さんも含む。）を記入してください。

家族全員	子どもの数		
	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生以上の子ども
人	人	人	人
	末子の生年月 平成（ ）年（ ）月		

問4-1 宛名のお子さんとの同居・近居の状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

1. 父母同居	2. 父同居（ひとり親家庭）	3. 母同居（ひとり親家庭）	4. 祖父同居
5. 祖母同居	6. 祖父近居	7. 祖母近居	8. その他（ ）

※ 「近居」は、概ね30分以内で行き来できる範囲

問4-2 宛名のお子さんの父母の生年月を記入してください。

父	母
【母子家庭の場合は記載不要です。以下の父親の方への質問も同様です。】	【父子家庭の場合は記載不要です。以下の母親の方への質問も同様です。】
昭和・平成（ ）年（ ）月生まれ	昭和・平成（ ）年（ ）月生まれ

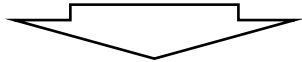
問5 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方がいる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

1. いない	2. 本人	3. 父	4. 母	5. 兄	6. 姉
7. 弟	8. 妹	9. 祖父	10. 祖母	11. その他（ ）	

問6 世帯のお子さん全員の子育てについて、1ヶ月にどのくらいの費用がかかりますか。おおよその金額（幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実質的に負担した額）を記入してください。

また、子育てにかかる費用は、世帯全員の年収のおおよそ何%を占めますか。

1. 幼稚園や保育施設等（保育園（所）、昼間里親、認可外保育施設等）	⇒ 月（ ）円
2. 学校（給食費、授業料、教材費等）	⇒ 月（ ）円
3. 習い事や塾	⇒ 月（ ）円
4. 学童クラブ事業等	⇒ 月（ ）円
5. 医療	⇒ 月（ ）円



子育てにかかる費用が世帯全員の年収に占める割合

= (1 + 2 + 3 + 4 + 5) × 12 ヶ月 ÷ 世帯年収 × 100

%

問 7-1 日頃、お子さんを預けられる人について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで
2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで
4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない (→ 問8へ)

問 7-2 問 7-1 で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きます。祖父母等に預かってもらっている状況について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 祖父母等の負担が大きく心配である
3. 祖父母等と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他（ ）

問 7-3 問 7-1 で「3」又は「4」を選んだ方にお聞きします。友人や知人に預かってもらっている状況について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人や知人の負担が大きく心配である
3. 友人や知人と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気になる
4. その他（ ）

問8 宛名のお子さんの育児や家事等に主に関わっている方はどなたですか。各項目について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	父	母	祖父	祖母	その他
洗濯をする	1	2	3	4	5 ()
食料品等の日常的な買い物をする	1	2	3	4	5 ()
家族や子どもの食事をつくる	1	2	3	4	5 ()
子どもに食事を食べさせる	1	2	3	4	5 ()
子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5 ()
子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5 ()
子どもの衣類（おむつ）を替える	1	2	3	4	5 ()
幼稚園・保育施設等や習い事・塾等の送り迎えをする	1	2	3	4	5 ()
子どもを寝かしつける	1	2	3	4	5 ()
子どもをしつける	1	2	3	4	5 ()
子どもに本を読み聞かせる	1	2	3	4	5 ()
予防接種や健診に連れて行く	1	2	3	4	5 ()
子どもが病気の際に看病したり病院に連れて行ったりする	1	2	3	4	5 ()
子ども会や子育てサークル等の子育てに関する地域活動に参加する	1	2	3	4	5 ()

■宛名のお子さんのお父さん、お母さんの就労状況についてお聞きします。

問9-1 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）をお聞きします。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。あわせて、〔 〕に数字（時間の場合は、「18時頃」のように24時間制で）を記入してください。

*「フルタイム」は1週5日・1日8時間程度の就労

父	母
1. 就労している（フルタイム） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃	1. 就労している（フルタイム） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃
2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中	2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい	3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい
4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい	4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい
5. 現在就労していない（→ 問9-2, 3へ）	5. 現在就労していない（→ 問9-2, 3へ）

問9-2 問9-1で「5」に該当する方についてお聞きします。その方が、現在就労していない理由について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

	父	母
配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	1	1
子育てのため	2	2
家族・親族等の看護・介護のため	3	3
健康上の問題があるため	4	4
働きたいが、家族の理解が得られないため	5	5
条件にあった仕事が見つからないため	6	6
その他（（ ）内に理由を記載してください。）	7 {	7 {

問9-3 問9-1で「5」に該当する方についてお聞きします。その方の今後の就労の希望について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。あわせて、〔 〕に数字を記入してください。

父	母
1. 就労は希望していない 2. 1年より先、末子が〔 〕歳ぐらいになったら就労したい。 3. 1年以内に就労したい →（「2」又は「3」の場合）希望する就労形態 { ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 }	1. 就労は希望していない 2. 1年より先、末子が〔 〕歳ぐらいになったら就労したい。 3. 1年以内に就労したい →（「2」又は「3」の場合）希望する就労形態 { ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 }

■宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育施設等の利用についてお聞きます。

問 10-1 宛名のお子さんは、平日に幼稚園・保育施設等を定期的にご利用していますか。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 利用している | (→ 問 10-2, 3へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問 10-4へ) |

問 10-2 問 10-1 で「1」を選んだ方にお聞きます。現在、どのような施設等を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、「現在」と「希望」の利用日数・時間を（ ）内に数字（時間の場合は、「9時～18時」のように24時間制）で記入してください。

	利用日数・時間	
1. 幼稚園 (通常の通園時間の利用)	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
2. 幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用) (通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用)	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
3. 幼稚園+預かり保育(たまに利用) (通常の通園時間に加え、必要ときだけ預かり保育を利用)	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
4. 保育園(所)	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
5. 昼間里親	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
6. 小規模保育 (保育所実施型家庭的保育事業・グループ型小規模保育事業)	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
7. 事業所内保育施設	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
8. 認可外保育施設	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
9. ベビーシッター	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
10. その他()	現在	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】
	希望	1週当たり()日 1日当たり()時間【()時～()時】

問 10-3 問 10-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。幼稚園・保育施設等を利用している主な理由について、当てはまる番号 1 つだけに○をつけてください。

- | | | |
|----|--------------------------------|----------------|
| 1. | 子どもの教育等のため | |
| 2. | お子さんの身の回りの世話を主にしている人が、現在就労している | |
| 3. | // | 就労予定がある／求職中である |
| 4. | // | 家族・親族等を介護している |
| 5. | // | 病気や障害がある |
| 6. | // | 学生で、授業等がある |
| 7. | その他（ | ） |

問 10-4 問 10-1 で「2」を選んだ方にお聞きします。幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由について、当てはまる番号 1 つだけに○をつけてください。

- | | | |
|----|---------------------------------------|---|
| 1. | 子どもの父か母が世話をしているため利用する必要がない | |
| 2. | 子どもの祖父母や親戚の人に子どもを預けていて利用する必要がない | |
| 3. | 近所の人や父母の友人・知人に子どもを預けていて利用する必要がない | |
| 4. | 利用したいが、利用したい幼稚園・保育施設等の定員に空きがない | |
| 5. | // 経済的な理由（保育料・教材費が高いなど）で利用していない | |
| 6. | // 利用したい時間帯と教育・保育の実施時間が合わない | |
| 7. | // 質に納得できる幼稚園・保育施設等が見つからない | |
| 8. | 子どもがまだ小さいため（____歳くらいになったら利用しようと考えている） | |
| 9. | その他（ | ） |

問 10-5 問 10-2 で「1」、「2」、「3」のいずれかを選んだ方（幼稚園を利用している方）にお聞きします。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中に幼稚園・保育施設等の利用を希望しますか。希望する場合は、利用したい時間帯（「9 時～18 時」のように 24 時間制で）を記入してください。

※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. | 利用する必要はない |
| 2. | 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい |
| 3. | 休みの期間中、週に数日利用したい |
| } ⇨ 利用したい時間帯
（ ）時（ ）分から（ ）時（ ）分まで | |

問 10-6 問 10-5 で「2」又は「3」を選んだ方にお聞きします。夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中にお子さんを預けたい主な理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----|--------------------------------------|---|
| 1. | 就労のため子どもをみる人がいなくなるから | |
| 2. | お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、就労予定がある／求職中である | |
| 3. | // 家族・親族等を介護している | |
| 4. | // 病気や障害がある | |
| 5. | // 学生で、授業等がある | |
| 6. | その他（ | ） |

問 11-1 すべての方にお聞きします。宛名のお子さんについて、現在、利用している、利用していないにかかわらず、幼稚園・保育施設等を平日に定期的に利用したいですか。それぞれについて、当てはまるものに○をつけてください。

※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担が発生します。

	利用を希望する	特に利用を希望しない	わからない
1. 幼稚園（通常の通園時間の利用）			
2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用） （通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用）			
3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用） （通常の通園時間に加え、必要なときだけ預かり保育を利用）			
4. 保育園（所）			
5. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）			
6. 昼間里親			
7. 小規模保育（保育所実施型家庭的保育事業・グループ型小規模保育事業）			
8. 事業所内保育施設			
9. 認可外保育施設			
10. ベビーシッター			
上記以外で利用したい施設等（ ）			

問 11-2 問 11-1 の「1」から「10」で「利用を希望する」を1つ以上選んだ方にお聞きします。
施設等を利用したいと考えている理由について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子どもの教育等のため	
2. お子さんの身の回りの世話を主にしている人が、現在就労している	
3. //	現在より就労日数や時間を増やしたい
4. //	就労予定がある／求職中である
5. //	そのうち就労したいと考えている
6. //	家族・親族等を介護している
7. //	病気や障害がある
8. //	学生で、授業等がある
9. その他（ ）	

問 11-3 問 11-1 の「1」から「10」で「利用を希望する」を1つ以上選んだ方にお聞きします。
 利用する幼稚園・保育施設等を選択するときに重視するかどうか、各項目につき、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

	重視 する	少し 重視 する	どちら とも 言え ない	あまり 重視 しない	重視 しない
教育内容	1	2	3	4	5
自宅・職場から近いなどの地理的条件	1	2	3	4	5
通園バスによる送迎の有無	1	2	3	4	5
給食の有無	1	2	3	4	5
保育士、教職員等の体制	1	2	3	4	5
施設・設備の良さ	1	2	3	4	5
保育料、教材費等の金額	1	2	3	4	5
教育・保育の実施時間（幼稚園の預かり保育の時間を含む。）の長さ	1	2	3	4	5
夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無	1	2	3	4	5
低年齢児（0～2歳）の受入れの有無	1	2	3	4	5
少人数で家庭的な雰囲気かどうか	1	2	3	4	5
障害のある子どもの受入体制が充実しているかどうか	1	2	3	4	5
宛名のお子さんの兄弟姉妹や、友人・知人の子どもが通っている(通っていた)施設かどうか	1	2	3	4	5

■宛名のお子さんの土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望についてお聞きします。

問 12-1 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用（一時的な利用は除く。）を希望しますか。それぞれ最も当てはまる番号1つに○をつけ、希望する場合は利用したい時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担が発生します。

土曜日	1. 毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない (→ 問 13-1へ)	} ⇒ 利用したい時間 () 時 () 分から () 時 () 分まで
日曜日・祝日	1. 毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない (→ 問 13-1へ)	} ⇒ 利用したい時間 () 時 () 分から () 時 () 分まで

問 12-2 問 12-1 で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。土曜日、日曜日・祝日にお子さんを預けたい主な理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----|----|--------------------------------------|
| 1. | | 就労のため子どもをみる人がいなくなるから |
| 2. | | お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、就労予定がある／求職中である |
| 3. | // | 家族・親族等を介護している |
| 4. | // | 病気や障害がある |
| 5. | // | 学生で、授業等がある |
| 6. | | その他（ ） |

■宛名のお子さんの病気・病後時の対応についてお聞きします。

問 10-1（平日の幼稚園・保育施設等の利用の有無に関する設問）で「1」（平日に幼稚園・保育施設等を定期的に利用している）を選んだ方にお聞きします。

問 13-1 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気や病気の回復期であるために、幼稚園・保育施設等を利用できなかったことがありましたか。

- | | |
|----|------------------|
| 1. | あった |
| 2. | なかった（→ 問 14-1 へ） |

問 13-2 問 13-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。この 1 年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

- | | | |
|-----------------------|-------|------------------------|
| 1. 父が休んだ | () 日 | } 1～4は、
(→問 13-3 へ) |
| 2. 母が休んだ | () 日 | |
| 3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた | () 日 | |
| 4. 子どもを仕事に同行させた | () 日 | |
| 5. 病児・病後児保育事業を利用した | () 日 | |
| 6. ベビーシッターを頼んだ | () 日 | |
| 7. ファミリーサポート事業を利用した | () 日 | |
| 8. その他（) () 日 | | |
| 9. 就労していない母又は父がみた | () 日 | |

問 13-3 問 13-2 で「1」～「4」を選んだ方にお聞きします。その際、できれば病児・病後児保育事業を利用したいと思いましたが。また利用したい場合、その日数はどれくらいですか。枠内に日数を記入してください。

- | | |
|----|---|
| 1. | できれば病児・病後児保育事業等を利用したい → () 日
(→問 13-4, 5 へ) |
| 2. | 利用したいと思わない |

問 13-4 問 13-3 で「1」を選んだ方にお聞きします。病気又は病後の子どもを預ける場合、どのような事業の利用を希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----|--|
| 1. | 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業 |
| 2. | 保育園（所）等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業 |
| 3. | 看護師、保育士等 1 名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業 |
| 4. | 地域住民が子どもの居宅等の身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業） |
| 5. | その他（) |
| 6. | 特に事業形態に関する希望はない |

問 13-5 問 13-3 で「1」を選んだ方にお聞きします。 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた | 2. 親族・知人に預けることができた |
| 3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 4. 事業実施施設に空きがなかった |
| 5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない | 6. 事業の実施時間（原則平日の8時～18時）が合わない |
| 7. 利用料がかかる・高い | 8. 事業の質に不安がある |
| 9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない | 10. そのような事業があることを知らなかった |
| 11. その他（ | ） |

問 13-6 問 13-2 で「3」から「9」のいずれかを選んだ方にお聞きします。 仕事を休めなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 仕事が忙しくて休めなかった | 2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった |
| 3. 自営業なので休めなかった | 4. 休暇日数が足りないので休めなかった |
| 5. その他（ | ） |

■宛名のお子さんの宿泊を伴わない日中の一時預かりについてお聞きします。

問 14-1 宛名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。利用したことがある事業の番号すべてに○をつけ、（ ）内にそれぞれの日数（半日程度でも1日としてカウント）を記入してください。

- | | | |
|-----------------------|------------|--------------|
| 1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた | （ ）日 | } (→問 15-1へ) |
| 2. 保育園（所）の一時保育 | （ ）日 | |
| 3. 幼稚園の預かり保育（不定期利用のみ） | （ ）日 | |
| 4. ファミリーサポート事業 | （ ）日 | |
| 5. ベビーシッター | （ ）日 | |
| 6. その他（ | ）（ ）日 | |
| 7. 利用していない | (→問 14-2へ) | |

問 14-2 問 14-1 で「7」に○をつけた方にお聞きします。 現在利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 特に利用する必要がない | |
| 2. 事業実施施設に空きがない | |
| 3. 利用したい時間帯と事業の実施時間（一時保育：原則月曜日～土曜日の8時～17時）が合わない | |
| 4. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない | |
| 5. どこで実施しているかわからない | |
| 6. 利用料がかかる・高い | |
| 7. 事業の質に不安がある | |
| 8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない | |
| 9. そのような事業があることを知らなかった | |
| 10. その他（ | ） |

問 15-1 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、事業を年間何日ぐらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、該当する番号に○をつけ、() 内に希望日数（半日程度でも1日としてカウント）を記入してください。

※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用希望がある → 年間 () 日	(→問 15-2 へ)
(理由別)	
	① 私用, リフレッシュ目的 () 日
	② 冠婚葬祭, 兄弟姉妹の学校行事, 保護者や兄弟の病気等 () 日
	③ 不定期の就労 () 日
	④ その他 () () 日
2. 利用希望はない	(→問 16-1 へ)

問 15-2 問 15-1 で「1」に○をつけた方にお聞きします。日中に一時的にお子さんを預ける場合に利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育施設等で子どもを一時的に保育する事業
2. 幼稚園・保育施設等以外の小規模な施設で子どもを一時的に保育する事業
3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業）
4. その他 ()
5. どのような事業でもよい

■宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについてお聞きします。

問 16-1 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む）はありましたか。

1. あった	(→ 問 16-2 へ)
2. なかった	(→ 問 17-1 へ)

問 16-2 問 16-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。この1年間の対処方法について、当てはまる番号すべてに○をつけ、泊数を記入してください。

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた	() 泊	(→ 問 16-3 へ)
2. ショートステイ事業を利用した	() 泊	
3. 認可外保育施設を利用した	() 泊	
4. ベビーシッターを利用した	() 泊	
5. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊	
6. その他 () ()	() 泊	

問 16-3 問 16-2 で「1」を選んだ方にお聞きします。その際は預かってもらいやすい状況でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. とても預かってもらいにくかった
2. どちらかというと、預かってもらいにくかった
3. 特に預かってもらいにくくはなかった

■地域の子育て支援のための事業の利用等についてお聞きます。

問 17-1 地域の子育て支援事業の利用等についてお聞きます。下表の事業ごとにA及びB-1の当てはまるものすべてに○をつけてください。

また、すでに利用している場合は、「現在」と「希望」の利用回数をB-2の（ ）内に数字で記入してください。

	A 知って いる	B-1 利用し ている	B-2 利用している場合のおおよその利用回数	
			現在	希望
子育て支援活動いきいき センター（つどいの広場）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
児童館（乳幼児クラブ）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
京都市営保育所（あい・ 京（みやこ）プラザ）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
民営保育園（地域での子 育て支援活動）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
京都市立幼稚園（教育相 談）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
私立幼稚園（地域子育て 相談事業）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回

問 17-2 問 17-1 の B-1 に○をつけなかった方（いずれの事業も利用していない方）にお聞きします。現在利用していない理由として最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 既に宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため 2. 利用する時間がない 3. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない 4. 自宅の近くで事業を実施していない 5. 地域で実施している事業の質に不安がある 6. どこで実施しているかわからない 7. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない 8. そのような事業があることを知らなかった 9. その他（ ） 10. 特に理由はない
--

問 17-3 問 17-1 の B-1 に○をつけなかった方（いずれの事業も利用していない方）にお聞きします。今後、これらの事業の利用を希望しますか。

1. 利用したい	2. 特に利用を希望しない
----------	---------------

問 18-1 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の設置・運営を行っています。宛名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

1. 利用している／利用したことがある	(→ 問 18-2, 4へ)
2. 児童館は知っているが、利用したことはない	(→ 問 18-3, 4へ)
3. 児童館を知らなかった	(→ 問 19-1へ)

問 18-2 問 18-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。どのような目的で利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけください。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 乳幼児クラブに参加するため | 2. 母親クラブに参加するため |
| 3. 子育て相談のため | 4. 1～3に該当しないが、子どもを遊ばせるため |
| 5. その他（ | ） |

問 18-3 問 18-1 で「2」を選んだ方にお聞きします。宛名のお子さんが児童館を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 既に宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため |
| 2. 利用する時間がない |
| 3. 利用したい時間帯と開館時間が合わない |
| 4. 自宅の近くにない |
| 5. どこにあるかがわからない |
| 6. 開館時間がわからない |
| 7. 児童館でどういう事業を実施しているのかがわからない |
| 8. 利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. 乳幼児も利用できることを知らなかった |
| 10. 小学生以上の子どももいるので乳幼児が利用するのは不安である |
| 11. 事業の質に不安がある |
| 12. その他（ |
| 13. 特に理由はない |

問 18-4 問 18-1 で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。児童館を利用しやすくするために期待することについて、最も当てはまる番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 施設・設備の充実 |
| 2. 施設や活動内容のPRの充実 |
| 3. 乳幼児クラブの実施回数の充実 |
| 4. イベントや催し物等、児童館事業の充実 |
| 5. 利用者の児童館事業への参画 |
| 6. 日・祝日の開館や開館時間の延長等、利用しやすい開館時間の設定 |
| 7. 子育て相談しやすい環境づくり |
| 8. 子育てサークルの自主的な活動スペースの提供 |
| 9. その他（ |

問 19-1 ファミリーサポート事業の利用について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 利用している/利用したことがある | (→ 問 19-2, 3へ) |
| 2. 会員登録はしているが、利用したことはない | (→ 問 19-4, 5へ) |
| 3. 利用したことはない | (→ 問 19-4, 5へ) |

問 19-2 問 19-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。事業の利用目的について、当てはまる番号すべてに○をつけください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 主たる保育事業として利用している |
| 2. 幼稚園・保育施設等の開始前や終了後に子どもを預かってもらっている |
| 3. 子どもが軽度の病気あるいは病気回復期に利用している |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している |
| 5. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している |
| 6. 幼稚園・保育施設等の送り迎えに利用している |
| 7. その他の目的（ |

）で利用している

問 19-3 問 19-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。現在どの程度利用しており、希望としてはどのぐらい利用したいか、() 内に数字を記入してください。

現在	1 月当たり () 回	1 回当たり () 時間程度
希望	1 月当たり () 回	1 回当たり () 時間程度

問 19-4 問 19-1 で「2」又は「3」を選んだ方にお聞きします。利用していない理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない／なかった 2. 会員登録をしなければならない 3. 事前説明会に参加しなければならない 4. 急に利用しにくい 5. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない 6. 利用料がかかる・高い 7. 事業の質に不安がある 8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない 9. そのような事業があることを知らなかった 10. その他 () 11. 特に理由はない

問 19-5 問 19-1 で「2」又は「3」を選んだ方にお聞きします。今後、利用したいですか。

1. 利用したい	2. 特に利用を希望しない
----------	---------------

問 20 以下の子ども・子育て支援に関する事業・施設の利用等についてお聞きします。下表の事業・施設ごとに、A～Cの当てはまるものすべてに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに 利用したこ とがある	C 今後利用 したい
1. 保健センターでのプレママ・パパ教室			
2. プレママバッチ・プレマママーク			
3. 保健センターでの親子で楽しむ健康教室（子育て交流会等）			
4. 保健センターによるこんにちはプレママ事業（初妊婦等訪問）			
5. 保健センターによる新生児等訪問指導事業（こんにちは赤ちゃん事業）			
6. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）			
7. 子ども支援センター（福祉事務所）			
8. 子育て支援総合センターこどもみらい館			
9. 地域子育て支援ステーション			
10. こども虐待SOS専用電話			
11. 京（みやこ）あんしんこども館			
12. 青少年科学センター親子ふれあいサイエンスルーム			

■小学校就学後の放課後の過ごし方についてお聞きします。

宛名のお子さんが来年4月に小学校に入学される方にお聞きします。

問 21 宛名のお子さんについて、小学校入学後、平日の放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの希望日数を記入してください。

また、学童クラブと放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）（以下「学童クラブ等」という。）の場合は、利用を希望する時間（「18時」のように24時間制で）を記入してください。

※ 児童館で行う学童クラブを利用している場合は、「学童クラブ等」の欄に記入してください。

		過ごさせたい日数
1. 自宅	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
3. 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
4. 児童館	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
5. 学校（放課後まなび教室等）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
6. 学童クラブ等 ＊ 現在、学童クラブ等の対象者は小学3年生（障害のある子どもは4年生）までですが、「高学年になってから」の利用希望も記入してください。	低学年の間	週（ ）日くらい （下校時から（ ）時まで）
	高学年になったら	週（ ）日くらい （下校時から（ ）時まで）
7. ファミリーサポート事業	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園等）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい

問 22 宛名のお子さんの「土曜日」、「日曜日・祝日」、「夏休み等の学校長期休業中」の学童クラブ等の利用希望について、当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担がかかります。

		利用希望の有無（【 】内は利用したい時間帯）
土曜日	低学年の間	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
日曜日・祝日	低学年の間	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
夏休み等の学校長期休業中	低学年の間	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない

■育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度についてお聞きます。

問 23－ 1 宛名のお子さんが生まれたときの育児休業の取得について、父母それぞれにつき、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、取得していない方はその理由を記入してください。

	父	母
就労していなかった	1	1
取得中である	2	2
取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した	3	3
取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった	4	4
育児休業取得中に離職した	5	5
取得していない	6 [	6 [

問 23－ 2 問 23－ 1 で「6」に該当する方（育休を取得していない方）についてお聞きます。

その方が、育児休業を取得していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	父	母
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
（産前産後休業後に）仕事に早く復帰したかった	3	3
仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
昇給・昇格等が遅れそうだった	5	5
収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
保育園（所）等に預けることができた	7	7
配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
子育てや家事に専念するため退職した	10	10
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11	11
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
産前産後休業（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	14	14
その他	15 [	15 [

問 23-3 問 23-1 で「2」に該当する方（育休取得中の方）についてお聞きます。その方は、宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育施設等がある場合、1歳になるまで育児休業を取得しますか。次のいずれかの番号に○をつけてください。

	父	母
1歳になるまで育児休業を取得する	1	1
1歳になる前に復帰する	2	2

問 23-4 問 23-1 で「3」又は「4」に該当する方（育休取得後に職場復帰した方）についてお聞きます。その方が、育児休業から職場復帰したのは、次のいずれでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

※ 次の例のような場合も「1」を選択してください。

例① 年度初め（4月）の入所に向け、早めに復帰し、4月の入所までは一時的に認可外保育施設等を利用して対応した。

例② 4月の入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかった。

	父	母
年度初め（4月）の入所に合わせたタイミングに復帰	1	1
それ以外	2	2

問 23-5 問 23-1 で「3」又は「4」に該当する方（育休取得後に職場復帰した方）についてお聞きます。その方が、育児休業から職場復帰したときのお子さんの年齢はいくつでしたか。また、希望としては、お子さんがいくつのときまで取得したかったですか（勤務先の育児休業制度の取得可能期間内で記入）。

	父	母
職場復帰したときのお子さんの年齢	() 歳 () ヶ月	() 歳 () ヶ月
希望していた復帰時期のお子さんの年齢	() 歳 () ヶ月	() 歳 () ヶ月

問 23-6 問 23-4 で実際の復帰と希望が異なる方についてお聞きます。その方が、希望の時期に職場復帰しなかった理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

		父	母
希望より早く復帰した方	希望する保育園（所）に入園するため	1	1
	配偶者や家族の希望があったため	2	2
	経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
	その他（（ ）内に理由を記入してください。）	5 []	5 []
希望より遅く復帰した方	希望する保育園（所）に入園できなかったため	6	6
	自分や子ども等の体調が思わしくなかったため	7	7
	配偶者や家族の希望があったため	8	8
	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	9	9
	子どもをみってくれる人がいなかったため	10	10
	その他（（ ）内に理由を記入してください。）	11 []	11 []

問 23-7 問 23-1 で「4」に該当する方（育休取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった方）についてお聞きます。その方が、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	父	母
職場復帰後に退職したので、利用の必要がなかった	1	1
配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、利用の必要がなかった	2	2
職場に制度を利用しにくい雰囲気があった	3	3
仕事が忙しかった	4	4
短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	5	5
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	6	6
職場に制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	7	7
制度を利用できることを知らなかった	8	8
その他（（ ）内に理由を記入）	9	9

問 23-8 問 23-1 で「5」に該当する方（育児休業取得中に離職した方）についてお聞きます。その方が、離職した理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

	父	母
保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった	1	1
職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった	2	2
制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった	3	3
その他	4	4

問 23-9 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としては何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

父	母
（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）歳（ ）ヶ月

■その他子育てに関することについてお聞きます。

問 24 子育てをしている今の気持ちについて、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. とても楽しい	2. 楽しい
3. 少し不安又は負担を感じる	4. とても不安又は負担を感じる
5. どちらとも言えない	

問 25 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じることを、感じるタイミングについて、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 家族のきずなが深まった
2. 他人の子どもや他人に対して優しくなれた
3. 子どもに多くのことを教えられた
4. ものの見方や価値観が変わった
5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい
6. 家庭の雰囲気になごやかになった
7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）
8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた
9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどをしてくれたとき
10. 子どもが他の子ども（友だち）のために優しい気配りなどをしてくれたとき
11. その他（ ）
12. 特にない

問 26 宛名のお子さんを育てていて、日頃不安に感じていることはありますか。各項目について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	不安ではない	あまり不安ではない	どちらとも言えない	少し不安である	不安である
ア 子どものしつけ	1	2	3	4	5
イ 子どもの教育	1	2	3	4	5
ウ 子どもの教育費	1	2	3	4	5
エ 子どもの遊び	1	2	3	4	5
オ 子どもを遊ばせることができる場所	1	2	3	4	5
カ 子どもを預けられる施設や条件	1	2	3	4	5
キ 子どもの食事や栄養	1	2	3	4	5
ク 子どもの病気や発育	1	2	3	4	5
ケ 子どもの医療費	1	2	3	4	5
コ 子どもの将来	1	2	3	4	5
サ 子どもと接する時間がない	1	2	3	4	5
シ 家族の中での子育て観の違い	1	2	3	4	5
ス 配偶者の子育てへの協力が得られない	1	2	3	4	5
セ 子育てに自信がない	1	2	3	4	5
ソ 育児書どおりにならない	1	2	3	4	5
タ 子育てと自分の生きがいや仕事との関係	1	2	3	4	5
チ 自分に話し相手や相談相手がいない	1	2	3	4	5
ツ 自分の時間、心のゆとりが持てない	1	2	3	4	5
テ 自分の健康	1	2	3	4	5
ト その他（ ）	1	2	3	4	5

問 27 宛名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる不安や悩みを、どこに、または誰に相談していますか。多いもの 3 つまでの番号に○をしてください。

1. 子ども支援センター（福祉事務所）	2. 保健センター
3. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）	4. こどもみらい館
5. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）	6. 児童館

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 7. 宛名のお子さんやその兄弟姉妹が通園している幼稚園・保育施設等 | 8. 7以外の幼稚園・保育施設等 |
| 9. 民生委員・児童委員，主任児童委員 | 10. 医療機関 |
| 11. 配偶者・パートナー | 12. 祖父母等の親族 |
| 13. 友人や近隣の住民 | 14. 職場の同僚 |
| 15. 子育てサークル等の仲間 | 16. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 |
| 17. 電話相談機関 | 18. インターネットの相談・質問サイト |
| 19. その他（ | ） |
| 20. 相談相手がいらない | |

問 28 近年，子育てへの父親のかかわりが少ないことが問題となっていますが，その理由をどのように考えますか。最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 残業や休日出勤等が多く，仕事を優先せざるを得ないこと |
| 2. 通勤時間が長いこと |
| 3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに，職場の理解を得にくいこと |
| 4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと |
| 5. 父親が育児にかかわることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること |
| 6. 父親が育児にかかわることを特別視する風潮が世間にあること |
| 7. その他（ |
| ） |

問 29 子育てと仕事の両立を支援していくため，社会全体でどのような制度や支援策に取り組んでほしいと思いますか。最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実 |
| 2. 産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実 |
| 3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備 |
| 4. 育児休業中も職場の情報を提供するなど，職場に復帰しやすい条件の整備 |
| 5. 子育ての間は，残業や出張などを免除する制度 |
| 6. 子育ての間は，雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度 |
| 7. 子育ての間は，パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度 |
| 8. 子どもの用事（学校行事，病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度 |
| 9. 事業所内に子どもが預けられる施設等の整備 |
| 10. 育児相談の実施 |
| 11. 出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実 |
| 12. 女性の就労継続に対する企業などの理解や支援 |
| 13. その他（ |
| ） |
| 14. 特になし |

問 30－1 家族そろっての食事はどのくらいありますか。

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週に 4，5 日 | 3. 週に 2，3 日 | 4. 週に 1 日 |
| 5. ほとんどない | 6. 離乳前である | | |

問 30－2 宛名のおさんは，ふだん朝食を食べていますか。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週に 4，5 日 | 3. 週に 2，3 日 | 4. 週に 1 日 |
| 5. ほとんど食べない | 6. 離乳前である | | |

問 31 宛名のお子さんには，かかりつけの医師がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 32 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 33 宛名のおさんは，いままでに事故（転倒・交通事故・やけど・誤飲・溺水等）にあったことがありますか。

1. ある 2. ない

問 34 次のような事故防止や健康のための対策について、意識して行っています（ました）か。それぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

	はい	いいえ
家庭では、子どもが誤飲するようなもの（ボタン、電池、たばこの吸殻等）を置かないよう心がけている	1	2
やけどにつながる物（ポット、ストーブ、コンロ等）に子どもを近づけないよう心がけている	1	2
水の事故が起こらないよう心がけている（お風呂、洗濯の際など）	1	2
車に乗せるときはベビーシート・チャイルドシートを着用する	1	2

問 35-1 子育てに関して知りたい情報について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育施設等に関する情報
2. 1 以外の子育て支援施策に関する情報
3. 民間の子育て援助サービス（ベビーシッター等）に関する情報
4. 子どもと一緒に参加できるイベント情報
5. 医療機関に関する情報
6. 子どもの病気時への対処方法
7. 子どもに関する相談窓口
8. 子育てサークルの情報
9. その他（ ）
10. 特に必要な情報はない

問 35-2 問 35-1 のような子育てに関する情報の入手方法について、多いもの 3 つまでの番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 市民しんぶん | 2. 京都市のホームページ（京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP） |
| 3. 京都市が発行する子育て応援パンフレット | 4. 子ども支援センター（福祉事務所） |
| 5. 保健センター | 6. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所） |
| 7. こどもみらい館 | 8. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） |
| 9. 児童館 | 10. 宛名のお子さんやその兄弟姉妹が通園している幼稚園・保育施設等 |
| 11. 10以外の幼稚園・保育施設等 | 12. 民生委員・児童委員，主任児童委員 |
| 13. 電話相談機関 | 14. 医療機関 |
| 15. 配偶者・パートナー | 16. 祖父母等の親族 |
| 17. 友人や近隣の住民 | 18. 職場の同僚 |
| 19. 子育てサークル等の仲間 | 20. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 |
| 21. テレビ，ラジオ，新聞，雑誌等 | 22. インターネットの子育て情報サイト |
| 23. その他（ | ） |

問 36 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。

1. いる 2. いない

問 37-1 子育てサークル等の自主的な活動に参加していますか。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 現在参加している | (→ 問 37-2 へ) |
| 2. 新たに立ち上げたいと考えている | (→ 問 37-2 へ) |
| 3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい | (→ 問 37-2, 3 へ) |
| 4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない | (→ 問 37-3 へ) |

問 37-2 問 37-1 で「1」、「2」、「3」のいずれかを選んだ方にお聞きします。子育てサークル等の自主的な活動をしていくに当たって行政や地域に行ってほしい支援はどのようなものですか。主なもの3つまでの番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 活動場所の提供（場所貸し等） | 2. サークルリーダーの育成 |
| 3. 情報発信やPR等に関する支援（掲示板の開放等） | 4. 活動時間中の保育サービス |
| 5. 活動を進めていくうえでの相談や助言 | 6. 活動資金の助成 |
| 7. その他（ | 8. 特にない |

問 37-3 問 37-1 で「3」又は「4」を選んだ方にお聞きします。子育てサークル等の自主的な活動に参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 時間がない（仕事等が忙しいなど） | 2. 身近にサークルや組織がない |
| 3. 身近にサークルがあるのかわからない | 4. 活動や役割が大変そう |
| 5. 人間関係等がわずらわしそう | 6. 既に他の仲間がいる |
| 7. 参加しようとしたが参加者がいっぱい断られた | 8. その他（ |
| 9. 特に理由はない | |

問 38 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 身近な問題についての親同士での相談や話しあい |
| 2. 子ども会等の活動を通じて、地域の大人が子どもにかかわりあうこと |
| 3. 急用や緊急時に、子どもを預けあえること |
| 4. 子どもの危険な行為やいたずらを注意しあえること |
| 5. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと |
| 6. 子どもや保護者が集える場所づくり |
| 7. その他（ |
| 8. 特にない |

問 39 宛名のお子さんを平日の日中どこで遊ばせることが多いですか。主なものの番号1つに○をつけてください（幼稚園・保育施設等に通っている場合は、それ以外の時間の状況について）。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 公園・ちびっこひろば | 2. 家の近くの路地や道路 |
| 3. 自宅 | 4. 子どもの友人宅 |
| 5. 親戚や知人宅 | 6. 児童館 |
| 7. こどもみらい館 | 8. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） |
| 9. 図書館 | 10. その他（ |

問 40 宛名のお子さんと外出する際に、困ること・困ったことについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること |
| 2. 歩道の段差等がベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること |
| 3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと |
| 4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと |
| 5. 授乳する場所や必要な設備が少ないこと |
| 6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ないこと |
| 7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと |
| 8. 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりとうるおいが少ないこと |
| 9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害の防止対策が少ないこと |

10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
11. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに、手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（ ）
13. 特に困ること・困ったことはない

問 41 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてお聞きます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。

- | | |
|---|---|
| 1. 知っている
├── (1) 実践していると思う
├── (2) 今後、実践したいと思う
└── (3) 関心がない | 2. 知らない
├── (1) 今後、実践したいと思う
└── (2) 関心がない |
|---|---|

＜参考＞子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成 19 年 2 月 5 日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3 月 13 日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

問 42 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを期待しますか。最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 妊娠・出産の支援の充実
2. 子どもの健康や医療に関する施策の充実
3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援施策の充実
4. 教育環境の整備
5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実
6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進
7. 子育てに関する相談体制の整備
8. 交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実
9. その他（ ）
10. 特にない

問 43 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いもの 1 つに○をつけてください。

	そう 思う	少し そう 思う	どちら とも 言え ない	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
安心して出産できる環境である	1	2	3	4	5
乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5
身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる	1	2	3	4	5

必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	1	2	3	4	5
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の時に、必要な支援を受けられる環境である	1	2	3	4	5
障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行なわれている	1	2	3	4	5
子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5
子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがある	1	2	3	4	5
子どもへの教育環境は充実している	1	2	3	4	5
青少年が健全に育つ環境である	1	2	3	4	5
身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5

問 44 安心して子どもを産み、子どもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

問 45 この調査票に記入されている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。

1. 父 2. 母 3. その他（ ）

お忙しいところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
この調査票は、平成 25 年 1 1 月 1 3 日（水）までに、
同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

● 用語説明

※ アンケートにご回答いただく際にご参照ください。

用 語	説 明
あ	
一時保育事業	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育, 保護者の傷病等による緊急時の保育, 保護者のリフレッシュを図るための一時的な保育を実施します。(市内50箇所の保育園(所)で実施)
延長保育事業	保護者の方の長時間就労等に対応するため, 11時間を超えて保育を実施します。(市内188箇所の保育園(所)で実施)
か	
学童クラブ事業	保護者の就労等で昼間留守になる家庭の低学年のお子さんを対象に, 児童館・学童保育所で放課後安全に保護し, かつ, 健やかに育成する事業です。
休日保育事業	保護者の就労等により, 日曜, 祝日等において, 家庭で保育できないお子さんをお預かりし, 保育園(所)で保育を実施します。 (市内6箇所の保育園(所)で実施)
京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 京(みやこ)あんしんこども館	子育てがより安心安全にできる社会を築いていくため, 子どもたちの疾病や成長といった育児上の保健医療に関する不安や悩みについての相談や, 子どもの事故に関する調査研究, 事故防止の普及・啓発を行っています。
子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	子育て中の親子(主に乳幼児を育てている親とその子)が気軽につどい, 交流できる場を提供しています。子育てアドバイザーが常駐し, 専門的な観点から子育て相談に応じるほか, 子育て講座等の事業も行っています。(市内29箇所で実施)
子育て支援総合センター こどもみらい館	子育て支援の中核施設として, 乳幼児の子育てを支援するため, 各種の子育てに関する相談や子育て講座等を実施しているほか, 乳幼児の親子が一緒に遊べる「こども元気ランド」や, 子育てに関する図書や絵本等の閲覧・貸出しを行う「子育て図書館」があります。
子育て支援短期利用事業 (ショートステイ)	保護者の方の入院や通院(病気, 出産), あるいは冠婚葬祭や出張等により, 一時的に家庭で子どもがみられなくなったとき, 小学校修了前までのお子さんを, 乳児院, 児童養護施設, 母子生活支援施設で一定期間養育する事業です。(市内2箇所の乳児院, 8箇所の児童養護施設, 1箇所の母子生活支援施設で実施)
子ども支援センター (福祉事務所)	お住まいの地域の子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として, 各区役所・支所に設置されています。お子さんに関して気がかりとなっていることや子育てに関する不安や悩み等の様々な相談に応じているほか, 地域の子育てに関する様々な情報の提供等を行っています。
こども虐待 SOS 専用電話 (24時間・365日対応)	児童虐待をいち早く発見し, 対応するため, また「子どもを叩いてしまいそう」といった悩みにいつでも応じられるよう, 児童虐待に関する通告・相談専用電話(801-1919)を設置しています。
さ	
事業所内保育施設	企業や病院等において, その従業員の乳幼児を対象として保育を行う施設の総称です。(市内44施設)

用 語	説 明
児童館	18歳未満の児童に健全な遊びの機会を提供し、健康の増進と情操を豊かにするために設置された児童福祉施設です。子育て家庭への支援や児童に関する地域の活動センターとしての取組等も行っています。
児童館での乳幼児クラブ・母親クラブ	乳幼児クラブでは、乳幼児と保護者の方が一緒に参加できるプログラムとして、一緒に遊びながら、親子のきずなを強める取組や保護者同士での子育ての仲間づくりに向けた取組を行っています。 母親クラブでは、お母さん方の交流を図りながら、手作りの人形劇・パネルシアターを上演する等、地域の子どもたちのための活動を児童館と協力しながら行っています。
児童福祉センター (児童相談所)	児童福祉法に基づく行政機関として設置されている児童相談所を中心に、障害のある子どもへの療育等を行う各種施設などが併設されています。センターでは、子育ての不安、発達の遅れ、障害、不登校、非行、子どもを家庭で育てられないなど、子どもに関するさまざまな相談に応じています。また、児童虐待の相談や通告も受け付けています。
小規模保育（グループ型 小規模保育事業、保育所 実施型家庭的保育事業）	保護者の方の就労や病気等（保育園（所）と同じ条件）により家庭で保育できない主に3歳未満のお子さんを対象に、賃貸住宅等において、少人数の保育を行います。 ＜グループ型小規模保育事業＞ 賃貸住宅等の一室で、複数の保育士等が保育を実施します。 （市内2箇所） ＜保育所実施型家庭的保育事業＞ 賃貸住宅等の一室で、民営保育園の保育士等が保育を実施します。 （市内2箇所）
た	
地域子育て支援ステーション	身近な地域における子育て相談・ネットワークの拠点として、保育園（所）・児童館から「地域子育て支援ステーション」を指定し、子育て相談・子育て講座の実施や、小学校区内のネットワークづくりに取り組んでいます。（市内175箇所の保育園（所）・児童館を指定）
昼間里親～京（みやこ） ベビーハウス～	保護者の方の就労や病気等（保育園（所）と同じ条件）により家庭で保育できない主に3歳未満のお子さんを、経験豊かな昼間里親が、個人の家庭等の落ち着いた雰囲気の中で保育します。（市内41箇所）
な	
認可外保育施設	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称です。乳幼児を6人以上預かるなど、一定の要件を満たす施設は、京都市への設置の届出が必要です。（届出対象施設 市内39施設）
認定こども園	幼稚園、保育園等のうち、小学校入学前のお子さんに幼児教育・保育を提供する機能と地域における子育て支援を行う機能を備え、認定こども園としての認定を受けた施設です。（現時点では、京都市内に認定こども園はありません。）

用 語	説 明
は	
病児・病後児保育	病氣中・病氣回復期のお子さんがいる方で、仕事等の都合で家庭での育児ができない方のために、医療機関に付設された施設で一時保育を行っています。（病児・病後児保育 市内 2 施設、病後児保育 市内 4 施設）
ファミリーサポート事業	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助をしたい人（提供会員）とが会員となって、保育施設までの送迎や、買い物などで外出の際にお子さんを預かるなど、市民の方が互いに助け合う子育て支援事業です。
保育園（所）	児童福祉法に基づき認可・設置される児童福祉施設で、保護者の就労、病氣や親族の介護等で、家庭でお子さんを保育できない場合、家庭に代わってお子さんを保育します。（市内に 229 箇所の民営保育園と 25 箇所の市営保育所があります。） 保育料は、扶養義務者の所得税又は市民税、保育の時間帯、お子さんの年齢等により、徴収基準表に定められた月額で決定します。
放課後ほっと広場 （ゆうゆうクラブ）	児童館等による学童保育を実施していない地域において、保護者の就労等で昼間留守になる家庭の低学年児のお子さんを、放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成するために、小学校内で「学童クラブ機能」を有する事業を実施しています。
放課後まなび教室	学校施設を活用し、地域や保護者、学生等の参画を得ながら、放課後の子どもたちに、学習の習慣づけを図る「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を提供する取組です。市内の全小学校区で原則としてその小学校に通学する子どもたちを対象として実施しています。
や	
幼稚園	学校教育法に基づき認可・設置される教育機関で、3 歳から 5 歳児のお子さんに学校教育を行います。（市内に 16 箇所の市立幼稚園と 99 箇所の私立幼稚園（いずれも休園中を除く。）及び 1 箇所の国立幼稚園があります。） 京都市では、保育料及び教材費の負担を軽減するため、市立幼稚園保育料等減額措置及び私立幼稚園就園奨励費の補助を行っています。
幼稚園の預かり保育	幼稚園教育要領に基づき、地域の実態や保護者の希望に応じて、通園時間の前後（早朝や午後の時間帯）に希望者を対象に行う教育活動です。

（施設数等は、平成 25 年 9 月 1 日現在）

京都市 子育て支援に関する市民ニーズ調査 (小学生児童用)

調査へのご協力をお願い

平成27年4月からの実施が予定されている「子ども・子育て支援新制度」は、子どもは、親、保護者が育むことを基本的認識としつつ、子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうよう、国や地域を挙げて社会全体で子ども・子育てを支援する、新しい支え合いの仕組みです。

京都市では、この新制度の実施主体として、幼児期の学校教育・保育及び保護者に対する子育て支援の施策の実施に関する「京都市子ども・子育て支援事業計画」を新たに策定いたします。

また、この京都市子ども・子育て支援事業計画については、本市の子育て支援施策の総合的な計画である「京都市未来こどもプラン」の次期計画に一体的に盛り込み、幅広い観点から子育て支援施策を推進してまいります。

本調査は、これらの計画で確保を図るべき幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援に関する事業の量の見込みを算出するために、市民の皆様の現在の利用状況や今後の利用希望、子育てに関する意識等をおうかがいする大変重要な調査です。

今回、住民基本台帳から小学生のお子さんがおられる世帯を無作為に抽出し、この調査票を送らせていただいております。回収した調査票は、すべて統計的に処理し、この調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成25年10月

京都市長 門川 大作

【ご記入に当たってのお願い】

- 1 アンケートにはお子さんの保護者の方が記入してください。
- 2 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについて記入してください。
- 3 選択肢を選んでいただく場合、選択する数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」を選択した場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 4 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。
- 5 ご記入後は、平成25年11月13日（水）までに同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

〔巻末に用語説明を掲載しております。あわせてご参照ください。〕

【調査に関する問合せ先】京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課 市民ニーズ調査担当
電話：075-251-2380 FAX：075-251-2322

※ 返送先は、京都市が調査・集計業務を委託している『株式会社 名豊』宛てとなっています。

■宛名のお子さんご家族の状況についてお聞きます。

問1 宛名のお子さんの生年月を記入してください。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問2 お住まいの区に○をつけてください。また、お住まいの小学校区を記入してください。

1. 北 区	2. 上京区	3. 左京区
4. 中京区	5. 東山区	6. 山科区
7. 下京区	8. 南 区	9. 右京区（京北地域除く）
10. 右京区（京北地域）	11. 西京区（洛西支所管内除く）	12. 西京区（洛西支所管内）
13. 伏見区（深草・醍醐支所管内除く）	14. 伏見区（深草支所管内）	15. 伏見区（醍醐支所管内）

⇒ お住まいの小学校区

学区

※小学校区がわからない場合は、空白のままで結構です。

問3 家族の人数（ご自分や宛名のお子さんも含む。）を記入してください。

家族全員	子どもの数		
	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生以上の子ども
人	人	人	人
	末子の生年月 平成（ ）年（ ）月		

問4-1 宛名のお子さんとの同居・近居の状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

1. 父母同居	2. 父同居（ひとり親家庭）	3. 母同居（ひとり親家庭）	4. 祖父同居
5. 祖母同居	6. 祖父近居	7. 祖母近居	8. その他（ ）

※ 「近居」は、概ね30分以内で行き来できる範囲

問4-2 宛名のお子さんの父母の生年月を記入してください。

父	母
【母子家庭の場合は記載不要です。以下の父親の方への質問も同様です。】	【父子家庭の場合は記載不要です。以下の母親の方への質問も同様です。】
昭和・平成（ ）年（ ）月生まれ	昭和・平成（ ）年（ ）月生まれ

問5 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方がいる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

1. いない	2. 本人	3. 父	4. 母	5. 兄	6. 姉
7. 弟	8. 妹	9. 祖父	10. 祖母	11. その他（ ）	

問6 世帯のお子さん全員の子育てについて、1ヶ月にどのくらいの費用がかかりますか。おおよその金額（子ども医療費支給制度等による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実質的に負担した額）を記入してください。

また、子育てにかかる費用は、世帯全員の年収のおおよそ何%を占めますか。

1. 幼稚園や保育施設等（保育園（所）、昼間里親、認可外保育施設等）	⇒ 月（ ）円
2. 学校（給食費、授業料、教材費等）	⇒ 月（ ）円
3. 習い事や塾	⇒ 月（ ）円
4. 学童クラブ事業等	⇒ 月（ ）円
5. 医療	⇒ 月（ ）円
	
子育てにかかる費用が世帯全員の年収に占める割合 = (1 + 2 + 3 + 4 + 5) × 12 ヶ月 ÷ 世帯年収 × 100	
%	

問7-1 日頃、お子さんを預けられる人について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで
2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで
4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない (→ 問8へ)

問7-2 問7-1で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。祖父母等に預かってもらっている状況について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 祖父母等の負担が大きく心配である
3. 祖父母等と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他（ ）

問7-3 問7-1で「3」又は「4」を選んだ方にお聞きします。友人や知人に預かってもらっている状況について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人や知人の負担が大きく心配である
3. 友人や知人と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他（ ）

問8 宛名のお子さんの育児や家事等に主に関わっている方はどなたですか。各項目について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	父	母	祖父	祖母	その他
洗濯をする	1	2	3	4	5 ()
食料品等の日常的な買い物をする	1	2	3	4	5 ()
家族や子どもの食事をつくる	1	2	3	4	5 ()
子どもに食事を食べさせる	1	2	3	4	5 ()
子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5 ()
子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5 ()
子どもの衣類を替える	1	2	3	4	5 ()
学童クラブや習い事, 塾等の送り迎えをする	1	2	3	4	5 ()
子どもを寝かしつける	1	2	3	4	5 ()
子どもをしつける	1	2	3	4	5 ()
子どもに本を読み聞かせる	1	2	3	4	5 ()
予防接種や健診に連れて行く	1	2	3	4	5 ()
子どもが病気の際に看病したり病院に連れて行ったりする	1	2	3	4	5 ()
子ども会や子育てサークル等の子育てに関する地域活動に参加する	1	2	3	4	5 ()

■宛名のお子さんのお父さん、お母さんの就労状況についてお聞きます。

問9-1 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）をお聞きます。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。あわせて、〔 〕に数字（時間の場合は、「18時頃」のように24時間制で）を記入してください。

*「フルタイム」は1週5日・1日8時間程度の就労

父	母
1. 就労している（フルタイム） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃	1. 就労している（フルタイム） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃
2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中	2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい	3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） →1週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい
4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい	4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中 →フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい
5. 現在就労していない（→ 問9-2, 3へ）	5. 現在就労していない（→ 問9-2, 3へ）

問9-2 問9-1で「5」に該当する方についてお聞きします。その方が、現在就労していない理由について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

	父	母
配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	1	1
子育てのため	2	2
家族・親族等の看護・介護のため	3	3
健康上の問題があるため	4	4
働きたいが、家族の理解が得られないため	5	5
条件にあった仕事が見つからないため	6	6
その他（（ ）内に理由を記載してください。）	7 {	7 {

問9-3 問9-1で「5」に該当する方についてお聞きします。その方の今後の就労の希望について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。あわせて、〔 〕に数字を記入してください。

父	母
1. 就労は希望していない 2. 1年より先、末子が〔 〕歳ぐらいになったら就労したい。 3. 1年以内に就労したい →（「2」又は「3」の場合）希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間	1. 就労は希望していない 2. 1年より先、末子が〔 〕歳ぐらいになったら就労したい。 3. 1年以内に就労したい →（「2」又は「3」の場合）希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間

■学童クラブ事業及び放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の利用についてお聞きします。

問10-1 宛名のお子さんは、現在、学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用していますか。

1. 利用している	（→ 問10-2, 3, 4へ）
2. 利用していない	（→ 問10-5, 6へ）

問10-2から問10-4は、問10-1で「1」を選んだ方にお聞きします。

問10-2 学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用している日数や時間（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

【平日】	週（ ）日	利用している
	（ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで	
【土曜日】	月（ ）日	利用している
	（ ）時 から （ ）時 まで	
【学校長期休業中】	月（ ）日	利用している
	（ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで	

問 10-3 利用している理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 現在就労している | 2. 就労予定がある／求職中である |
| 3. 家族・親族等を介護している | 4. 病気や障害がある |
| 5. 学生で、授業等がある | 6. その他（ ） |

問 10-4 お子さんが利用している学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）に関する要望について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけ、必要に応じて（ ）に数字等を記入してください。

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 平日の預かり時間の延長 | 閉所時間：18 時 → （ ）時（ ）分まで |
| 2. 土曜日の預かり時間の延長 | 開所時間：8 時 30 分 → （ ）時（ ）分から
閉所時間：18 時 → （ ）時（ ）分まで |
| 3. 夏休み等の学校長期休業中の預かり時間の延長 | 開所時間：8 時 30 分 → （ ）時（ ）分から
閉所時間：18 時 → （ ）時（ ）分まで |
| 4. 対象年齢の拡大 → （ ）歳まで | 5. 施設の増改築 |
| 6. 設備の充実 | 7. 児童厚生員などの職員体制の充実 |
| 8. 活動内容の充実 | 9. おやつなどの充実 |
| 10. 受入れ児童数の拡大 | 11. 保護者への十分な情報伝達や意見要望への対応 |
| 12. 安全対策や衛生対策の充実 | 13. 障害のある子どもの受入れ体制の充実 |
| 13. 利用料金などの軽減 | 15. 特に要望はない／わからない |
| 16. その他（ ） | |

問 10-5、問 10-6 は、問 10-1 で「2」を選んだ方にお聞きます。

問 10-5 学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用していない理由について、当てはまる順に 3 つまで選び、下の回答欄に記入してください。

1. 子どもの父か母が世話をしていたりして利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人に子どもを預けていて利用する必要がない
3. 近所の人や父母の友人・知人に子どもを預けていて利用する必要がない
4. 利用したい時間帯と学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の開所時間が合わない
5. 学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の場所が遠い
6. 学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）がどこにあるのかわからない
7. 利用したい学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の定員に空きがない
8. 利用料金がかかる・高い
9. 事業の質に不安がある
10. 放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う
11. 習い事や塾に通っている
12. 対象年齢外である
13. 子どもが行きたがらない
14. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない
15. 学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を知らなかった
16. その他（ ）

【回答欄】

1 2 3

--	--	--

問 10-6 今後、学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用したいですか。

1. 利用したい	(→ 問 10-7, 8へ)
2. 今後も利用しない	(→ 問 11)

問 10-7, 問 10-8 は、問 10-6 で「1」を選んだ方にお聞きします。

問 10-7 今後、学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）を利用したいと考えている理由について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 現在就労している	2. 現在より就労日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある／求職中である	4. そのうち就労したいと考えている
5. 家族・親族等を介護している	6. 病気や障害がある
7. 学生で、授業等がある	8. その他（ ）

問 10-8 利用を希望する日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）をお答えください。

平日	週（ ）日 利用したい	⇒	利用したい時間 ()時()分から ()時()分まで
土曜日	1. 毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間 ()時()分から ()時()分まで
日曜日・祝日	1. 毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間 ()時()分から ()時()分まで
夏休み等の 学校長期休業中	1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 2. 休みの期間中、週に数日利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間 ()時()分から ()時()分まで

ここからはすべての方にお聞きします。

問 11 全小学校区において実施している「放課後まなび教室」の利用希望はありますか。

1. 既に利用している	→ 週（ ）日
2. 現在利用していないが、今後利用したい	→ 週（ ）日くらい
3. 利用希望はない	

問 12 宛名のお子さんについて、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を記入してください（宛名のお子さんが低学年の場合は、「高学年になってから」には将来の希望を記入）。

		週当たりの日数
１．自宅	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
３．習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
４．児童館 ＊ 児童館で行う学童クラブを利用している場合は、「６．学童クラブ又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）」の欄に記入してください。	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
５．学校（放課後まなび教室等）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
６．学童クラブ事業又は放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ） ＊ 現在、学童クラブ等の対象者は小学３年生（障害のある子どもは４年生）までですが、「高学年になってから」の利用希望も記入してください。	低学年の間	週（ ）日くらい （下校時から（ ）時まで）
	高学年になってから	週（ ）日くらい （下校時から（ ）時まで）
７．ファミリーサポート事業	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
８．公園・ちびっこ広場	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
９．家の近くの路地や道路	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい
１０．その他（ ）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になってから	週（ ）日くらい

■ 宛名のお子さんの病気・病後時の対応についてお聞きます。

問 13－1 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。

1. あった	(→ 問 13-2へ)
2. なかった	(→ 問 14-1へ)

問 13-2 問 13-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. 父が休んだ	() 日	} 1～4は, (→ 問 13-3へ)
2. 母が休んだ	() 日	
3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた	() 日	
4. 子どもを仕事に同行させた	() 日	
5. 病児・病後児保育事業を利用した	() 日	
6. ベビーシッターを頼んだ	() 日	
7. ファミリーサポート事業を利用した	() 日	
8. その他 ()	() 日	
9. 就労していない母又は父がみた	() 日	

問 13-3 問 13-2 で「1」～「4」を選んだ方にお聞きします。その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。また利用したい日数はどれくらいですか。

1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい	→ () 日	(→ 問 13-4, 5へ)
2. 利用したいと思わない		(→ 問 14-1へ)

問 13-4 問 13-3 で「1」を選んだ方にお聞きします。病気又は病後の子どもを預ける場合、どのような事業の利用を希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業
2. 看護師、保育士等1名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業
3. 地域住民が子どもの居宅等の身近な場所で、子どもを預かる事業(例：ファミリーサポート事業)
4. その他 ()
5. 特に事業形態に関する希望はない

問 13-5 問 13-3 で「1」を選んだ方にお聞きします。病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた
2. 親族・知人に預けることができた
3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
4. 事業実施施設に空きがなかった
5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない
6. 事業の実施時間(原則平日の8時～18時)が合わない
7. 利用料がかかる・高い
8. 事業の質に不安がある
9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない
10. そのような事業があることを知らなかった
11. その他 ()

問 13-6 問 13-2 で「3」から「9」のいずれかを選んだ方にお聞きします。仕事を休めなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事が忙しくて休めなかった	2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった
3. 自営業なので休めなかった	4. 休暇日数が足りないので休めなかった
5. その他 ()	

■宛名のお子さんの宿泊を伴わない日中の一時預かりについてお聞きます。

問 14-1 宛名のお子さんについて、この 1 年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。利用したことがある事業の番号すべてに○をつけ、() 内にそれぞれの日数（半日程度でも 1 日としてカウント）を記入してください。

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた	() 日	} (→問 15-1 へ)
2. 子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）を利用した	() 日	
3. ファミリーサポート事業を利用した	() 日	
4. ベビーシッターを頼んだ	() 日	
5. その他 () () 日		
6. 利用していない	(→問 14-2 へ)	

問 14-2 問 14-1 で「6」に○をつけた方にお聞きます。現在利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 事業実施施設に空きがない
3. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
4. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない
5. どこで実施しているかわからない
6. 利用料がかかる・高い
7. 事業の質に不安がある
8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない
9. そのような事業があることを知らなかった
10. その他 ()

問 15-1 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、事業を年間何日ぐらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、該当する番号に○をつけ、() 内に希望日数（半日程度でも 1 日としてカウント）を記入してください。

※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用希望がある → 年間 () 日	(→問 15-2 へ)
(理由別)	
} ()	① 私用、リフレッシュ目的 () 日
	② 冠婚葬祭、兄弟姉妹の学校行事、保護者や兄弟の病気等 () 日
	③ 不定期の就労 () 日
	④ その他 () () 日
2. 利用希望はない	(→問 16-1 へ)

問 15-2 問 15-1 で「1」に○をつけた方にお聞きます。日中に一時的にお子さんを預ける場合に利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童養護施設等で、子どもを預かってくれる事業
2. 児童館・学童保育所等で、子どもを預かってくれる事業
3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業）
4. その他 ()
5. どのような事業でもよい

■宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについてお聞きます。

問 16-1 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。

- | | |
|---------|--------------|
| 1. あった | (→ 問 16-2 へ) |
| 2. なかった | (→ 問 17 へ) |

問 16-2 問 16-1 で「1」を選んだ方にお聞きます。この1年間の対処方法について、当てはまる番号すべてに○をつけ、泊数を記入してください。

- | | | |
|-----------------------|-------|--------------|
| 1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた | () 泊 | (→ 問 16-3 へ) |
| 2. ショートステイ事業を利用した | () 泊 | |
| 3. 認可外保育施設を利用した | () 泊 | |
| 4. ベビーシッターを利用した | () 泊 | |
| 5. 仕方なく子どもを同行させた | () 泊 | |
| 6. その他 () | () 泊 | |

問 16-3 問 16-2 で「1」を選んだ方にお聞きます。その際は預かってもらいやすい状況でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. とても預かってもらいにくかった |
| 2. どちらかというと、預かってもらいにくかった |
| 3. 特に預かってもらいにくくはなかった |

■地域の子育て支援のための事業の利用等についてお聞きます。

問 17 以下の子育て支援施策の利用等についてお聞きます。下表の施策ごとに、A～Cの当てはまるものすべてに○をつけてお答えください。

	A 知っている	B これまでに 利用したこと がある	C 今後利用 したい
1. スクールカウンセラー			
2. こども相談センターパトナ			
3. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）			
4. 子ども支援センター（福祉事務所）			
5. 地域子育て支援ステーション(保育園・児童館から指定)			
6. 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）			
7. 子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）			
8. こども虐待SOS専用電話			
9. いじめ相談24時間ホットライン			
10. こども専用ハートライン			
11. 総合育成支援教育相談センター「育（はぐくみ）支援センター」			

■ファミリーサポート事業の利用についてお聞きます。

問 18-1 ファミリーサポート事業の利用について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している/利用したことがある	(→ 問 18-2, 3へ)
2. 会員登録はしているが、利用したことはない	(→ 問 18-4, 5へ)
3. 利用したことはない	(→ 問 18-4, 5へ)

問 18-2 問 18-1 で「1」を選んだ方にお聞きます。事業の利用目的について、当てはまる番号すべてに○をつけください。

1. 放課後の時間の主な預かり事業として利用している
2. 学童クラブの利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもが軽度の病気あるいは病気回復期に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している
6. 学童クラブ等の送り迎えに利用している
7. その他の目的（ ）で利用している

問 18-3 問 18-1 で「1」を選んだ方にお聞きます。現在どの程度利用しており、希望としてはどのぐらい利用したいか、（ ）内に数字を記入してください。

現在	1 月当たり（ ）回	1 回当たり（ ）時間程度
希望	1 月当たり（ ）回	1 回当たり（ ）時間程度

問 18-4 問 18-1 で「2」又は「3」を選んだ方にお聞きます。利用していない理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない／なかった
2. 会員登録をしなければならない
3. 事前説明会に参加しなければならない
4. 急に利用しにくい
5. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
6. 利用料がかかる・高い
7. 事業の質に不安がある
8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない
9. そのような事業があることを知らなかった
10. その他（ ）
11. 特に理由はない

問 18-5 問 18-1 で「2」又は「3」を選んだ方にお聞きます。今後、利用したいですか。

1. 利用したい
2. 特に利用を希望しない

■その他子育てに関することについてお聞きます。

問 19 子育てをしている今の気持ちについて、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とても楽しい	2. 楽しい
3. 少し不安又は負担を感じる	4. とても不安又は負担を感じる
5. どちらとも言えない	

問 20 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じることを、感じるタイミングについて、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 家族のきずなが深まった
2. 他人の子どもや他人に対して優しくなれた
3. 子どもに多くのことを教えられた
4. ものの見方や価値観が変わった
5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい
6. 家庭の雰囲気になごやかになった
7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）
8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた
9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどをしてくれたとき
10. 子どもが他の子ども（友だち）のために優しい気配りなどをしてくれたとき
11. その他（ ）
12. 特にない

問 21 宛名のお子さんを育てていて、日頃不安に感じていることはありますか。各項目について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	不安ではない	あまり不安ではない	どちらとも言えない	少し不安である	不安である
ア 子どものしつけ	1	2	3	4	5
イ 子どもの教育	1	2	3	4	5
ウ 子どもの教育費	1	2	3	4	5
エ 子どもの遊び	1	2	3	4	5
オ 子どもを遊ばせることができる場所	1	2	3	4	5
カ 子どもの友だちづきあい	1	2	3	4	5
キ 子どもを預けられる施設や条件	1	2	3	4	5
ク 子どもの食事や栄養	1	2	3	4	5
ケ 子どもの病気や発育	1	2	3	4	5
コ 子どもの医療費	1	2	3	4	5
サ 子どもの将来	1	2	3	4	5
シ 子どもと接する時間がない	1	2	3	4	5
ス 家族の中での子育て観の違い	1	2	3	4	5
セ 配偶者の子育てへの協力が得られない	1	2	3	4	5
ソ 子育てに自信がない	1	2	3	4	5
タ 子育てと自分の生きがいや仕事との関係	1	2	3	4	5
チ 自分に話し相手や相談相手がいらない	1	2	3	4	5
ツ 自分の時間、心のゆとりが持てない	1	2	3	4	5
テ 自分の健康	1	2	3	4	5
ト その他（ ）	1	2	3	4	5

問 22 宛名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる不安や悩みを、どこに、または誰に相談していますか。多いもの3つまでの番号に○をしてください。

1. 子ども支援センター（福祉事務所）	2. 子ども相談センターパトナ
3. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）	4. 保健センター
5. こどもみらい館	6. 児童館
7. 宛名のお子さんやその兄弟姉妹が通っている学校や幼稚園・保育施設等	8. 7以外の学校や幼稚園・保育施設等
9. 民生委員・児童委員、主任児童委員	10. 医療機関
11. 配偶者・パートナー	12. 祖父母等の親族
13. 友人や近隣の住民	14. 職場の同僚
15. 子育てサークル等の仲間	16. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間
17. 電話相談機関	18. インターネットの相談・質問サイト
19. その他（	）
20. 相談相手がいない	

問 23 近年、子育てへの父親のかかわりが少ないことが問題となっていますが、その理由をどのように考えますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと
2. 通勤時間が長いこと
3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと
4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと
5. 父親が育児にかかわることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること
6. 父親が育児にかかわることを特別視する風潮が世間にあること
7. その他（
）

問 24 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に取り組んでほしいと思いますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実
2. 産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実
3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備
4. 育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備
5. 子育ての間は、残業や出張などを免除する制度
6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度
7. 子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度
8. 子どもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度
9. 事業所内に子どもが預けられる施設等の整備
10. 育児相談の実施
11. 出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実
12. 女性の就労継続に対する企業などの理解や支援
13. その他（
）
14. 特になし

問 25-1 家族そろっての食事はどのくらいありますか。

1. 毎日	2. 週に4, 5日	3. 週に2, 3日	4. 週に1日
5. ほとんどない	6. 離乳前である		

問 25-2 宛名のお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。

1. 毎日	2. 週に4, 5日	3. 週に2, 3日	4. 週に1日
5. ほとんど食べない	6. 離乳前である		

問 26 宛名のお子さんには、かかりつけの医師がいますか。

1. いる	2. いない
-------	--------

問 27 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問 28 宛名のお子さんは、いままでに事故（転倒・交通事故・やけど・誤飲・溺水等）にあったことがありますか。

1. ある 2. ない

問 29 子どもが被害者となる犯罪が社会問題となっていますが、被害を予防・防止するために特に必要なことは何だと思いますか。主なもの3つまでの番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 地域コミュニティの活性化 | 2. 住民によるパトロールなどの実施 |
| 3. 街灯（防犯灯）などの防犯設備の充実 | 4. 防犯ブザーの携帯 |
| 5. 子どもへの防犯教育の充実 | 6. 「こども110番の家」制度の充実 |
| 7. 性や暴力など過激情報を内容とする雑誌・ビデオなどの販売自粛 | 8. 子どもの携帯電話等によるインターネットの利用制限 |
| 9. 塾等子どもの利用する施設職員等の防犯教育 | 10. その他（ ） |
| 11. 特にない | |

問 30-1 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の設置・運営を行っています。宛名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 利用している／利用したことがある | (→ 問 30-3 へ) |
| 2. 児童館は知っているが、利用したことはない | (→ 問 30-2, 3 へ) |
| 3. 児童館を知らなかった | (→ 問 31-1 へ) |

問 30-2 問 30-1 で「2」を選んだ方にお聞きします。宛名のお子さんが児童館を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する時間がない
2. 利用したい時間帯と開館時間が合わない
3. 自宅の近くにない
4. どこにあるかがわからない
5. 開館時間がわからない
6. 児童館でどういう事業を実施しているのかがわからない
7. 利用方法（手続き等）がわからない
8. 学童クラブ以外に利用できることを知らなかった
9. 事業の質に不安がある
10. その他（ ）
11. 特に理由はない

問 30-3 問 30-1 で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。児童館を利用しやすくするために期待することについて、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 施設・設備の充実
2. 施設や活動内容のPRの充実
3. 小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり
4. イベントや催し物等、児童館事業の充実
5. 利用者の児童館事業への参画
6. 日・祝日の開館や開館時間の延長等、利用しやすい開館時間の設定
7. 子育て相談しやすい環境づくり
8. その他（ ）

問 31-1 あなたは、地域活動に参加していますか。

1. 現在参加している
2. 参加していない

(→ 問 31-2 へ)

(→ 問 31-3 へ)

問 31-2 問 31-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。それはどんな活動ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 自治会活動 | 2. 子ども会活動 |
| 3. 保育園・学童クラブ等の保護者会活動 | 4. 幼稚園・学校のPTA活動 |
| 5. 児童館における活動（学童クラブを除く） | 6. 子育てサークル活動 |
| 7. 地域のスポーツ活動 | 8. 社会奉仕活動などのボランティア活動 |
| 9. その他（ | ） |

問 31-3 問 31-1 で「2」を選んだ方にお聞きします。参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 仕事などが忙しい | 2. 病気であったり、家族の介護をしている |
| 3. 活動や役割が大変そう | 4. 人間関係などがわずらわしそう |
| 5. 必要を感じない | 6. 既に他の仲間がいる |
| 7. 参加しようとしたが参加者がいっぱい断られた | |
| 8. その他（ | ） |

問 32 宛名のお子さんは、地域的なグループ活動に参加したことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---|
| 1. スポーツ活動 | |
| 2. 音楽活動 | |
| 3. キャンプなどの野外活動 | |
| 4. 子ども会活動 | |
| 5. 清掃や高齢者訪問などの社会福祉活動 | |
| 6. 地域の祭りなどの伝統行事 | |
| 7. その他（ | ） |
| 8. 参加したことはない | |

問 33 今後、宛名のお子さんを、どのような地域的なグループ活動に参加させたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---|
| 1. スポーツ活動 | |
| 2. 音楽活動 | |
| 3. キャンプなどの野外活動 | |
| 4. 子ども会活動 | |
| 5. 清掃や高齢者訪問などの社会福祉活動 | |
| 6. 地域の祭りなどの伝統行事 | |
| 7. その他（ | ） |
| 8. 参加させたいと思わない | |

問 34 平成１９年２月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてお聞きます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。

- | | |
|---|---|
| <p>1. 知っている</p> <ul style="list-style-type: none"> — (1) 実践していると思う — (2) 今後、実践したいと思う — (3) 関心がない | <p>2. 知らない</p> <ul style="list-style-type: none"> — (1) 今後、実践したいと思う — (2) 関心がない |
|---|---|

＜参考＞子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3月13日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

問 35 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを期待しますか。最も当てはまる番号 1 つに○をつ
けてください。

1. 妊娠・出産の支援の充実
2. 子どもの健康や医療に関する施策の充実
3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援施策の充実
4. 教育環境の整備
5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実
6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進
7. 子育てに関する相談体制の整備
8. 交通事故・犯罪の予防・防止等，子どもの安全対策の充実
9. その他（ ）
10. 特になし

問 36 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものの番号 1 つに○をつけてください。

	そう 思う	少し そう 思う	どちら とも 言え ない	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
安心して出産できる環境である	1	2	3	4	5
乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5
身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる	1	2	3	4	5
必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	1	2	3	4	5
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の時に、必要な支援を受けられる環境である	1	2	3	4	5
障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行なわれている	1	2	3	4	5
子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5
子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがある	1	2	3	4	5
子どもへの教育環境は充実している	1	2	3	4	5
青少年が健全に育つ環境である	1	2	3	4	5
身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5

問 37 安心して子どもを産み、子どもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

問 38 この調査票に記入されている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。

1. 父	2. 母	3. その他（ ）
------	------	--------------------------------

お忙しいところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
 この調査票は、平成 25 年 1 1 月 1 3 日（水）までに、
 同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

● 用語説明

※ アンケートにご回答いただく際にご参照ください。

用 語	説 明
あ	
いじめ相談 24 時間ホットライン	子どものいじめに関する悩みの専用電話で、専任の相談員が 24 時間体制で相談に応じています。(351-7834)
か	
学童クラブ事業	ひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）、両親共働き等で、昼間留守になる家庭の小学校 1 年生～3 年生のお子さん（障害のあるおさんは 4 年生まで）を対象に、放課後の子どもたちの生活の場として、子どもたちをお預かりする学童クラブ事業を実施しています。 児童館の他、京都市が運営する学童クラブの専用施設である学童保育所、また、保護者自身が運営している共同学童保育所があります。
子育て支援短期利用事業（ショートステイ）	保護者の方の入院や通院（病気、出産）、あるいは冠婚葬祭や出張などにより、一時的に家庭で子どもがみられなくなったとき、小学校修了前までのお子さんを、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設で一定期間養育する事業です。（市内 2 箇所の乳児院、8 箇所の児童養護施設、1 箇所の母子生活支援施設で実施）
子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）	保護者の方が仕事や通院などのため、帰宅が遅くなるとき、小学生のお子さんを午後 5 時～午後 10 時まで、児童養護施設、母子生活支援施設でお預かりする事業です。（市内 8 箇所の児童養護施設、3 箇所の母子生活支援施設で実施）
こども虐待 SOS 専用電話（24 時間・365 日対応）	児童虐待をいち早く発見し、対応するため、また「子どもを叩いてしまいそう」といった悩みにいつでも応じられるよう、児童虐待に関する通告・相談専用電話（801-1919）を設置しています。
子ども支援センター（福祉事務所）	お住まいの地域の子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、各区役所・支所に設置されています。お子さんに関して気がかりとなっていることや子育てに関する不安や悩み等の様々な相談に応じているほか、地域の子育てに関する様々な情報の提供などを行っています。
こども専用ハートライン	悩みごと、困りごとなど、子どもからの悩みについての相談に応じています。（213-1100）
こども相談センター パトナ（京都市教育相談総合センター）	「生徒指導」と「教育相談（カウンセリング）」の部門を集約し、不登校の子どもたちの生活の場である「ふれあいの杜」を一体化したセンターです。子どもたちの不安や悩み、保護者の心配や気がかりをしっかりと受け止め、子どもたちの様々な課題の解決や自立に向け、総合的な支援を行っています。
さ	
児童館	18 歳未満の児童に健全な遊びの機会を提供し、健康の増進と情操を豊かにするために設置された児童福祉施設です。子育て家庭への支援や児童に関する地域の活動センターとしての取組等も行っています。

用 語	説 明
児童福祉センター (児童相談所・発達相談所)	児童福祉法に基づく行政機関として設置されている児童相談所を中心に、障害のある子どもへの療育などを行う各種施設などが併設されています。センターでは、子育ての不安、発達の遅れ、障害、不登校、非行、子どもを家庭で育てられないなど、子どもに関するさまざまな相談に応じています。また、児童虐待の相談や通告も受け付けています。
スクールカウンセラー	不登校・いじめをはじめとする教育課題に対応し、子どもたちの心の居場所づくりを推進するため、学校に配置される心の専門家です。学校における教育相談体制の充実と思春期の児童・生徒に対する心のケア等を推進しています。(市立の全中学・高等学校・総合支援学校と小学校95校に配置)
総合育成支援教育相談センター「育(はぐくみ)支援センター」	総合育成支援教育相談センター「育(はぐくみ)支援センター」は、すべての京都市立総合支援学校に開設している教育相談センターです。地域の障害のある児童生徒・保護者・小中高等学校、幼稚園等を対象に、総合支援学校の専門性や障害に対応した施設・設備を生かして、一人一人に応じた教育について相談と支援を行っています。
た	
地域子育て支援ステーション	身近な地域における子育て相談・ネットワークの拠点として、保育園(所)・児童館から「地域子育て支援ステーション」を指定し、子育て相談・子育て講座の実施や、小学校区内のネットワークづくりに取り組んでいます。(市内175箇所の保育園(所)・児童館を指定)
は	
ファミリーサポート事業	育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助をしたい人(提供会員)とが会員となって、保育施設までの送迎や、買い物などで外出の際にお子さんを預かるなど、市民の方が互いに助け合う子育て支援事業です。
放課後ほっと広場 (ゆうゆうクラブ)	児童館等による学童保育を実施していない地域において、保護者の就労等で昼間留守になる家庭の低学年児のお子さんを、放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成するために、小学校内で「学童クラブ機能」を有する事業を実施しています。
放課後まなび教室	学校施設を活用し、地域や保護者、学生等の参画を得ながら、放課後の子どもたちに、学習の習慣づけを図る「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を提供する取組です。市内の全小学校区で原則としてその小学校に通学する子どもたちを対象として実施しています。

(施設数等は、平成25年9月1日現在)

京都市 子育て支援に関する市民ニーズ調査 【結果報告書】

発行年月 平成26年10月

京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課

〒604-8171

京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1 井門明治安田生命ビル3階

電話：075-251-2380 FAX：075-251-2322

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-1-0-0.html>

京都市印刷物 第263107号



この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

コミュニティ回収や古紙回収等にお出してください。

